

令和 3 年度 施策・事務事業評価表 (案) 〔第七期帯広市総合計画〕

令和 4 年 月
帯 広 市

目 次

1. 第七期帯広市総合計画について	1
2. 総合計画推進の考え方について	1
（1）第七期総合計画のPDCAサイクル	1
（2）施策・事務事業評価	1
3. 第七期帯広市総合計画の体系図	2
4. 評価年度	3
5. 評価表の見方	3
（1）施策評価表	3
（2）事務事業評価表	6
6. 施策評価結果の概要	7
7. 基本計画の点検結果	9

■ 施策評価表

施策 1	健康なからだところをつくる	10
施策 2	笑顔でつなぐ、みんなの子育て	14
施策 3	たくさんの小さなおせっかいがある暮らし	18
施策 4	ずーっと生き活きと暮らす	22
施策 5	個性はみんなのたからもの	26
施策 6	医療を身近に安心な暮らしをつくる	30
施策 7	誰もが安心できる暮らしの支えになる	34
施策 8	世界に冠たる十勝農業を創る	38
施策 9	「とかちのかち」を創り続ける	42
施策 10	アウトドアの聖地にする	46

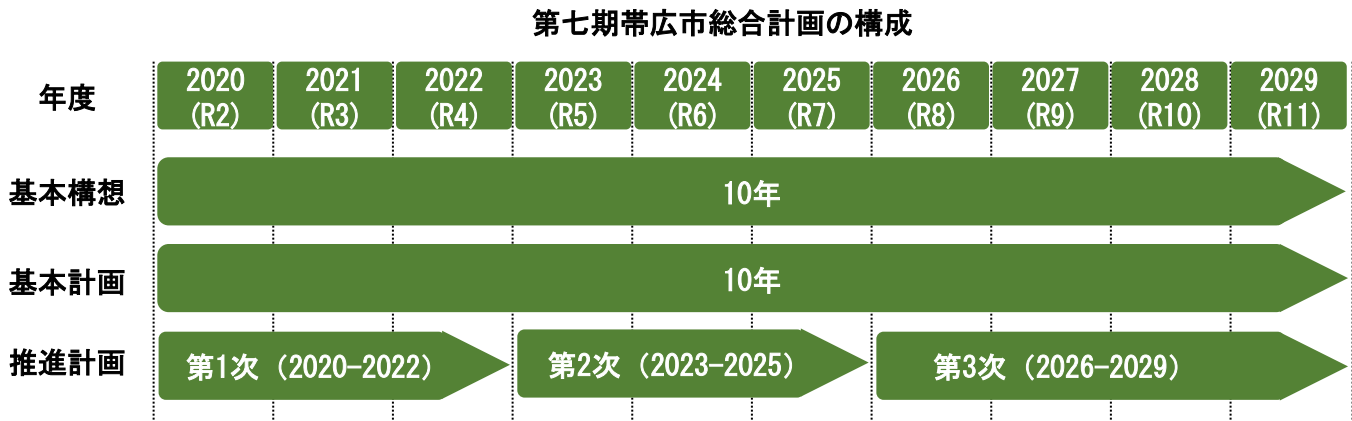
施策 1 1	つなげて拓げるビジネスチャンス	50
施策 1 2	未来を拓くこどもをともに育む	54
施策 1 3	いつまでも学ばって面白い	58
施策 1 4	潤いのある暮らしと地域をつくる	62
施策 1 5	スポーツで楽しく、ハツラツ、健康に	66
施策 1 6	地球のために今、行動する	70
施策 1 7	「まさか」に備え今、行動する	74
施策 1 8	とかちで守るみんなの安心	78
施策 1 9	みんなでつくる笑顔と安全	82
施策 2 0	未来につなぐ、おいしい水	86
施策 2 1	未来につなぐ、住みよいまち	90
施策 2 2	認め合い、つながり、暮らす	94
施策 2 3	未来に夢をつなぐ	98

■ 事務事業評価表

施策 1～施策 2 3	102
-------------	-----

1. 第七期帯広市総合計画について

第七期帯広市総合計画は、市民と市が共有するビジョンとして将来のまちの姿やまちづくりの目標などを示す「基本構想」、基本構想の実現に向けた市の施策を示す「基本計画」、施策の目指す姿の実現に向け市が実施する事務事業を示す「推進計画」により構成しており、期間は「基本構想」10年、「基本計画」10年、「推進計画」3年（第3次のみ4年）としています。



2. 総合計画推進の考え方について

（1）第七期総合計画のPDCAサイクル

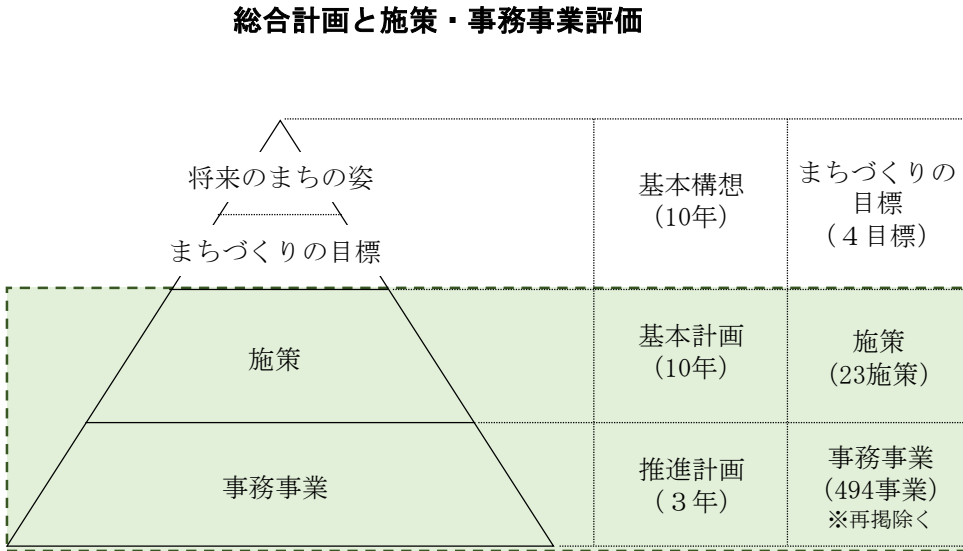
第七期帯広市総合計画は、施策や事務事業の進捗状況等を評価検証し、改善等につなげていくPDCAサイクルのもと推進します。

（2）施策・事務事業評価

施策は、「事務事業の進捗状況」「市民と一緒に目指す取り組みの状況」「地域社会の状況」という3つの視点から、目指す姿の実現に向けた進捗状況の評価検証します。また、客観性を確保するため、それぞれの状況を点数化し合計点に応じて進捗状況の判定を行います。

事務事業は、事業ごとに掲げる目標の達成に向け、毎年度取り組みを評価し、内容の妥当性や未達成の要因等を検証します。

施策・事務事業の評価結果は、予算編成や推進計画の改訂・次期推進計画の策定に活用するとともに、市民等へ公表します。



3. 第七期帯広市総合計画の体系図



4. 評価年度

本評価表は、令和3年度の施策・事務事業に対する評価結果を取りまとめたものです。

5. 評価表の見方

(1) 施策評価表

施策評価表には、目指す姿、市が実施した事務事業の取り組みを示す「Ⅰ 事務事業の進捗状況」、市民と市が一緒に目指す目指そう指標の実績と要因分析を示す「Ⅱ 目指そう指標の進捗状況」、地域社会の状況を示す「Ⅲ 関連データの状況」と、これらに基づく施策評価の結果を記載しています。

施策評価は、「Ⅰ 事務事業の進捗状況」「Ⅱ 目指そう指標の進捗状況」「Ⅲ 関連データの状況」の進捗率等を点数化し、その合計点に応じて、「順調」「概ね順調」「さらなる進捗が必要」の3区分で判定します。

① 「Ⅰ 事務事業の進捗状況」

事務事業の主な取り組み内容を記載しています。

○進捗率の算出・点数化の方法

施策の事務事業数(再掲除く)に占める、目標を達成した事務事業数と予定していた事業を実施することができた事務事業数(目標設定をしていない事務事業)の割合で進捗率を算出し、これに応じて下表のとおり点数化を行います。

A ≥ 80%	80% > A ≥ 60%	60% > A
40点	30点	25点

例) [1(目標を達成できた事務事業数)+
3(事業を実施した事務事業数)]
/9(施策の事務事業数) × 100 = **44.4% = 25点**

施策評価表
(Ⅰ 事務事業の進捗状況)

 Ⅰ 事務事業の進捗状況	進捗率 44.4% :	40点	30点	25点
【事務事業の主な取り組み】 ●市民の主体的な健康づくりを進めるため、健康づくりに関するボランティアの育成及び活動の促進や、歩数計測機能付きのアプリを活用した自主的な運動を促進。 ●働き盛り世代の健康づくりを促進するため、「スマートライフプロジェクト」参画企業等の登録を促進。 ●健康に関する意識を高めるため、ウェブサイト「帯広市すこやかネット」による健康体操動画を配信。 ●生活習慣病予防や重症化予防のため、各種がん検診の実施や検診費用の一部助成、健康相談・個別訪問や保健指導、健康教育などを実施。 ●自殺予防のため、ゲートキーパーの養成や多分野合同研修会の実施のほか、関係機関と連携した取り組みを推進。 ●感染症の発生や感染拡大防止のため、予防接種の啓発・実施や新型コロナウイルスなどの感染症の発生状況や予防に関する情報を発信。				
 健康体操動画を配信				

②「Ⅱ 目指そう指標の進捗状況」

目指そう指標の動向や結果に対する要因分析を記載しています。
なお、進捗率の把握に用いる実績値は、評価年度において把握可能な最新年度のデータを使用します。

○進捗率の算出・点数化の方法

目標値に対する実績値の割合で進捗率を算出し、これに応じて評価年度毎に下表のとおり点数化を行います。

※1	A ≥ 50%	50% > A ≥ 45%	45% > A
※2	A ≥ 75%	75% > A ≥ 67.5%	67.5% > A
※3	A ≥ 100%	100% > A ≥ 90%	90% > A
	40点	30点	25点

- ※1 令和2年度評価の基準
- ※2 令和3年度評価の基準
- ※3 令和4年度評価の基準
(施策4高齢者福祉の推進は、推進計画最終年度まで同じ目標値のため、毎年度この基準を使用)

例)
$$\frac{[82.3\% \text{ (評価年度の実績値)} - 81.7\% \text{ (基準値)}]}{[85.5\% \text{ (目標値)} - 81.7\% \text{ (基準値)}]} \times 100 = 15.8\% = 25点$$

施策評価表

(Ⅱ 目指そう指標の進捗状況)

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況		進捗率 15.8% :		40点	30点	25点
目指そう指標名		方向性				
健康と思っている市民の割合		↗				
指標の考え方	市民による生活習慣病の予防など健康に対する正しい知識の習得・実践や、市による健康教育や各種検診の実施などにより、上昇を目指します。	基準値 (R1)	81.7%			
		実績値 (R4)	82.3%			
		目標値 (R5)	85.5%			

【図1-1】健康と思っている市民の割合 (%)

年度	全国	目標	本市
R1	86.1	85.5	81.7
R2			
R3			
R4			82.3
R5			82.3
R6			
R7			
R8			
R9			
R10			
R11			

※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】
「健康と思っている市民の割合」は82.3%であり、基準値を上回っていますが、目標達成に向けて進捗していません。

市では、アプリの活用などによる自主的な運動の促進やスマートライフプロジェクト登録企業・団体への働きかけなどを行っています。新型コロナウイルス感染症の拡大の長期化により、生活習慣の改善や病気の予防など健康づくりをテーマとした健康講座が十分に実施できなかったほか、市民の外出や活動の自粛も重なり、健康に関する正しい知識の習得や主体的な運動の実践につなげることができなかったことが要因であると考えます。

少しでも体を動かすことが健康状態の改善につながることから、高齢者はもとより運動習慣が継続しづらい働き世代が運動を実践できるよう、引き続き医療機関や企業等とも連携し取り組みの工夫を図りながら、市民一人ひとりの健康増進につなげていく必要があります。

- ※ 各指標で定めた基準年から4年後の年を目指そう指標の目標年度としています。
- ※ 全国・全道等のデータは、要因分析を行う際の参考資料として掲載しています。なお、全国等の数値がなく比較ができない指標もあります。
- ※ グラフの基準値と目標値を結ぶ白線は各年度の目標水準を表しています。

③「Ⅲ関連データの状況」

施策に関する地域社会の状況を示すデータの推移を示しています。
また、下表のとおり、データ毎に推移に応じた得点を付しています。

得点	増加が望ましいデータ	基準以上が望ましいデータ
5	策定時より増加・前年より増加	—
3	策定時(H30又はR1)より増加	基準以上
2	前年より増加	基準未満だが前年より改善
0	いずれも該当なし	基準未満で前年以下

○得点率の算出・点数化の方法

全データの最高得点に占める、合計得点の割合で得点率を算出し、これに応じて下表のとおり点数化を行います。

A≥80%	80%>A≥60%	60%>A
20点	15点	10点

例) [2(2点×1つ)+(0点×2つ)] / 15 (データ数3つ×最高得点5点) ×100=13.3%=10点

④「Ⅳ施策評価」

①から③を踏まえ、施策の目指す姿の実現に向けて実施した主な取り組みや課題などを記載しています。

○施策評価の判定

「Ⅰ事務事業の進捗状況」「Ⅱ目指そう指標の進捗状況」「Ⅲ関連データの状況」の点数の合計点に応じて下表のとおり判定します。

例) ①25点+②25点+③10点=60点
施策評価の判定結果はさらなる進捗が必要

100点	95点	90点	85点	80点	75点	70点	65点	60点
順調に進んでいる			概ね順調に進んでいる			さらなる進捗が必要		

施策評価表
(Ⅲ関連データの状況)

Ⅲ 関連データの状況

得点率 13.3% : 20点 15点 10点

【図1-2】がん検診平均受診率 (%)

【方向性：上昇】

H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
27.7	29.8	29.0	29.0	26.7	23.4	

策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】糖尿病リスクが高い(HbA1c 有所見者)人の割合 (%)

【方向性：減少】

H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
68.1	65.6	63.8	62.5	67.1		

策定時以上・前年以上：0点

【図1-4】10万人当たりの自殺死亡者数 (人/10万人)

【方向性：減少】

H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
25.5	14.9	17.9	16.8	21.7	18.1	

策定時以上・前年より減少：2点

※ 統計によって、公表時期が異なるため、基準となる策定時の年度に違いがあります。

※ 施策によって、データの設定数に違いがあります。

施策評価表
(Ⅳ施策評価)

Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要 (Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ= 60点 /100点)

市民の主体的な健康づくりに向け、すこやかネットを通じた健康体操動画を配信したほか、歩行計測機能付きアプリを活用した自主的な運動の促進や、スマートライフプロジェクト登録企業・団体の加入促進などに取り組みましたが、「健康と思っている市民の割合【図1-1】」は、前回調査と同じであり、目標達成に向かって進んでいません。少しでも体を動かすことが健康状態の改善につながることから、高齢者をはじめ運動習慣が継続しづらい働き世代が運動を実践できるよう、医療機関や企業等とも連携し取り組みの工夫を図りながら、市民一人ひとりの健康増進につなげていく必要があります。

生活習慣の予防など健康に対する正しい知識の習得や実践に向け、健康的な食生活、運動習慣に関する周知啓発や保健指導、受診が必要な方への勧奨等に取り組みましたが、「HbA1c有所見者の割合【図1-3】」は上昇しました。今後も講座の開催や対象者への個別面接の実施などを通し生活習慣の改善をはかり、発症・重症化予防につなげていく必要があります。また、がん予防のパネル展示や医療機関でのポスター掲示、ピンクリボン運動、がん検診の周知啓発などに取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症対策による受診人数に上限を設けたことや受診控えなどによって、「がん検診平均受診率【図1-2】」は減少しています。引き続き、感染対策を講じながら、がんに対する正しい知識の周知啓発や働き世代が受診しやすい環境づくり、アプリを介した通知などの効果的ながん検診の周知啓発など、受診率向上に向けた取り組みを進めていく必要があります。

相談窓口の周知啓発、相談機関同士の連携強化やゲートキーパー養成など生きていることの包括的支援の推進に向けた取り組みを継続して実施することにより、「10万人当たりの自殺者数【図1-4】」は単年ごとの増減はありますが、ほぼ横ばいで推移しています。自殺は社会・経済情勢や、新型コロナウイルス感染症の流行による生活環境の変化など、様々な要因が複雑に関係しているものと考えられることから、引き続き、関係機関等が連携し、自殺予防につなげていくことが必要です。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。

(2) 事務事業評価表

事務事業評価表には、事務事業の名称、目的、担当課のほか、当該年度の事業実施状況や決算額などを記載しています。

市に一定の裁量がある事務事業には、推進計画策定時から3年後に到達すべき目標を設定しています。評価検証欄には、評価年度の目標に対する達成状況のほか、取り組みの妥当性や未達成の要因等を記載しています。

事務事業評価表																			
施策 2		取組 1		番号 3		事務事業 子育て支援事業													
目 的		子育て世代包括支援センターにおいて、子育て相談など多様な子育て支援事業を実施します。				担当課		子育て支援課											
目 標		地域で子育てを支援するファミリーサポートセンター事業によるサポート件数について1,804件を目指します。																	
事業実施状況	・すこやかネット事業の実施(登録者数32人、アクセス数43,729件) ・絵本との出会い事業の実施(配布児童数1,007人) ・ファミリーサポートセンター事業の実施(会員数735人、援助活動件数1,510件) ・子育て応援事業所登録事業の実施(登録事業所数296事業所) ・利用者支援事業(基本型)の実施(セルフプラン作成数13件、支援プラン作成数80件) ・衛生用品等の購入支援(子育て支援総合センター・帯広ファミリーサポートセンターの2カ所)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
						事業費		11,422		11,981									
						特定財源		21,423		22,248									
						一般財源		△10,001		△10,267									
						指標名		ファミリーサポートセンター事業の利用件数				単位		件					
						基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
						1,096				1,450		1,627		1,804					
				1,195		1,510													
評価検証	R3年度ファミリーサポートセンター事業の利用件数は1,510人であり、目標を達成しませんでした。																		
	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、休校や学級閉鎖、習い事が休みになるなど、利用のキャンセルが多かったことが要因と考えられます。利用件数は目標を下回りましたが、昨年度より利用件数が増加しており、就労による預かりや、保育所・幼稚園、習い事の送迎のニーズが高く、子育て世帯への支援の必要性が認められることから、今後も感染症対策を徹底しながら事業を継続していくことが必要と考えます。																		

- ※ 「目標」は推進計画最終年度（R4年度）の目標です。なお、法律で義務付けされている事業、国等の財源の影響を受けやすい整備事業、施設の維持管理事業、内部管理事業には、目標を設定していません。
- ※ 目標を設定している事務事業のうち、定量的な指標の設定が難しい事業については、事業の実施状況などに基づき定性的な評価を行っています（指標名“—”としています）。
- ※ 事業実施状況には主に事業量（人数・回数等）を示しています。
- ※ 事業費には会計年度任用職員費用を含めているため、決算書等の合計額と一致しない場合があります。

6. 施策評価結果の概要

まちづくりの 目標と施策番号		Ⅰ 事務事業の進捗状況 採点結果			Ⅱ 目指そう指標の進捗状況 採点結果			Ⅲ 関連データの状況 採点結果			Ⅳ 施策評価の判定	
1 とともに支え合い、 健やかに暮らせるまち	施策 1	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	60点	さらなる進捗が必要
	施策 2	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策 3	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	65点	さらなる進捗が必要
	施策 4	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策 5	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	65点	さらなる進捗が必要
	施策 6	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	70点	さらなる進捗が必要
	施策 7	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	90点	順調に進んでいる
2 活力とにぎわいと 挑戦があるまち	施策 8	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
	施策 9	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	70点	さらなる進捗が必要
	施策10	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	60点	さらなる進捗が必要
	施策11	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	80点	概ね順調に進んでいる
3 とともに学び、輝く人 を育むまち	施策12	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	65点	さらなる進捗が必要
	施策13	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	80点	概ね順調に進んでいる
	施策14	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	60点	さらなる進捗が必要
	施策15	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	60点	さらなる進捗が必要

まちづくりの 目標と施策番号		Ⅰ 事務事業の進捗状況 採点結果			Ⅱ 目指そう指標の進捗状況 採点結果			Ⅲ 関連データの状況 採点結果			Ⅳ 施策評価の判定	
4 安全・安心で 快適に暮らせるまち	施策16	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策17	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	70点	さらなる進捗が必要
	施策18	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	95点	順調に進んでいる
	施策19	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策20	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	100点	順調に進んでいる
	施策21	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	90点	順調に進んでいる
施策22		40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	60点	さらなる進捗が必要
施策23		40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	80点	概ね順調に進んでいる

施策の進捗状況

	1 ともに支え合い、 子どもも大人も 健やかに暮らせるまち	2 活力とにぎわいと 挑戦があるまち	3 ともに学び、 輝く人を育むまち	4 安全・安心で 快適に暮らせるまち	合計
順調に進んでいる	1施策	0施策	0施策	3施策	4施策
概ね順調に進んでいる	2施策	2施策	1施策	2施策	8施策
さらなる進捗が必要	4施策	2施策	3施策	1施策	11施策

※施策22及び施策23は、各まちづくりの目標に含めていないため、合計と合いません。

7. 基本計画の点検結果

令和3年度の施策評価においては、「順調に進んでいる」施策が4施策、「概ね順調に進んでいる」施策が8施策、「さらなる進捗が必要」な施策が11施策となりました。

基本構想の実現に向けた市の施策を示す基本計画については、推進計画の最終年度において、施策の推進状況などを点検した上で、必要に応じて見直しを行うこととしています。

このため、施策評価で「さらなる進捗が必要」となった11の施策において、各施策の目指す姿の実現に向け実施する「主な取り組み」の見直しの必要性について点検したところです。

「さらなる進捗が必要」との評価結果に至った要因は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う移動制限や外出自粛などの影響により、様々な分野における事務事業が、当初想定していた通りに進捗できなかったことが大きく、感染症対策を講じた実施方法の工夫・改善などを行いながら、取り組みを進めていく必要があります。

また、障害のある人の就労に関する法制度改正、医療に従事する人材の確保、災害時における地域での支え合いの意識醸成や体制づくりに関する担い手不足などを要因として進捗していない状況がありますが、いずれも「主な取り組み」の見直しは必要なものではないと考えられます。

こうしたことから、基本計画の見直しは行わず、今後も毎年度、評価・検証を行い、推進計画を改訂しながら、取り組みを着実に進めます。



施策1 健康なからだところをつくる ―健康づくりの推進―



目指す姿

誰もが自分の健康は自分でつくるという意識を持ち、健康管理に取り組み、心身ともに健やかに暮らしています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 44.4% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民の主体的な健康づくりを進めるため、健康づくりに関するボランティアの育成及び活動の促進や、歩数計測機能付きのアプリを活用した自主的な運動を促進。
- 働き盛り世代の健康づくりを促進するため、「スマートライフプロジェクト」参画企業等の登録を促進。
- 健康に関する意識を高めるため、ウェブサイト「帯広市すこやかネット」による健康体操動画を配信。
- 生活習慣病予防や重症化予防のため、各種がん検診の実施や検診費用の一部助成、健康相談・個別訪問や保健指導、健康教育などを実施。
- 自殺予防のため、ゲートキーパーの養成や多分野合同研修会の実施のほか、関係機関と連携した取り組みを推進。
- 感染症の発生や感染拡大防止のため、予防接種の啓発・実施や新型コロナウイルスなどの感染症の発生状況や予防に関する情報を発信。



健康体操動画を配信



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 15.8% :

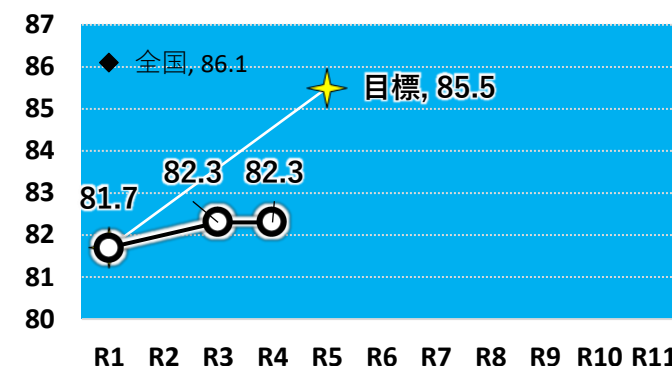
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
健康と思っている市民の割合			↗
指標の考え方	市民による生活習慣病の予防など健康に対する正しい知識の習得・実践や、市による健康教育や各種検診の実施などにより、上昇を目指します。	基準値 (R1)	81.7%
		実績値 (R4)	82.3%
		目標値 (R5)	85.5%

【図1-1】健康と思っている市民の割合 (%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「健康と思っている市民の割合」は82.3%であり、基準値を上回っていますが、目標達成に向けて進捗していません。

市では、アプリの活用などによる自主的な運動の促進やスマートライフプロジェクト登録企業・団体への働きかけなどを行っています。新型コロナウイルス感染症の拡大の長期化により、生活習慣の改善や病気の予防など健康づくりをテーマとした健康講座が十分に実施できなかったほか、市民の外出や活動の自粛も重なり、健康に関する正しい知識の習得や主体的な運動の実践につなげることができなかったことが要因であると考えます。

少しでも体を動かすことが健康状態の改善につながることから、高齢者はもとより運動習慣が継続しづらい働き世代が運動を実践できるよう、引き続き医療機関や企業等とも連携し取り組みの工夫を図りながら、市民一人ひとりの健康増進につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

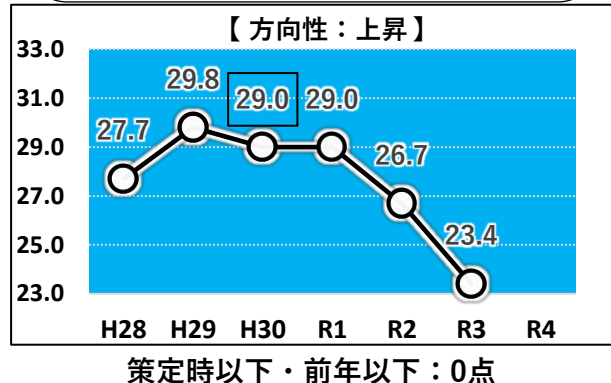
得点率 13.3% :

20点

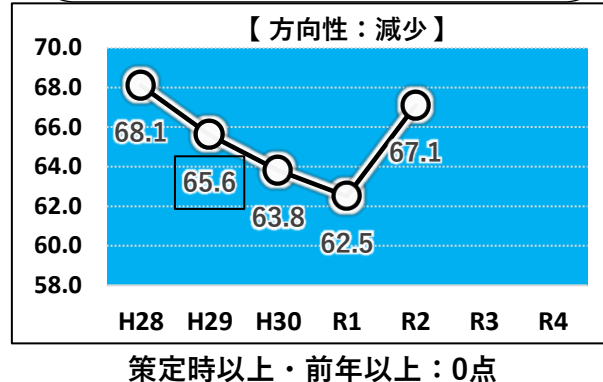
15点

10点

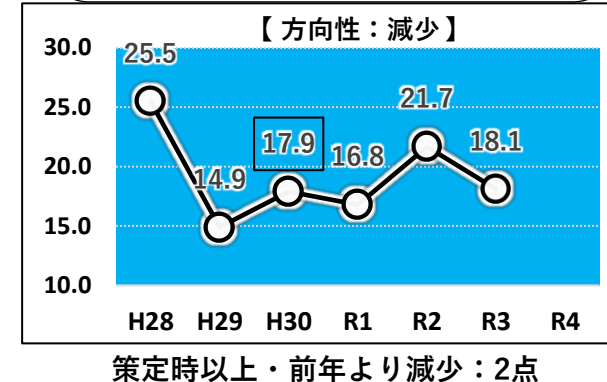
【図1-2】がん検診平均受診率
(%)



【図1-3】糖尿病リスクが高い（HbA1c有
所見者）人の割合（%）



【図1-4】10万人当たりの自殺死亡者数
(人/10万人)



※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点对象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 60点 /100点〕

市民の主体的な健康づくりに向け、すこやかネットを通じた健康体操動画を配信したほか、歩行計測機能付きアプリを活用した自主的な運動の促進や、スマートライフプロジェクト登録企業・団体の加入促進などに取り組みましたが、「健康と思っている市民の割合【図1-1】」は、前回調査と同じであり、目標達成に向かって進んでいません。少しでも体を動かすことが健康状態の改善につながることから、高齢者はもとより運動習慣が継続しづらい働き世代が運動を実践できるよう、医療機関や企業等とも連携し取り組みの工夫を図りながら、市民一人ひとりの健康増進につなげていく必要があります。

生活習慣の予防など健康に対する正しい知識の習得や実践に向け、健康的な食生活、運動習慣に関する周知啓発や保健指導、受診が必要な方への勧奨等に取り組みましたが、「HbA1c有所見者の割合【図1-3】」は上昇しました。今後も講座の開催や対象者への個別面接の実施などを通し生活習慣の改善をはかり、発症・重症化予防につなげていく必要があります。また、がん予防のパネル展示や医療機関でのポスター掲示、ピンクリボン運動、がん検診の周知啓発などに取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症対策による受診人数に上限を設けたことや受診控えなどによって、「がん検診平均受診率【図1-2】」は減少しています。引き続き、感染対策を講じながら、がんに対する正しい知識の周知啓発や働き世代が受診しやすい環境づくり、アプリを介した通知などの効果的ながん検診の周知啓発など、受診率向上に向けた取り組みを進めていく必要があります。

相談窓口の周知啓発、相談機関同士の連携強化やゲートキーパー養成など生きることの包括的支援の推進に向けた取り組みを継続して実施していることにより、「10万人当たりの自殺者数【図1-4】」は単年ごとの増減はありますが、ほぼ横ばいで推移しています。自殺は社会・経済情勢や、新型コロナウイルス感染症の流行による生活環境の変化など、様々な要因が複雑に関係しているものと考えられることから、引き続き、関係機関等が連携し、自殺予防につなげていくことが必要です。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策2 笑顔でつなぐ、みんなの子育て ―子育て支援の充実―



目指す姿

地域全体で子育てを支え、安心して子どもを産み育て、子どもたちが健やかに成長しています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 81.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援のため、子育て世代包括支援センターにおいて様々な相談への対応。
- 地域で子育てを支えるため、ファミリーサポートセンター事業や子育て応援事業所登録制度の周知などを実施。
- 妊娠や出産、育児に関する精神的・経済的不安の軽減を図るため、特定不妊治療費の支援や妊娠出産サポート事業を実施。
- 母子の健康増進と健康意識の向上を図るため、妊婦・乳幼児健康診査による異常の早期発見のほか、出産・育児に関する情報提供や助言などを実施。
- 発達の違いや障害のある児童とその家庭を支援するため、発達支援センターやこども発達相談室の運営などを実施。
- 保護者の多様化する保育ニーズに対応するため、低年齢児の受入枠の拡大をはじめ、延長保育や休日保育、特別支援保育などを実施。
- 子どもたちの様々な体験活動や、地域ぐるみでの子育てを推進するため、帯広市青少年育成者連絡協議会への支援を実施。



乳幼児健康診査の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲142.9% :

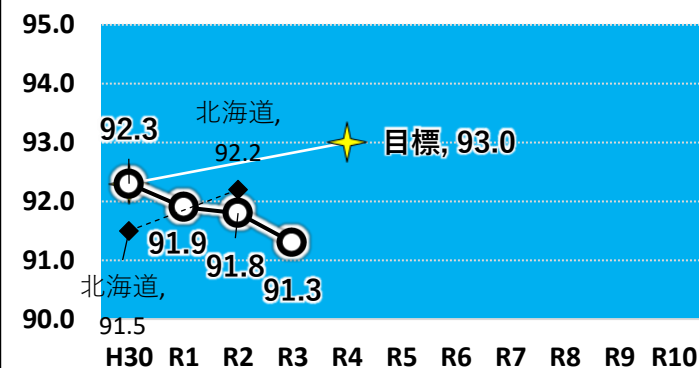
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
この地域で子育てをしたいと思う親の割合			↗
指標の考え方	市民による子育てボランティア活動や、企業等による子育てしやすい職場環境づくり、市による総合的な子育て支援などにより、上昇を目指します。	基準値 (H30)	92.3%
		実績値 (R3)	91.3%
		目標値 (R4)	93.0%

【図1-1】 この地域で子育てをしたいと思う親の割合（％）



【指標の動向・要因分析】

「この地域で子育てをしたいと思う親の割合」は91.3%であり、目標達成に向けて進捗していません。

市では、妊娠や出産、子育てに対する悩みなどへの相談対応を行っているほか、企業における育児休業の推進や、ファミリーサポートセンター事業など地域全体で子育てを支える取り組みを進めていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、各種講座や親子の交流事業の中止・縮小、また、市民による子育てボランティア活動の自粛などにより、就労時の保育や育児相談の機会が減少していることなどが影響していると考えます。子育て世帯をとりまく環境の変化などを注視しながら、妊娠期から子育て期に至るまでの切れ目のない相談対応により、個々の世帯に必要な支援につながるよう取り組む必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

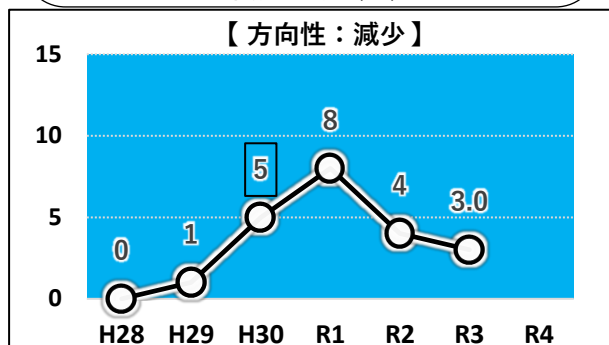
得点率 100.0% :

20点

15点

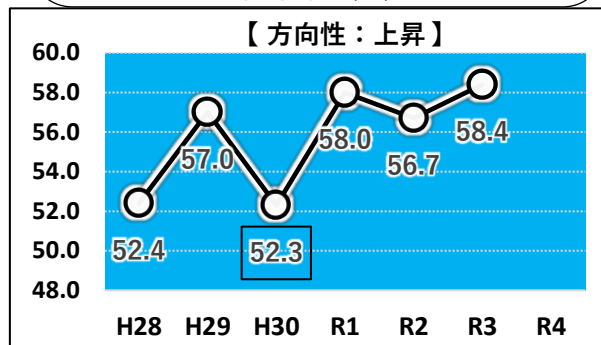
10点

【図1-2】 4月1日時点の保育所等の
待機児童数（人）



策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-3】 育児休業制を規定している事業
所の割合（%）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加算対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 85点 /100点〕

市民や企業など地域全体で子育てを支える環境づくりに向け、妊娠や出産、子育てに対する悩みなどへの相談対応や、地域で子育て家庭を支えるファミリーサポートセンター事業などに取り組んでおり、同センターの会員数が増加するなど子育てを支える環境の充実が図られています。

今後も感染症対策を講じた事業の実施や母子健康手帳交付時の個別相談による課題共有を踏まえたセルフプランの作成を行うなど、これまでの取り組みを効果的に進め、妊娠期から子育て期に至るまでの切れ目のない相談対応などを通し、地域で子育てを支える環境づくりを進めます。

幼児教育・保育サービスの安定的な提供を図るため、私学助成幼稚園から認定こども園への移行や認定こども園の分園開設に対する支援など、低年齢児の受入枠の拡大を進めたことなどにより、「4月1日時点の保育所等の待機児童数【図1-2】」は前年より減少しました。今後も共働き世帯の増加を背景として、保育ニーズは高い状況が続くと見込んでいることから、引き続き受入体制の確保などに努めていく必要があります。

子育てをしながら働き続けることができる環境づくりを促進するため、市ホームページや事業所雇用実態調査を通じて子育て応援事業所の登録制度や促進奨励金制度の周知などに取り組んだことにより「育児休業制を規定している事業所の割合【図1-3】」は前年より増加しました。依然として事業規模の小さい事業所ほど導入されていない傾向にあることから、今後も企業などと連携した周知啓発を行うなど、子育てしやすい環境づくりを進めます。

青少年の健全育成を図るための取り組みは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、予定していた事業の多くが中止となりました。今後も感染症対策を講じた事業の実施に努め、魅力ある体験活動機会の提供による豊かな人間性や社会性の醸成などを通して青少年の健全育成を図る必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策3 たくさんの小さなおせっかいがある暮らし ―地域福祉の推進―



目指す姿

介護を必要とする高齢者や障害のある人など、日常生活において支援を必要とする人が、身近な人とのつながりや支え合いによって、社会から孤立せず、住み慣れた地域で安心して暮らしています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 66.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 生活上様々な問題を抱えている地域住民への相談対応や関係機関等との連絡調整などを行うため、民生委員・児童委員の配置及び活動を支援。
- 住民相互の交流や親睦を図るため、地域交流サロンの活動を支援。
- 判断能力が十分でない人に代わり契約や財産管理を行う成年後見制度の利用促進を図るため、成年後見支援センターの運営や市民後見人の養成を実施。
- 高齢者の健康保持や生活に関する相談など、日常生活を送る上で生じている課題を包括的に支援するため、地域包括支援センターを運営。
- 高齢者や障害のある人への地域の見守り体制の強化のため、民間事業所や医療機関など多様な団体等の連携による、きづきネットワーク事業を推進。
- 複合的な困りごとや世帯全体の困りごとなど分野をまたぐ課題に対応するため、地域福祉にかかる関係団体等との連携等による包括的な相談・調整を推進。



地域交流サロンの様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲41.0% :

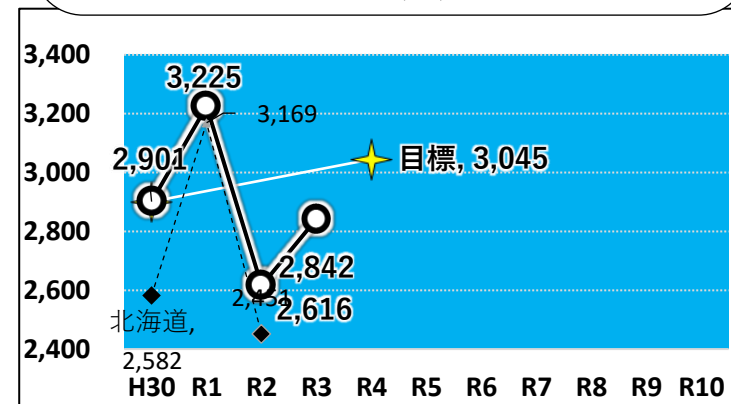
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
10万人あたりのボランティア登録者数			↗
指標の考え方	市民によるボランティア活動への参加や、市による福祉団体等への活動支援などにより、増加を目指します。	基準値 (H30)	2,901人
		実績値 (R3)	2,842人
		目標値 (R4)	3,045人

【図1-1】10万人あたりのボランティア登録者数（人）



【指標の動向・要因分析】

「10万人あたりのボランティア登録者数」は2,842人であり、目標達成に向けて進捗していません。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、外出自粛による活動機会の制限を余儀なくされたことが要因と考えますが、オンライン研修の活用や動画資料の貸与などを行い新規の登録団体があったことなどから、昨年度に比べ登録者数は増加しています。

市では、福祉活動団体への支援などを行っており、社会福祉協議会においてもコーディネーターを配置したボランティアセンターの運営、ボランティア養成講座など人材の育成・確保に向けた取り組みを行っています。

今後も、地域の社会資源を充実していくため、感染症対策を講じた養成講座の開催や、ボランティア活動にかかる普及啓発、参加の呼びかけなどを通し、さらなる登録者数の増加につながるよう取り組んでいく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

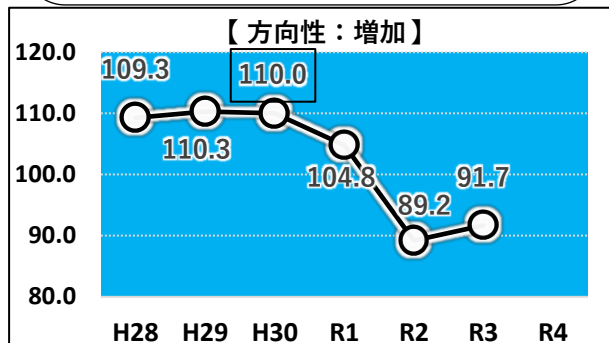
得点率 33.3% :

20点

15点

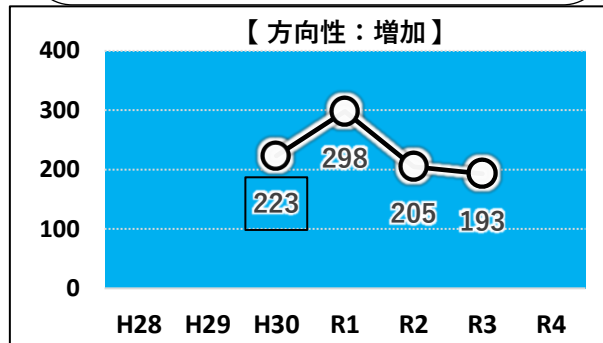
10点

【図1-2】 民生委員・児童委員 1人当たりの活動日数（日）



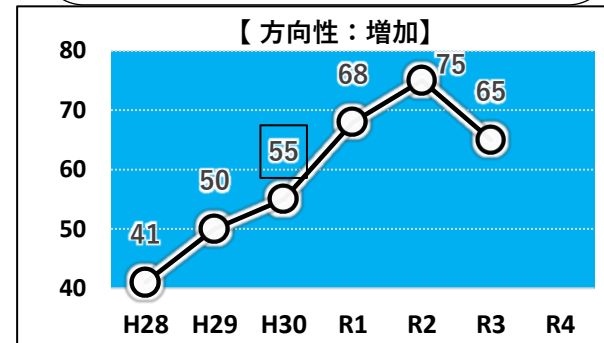
策定時以下・前年より増加：2点

【図1-3】 地域包括支援センターへ近隣住民等からの相談件数（件）



策定時以下・前年以下：0点

【図1-4】 法人後見支援員の登録者数（人）



策定時より増加・前年以下：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加算対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 65点 /100点〕

市民相互の支え合いの意識を高め、地域で様々な問題を抱えている人への相談対応や見守り体制の強化などを行うため、民生委員・児童委員による相談支援や多様な団体と連携した「きづきネットワーク事業」の推進を図ったほか、高齢者の健康保持や生活に関する相談など、日常生活を送る上で生じている課題を包括的に支援するため、「地域包括支援センター」の運営に取り組みました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛による活動機会の制限・縮小などを背景に、「地域包括支援センターへの近隣住民等からの相談件数【図1-3】」は減少傾向にあります。また、「10万人あたりのボランティア登録者数【図1-1】」及び「民生委員・児童委員一人当たりの活動日数【図1-2】」は、感染症対策を行った上で活動を行ったことにより、前年より増加したものの策定時より下回っている状況にあります。

高齢化の進行により、支援を必要とする人は今後も増加していくことが見込まれることから、引き続き地域での見守り合い・支え合いの重要性にかかる啓発や、身近にある相談窓口の周知を図り、生活様式の変化に対応した相談支援体制の強化を推進する必要があります。

福祉団体などと連携した福祉活動の担い手の育成・確保のため、成年後見支援センターの運営や市民後見人の養成などを進めましたが、判断能力が不十分な市民の生活を支える「法人後見支援員の登録者数【図1-4】」は減少しています。市民後見制度の啓発による新規登録者よりも、高齢化や家庭の事情により活動していないなどの理由で登録を抹消した方が上回ったことによるものと考えます。今後も成年後見人制度利用者の増加を見据えた持続的な権利擁護を図っていくため、さらなる市民後見制度の啓発のほか、関係機関と連携した法人後見支援員の資質向上や活動促進に取り組んでいきます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策4 ズーっと生き活きと暮らす ― 高齢者福祉の推進 ―



目指す姿

高齢者が、仕事や地域活動などを通して社会と関わりながら、必要な福祉サービスを安心して受けられ、住み慣れた地域で自分らしく生き活きと暮らしています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 78.6% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 高齢者及び介護する家族の不安解消などのため、ひとり暮らし高齢者、寝たきり・認知症高齢者登録のほか、各種サービスによる生活支援を実施。
- 高齢者の権利擁護のため、被虐待高齢者の保護と養護者に対する支援を実施。
- 高齢者が安心して生活できる環境を整備するため、グループホーム等の地域密着型サービス事業所の整備支援を実施。
- 高齢者の社会参加の促進のため、高齢者バス無料乗車証を発行。
- 高齢者の社会活動や生きがいづくり促進のため、老人クラブへの支援を実施。
- 高齢者の健康保持・増進や生活の安定のため、地域包括支援センターによる相談支援や権利擁護を実施。
- 認知症に関する理解促進のため、認知症サポーターを養成。
- 生きがいや役割を持ちながら地域で元気に過ごすことができるよう、趣味活動や簡単な運動などを通じた介護予防を実施。
- 在宅医療と介護の連携を推進するため、医療機関やケアマネジャーとの体制づくりを支援。
- ひとり暮らし高齢者などの生活上のちょっとした困りごとを地域で助け合い支えていくため、掃除や買い物などを手助けする生活援助員や、支え合いを日常生活の中で実践できる人を養成。



介護予防教室



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 100.1% :

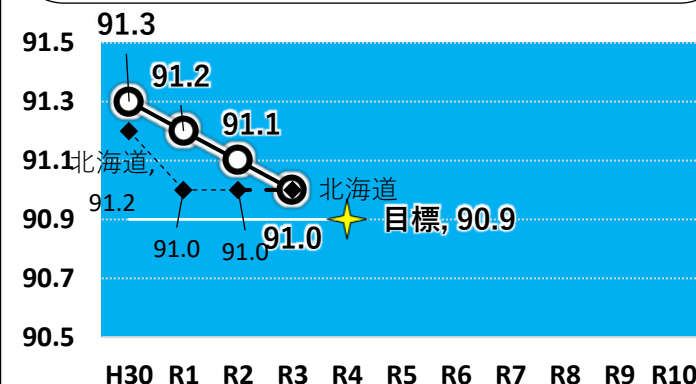
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
要介護度が「要介護1」までの高齢者の割合			→
指標の考え方	高齢者による適度な運動やバランスのとれた食生活の実践などの健康増進の取り組みや、市による介護予防の取り組みの推進などにより、維持を目指します。	基準値 (H30)	91.3%
		実績値 (R3)	91.0%
		目標値 (R4)	90.9%

【図1-1】 要介護度が「要介護1」までの高齢者の割合 (%)



【指標の動向・要因分析】

「要介護度が「要介護1」までの高齢者の割合」は91.0%であり、目標達成に向けて順調に進捗しています。

市による自立支援に向けた介護サービスの提供や、地域包括支援センター・介護事業所による介護予防の取り組みの実施、市民による介護予防教室への参加や自主的な軽運動の実践などにより、介護の重度化の抑制につながっているものと考えます。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う外出控えによる活動量の減少が心身の機能に影響を及ぼすことも懸念されることから、引き続き関係機関等と連携し、介護予防の普及啓発や活動支援、社会参加の促進などに取り組んでいく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

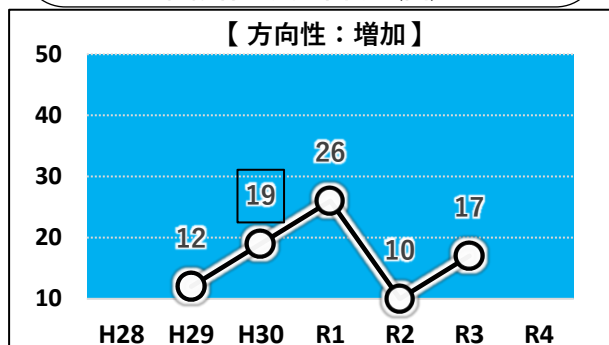
得点率 70.0% :

20点

15点

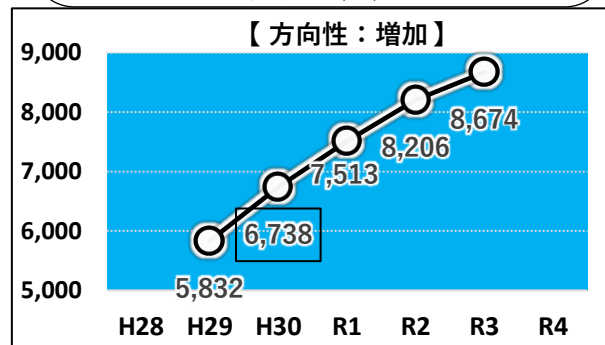
10点

【図1-2】地域支え合いを推進する協議体の実施回数（回）



策定時以下・前年より増加：2点

【図1-3】雇用保険の高年齢被保険者の年平均数（人）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点对象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 85点 /100点〕

高齢者の生活支援に向け、ひとり暮らし高齢者などへの生活支援や地域密着型サービス事業所等の整備支援、介護予防サービスの提供のほか、地域包括支援センターでの個別ケア会議の開催などに取り組み、地域での支援ネットワークの強化や、生活支援が必要な人に対する適切なサービス提供につながっています。

ちょっとした支え合いサポーターを中心に生活支援の課題を地域住民で共有し、実践につなげる「地域支え合いを推進する協議体の実施回数【図1-2】」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、協議の場の開催が制約されたことから、策定時より減少したものの、開催方法の工夫を図ったことで前年を上回っています。

今後も、屋外やオンラインといった多様な開催方法を取り入れるなど、感染症の状況を見極めながら、高齢者の生活支援の課題を地域の支え合いで解決する仕組み作りを進めていく必要があります。

高齢者の社会参加の促進に向け、「高齢者おでかけサポートバス事業」による外出支援、老人クラブ活動等への支援、簡単な運動などを通じた介護予防事業、掃除や買い物などを手助けする生活援助員の養成などに取り組んだほか、関係機関と連携した企業とのマッチングによる就労機会の確保などにより、「高齢者の雇用保険被保険者数【図1-3】」の増加につながっています。

今後も、高齢者の地域活動への参加促進や就労促進に向け取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策5 個性はみんなのたからもの ― 障害者福祉の推進 ―



目指す姿

障害に対する市民理解が深まり、障害のある人が地域社会の一員として、安心して暮らしています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 73.3% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 障害や障害のある人への理解が深まるよう、市民活動プラザ六中での地域住民との交流など各種事業を通じた交流や普及啓発を促進。
- 権利擁護や虐待・差別防止のため、関係機関の連携による早期対応の取り組みと周知啓発を実施。
- 支援に携わる関係者間の情報共有や連携強化、人材の育成、地域生活支援拠点の整備に係る検討を進めるため、帯広市地域自立支援協議会の開催及び研修等を実施。
- 障害のある人やその家族が安心して暮らせるよう、相談支援や意思疎通を円滑化するためのコミュニケーション支援事業を実施。
- 地域における自立生活の促進のため、障害福祉サービスの提供や自立支援医療等を給付。
- 希望や特性に応じて働ける環境を整備し就労を促進するため、企業や就労支援事業所への研修等を実施。



手話出前講座の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 29.2% :

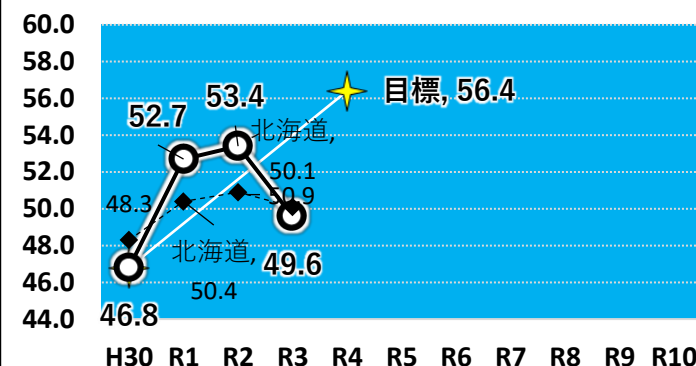
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
障害者雇用率を達成した企業の割合			↑
指標の考え方	民間企業等による障害のある人が能力を発揮しやすい雇用・職場環境づくりなどの取り組みや、市による就労支援などにより、上昇を目指します。	基準値 (H30)	46.8%
		実績値 (R3)	49.6%
		目標値 (R4)	56.4%

【図1-1】障害者雇用率を達成した企業の割合（%）



【指標の動向・要因分析】

「障害者雇用率を達成した企業の割合」は49.6%であり、基準値を上回っていますが、目標達成に向けて進捗していません。

市役所職場体験実習や就労移行・継続支援事業を通じた相談対応・研修など、障害のある方に対する就労意欲の向上や職場定着に向けた取り組みを進めてきたほか、帯広市地域自立支援協議会の就労・社会活動部会において、関係機関や企業等とともに障害者雇用の課題の共有や意見交換などに取り組んできました。しかしながら、令和3年度に民間企業における障害者の法定雇用率が2.2%から2.3%に引き上げられたことにより、新たに障害者雇用経験のない企業を対象となったことを背景として、前年と比べ達成企業の割合が減少したものと考えます。また、企業が個々に抱える課題の把握が十分ではなかったことや、就労支援事業所の一般就労への移行に向けたノウハウ不足などにより、取り組みの効果が限定的であったものと捉えています。

今後は、企業の障害者雇用に係るニーズや課題を的確に捉え、関係機関と連携しながら、障害者の受け入れ拡大に向けた理解促進の取り組みや、就労支援事業所の支援員のスキル向上に向けた働きかけなどを通し、障害のある人が能力を発揮しやすい雇用・職場環境づくりにつなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

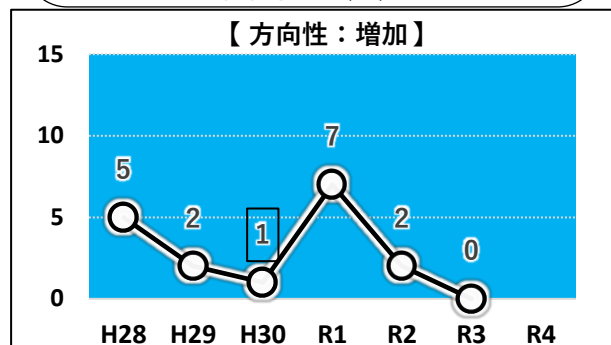
得点率 0.0% :

20点

15点

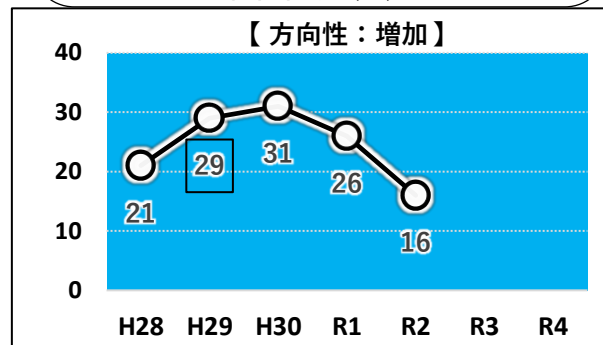
10点

【図1-2】施設入所者の地域生活
移行者数（人）



策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】福祉施設から一般就労への
移行者数（人）



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 65点 /100点〕

障害の特性や障害のある人への理解促進に向け、出前講座やおびひろ市民学における手話講座の開催、障害者週間記念事業の実施、ヘルプマークの配布などに取り組みました。令和3年度に障害者差別解消法が改正され、今後は、民間企業においても障害者への合理的配慮が義務化されることから、これまでの取り組みに加え、SNSなどを活用した効果的な情報発信や市民フォーラム等による啓発活動のほか、帯広市地域自立支援協議会の障害者差別解消部会において、関係機関で問題意識の共有や課題解決に向けた協議を行います。

障害のある人が安心して暮らせる地域社会の構築に向け、相談支援や生活介護・短期入所など障害福祉サービスの提供を行いました。近年では、グループホームや、施設での短期入所をはじめとする日中活動系サービスの事業所など、障害特性に応じたサービスを提供できる事業所が増え、利用者数も増加するなど、施設入所だけでなく地域で暮らすための選択肢が徐々に広がってきていますが、令和3年度の「施設入所者の地域移行者数【図1-2】」は0人となっています。今後も、施設関係者や入居者の抱える課題・ニーズをしっかりと捉え直し、当事者の声に耳を傾けながら、地域移行に向けた取り組みを進めていく必要があります。

障害のある人への就労支援については、新型コロナウイルス感染症の拡大で就労支援事業所での訓練・作業時間が減少したことに加え、企業が個々に抱える障害者雇用への課題を的確に捉え切れていないことや、就労支援事業所における一般就労に向けた支援スキルの不足などにより、「福祉施設からの一般就労移行者数【図1-3】」は減少しています。今後は、企業訪問や成功事例の周知などを通じた企業における障害者雇用への理解促進や、就労支援事業所支援員のスキル向上に向けた働きかけなどを通し、一般就労につなげていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策6 医療を身近に安心な暮らしをつくる – 医療体制の安定的確保 –



目指す姿

十勝圏全体で連携し、安心して医療を受けることのできる医療体制が確保され、市民の健康が守られています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 66.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 地域医療体制の安定化を図るため、看護師等の養成機関への支援により、医療に従事する人材を確保。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、経済的理由により修学の継続が困難になった看護学生等に対し給付金を支給。
- 帯広市休日夜間急病センターの運営により、夜間、休日でも受診可能な医療体制を確保。
- 二次救急や三次救急に係る体制の構築のため、医療機関や関係機関と連携するとともに、帯広厚生病院をはじめとする関係医療機関へ運営費を支援。



帯広市休日夜間急病センター



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲45.0% :

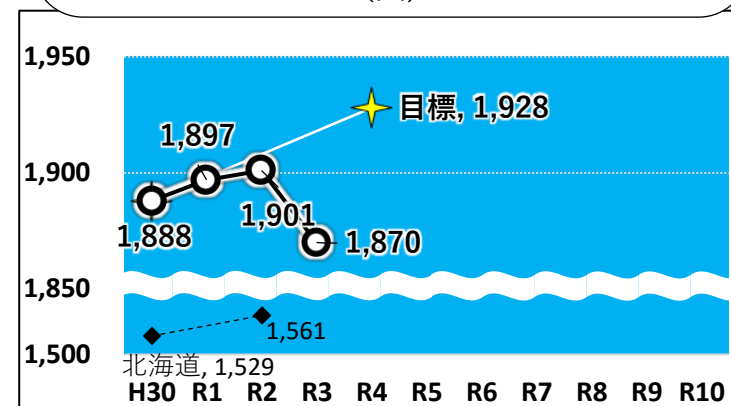
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
10万人あたりの看護師就業者数			↗
指標の考え方	医療機関等による看護師等の雇用・職場環境づくりの取り組みや、市による看護師養成機関への支援などにより、増加を目指します。	基準値 (H30)	1,888人
		実績値 (R3)	1,870人
		目標値 (R4)	1,928人

【図1-1】10万人あたりの看護師就業者数(人)



【指標の動向・要因分析】

「10万人あたりの看護師就業者数」は1,870人であり、基準値を下回っており、目標達成に向けて進捗していません。

市内看護学校による看護師の養成のほか、市による看護学生に対する地域内の就労先に関する情報提供や看護師の復職支援などに取り組みましたが、卒業生の一部の進学等による管外への転出は続いており、管内定着率は前年より減少しています。また、看護師のうち准看護師の離職率が全国的に高く推移しており、北海道においても准看護師の離職率が高く、看護師就業者の増加率を上回っている状況にあります。こうした傾向は市においても同様であり、10万人あたりの看護師就業者数は准看護師就業者の減少に伴い、昨年実績を下回ったものと捉えています。

今後も、高齢化の進行に伴う医療需要の増加に伴い、看護師等の医療に従事する人材不足が見込まれることから、引き続き関係機関と連携しながら看護師の養成や、管外へ進学した卒業生への働きかけなど看護師の確保に努めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

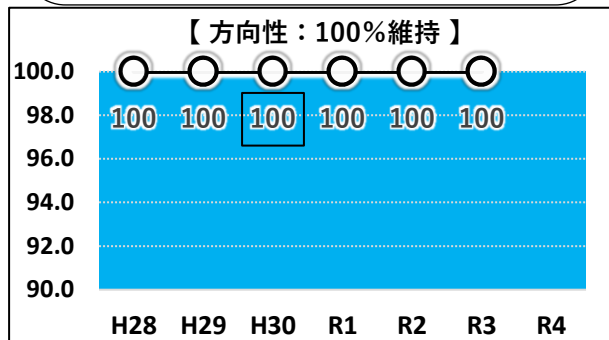
得点率 75.0% :

20点

15点

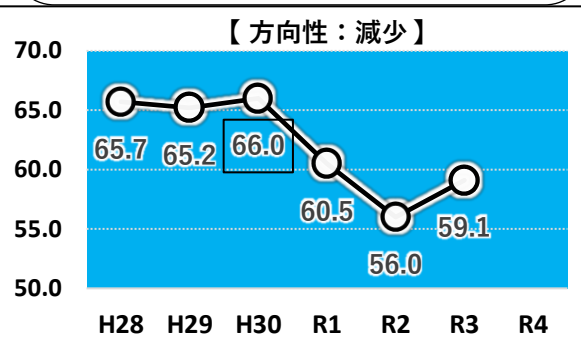
10点

【図1-2】 初期救急医療の対応可能日数の割合 (%)



基準以上：3点

【図1-3】 救命救急センターにおける一次救急患者の利用割合 (%)



策定時より減少・前年以上：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

(Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 70点 /100点)

看護師の確保に向け、市内看護学校による看護師養成や管内就労先の情報提供に取り組み、看護師等の市内定着率は60.2%と前年より増加していますが、「10万人あたりの看護師就業者数【図1-1】」については准看護師の就業者数が大きく減少し、基準値を下回っています。令和5年4月開設予定の帯広市医師会看護専門学校においては、地域の特色や課題に連動させた人材育成が計画されており、こうした取り組みへの支援などを通し、地元養成・地元就職の機能向上を図り、地域における看護師確保につなげていく必要があります。

十勝圏域全体の救急医療体制を確保するため、休日夜間急病センターの運営をはじめ、町村や関係機関と連携した在宅当番医制など夜間・休日の救急体制を整備し、「初期救急医療の対応可能日数の割合【図1-2】」は、100%を維持しています。また、広報紙やホームページにおける適切な救急医療の利用についての周知や、帯広市急病テレホンセンターによる救急医療情報の提供などにより、三次救急の適切な利用が図られました。一方で、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、利用者の受診控えが減少したことなどにより、「救命救急センターにおける一次救急患者の利用割合【図1-3】」は増加しています。今後も、医療機関や関係機関と連携しながら、救急医療体制を確保していく必要があります。

施策全体としては、事務事業の推進状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策7 誰もが安心できる暮らしの支えになる－社会保障制度の持続性の確保－



目指す姿

国民健康保険や介護保険、生活保護などの社会保障制度の持続性が確保され、市民が安心して暮らしています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 95.5% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 国民健康保険の医療費の適正化を図るため、医療費通知の実施やジェネリック医薬品の使用促進、重複・頻回受診者への指導を実施。
- 疾病の早期発見・重症化予防や生活習慣改善に関する市民の理解促進のため、ドック事業や特定健康診査・特定保健指導を実施。
- 介護保険制度の安定的な運営と介護サービス利用者へのサービス向上のため、要介護認定や介護報酬請求の適正化のほか、低所得の介護保険加入者への利用料負担を軽減。
- 保護を必要とする人の早期把握や、被保護者に対する制度の適切な運用、就労支援などを通じた自立支援を実施。
- 保護に至る前の生活困窮者対策として、自立相談支援や子供の学習支援、住居確保給付金や新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給など、生活全般にわたる包括的な支援を実施。



特定保健指導の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 200.0% :

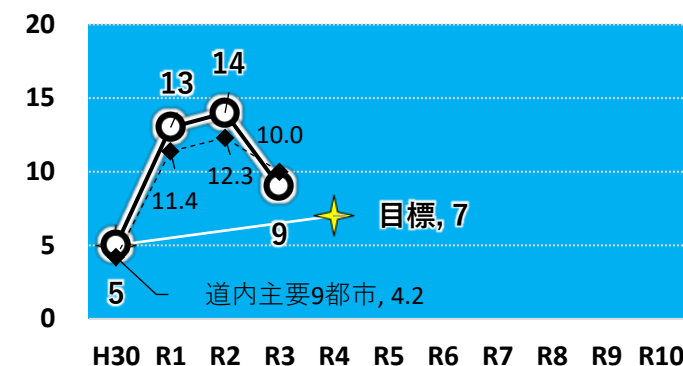
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
介護保険運営の安定化に資する取組項目数			↗
指標の考え方	市民が介護保険制度に対する理解を深め、市によるケアプランの点検や介護人材の確保に関する取り組みなどにより、増加を目指します。	基準値 (H30)	5項目
		実績値 (R3)	9項目
		目標値 (R4)	7項目

【図1-1】 介護保険運営の安定化に資する取組項目数（項目）



※道内主要9都市：札幌市、旭川市、函館市、苫小牧市、釧路市、江別市、北見市、小樽市、帯広市

【指標の動向・要因分析】

「介護保険運営の安定化に資する取組項目数」は9項目であり、現時点で既に目標値を達成し、順調に進捗しています。

市によるケアプランの点検や、ケアマネジャーの給付適正化に資する研修会の実施、「介護人材の確保等の取組に対する意見交換会」や「介護士就職支援研修会」の開催などによる介護人材確保・育成を図ったことで、介護保険制度の安定的な運営につながりました。

介護保険制度のより安定した運営に向け、介護給付の適正化や介護人材の確保に向けた取り組みを引き続き進めていきます。



Ⅲ 関連データの状況

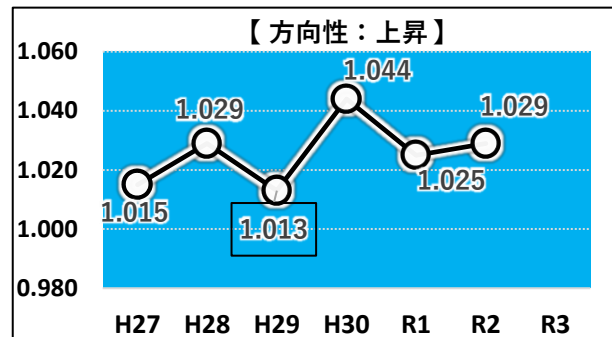
得点率 0.0% :

20点

15点

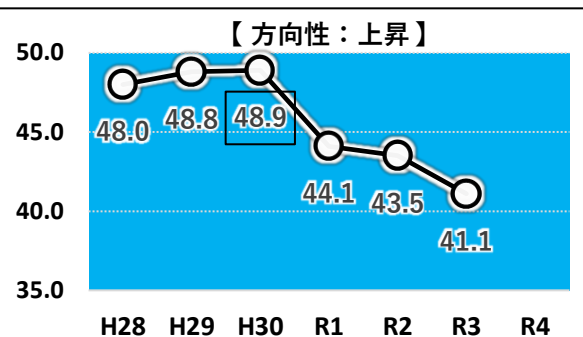
10点

【図1-2】医療費の地域差指数
(全国平均 = 1.000)



策定時以上・前年以上：0点

【図1-3】稼働可能な被保護者に対する就
労者の占める割合（％）



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 90点 /100点〕

国民健康保険制度については、医療費通知の実施やジェネリック医薬品の使用促進、重複・頻回受診者への指導などのほか、ドック事業や特定健康診査・特定保健指導などを行っていますが、全国的に見ると外来・入院共に一人当たり医療費が高い傾向となっています。「医療費の地域差指数【図1-2】」も前年より増加しており、策定時を上回る状況となっているため、今後も、医療費の適正化や疾病の早期発見・重症化予防に向けた取り組みを進め、制度の健全な運営につなげていく必要があります。

介護保険制度については、給付費の適正化に向けた、ケアプランの点検や、ケアマネジャーを対象とした研修会の実施のほか、「介護人材の確保等の取組に対する意見交換会」や「介護士就職支援研修会」の開催などによる介護人材確保・育成に取り組んだことで、「介護保険運営の安定化に資する取組項目数【図1-1】」は目標を達成しています。

生活保護制度については、生活保護に至る前の相談支援に加え、自立支援プログラムの実施、関係機関と連携した就労支援など被保護者の自立の助長に向けた取り組みを進めましたが、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により被保護者の希望する求人が減少したことなどから、「稼働可能な被保護者に対する就労者の占める割合【図1-3】」は策定時を下回る状況となっています。今後も、被保護者個々の置かれている状況や能力に応じた就労に繋がるよう適切な支援を行っていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策8 世界に冠たる十勝農業を創る ― 農林業の振興 ―



目指す姿

農業者や関係機関等による生産性や収益性向上に向けたチャレンジが続けられ、競争力の高い農業が展開されています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 86.1% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 農業経営の高度化・安定化の実現や、優れた経営能力を持つ担い手の育成・確保を図るため、農業者向け研修会や農林業育成資金の貸付などを実施。
- 環境負荷を低減するため、クリーン農業技術の情報提供や環境保全に取り組む農業者への支援を実施。
- 経営規模の拡大や農業従事者の不足、労働負担軽減等に対応するため、先進技術の導入を支援。
- 農畜産物の販路拡大や信頼性確保のため、GAP研修会の周知等、食の安全安心に係る取り組みを支援。
- 畜産経営の安定化や和牛生産の普及を図るため、とち帯広和牛生産改良組合の活動を支援。
- 十勝農業の魅力向上や理解促進を図るため、ホームページでの情報発信のほか、食育推進サポーターによる食育講座や農業体験機会の提供などを実施。
- 農業生産体制の強化を図るため、かんがい排水施設の整備のほか、土層改良などの生産基盤整備や保全管理を実施。
- 農村地域の活性化を図るため、農業センターの維持管理のほか、農道や明渠の草刈り・補修等、地域における共同活動への支援を実施。
- 森林の多面的機能の維持増進を図るため、市有林の適切な維持・管理のほか、森林経営計画作成支援などによる私有林所有者の森林整備の促進や担い手の育成等を実施。
- ばんえい競馬を安定的に運営するため、生産者への奨励金の支給や競馬の公正確保、全国の公営競技ファンに向けた情報発信、勝馬投票券の発売日数や発売所の拡大の取り組みほか、ばん馬との触れ合い機会を通じたPR活動を実施。



かんがい排水施設の散水状況
(リールマシン)



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲202.4% :

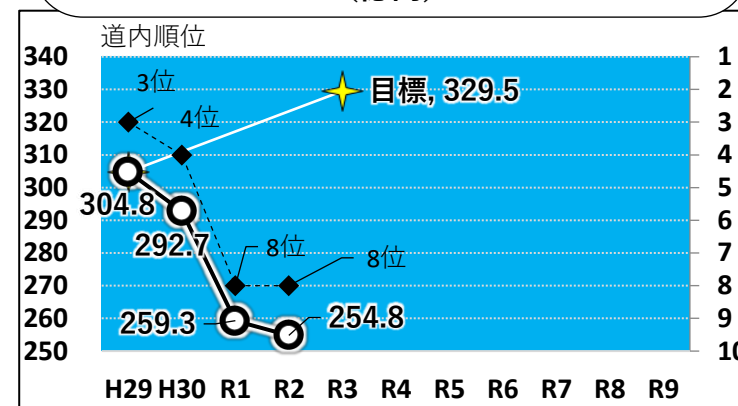
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
農業産出額（農林水産省推計値）			↗
指標の考え方	市と農業者・農業団体などが連携しながら、収益性向上や担い手育成の取り組みなどを進めることにより、増加を目指します。	基準値（H29）	304.8億円
		実績値（R2）	254.8億円
		目標値（R3）	329.5億円

【図1-1】 農業産出額（農林水産省推計値）
（億円）



【指標の動向・要因分析】

「農業産出額（農林水産省推計値）」は254.8億円であり、目標達成に向けて進捗していません。

市では、先進技術及び農業機械の導入支援や、農業団体との連携による黒毛和牛の生産振興、農業者向け研修会の開催、環境保全型農業の推進などに取り組んでおり、農業産出額は道内全自治体中8位、全国でも43位となっています。部門別では豆類が全国3位、工芸農作物（てん菜）が全国5位となっています。

国による農業産出額は、生産者からの報告をもとに推計されており、小麦、小豆、長いも、てん菜、肉用牛等が前回より減少していますが、市の推計による農業産出額は耕種部門は国と同じように減少したものの、畜産部門では生乳生産量や肉用牛の取引数が増加したことなどから、前年を上回っています。

今後も、農業団体・農業者との連携のもと、畜産部門の生産振興はもとより、先進技術のさらなる導入促進、長いもをはじめとした高収益作物の品質向上などを通し、効率的で収益性の高い農業振興に取り組んでいく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

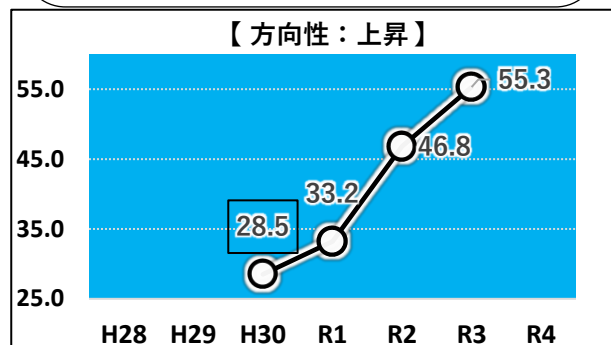
得点率 46.7% :

20点

15点

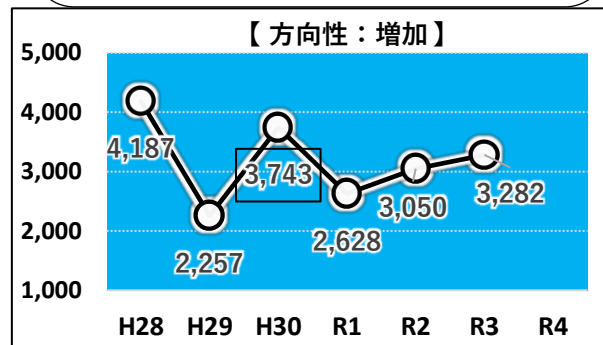
10点

【図1-2】スマート農業普及率
(%)



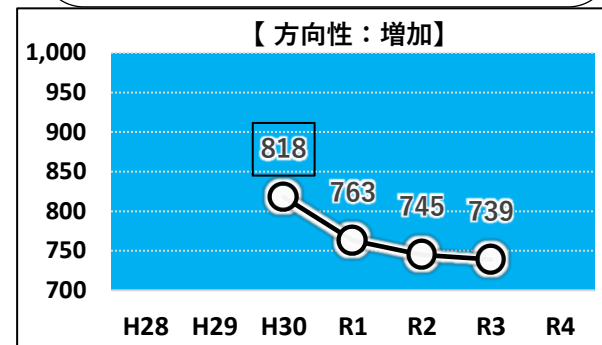
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】農畜産物輸出力
(t)



策定時以下・前年より増加：2点

【図1-4】直近5年間の森林整備面積
(ha)



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 75点 /100点〕

生産性や収益性の向上に向け、農業基盤の整備のほか、資金貸付等を通じた先進技術の導入支援や担い手の育成などに取り組んでおり、「スマート農業普及率【図1-2】」の上昇、国際水準GAPの研修受講者数や生乳生産量の増加などの動きがみられます。

「農畜産物輸出量【図1-3】」は、コロナ禍からの経済活動の再開に伴う牛肉や豚肉の輸出量の増加などにより、前年比では増加したものの、輸出の大部分を占める長いもについて凍害による品質劣化や海上コンテナ不足などの影響により出荷量が減少したことから、基準年（策定時）を下回っています。今後も、関係団体との協力のもと、主力品である長いもにおいて生産体制の強化や品質向上はもとより、海外ニーズに照らした収穫時期の一部変更などをはかることで、輸出量の増加につなげていくことが必要です。

農業への理解促進に向け、市管理施設における農業体験機会の提供や学校教育と連携した食育の推進などに取り組みましたが、農業体験・学習に参加した市民の数が減少したほか、食育に関心を持っている市民の割合も前年から減少しました。新型コロナウイルス感染症により、例年どおりの食育推進事業を実施できなかったことが影響したものと考えます。今後は、感染状況を見極めながら、学校や関係団体等と連携し、農業技術センター食育展示圃場や帯広の森サラダ館の学童農園を利用した農業体験学習、農産物直売所の支援などに取り組むことで、市民の農業への関心を高めていくことが必要です。

森林の適正な管理・保全に向け、森林経営計画作成支援などによる私有林所有者の森林整備の促進や、造林や間伐など、市有林の適切な維持・管理に取り組んできたことで、森林所有者の負担軽減や作業員の雇用確保のほか、森林資源の有効活用が進みました。一方で、北海道による補助金配分の減少等に伴い「森林整備面積【図1-4】」が減少していることから、今後も私有林所有者に対する森林環境譲与税を活用した施業支援などを進め、整備の促進につなげていく必要があります。

ばんえい競馬の安定した運営を図るため、生産者への支援やばんえい競馬の魅力の発信、勝馬投票券の発売額増加に向けた取り組みなどを進めてきたことにより、インターネット投票での売上を中心に発売額の増加につながっています。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策9 「とかちのかち」を創り続ける ― 地域産業の活性化 ―



目指す姿

地域資源や人材等を活かし、市場ニーズを捉えた商品やサービス等が創出・提供され、産業の活性化や雇用の拡大につながっています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 50.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 地場産品の付加価値向上を図るため、包括連携企業と地元企業の協業による商品開発支援や、農業団体・研究機関や域外事業者へのニーズ調査など、6次産業化の推進に向けた取り組みを実施。
- 地元企業の製品開発や販路拡大を促進するため、知的財産や技術に関する相談のほか、資金面での支援から指導・助言に至るまでの総合的なものづくり支援、展示会等への出展支援を実施。
- 地元企業の経営基盤強化のため、感染症の影響も視野に入れた経営相談や制度融資を実施。
- 商店街の活性化を図るため、商店街が主体となって取り組む提案事業への支援を実施。
- 地域の経済発展に貢献する人材の育成に向け、帯広畜産大学などと連携し、フードバレーとかち人材育成事業等を実施。
- 持続的に新事業の創発を促すため、産学官連携による、人材育成、事業構想づくり、事業化までの伴走型支援等、総合的に事業創発を支援。
- 企業立地の促進に向け、工業団地の造成や販売促進、立地企業の設備投資への支援を実施。
- 勤労者が安心して働ける環境づくりのため、事業所雇用実態調査や労働相談のほか、子育て応援事業所への奨励金の給付、とかち勤労者共済センターの運営支援を実施。
- 求職者の状況に応じた多様な就職機会の確保のため、域外人材と地元企業のマッチングや高齢者の就労支援、通年雇用化に向けた能力開発支援を実施。



新たな事業構想を生み出す
「とかち・イノベーション・プログラム」



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲157.1% :

40点

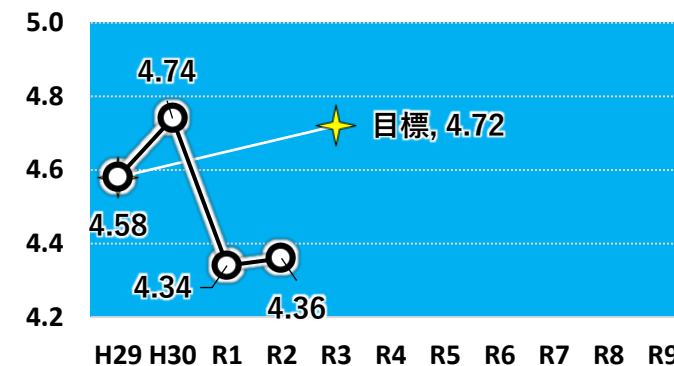
30点

25点

目指そう指標名			方向性
北海道内主要都市※に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合			↗
指標の考え方	市や関係団体等による経営基盤の強化や、事業者等による商品・サービスの開発・提供など地域の価値を高める取り組みにより、上昇を目指します。	基準値(H29)	4.58%
		実績値(R2)	4.36%
		目標値(R3)	4.72%

※2018年時点における人口10万人以上の都市

【図1-1】北海道内主要都市に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合（%）



【指標の動向・要因分析】

「北海道内主要都市に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合」は4.36%であり、目標達成に向けて進捗していません。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う事業者の業績等への影響により、道内主要都市全体では前年比15%以上の減となっており、帯広市においても全道平均と概ね同水準の減となったことによるものと考えます。

今後も、関係機関と連携しながら、地元企業の事業継続を支援するほか、設備投資に対する助成などを通じた企業立地や、域外人材との協業などを通じた顧客ニーズの高い商品の開発、販路の拡大を支援することにより、地元企業の経営基盤の強化につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

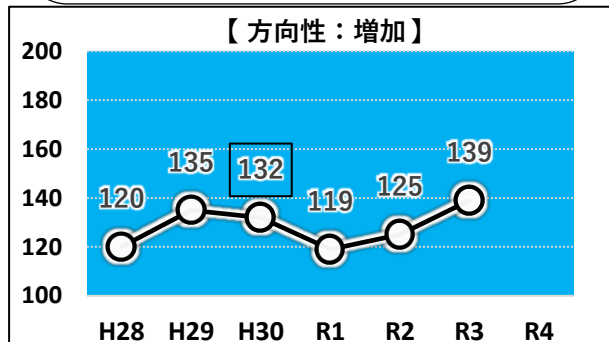
得点率 100.0% :

20点

15点

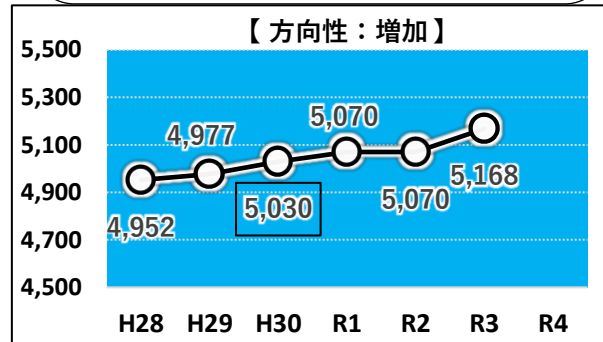
10点

【図1-2】創業・起業件数
(件)



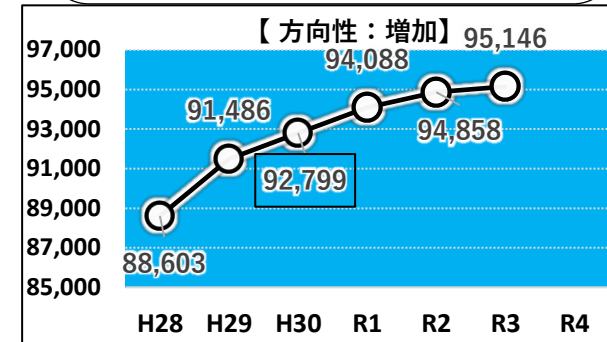
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】法人市民税賦課法人数
(件)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-4】雇用保険被保険者数
(人)



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加算対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 70点 /100点〕

地域の農林水産物の付加価値向上に向け、包括連携企業と連携した商品開発支援に取り組み、複数企業における新たな乳製品の開発を後押ししたほか、十勝産品を活用したパンやスイーツの開発から首都圏やE Cサイトでの販路拡大に至るまでの一連の取り組みを支援しました。今後も、消費者のニーズを捉えたマーケットインの視点を取り入れ、地域の事業者と連携し、包括連携企業の知見なども活かしながら新商品開発につなげていく必要があります。

創業・起業の促進に向け、関係機関と連携し、総合的な事業創発支援などを進めてきたことにより、新たな法人の設立や事業の創出につながっており、「創業・起業件数【図1-2】」は基準値を上回っています。新しい事業にチャレンジする人たちのコミュニティが生まれ、創業・起業の機運が醸成されつつあり、今後も、事業創発のさらなる加速に向け、事業の周知を強化することにより、起業候補者の裾野拡大につなげていく必要があります。

中小企業の経営基盤の強化に向け、経営に関する相談対応や制度融資などに取り組んだことにより、感染症の影響下においても、「法人市民税賦課法人数【図1-3】」は過去5年の最高値を維持しています。今後も、関係機関と連携しながら、きめ細かな相談対応や各種制度の周知の強化などを通し、中小企業の経営基盤強化につなげていく必要があります。

企業立地の促進に向け、企業の設備投資に対する支援や新たな工業団地の造成・販売促進に取り組み、西19条北工業団地の分譲は順調に進んでいるものの、実際の立地には一定の時間を要することが考えられます。企業の需要はあるものと考えられるため、今後も企業訪問などを通し情報収集に努め、支援制度の情報提供を進めていく必要があります。

生き生きと安心して働ける雇用環境の確保に向け、多様な人材と地元企業とのマッチングや通年雇用化の促進、働きやすい職場環境づくりを進めてきたことで、移住者・高齢者の地元企業への就職、子育て応援事業所数やとかち勤労者共済センター会員数の増加、「雇用保険被保険者数【図1-4】」の増加につながるなど雇用の定着も図られてきています。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策10 アウトドアの聖地にする ―観光の振興―



目指す姿

食や農業、自然などの地域資源を活かした、この地域ならではのアクティビティやイベントなどを求め、国内外から多くの人が訪れ、滞在することで、にぎわいが生まれています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 25.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 地域資源を活かした体験・滞在型観光を推進するため、(株)デスティネーション十勝（DMO）への運営支援や新たな観光コンテンツの開発などを実施。
- にぎわい創出や交流人口の拡大を図るため、三大まつり等各種イベントの開催支援を実施。
- 市内観光入込客数を増加させるため、地域の魅力を活かした観光誘致活動、大会・合宿・コンベンションの誘致活動のほか、新型コロナウイルス感染症の影響下における経済対策として、宿泊料や体験観光商品の割引事業を実施。
- 広域観光の推進のため、道内他地域と連携し、都市間周遊を促すメディアプロモーションを実施。
- 観光客の利便性向上や受け入れ環境の充実を図るため、観光施設等の適切な管理運営や観光関連団体への支援のほか、中心市街地へのWiFiスポットの維持管理支援などを実施。
- 観光景観等の維持のため、シーニックバイウェイ北海道「トカプチ雄大空間ルート」への運営支援などを実施。
- とち帯広空港の利用促進を図るため、関係機関と連携したプロモーション活動等を実施。＜再掲：施策11＞



サイクルツーリズムの推進



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲212.5% :

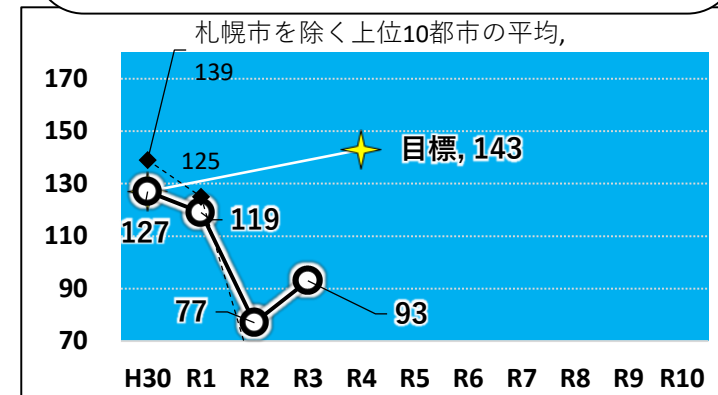
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
宿泊客延べ数			↗
指標の考え方	市や関係団体等による魅力ある観光情報の発信や、観光コンテンツの開発・提供などにより、増加を目指します。	基準値 (H30)	127万人泊
		実績値 (R3)	93万人泊
		目標値 (R4)	143万人泊

【図1-1】宿泊客延べ数
(万人泊)



【指標の動向・要因分析】

「宿泊客延べ数」は93万人泊であり、目標達成に向けて進捗していません。

自然やアウトドアなどの地域の魅力を活かした観光コンテンツの開発のほか、観光関係団体との連携による、SNSなどインターネットを活用した情報発信、宿泊料や体験観光商品の割引事業を実施したことで、宿泊客延べ数は前年度から増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、地域間の移動に制限が生じ、旅行需要が依然として停滞していることにより、基準値を大きく下回る結果となりました。

今後は、密になりにくい地域性や都会にはない自然環境を活かしたワーケーションやサイクルツーリズムなど、地域の特性を活かしたコンテンツの開発やプロモーション活動に取り組むことで、観光客の誘客につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

得点率 40.0% :

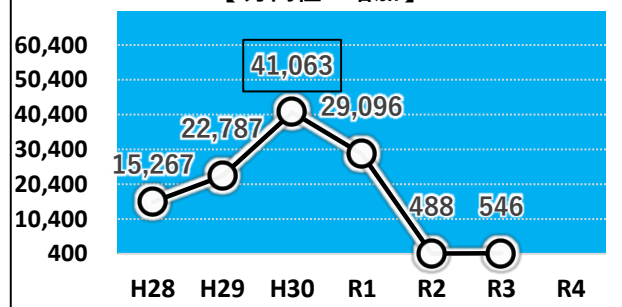
20点

15点

10点

【図1-2】 訪日外国人宿泊客延数
(人)

【方向性：増加】



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 60点 /100点〕

地域資源を活かした魅力ある観光コンテンツの開発・提供に向け、サイクルツーリズムの推進や、企業との連携によるワーケーションに対応するための施設整備、関係機関への支援を通じた体験・滞在型観光の推進に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、おびひろ平原まつりなどのイベントも開催できず、また、全国的な観光需要停滞の影響も受け、観光入込客数は令和元年度と比較すると、半減しています。

今後は、感染症の拡大を契機とした価値観やライフスタイルの変化を捉え、地域の特性を活かした観光コンテンツの開発などに取り組み、効果的な情報発信を行いながら、観光入込客数の増加につなげていく必要があります。

観光客の誘致のため、地域おこし協力隊制度を活用し新たな地域資源の発掘、魅力発信を行ったほか、密になりにくいアウトドアコンテンツなどの開発や、宿泊料や体験観光商品の割引事業を実施したことなどにより、「宿泊客延べ数（図1-1）」は前年度と比べ増加しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行形態などに変化がみられることから、今後も感染症の状況やニーズの変化を捉えながら、関係団体と連携し、より効果的なプロモーション活動を行う必要があります。

訪日外国人旅行者をはじめとした観光客の受入環境の充実に向け、中心市街地等のWiFiスポットの維持管理や「トカプチ雄大空間ルート」運営への支援のほか、関係団体と連携し、HPやSNSを活用した観光情報の発信や観光情報発信拠点の運営を行いましたが、感染症の拡大に伴う渡航制限により、「訪日外国人宿泊客延数【図1-2】」は目標を大幅に下回っています。今後は、インバウンド需要の回復を見据え、DMOや観光協会等と連携しながら、通訳の育成等の受入れ体制の充実や、地域の情報を効果的に発信していく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策11 つなげて広げるビジネスチャンス – 広域交通ネットワークの充実 –



目指す姿

広域交通ネットワークの充実が図られ、人やモノなどが活発に行き交い、にぎわいと活力にあふれています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 85.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- とち帯広空港の利用促進を図るため、関係機関と連携したプロモーション活動等を実施。
- 航空機の安全で安定的な運航を確保するため、誘導路の改良工事や滑走路端安全区域整備工事に向けた実施設計などを実施。
- 北海道エアポート㈱による空港運営へのモニタリングを実施。
- 広域的な交通ネットワークの形成を図るため、高規格道路帯広・広尾自動車道早期建設促進期成会等を通じた高規格道路の整備に関する要望活動を実施。
- 鉄道輸送の利便性の向上を図るため、北海道高速鉄道開発株式会社を通じた J R 石勝線・根室本線の高速化等の促進のほか、十勝圏活性化推進期成会を通じた国や北海道に対する鉄道網の維持等に関する要望活動を実施。
- 十勝港の港湾機能の整備や利活用を促進するため、十勝圏活性化推進期成会を通じた国や北海道等に対する要望活動を実施。



チャーター便の誘致



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲312.2% :

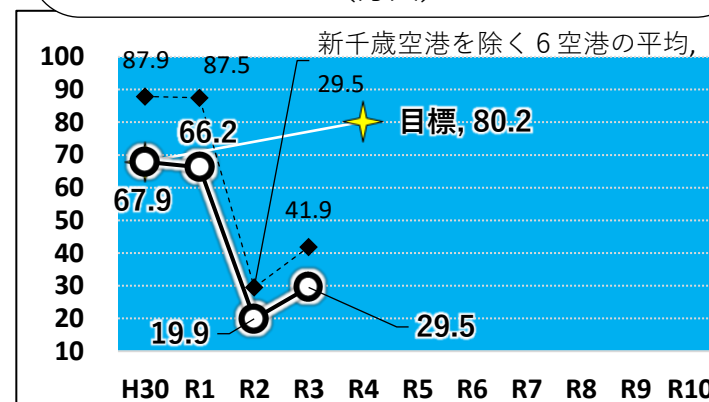
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
空港旅客数			↗
指標の考え方	市や民間事業者等による空港利用促進に向けた取り組みなどにより、増加を目指します。	基準値 (H30)	67.9万人
		実績値 (R3)	29.5万人
		目標値 (R4)	80.2万人

【図1-1】 空港旅客数
(万人)



※ 6空港：稚内、釧路、函館、旭川、女満別、帯広

【指標の動向・要因分析】

「空港旅客数」は29.5万人であり、目標達成に向けて進捗していません。

空港の利用促進に向け、航空会社との意見・情報交換や、関係団体と連携し首都圏においてプロモーション活動を行ったほか、チャーター便の誘致活動などに取り組んだことで、空港旅客数は前年度から増加したものの、長引く新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う全国的な移動制限に加え、近場への旅行を求める観光客の趣向の変化なども相まって、航空需要が停滞し、定期便の減便が続いたことなどが要因と考えます。

今後は、感染症への対応状況を見極めつつ、空港運営者による空港運営や路線誘致などと歩調を合わせ、航空事業者・観光関連団体等との連携のもと、航空需要の回復・拡大に向けた取り組みを進めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

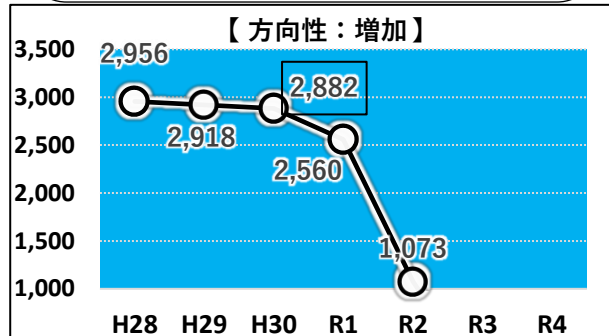
得点率 70.0% :

20点

15点

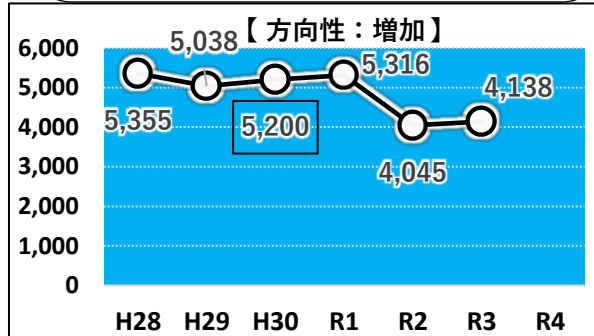
10点

【図1-2】 航空貨物取扱量
(t)



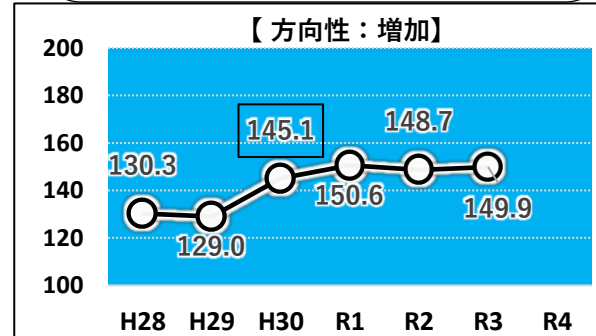
直近データなし - 点

【図1-3】 道東自動車道の1日あたり
利用台数 (台)



策定時以下・前年より増加：2点

【図1-4】 十勝港取扱貨物量
(万 t)



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 80点 /100点〕

十勝圏と他都市を結ぶ交通ネットワークの充実に向け、国や北海道等に対して、高規格道路の整備促進や鉄道網の維持、十勝港の港湾機能の整備・利活用促進等に関する要望活動などに継続的に取り組んできたことで、道東自動車道の占冠-十勝清水間の4車線化の実現や、「十勝港取扱貨物量【図1-4】」の堅調な推移などにつながっているものと考えます。一方で、「道東自動車道の1日あたり利用台数【図1-3】」は、前年比2%の増加になっているものの、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う都市間移動の自粛などにより、感染症拡大前の令和元年度と比較して減少しています。今後も、さらなる交通網の充実や利用促進に向け、管内町村や関係機関と連携した要望活動等に取り組んでいく必要があります。

空港については、誘導路等の整備のほか、関係機関と連携したプロモーションや、チャーター便の誘致活動など、空港の利用促進につながる取り組みを進めてきたものの、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、「空港旅客数【図1-1】」は低迷しているほか、便数の減少・航空機の小型化を背景に、「航空貨物取扱量【図1-2】」も前年比30%の減少（未確定：8月に判明次第更新）となりました。今後は、空港運営者・航空事業者・観光関連団体等との連携のもと、空港利用の回復・拡大に向けた取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策12 未来を拓く子どもをともに育む ― 学校教育の推進 ―



目指す姿

学校・家庭・地域が連携し、子どもの学びや育ちを支援することにより、地域への誇り・愛着を持ち、新たな時代を切り拓く力を身に付けた子どもたちが育っています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 78.6% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

●ふるさと教育を拡充するため、全小・中学校での「おびひろ市民学」の実施や地域の特徴・特性・歴史などをまとめた社会科副読本「おびひろ」を発刊。

●南商業高校において、就職や進学など生徒が希望する進路の実現を支援するため、進路説明会、ビジネスマナーや各資格試験の講習、面接指導など人材育成を推進。

●教員の指導力向上を図るため、長期休業中における「夏季・冬季教職員研修講座」や管理職を対象とした「管理職マネジメント研修」を実施。

●学校・家庭・地域が連携し、社会総がかりでの教育を実現するため、コミュニティ・スクール導入校を拡大したほか、学校支援地域本部事業や子どもの居場所づくり事業等の活動を推進。

●「適正規模の確保等に関する計画」及び「帯広市学校施設長寿命化計画」を推進するため、学校施設の個別改修や大空学園義務教育学校施設整備に係る増築・長寿命化改修を実施。

●小・中学校に導入したタブレット端末、Wi-Fi等の円滑な維持管理や利活用の支援などを実施するため、学校ICTヘルプデスクを設置したほか、特別教室や体育館へWi-Fi環境の整備を実施。



おびひろ市民学の様子



II 目指そう指標の進捗状況

小学6年	進捗率 ▲365.0% :	20点	15点	12.5点
中学3年	進捗率 ▲335.3% :	20点	15点	12.5点

目指そう指標名			方向性	
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合			↗	
指標の考え方	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちに社会の一員としての意識を醸成するとともに、主体的な学びや、自ら問題を発見し、解決できる力の育成などを進めることにより、上昇を目指します。		小学6年	中学3年
		基準値 (H30)	85.1%	75.7%
		実績値 (R3)	77.8%	70.0%
		目標値 (R4)	87.1%	77.4%

【指標の動向・要因分析】

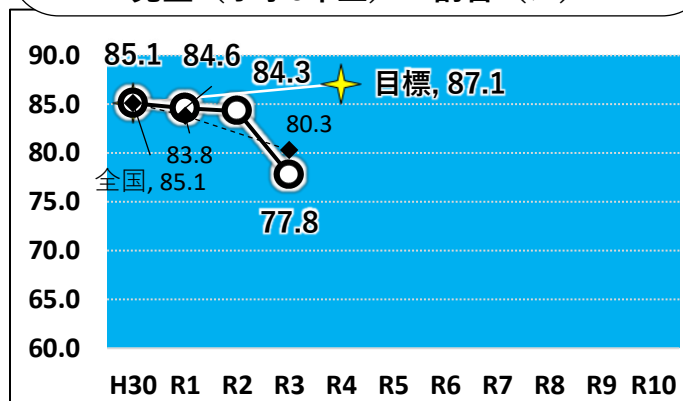
「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」は、小学6年生77.8%、中学3年生70.0%であり、いずれも目標達成に向けて進捗していません。

全国的に実績値が減少傾向にあり、小学6年生では全国平均を下回っているほか、中学3年生では前年より増加に転じ、全国平均を若干上回ったものの、基準値を下回っています。

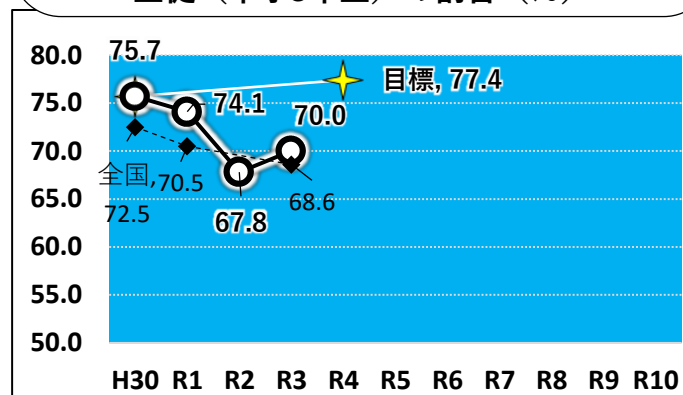
前向きに自己の将来を考える児童生徒の増加に向け、中学校ではICTを活用しながら、おびひろ市民学における地域の大人との対話などに取り組んできたことで、前年より増加したものの、小学校では感染症により対話の機会が制約されたことが影響しているものと考えます。

今後は、ICTを活用しながら、おびひろ市民学における地域住民や企業などとの様々な対話の実施や小学校におけるキャリア教育の充実などを通し、児童生徒の主体的に学び、行動する力の育成を進めることで、社会の一員としての意識の醸成につなげていく必要があります。

【図1-1】 将来の夢や目標を持っている児童（小学6年生）の割合（%）



【図1-2】 将来の夢や目標を持っている生徒（中学3年生）の割合（%）





Ⅲ 関連データの状況

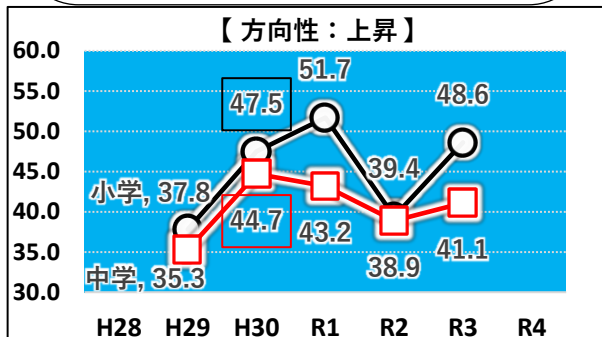
得点率 50.0% :

20点

15点

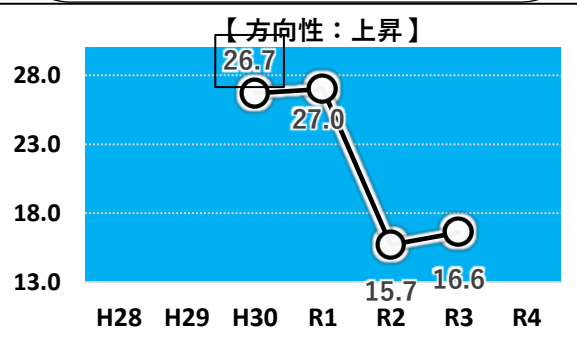
10点

【図1-3】地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合 (%)



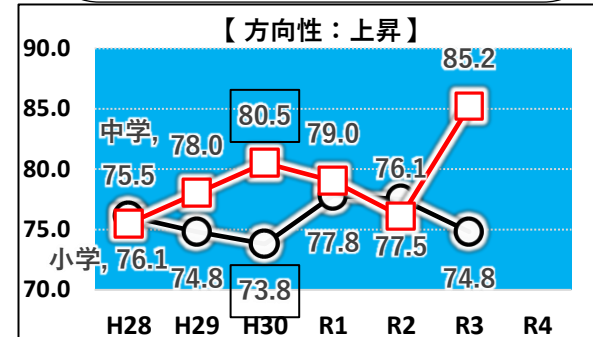
小学生：策定時より増加・前年より増加：2.5点
中学生：策定時以下・前年より増加：1点

【図1-4】地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合 (南商業高等学校) (%)



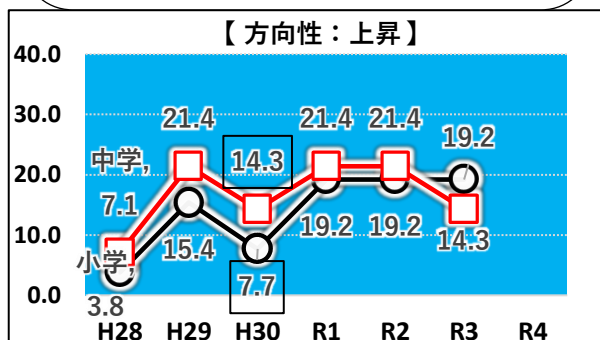
策定時以下・前年より増加：2点

【図1-5】授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合 (%)



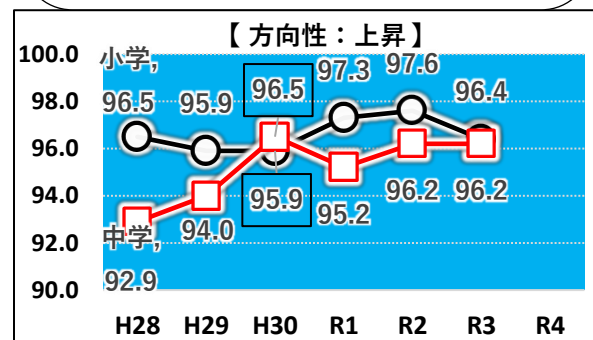
小学生：策定時より増加・前年以下：1.5点
中学生：策定時より増加・前年より増加：2.5点

【図1-6】小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合 (%)



小学生：策定時より増加・前年以下：1.5点
中学生：策定時以下・前年以下：0点

【図1-7】「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合 (%)



小学生：策定時より増加・前年以下：1.5点
中学生：策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 65点 /100点〕

地域社会の一員としての自覚を持ち、地域の課題解決に主体的に取り組む人材の育成に向け、小・中学校における「おびひろ市民学」の実施や、小学校社会科副読本「おびひろ」を通じた地域への理解促進など、外部人材と連携・協働しながら、ふるさと教育の推進や問題解決力の育成に取り組み、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合【図1-3】」は、小・中学校ともに増加しました。「授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合【図1-5】」は、ICTを活用した地域の大人との対話の機会の確保などにより中学校では前年より増加したものの、小学校では減少しています。今後も、ICTを活用した授業改善や児童生徒の情報活用能力の習熟などにより、児童生徒の主体的な学びの実現に向けた取り組みを進めていく必要があります。

帯広南商業高等学校においては、専門的な知識・技術を身に付け、地域で活躍する人材の育成に向け、外部講師を活用したビジネスマナー講座などの専門教育を実施しましたが、「地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合【図1-4】」は前年より増加しているものの、策定時を下回っています。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い課外活動の中止などが続き、地域ボランティア活動の機会が減ったことが要因と考えており、今後も、感染状況を踏まえ、実施手法の改善や内容の見直しを図りながら課外活動を行う必要があります。

学校・家庭・地域の連携による教育の推進に向け、中学校区を単位とするエリア・ファミリー構想の取り組みを基盤とした幼保小中の連携やコミュニティ・スクール導入校の拡大、小学校高学年における一部教科担任制などに取り組みましたが、「小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合【図1-6】」は、小・中学校ともに増加していません。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い小学校高学年による乗り入れ授業など児童生徒が主体となる取り組みを中止したことが要因と考えており、今後も、エリア・ファミリー構想に基づく児童生徒による小・中学校の交流活動の取り組みなどを通し、子どもたちの9年間の学びや育ちを、地域全体で支える仕組みづくりを進める必要があります。

子どもたちが安心して充実した学校生活を送ることができるよう、児童会・生徒会によるいじめの未然防止の取り組みや相談員による指導、道徳科の授業を通じた啓発を行いました。しかし、「いじめは絶対に許されないと考える児童生徒の割合【図1-7】」は、感染症の影響により児童生徒同士の意見交換の機会が制約されたことで、いじめを許さない心情や態度の育成が思うように進まなかったことから、小・中学校ともに前年より増加しています。いじめは絶対に許されないとすることを児童生徒がしっかりと認識できるよう道徳科の授業改善や個別面談を通し、児童生徒一人ひとりの心に寄り添いながらきめ細かな指導を行っていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策13 いつまでも学んで面白い ― 学習活動の推進 ―



目指す姿

誰もが生涯にわたり、それぞれの目的やライフステージに応じた学びを続けています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 70.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 誰もが生涯にわたり学習を続けることができるよう、市民大学講座や博物館の講座・企画展示、動物園の飼育体験など多様な学習機会を提供。
- 学習への意欲や関心を高めるため、生涯学習情報誌の発行、ホームページやSNSを活用した学習情報を発信。
- 学習を通じて得られた知識等をまちづくりにつなげていくため、図書館ボランティアによる子ども向けのおはなし会の実施など、各社会教育施設でのボランティア活動を支援したほか、生涯学習推進委員会などの社会教育関係団体が立案・企画する地域での講座開催を支援。
- 高等教育機関の整備・充実や帯広畜産大学の整備・拡充のため、情報収集や国等への要望活動を実施。
- 若者の地元定着や地域課題の解決促進のため、帯広畜産大学と連携し、学生自らが考える地域課題の解決に向けた取り組みを支援。



中学生以上を対象とした
動物園の一日飼育係の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 255.0% :

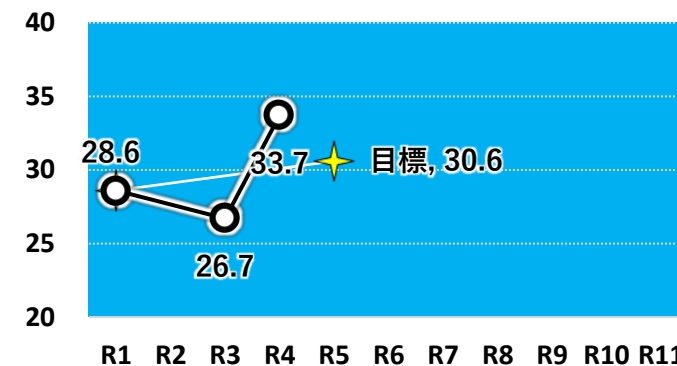
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
直近1年間に生涯学習を行った市民の割合			↗
指標の考え方	市民による主体的な学習活動や、市による学習機会の提供などにより、上昇を目指します。	基準値 (R1)	28.6%
		実績値 (R4)	33.7%
		目標値 (R5)	30.6%

【図1-1】直近1年間に生涯学習を行った市民の割合 (%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「直近1年間に生涯学習を行った市民の割合」は33.7%であり、現時点で目標値を達成し、順調に進捗しています。

市の各社会教育施設では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う事業の一部中止や開催規模の縮小は継続していたものの、感染対策を講じながら、市民大学講座や学生やボランティア団体が主体となった講座の開催などに取り組むことで、社会教育施設の来館者数や講座の参加者数が増加したことが影響したと考えられます。市民まちづくりアンケートでは、「生涯学習を行わなかった理由」として、「仕事が忙しくて時間がないから」、「きっかけがないから」との回答が多くあったことから、今後もオンラインによる講座開催や開催時間の工夫のほか、電子図書館利用についての効果的な周知などを通し、市民が参加しやすい学習機会の提供に取り組んでいく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

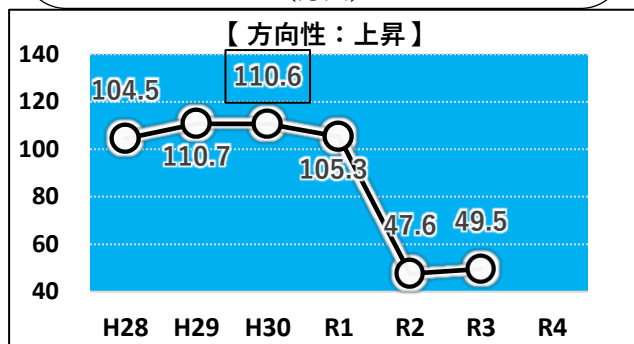
得点率 40.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】社会教育施設の利用者数
(万人)



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

(Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 80点 /100点)

市民の主体的な学習活動の推進に向け、各社会教育施設における講座のオンライン開催や学習情報の発信、ボランティアが行う講座の支援など、感染対策を講じながら取り組みを進めてきたことで、「社会教育施設の利用者数【図1-2】」や講座の参加者数は前年より増加しています。今後も、感染状況を見極めながら、市民ニーズを踏まえ、市民が参加しやすい学習機会を提供していくことが必要と考えます。

学習や仕事等を通じて得られた知識・技能をまちづくりに活かすため、生涯学習推進委員会等への活動支援や、学習活動指導者の登録・紹介、ボランティアへの活動支援、大学と連携し地域課題の解決に取り組む学生への活動支援などを進めてきたことで、活動に参加するボランティア団体数や学生の参加件数は増加傾向にあります。今後も継続して市民が活躍できる場の提供や環境づくりを進めていくことが必要です。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策14 潤いのある暮らしと地域をつくる – 文化芸術の振興 –



目指す姿

創作活動や鑑賞の機会があり、豊かな感性や想像力が育まれ、文化芸術活動を通じた人のつながりが生まれています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 54.5% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 文化芸術活動を支える人材や団体を育成するため、文化団体や指導者についての情報発信、優秀な文化活動を行う個人・団体への顕彰を実施。
- 市民主体の文化芸術活動を促進するため、活動成果を発表する市民芸術祭の開催や、市民文藝・とかちジュニア文芸の発刊などを通じた発表機会を提供。
- 市民の文化芸術への関心を高めるとともに子どもたちの感性や創造力を育むため、札幌交響楽団特別演奏会など、文化芸術にふれる機会を提供。
- ふるさとの歴史、伝統、文化に対する理解促進や誇りと愛着を育むため、市史資料の収集・調査、文化財の保護・保存、調査研究を行い、重要文化財の普及事業などを実施。
- アイヌ文化の保存、伝承、発展を図り、アイヌ民族の歴史・文化への理解を促進するため、調査・研究活動のほか、伝承活動への支援や普及啓発を実施。



市民芸術祭での発表の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲4,875.0% :

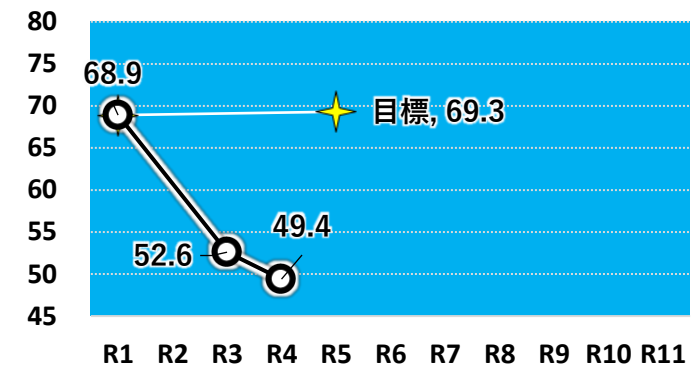
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
直近1年間に文化芸術活動を行った市民の割合			↗
指標の考え方	市民による主体的な文化芸術活動や、市による鑑賞機会や発表の場の提供など文化に触れるきっかけづくりにより、上昇を目指します。	基準値 (R1)	68.9%
		実績値 (R4)	49.4%
		目標値 (R5)	69.3%

【図1-1】直近1年間に文化芸術活動を行った市民の割合（%）



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「直近1年間に文化芸術活動を行った市民の割合」は49.4%であり、目標達成に向けて進捗していません。

市では、市民芸術祭や子ども向けの鑑賞事業など、文化芸術の鑑賞・発表の機会の提供や活動団体の支援などに取り組んできましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、多くの事業が中止や開催規模の縮小を余儀なくされたことが影響したものと考えられます。市民まちづくりアンケートでは、「この1年間に文化芸術を直接鑑賞しなかった理由」として、「新型コロナウイルス感染症予防のため」、「テレビ、インターネット等により鑑賞できるから」の回答が多くなっており、昨年に続き、自宅での活動が中心となっていると考えられます。今後は、感染状況を踏まえつつ、文化団体、企業など地域の多様な主体と連携しながら、直接市民が鑑賞・発表できる機会の提供を進めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

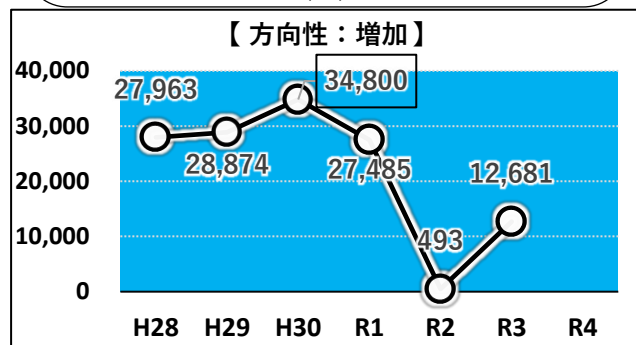
得点率 40.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】鑑賞事業の入場者数
(人)



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

(Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 60点 /100点)

市民の主体的な文化芸術活動の推進に向け、文化活動の鑑賞・発表機会の提供や活動団体への支援などに取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に伴う、市民の活動自粛が続いたことで、「直近1年間に文化芸術活動を行った市民の割合【図1-1】」は減少しました。市民が鑑賞・発表などの文化芸術活動を行うことは、自己表現や自己実現、人との交流の機会として大切であることから、今後も、個人・団体、企業など、地域の多様な主体と連携しながら、文化芸術活動の環境づくりを進めていく必要があります。

ふるさとの歴史、伝統、文化の理解促進に向け、重要文化財の活用やアイヌ文化情報センターによる普及啓発を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者数は減少しました。今後も、市民が主体的に学べるデジタルモバイルコンテンツの活用や少人数で開催する講座の周知拡大などに努め、市民が安心して利用できる学習機会の提供を進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策15 スポーツで楽しく、ハツラツ、健康に — スポーツの振興 —



目指す姿

誰もが年齢や目的などに応じ、生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツが市民の健康づくりや心身の育成、にぎわいづくりにつながっています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 37.5% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供するため、スポーツフェスティバルの開催のほか、小中学校の体育館等の地域への開放などを実施。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、オンライン方式によるフットバレーとかちマラソンを実施。
- スポーツ施設利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図るため、施設の適切な管理運営や修繕等を実施。
- 地域に根差したスポーツであるスケートの裾野拡大等を図るため、ほっとドリームプロジェクト（スケート教室、指導者講習など）を実施。
- 地域におけるスポーツ活動の活性化に向け、スポーツ少年団や帯広市スポーツ協会の活動を支援。
- スポーツを通じたまちのにぎわいづくりを進めるため、関係団体等と連携し、全道・全国大会のほか、プロスポーツや合宿の誘致活動を実施。



ほっとドリームプロジェクト
(キッズスケート教室)



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 32.1% :

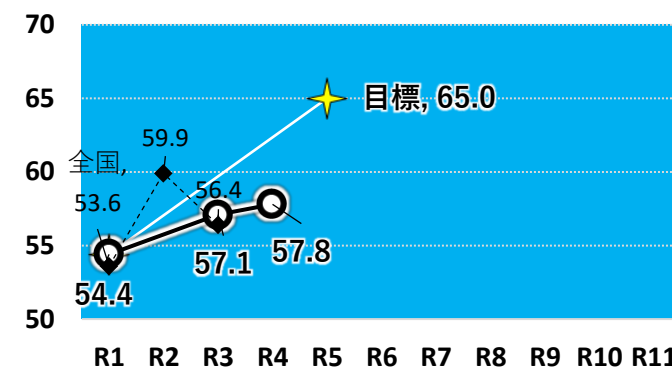
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
週1日以上運動・スポーツをする市民の割合			↗
指標の考え方	市民による主体的な運動・スポーツの実践や、市による運動・スポーツの機会の提供などにより、上昇を目指します。	基準値 (R1)	54.4%
		実績値 (R4)	57.8%
		目標値 (R5)	65.0%

【図1-1】週1日以上運動・スポーツをする市民の割合 (%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「週1日以上運動・スポーツをする市民の割合」は57.8%であり、目標達成に向かってあまり進んでいません。

市では、市民がスポーツに親しめるよう、学校施設の開放や総合型地域スポーツクラブの支援を実施しているほか、体育施設の指定管理者においても各種スポーツ教室が開催されるなど、気軽にスポーツに取り組むことができる環境が整備されてきています。市民まちづくりアンケートの「週1日以上運動・スポーツをする市民の割合」は増加しており、新型コロナウイルス感染症の拡大により、体育施設の休館などの影響があったものの、健康志向の高まりから、日常生活の中に運動・スポーツを取り入れた市民が一定数いたものと考えられます。

一方で、「運動・スポーツを行わなかった理由」として、「仕事や家事が忙しいから」、「生活や仕事で体を動かしているから」、との回答が多くあったことから、フードバレーとかちマラソンのオンライン開催やスマートフォンアプリによる健康マイレージ事業などを通し、より多くの市民が日常生活の中でスポーツに取り組めるきっかけづくりを進めていくことが必要です。



Ⅲ 関連データの状況

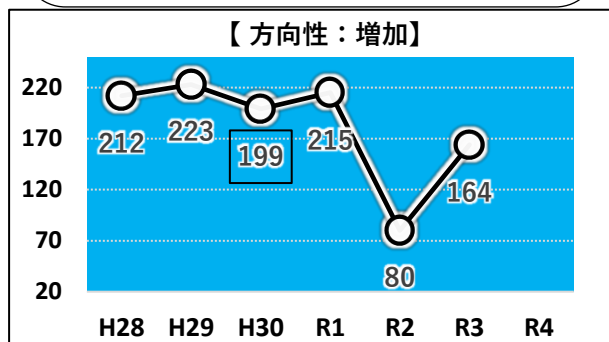
得点率 25.0% :

20点

15点

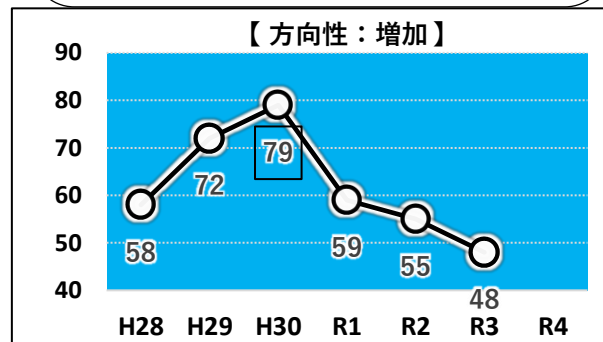
10点

【図1-2】 全国・全道大会等出場者数
(人)



策定時以下・前年より増加：2点

【図1-3】 帯広市内で開催されるスポーツ
国際・全国・全道大会数(大会)



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

(Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 60点 /100点)

市民がスポーツに親しむことができる環境づくりに向け、体育施設による活動の場の提供のほか、各種スポーツ教室や大会の開催等の取り組みを進めています。昨年に続き、新型コロナウイルス感染症拡大への懸念から、スポーツイベントや大会などの開催見合わせ、少年団及び一般団体による学校施設の使用を見合わせる動きもみられましたが、健康志向の高まりから、運動・スポーツを実施した市民が一定数いたことなどで、「週1日以上運動・スポーツをする市民の割合【図1-1】」の増加傾向が続いているものと考えます。今後も感染状況を踏まえながら、オンラインを活用した事業実施などにより、市民が生活の中で運動・スポーツを実施するためのきっかけづくりを進めていく必要があります。

競技スポーツの振興に向けては、「全国・全道大会等出場者数【図1-2】」が昨年より増加しているものの、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う試合や大会等の開催中止により「市内で開催されるスポーツ国際・全国・全道大会数【図1-3】」が減少しています。今後の大会需要の回復状況などを踏まえ、市のスポーツ施設の有する充実した施設環境や大会運営能力などをPRしながら、大会等の効果的な誘致に取り組んでいく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策16 地球のために今、行動する — 環境の保全と循環型社会の形成 —



目指す姿

環境保全の意識が高まり、誰もが環境に配慮した行動をし、豊かな自然環境や生活環境が守られています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 83.3% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- エネルギーの有効活用を図るため、一般住宅への新エネルギー機器の導入費補助を実施したほか、公共施設や家庭における省エネ化の促進、家庭からの廃食用油の回収とB5燃料の利用促進などを実施。
- 市民の環境に対する意識の向上を図るため、とまち・市民「環境交流会」の開催や環境にやさしい活動実践校への支援、出前環境教室、省エネ啓発チラシの全戸配布などを実施。
- 市民のごみの適正排出推進のため、広報紙やSNSの活用、啓発チラシの配布、ごみ懇談会等による周知、清掃指導員による巡回パトロール、ごみ排出が困難な世帯への戸別収集（サポート収集）などを実施。
- ごみの再資源化や減量化を図るため、資源集団回収実施団体に対する奨励金及び回収事業者に対する協力金の支給、使用済小型家電の回収などを実施。
- 生活環境を保全するため、大気や河川水質、自動車騒音などの測定調査を実施したほか、公害パトロールなどを実施。
- 自然環境を保全するため、特定外来生物であるアライグマの防除対策などを実施。



とまち・市民「環境交流会」2021の開催



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 52.8% :

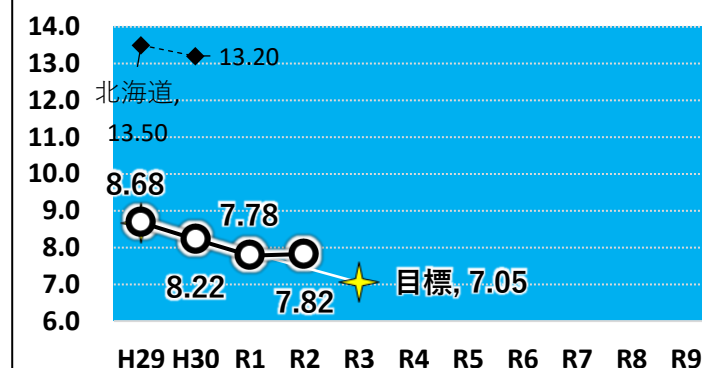
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
1人あたりの温室効果ガス排出量			↓
指標の考え方	市民、企業、市による省エネルギーの推進やエネルギー資源の利活用、3 R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進などにより、減少を目指します。	基準値（H29）	8.68 t-CO ₂
		実績値（R2）	7.82t-CO ₂
		目標値（R3）	7.05 t-CO ₂

【図1-1】1人あたりの温室効果ガス排出量（t-CO₂）



【指標の動向・要因分析】

「1人あたりの温室効果ガス排出量」は7.82t-CO₂であり、目標達成に向けて進捗していません。

新型コロナウイルス感染症の影響で経済活動が停滞したことなどにより、産業部門や運輸部門などで温室効果ガス排出量が減少した一方で、自宅で過ごす時間が長くなったことで、家庭におけるエネルギー消費量が増加したことが要因と考えます。

今後も、家庭部門を中心とした省エネや排出量の抑制に向けた啓発や、新エネルギー機器の導入支援などを通し、市民への省エネ意識の醸成をはかり、温室効果ガス排出量の削減につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

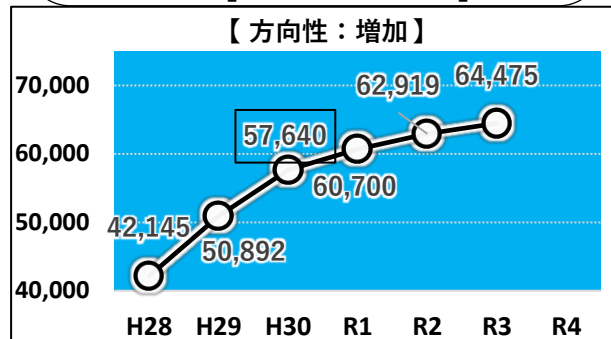
得点率 100.0% :

20点

15点

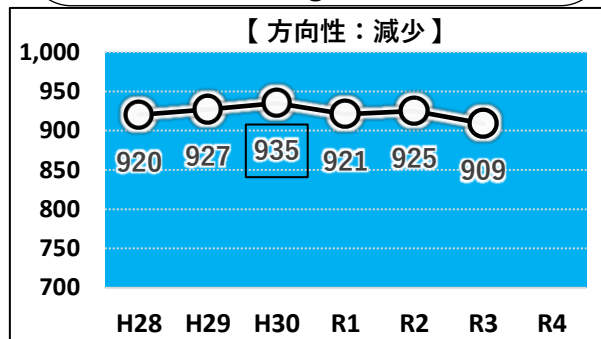
10点

【図1-2】再生可能エネルギー等の導入によるCO₂排出削減量 (t-CO₂)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】1人1日あたりのごみ排出量 (g)



策定時より減少・前年より減少：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 85点 /100点〕

新エネルギー機器の導入支援により一般住宅への新エネ機器の導入が進み、「再生可能エネルギー等の導入によるCO₂排出削減量【図1-2】」の増加につながったものの、新型コロナウイルス感染症の影響で自宅で過ごす時間が長くなり、家庭におけるガスや灯油などの消費量が増えたことにより、「1人あたりの温室効果ガス排出量【図1-1】」が増加しました。引き続き、新エネルギー機器の導入支援に取り組むほか、家庭での温室効果ガス排出量削減に向け、省エネや排出量の抑制に向けた啓発に取り組む必要があります。

また、3Rの推進に向け、ごみ懇談会や環境学習支援事業など各種啓発活動を実施したことにより、市民のごみ排出抑制や分別に対する意識が向上し、リサイクル率が24.8%から25.0%に上昇したほか、「1人1日あたりのごみ排出量【図1-3】」の減少につながっており、今後も、ごみの減量・再資源化の促進に向け、広報紙やごみ懇談会等の活用による市民への啓発を行う必要があります。

自然環境や生活環境の保全については、大気や河川水質、騒音などの測定調査や公害パトロールの実施、自然環境保全地区の監視や清掃ボランティアへの支援などを行っており、環境基準の達成状況などから良好な環境が維持されているほか、清掃活動への参加者が増加しています。今後も、豊かな自然環境と良好な生活環境の維持に向け、取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策17 「まさか」に備え今、行動する ―防災・減災の推進―



目指す姿

市民一人ひとりが、高い防災意識のもと、自ら備え地域で支え合う体制が整えられ、自助・共助・公助により、災害に対する対応力が高まっています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 55.6% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 災害時の体制強化のため、市職員を対象とした防災訓練等を実施。
- 災害時要援護者に対する支援体制を整備するため、「おびひろ避難支援プラン」に基づく、個別支援計画策定を推進。
- 自助・共助による防災力向上のため、町内会などに対する研修会の実施や助成などによる自主防災組織の結成、育成などを支援。
- 公助としての避難体制の強化のため、備蓄基準に基づく、備蓄品の更新・整備を実施。
- 災害用備蓄品の集中管理のため、拠点備蓄倉庫を建設。
- 建築物の耐震化を促進するため、第3期耐震改修促進計画を策定したほか、無料耐震簡易診断や相談体制の整備などを実施。
- 洪水の被害防止や河川の適切な管理のため、河川のパトロールや河川敷地の草刈りを実施。



令和4年3月に完成した拠点備蓄倉庫



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲63.8% :

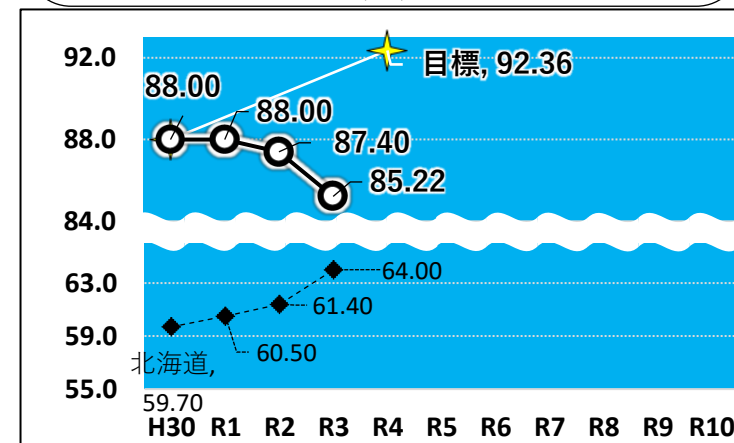
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
自主防災組織活動カバー率			↗
指標の考え方	市民が防災に対する関心や、地域で支え合う共助の意識を高め、市による防災意識の啓発や自主防災組織の設立支援などにより、上昇を目指します。	基準値 (H30)	88.00%
		実績値 (R3)	85.22%
		目標値 (R4)	92.36%

【図1-1】 自主防災組織活動カバー率 (%)



【指標の動向・要因分析】

「自主防災組織活動カバー率」は85.22%であり、目標達成に向けて進捗していません。

市による防災に関する出前講座やセミナーの開催、リーダー育成などの取り組みにより、市民の防災に関する意識向上は図られてきていますが、地域によっては担い手不足などを背景に、共に支え合う共助の意識醸成にまでには至っていないことなどから、自主防災組織の新規設立につながっていないものと考えます。北海道平均より高い水準を維持しており、今後も未設立地域への防災出前講座等の開催の働きかけなどを通し防災対策への意識啓発をはかり共助による地域の防災力の向上をにつなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

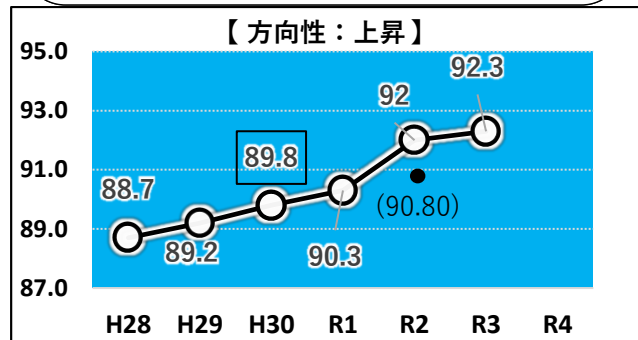
得点率 100.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】住宅の耐震化率
(%)



策定時より増加・前年より増加：5点

●第3期耐震改修促進計画において、耐震化率の算定方法が変更となっています。(R2～)
(R2. 90.8%→92.0% R3. 92.3%)

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加算対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 70点 /100点〕

市民一人ひとりの防災意識の向上を図るため、平時から災害に備える重要性など防災に関する情報について、防災ガイドや広報、ホームページなどでの啓発を行いました。災害発生時は市民自ら適切に行動できることが必要であることから、今後も情報発信や、防災訓練等の実施はもとより、家庭での備蓄を促しながら、自助の重要性についての理解促進を図っていく必要があります。

災害時における地域での支えあいの促進に向け、災害時要援護者の把握や、避難に関する個別計画の策定、自主防災組織の育成などを進めています。個別計画の策定率は増加していますが、地域による共助の意識醸成までにはつながっていない状況もあるため、「自主防災組織活動カバー率【図1-1】」の増加にはつながっていません。今後は、未設立の地域に対して防災出前講座の開催等を働きかけるなど、自主防災組織の重要性についての理解促進を図り、共助による防災力向上につなげていく必要があります。

建築物の耐震化促進のため、耐震診断・改修・建替えへの支援や相談対応、無料耐震簡易診断などを実施していますが、耐震化には、高額な経費が掛かることなどから、住宅の耐震化率は92.3%であり前年から微増にとどまっています。今後も第3期耐震化促進計画に基づき、耐震化の重要性について周知を行いながら、各事業の推進を通し、耐震化に対する理解促進を図っていく必要があります。また、緊急情報一斉伝達システムの運用を始め、感染症に対応した備蓄品の整備や、拠点備蓄倉庫の建設により災害時の様々な事態に迅速かつ的確に対応するための体制の充実を図りました。今後も情報収集や把握に努め、関係機関と連携しながら公助の強化を図る必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策18 とかで守るみんなの安心 ― 消防・救急体制の確保 ―



目指す姿

管内町村や関係機関等との連携により、安心して暮らせる消防・救急体制が維持・確保されています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 100.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 効率的な消防体制の維持・確保を図るため、救急搬送時における救急隊員等の新型コロナウイルス感染防止対策の強化のほか、NET 119 緊急通報システムの導入などを実施(実施主体：とかち広域消防事務組合)。
- 消防水利の確保のため、消火栓の更新、移設、修繕等を実施。
- 消防体制の維持のため、消防庁舎、消防団詰所の維持管理や消防団に係る消防車両・装備の維持管理を実施。
- 地域防災力の強化のため、消防団員確保に向けた普及啓発をはじめ、消防団員に対する教育訓練・研修機会の充実及び安全装備品の整備を推進。
- 消防力の充実のため、消防団車両（小型動力ポンプ付積載車）の更新を実施。



小型動力ポンプ付積載車



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 231.3% :

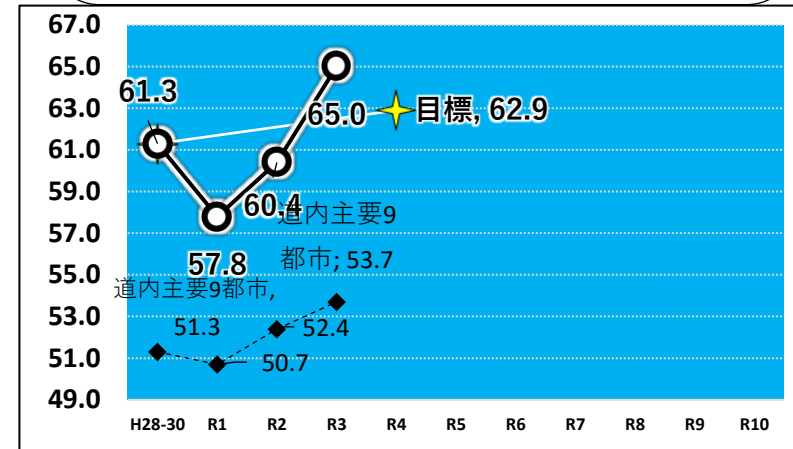
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
応急手当実施率			↗
指標の考え方	市による救命・救急講習の実施や、市民の心肺蘇生やAEDを用いた応急手当の習熟により、上昇を目指します。	基準値 (H28-30平均)	61.3%
		実績値 (R3)	65.0%
		目標値 (R4)	62.9%

【図1-1】 応急手当実施率 (%)



※道内主要9都市：札幌市、旭川市、函館市、苫小牧市、釧路市、江別市、北見市、小樽市、帯広市

【指標の動向・要因分析】

「応急手当実施率」は65.0%であり、現時点で既に目標値を達成し、順調に進捗しています。

救命・救急講習の開催やおびひろ救命アシスト事業の推進などを通し、バイスタンダー（救急現場に居合わせて応急手当を実施できる人）を養成してきたことで、心肺停止事案の救急現場において、バイスタンダーの居合わせる割合が増加したことが要因と考えます。

応急手当実施率は道内主要9都市の平均よりも高い割合となっており、今後も引き続き、感染対策を行いながら、市民への救命・救急講習を実施し、バイスタンダーの養成などを進めていきます。



Ⅲ 関連データの状況

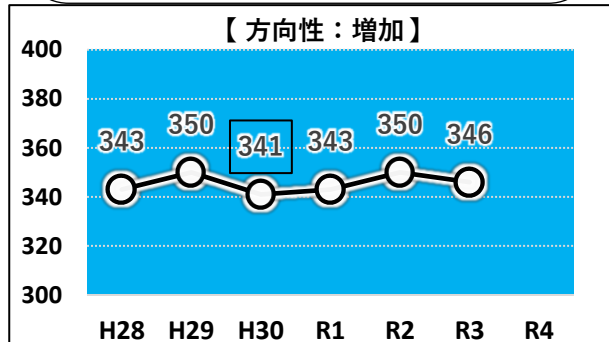
得点率 60.0% :

20点

15点

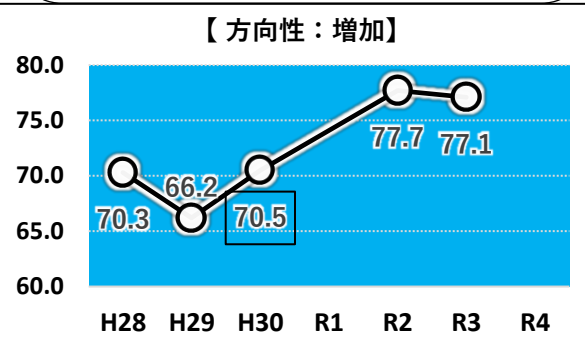
10点

【図1-2】 消防団員数
(人)



策定時より増加・前年以下：3点

【図1-3】 住宅用火災警報器設置率
(%)



策定時より増加・前年以下：3点

※ R1は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で調査未実施

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 95点 /100点〕

消防・救急体制の維持・確保に向け、救急隊員等の新型コロナウイルス感染防止対策の強化や、NET119緊急通報システムの導入を進めてきたほか、応急手当に係る普及啓発などに取り組み、救命・救急講習等の受講者が累計で8万4千人を超えるなど、応急手当ができる市民は増加しています。その結果、心肺停止事案の救急現場において、バイスタンダーの居合わせる割合が高まり「応急手当実施率【図1-1】」の増加につながっています。応急手当ができる市民を増やすことが、人命を救える機会を増やすことにつながるため、今後も救命・救急講習の実施を通し普及啓発などに取り組む必要があります。

消防団員の確保に向け、消防職員及び団員による勧誘、ホームページや広報おびひろでのPR等を実施してきたほか、年額報酬の改定、出動報酬の創設など消防団員の処遇改善を図りました。また、消防団活動に関心を示す企業に対し説明の機会を設けるなど、消防団への加入促進や消防団活動への参加しやすい環境づくりをしている事業所を認定する消防団協力事業所表示制度の周知を図ってきましたが、少子高齢化の進行や就業形態の変化などの影響により「消防団員数【図1-2】」は前年度と比較し微減となりました。本市の消防団員数は定員を満たしていない状況にあることから、引き続き各種企業と連携を図るとともに、SNS等を活用した情報発信を強化するなど、消防団への理解を深め、消防団員が活動しやすい環境づくりや消防団活動への理解を促進する取り組みを進めていく必要があります。

また、「住宅用火災警報器設置率【図1-3】」は策定時よりも増加していますが、前年度と比較して微減となっています。今後も火災事故の未然防止に向けた広報などに取り組むなど、火災予防意識の啓発を図る必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策19 みんなでつくる笑顔と安全 — 安全な生活環境の確保 —



目指す姿

交通安全や防犯、消費生活に対する意識が高まり、地域で支え合い、被害が生じにくい安全な生活環境が確保されています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 54.5% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 交通ルールの遵守や交通マナーの向上のため、高齢者や子どもなどを対象にした各種交通安全教室等の開催や、関係機関や団体との連携による地域ぐるみの交通安全運動を展開。
- 安全な交通環境を確保するため、幹線道路や生活道路における歩道の整備や区画線、視線誘導標を設置。
- 防犯意識の向上のため、青色回転灯を装備した公用車等による防犯パトロール等を実施。
- 消費者が自らの利益の擁護のため自主的かつ合理的に行動することができるよう、消費生活に関する正しい知識の普及や、消費者被害の未然防止を図るための各種講座や講演会を開催。
- 市民の安全で合理的な消費を支援するため、ホームページ等による消費生活に関する情報を提供。
- 夜間における交通安全、防犯等を図るため、町内会等の防犯灯管理への支援。



交通安全教室の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 182.9% :

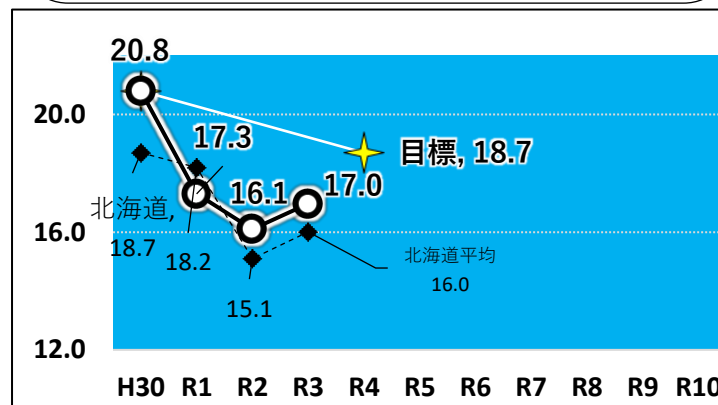
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
1万人あたりの交通事故発生件数			↓
指標の考え方	市民による交通ルール・マナーの遵守や、市による意識啓発などにより、減少を目指します。	基準値 (H30)	20.8件
		実績値 (R3)	17.0件
		目標値 (R4)	18.7件

【図1-1】1万人あたりの交通事故発生件数 (件)



【指標の動向・要因分析】

「1万人あたりの交通事故発生件数」は17.0件であり、現時点で既に目標値を達成し、順調に進捗しています。

市による高齢者や子どもなどの交通弱者に対する交通安全教室の実施や道路の環境整備などのほか、市民の交通ルールの遵守に対する意識の向上などにより、目標値の達成につながったものと考えます。



Ⅲ 関連データの状況

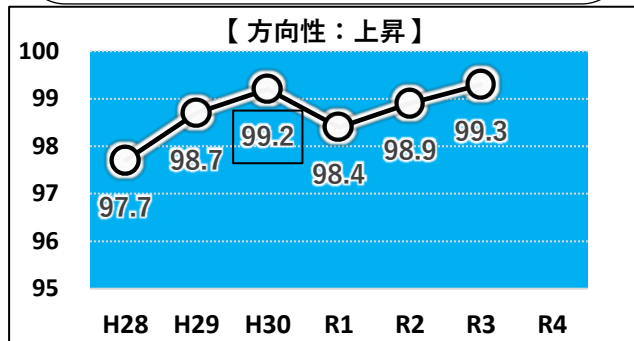
得点率 100.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】消費生活相談の解決率
(%)



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加算対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

(Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 85点 /100点)

交通事故や交通違反の防止に向け、交通安全教室の開催など、市民の交通安全意識の向上を図ってきたほか、注意喚起看板の設置や歩道の整備などに取り組みました。また、犯罪の発生抑制に向け、防犯パトロールや街頭啓発の実施のほか、防犯関係団体の活動や町内会による防犯灯の設置などの支援を継続した結果、令和2年の546件から548件と横ばいで推移しています。しかし、「1万人あたりの交通事故発生件数【図1-1】」は、前年より増加しており、今後も、交通安全・防犯意識の向上や交通事故・犯罪の防止に向けた環境づくりを進めていく必要があります。

消費生活に関するトラブル防止に向け、消費生活に係る情報提供や相談対応などを行っており、「消費生活相談解決率【図1-2】」は、高い水準を維持しています。今後も意識啓発や相談対応に取り組み、消費者意識の醸成を図る必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策20 未来につなぐ、おいしい水 – 上下水道の基盤強化 –



目指す姿

いつでも安全で安心して利用できる強靱な上下水道が確保されています。



！ 事務事業の進捗状況

進捗率 95.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 水道水の安定供給を図るため、配水管整備や浄水場等の機器設備更新、配水池の耐震工事などを実施。
- 快適な生活環境づくりのため、雨水管や污水管、個別排水処理施設を整備。
- 下水道サービスの安定供給と広域化による効率的な事業運営を図るため、終末処理場設備改修や污水处理施設統合に向けた取り組みを実施。
- 災害時の体制強化を図るため、災害対策備蓄資器材の充実や災害訓練を実施。
- 利便性向上のため、上下水道の開始・休止等のオンライン申請手続きの簡便化を実施。
- 上下水道に関する理解促進のため、ホームページをリニューアルしキッズページを新設するとともに、「水を見る週間」などのイベントを通したPRや、おびひろ極上水の製造・販売、カラーマンホール蓋の設置、マンホールカードの制作・配布を実施。
- 利用者サービス向上のため、メーター更新時に掘削を要しないメーターボックスへ更新。
- 安全な水道水供給のため、河川表流水調査や水源水質調査、水質基準検査などを実施。
- 環境負荷を軽減するため、下水汚泥の耕地還元や発生ガスの有効活用を実施。
- 下水道の利用促進のため、下水道への接続の普及啓発を実施。





Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 90.0% :

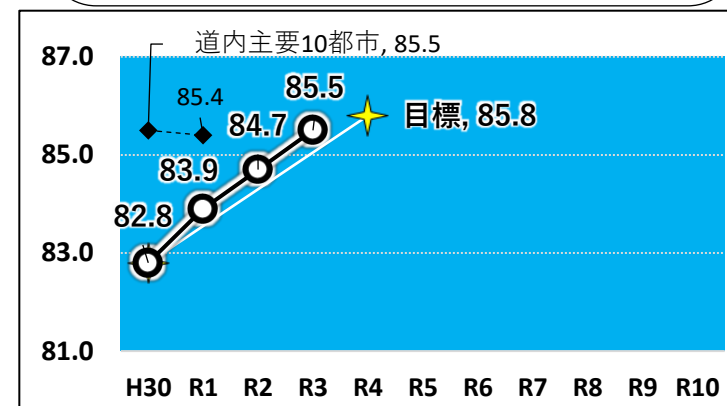
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
水道管路の耐震適合率			↗
指標の考え方	上下水道の事業内容等への市民の理解を得ながら、市による強度や耐震性に優れた水道管への更新を進めることにより、上昇を目指します。	基準値 (H30)	82.8%
		実績値 (R3)	85.5%
		目標値 (R4)	85.8%

【図1-1】水道管路の耐震適合率(%)



【指標の動向・要因分析】

「水道管路の耐震適合率」は85.5%であり、目標達成に向けて順調に進捗しています。

市の配水管整備事業により、耐用年数を迎える耐震管や耐震適合管に該当しない塩化ビニール管を計画的に更新し、国の耐震基準に適合した管種による水道管路の整備を進めてきたことによるものと考えます。



Ⅲ 関連データの状況

得点率 100.0% :

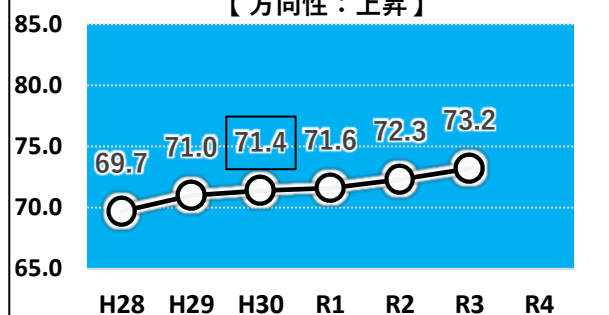
20点

15点

10点

【図1-2】雨水整備率
(%)

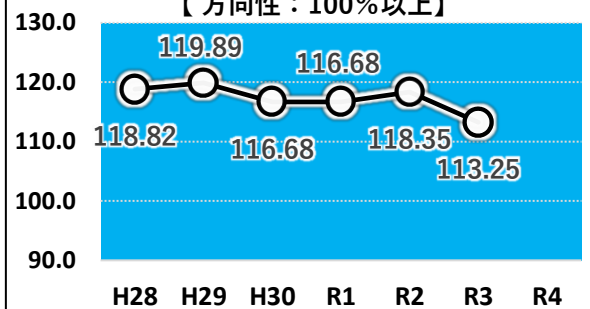
【方向性：上昇】



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】経常収支比率（水道事業会計）
(%)

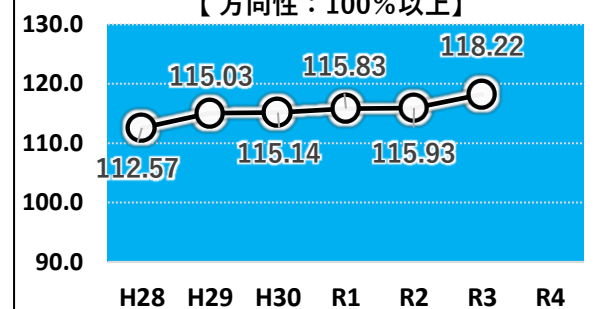
【方向性：100%以上】



基準以上：3点

【図1-4】経常収支比率（下水道事業会計）
(%)

【方向性：100%以上】



基準以上：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加算対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 100点 /100点〕

上下水道の基盤強化に向け、計画的な施設の長寿命化や耐震化を進めているほか、浸水対策などを着実に進めており、「水道管路の耐震適合率【図1-1】」や「雨水整備率【図1-2】」が着実に上昇しています。

上下水道施設の老朽化が進む中、中長期的な視点に立った計画的・効率的な維持管理や更新事業を実施しており、水道料金・下水道使用料等によって維持管理等に必要な費用が賄われ、「経常収支比率【図1-3】【図1-4】」が100%以上となっているなど、健全な経営が確保されています。今後は、人口減少の進行に伴う収入の減少や施設の老朽化に伴うコストの増加などが見込まれていることから、上下水道の経営状況や事業内容の周知などを通じ、上下水道事業への理解を促進するとともに、中長期的な視点を持ち、より健全かつ安定的な経営につながる取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策21 未来につなぐ、住みよいまち — 都市基盤の整備と住環境の充実 —



目指す姿

都市機能の配置やインフラ施設等の管理が適切に行われ、コンパクトで誰もが住みやすいまちが形成されています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 82.1% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 都市内の主要な交通網を形成するため、都市計画マスタープランに基づき、未整備となっている都市計画道路の整備を実施。
- 緑地の保全や緑化の推進に取り組むため、みどりの基本計画に基づき、公園緑地の整備や維持管理のほか、緑化協議、慶事記念樹の贈呈、桜並木の整備等を実施。
- 居住の安定に特に配慮が必要な高齢者及び子育て世帯に対し、良好な住環境の提供を促進するため、地域優良賃貸住宅等への整備費補助及び家賃補助を実施。
- 中心市街地の活性化のため、西3・9周辺地区再開発事業のほか、イルミネーションプロジェクトなどのまちなか活性化に向けたイベントなどに対する支援を実施。
- 地域公共交通の維持確保のため、地域公共交通網形成計画に基づき、公共交通の利用促進活動や小学生等への交通環境学習などを実施したほか、バス運行維持に対する支援を実施。
- 地域住民の生活環境の保全を図るため、空き家等の利活用や適正な管理に向けた情報発信や相談対応、改修補助などを実施。



学園通の整備



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 820.0% :

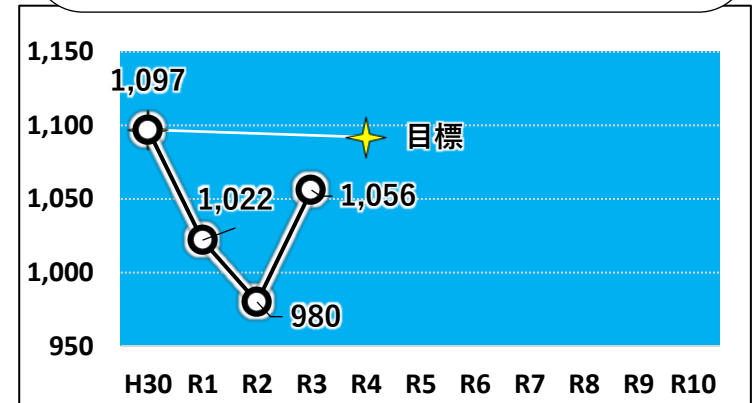
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
空き家数			↓
指標の考え方	所有者による空き家等の適切な管理・活用や、市による意識啓発などにより、減少を目指します。	基準値 (H30)	1,097箇所
		実績値 (R3)	1,056箇所
		目標値 (R4)	1,092箇所

【図1-1】空き家数
(箇所)



【指標の動向・要因分析】

「空き家数」は1,056箇所であり、現時点で既に目標値を達成し、順調に進捗しています。

市による空き家に関する情報発信や相談対応、改修補助などの取り組みのほか、北海道空き家情報バンクによる空き家の周知や利活用、所有者による管理や除却が進められたことによるものと考えますが、除却費用の上昇や新型コロナウイルス感染症の影響により相続の進捗が進まなかったことなどが要因となり、前年度より増加しています。引き続き、所有者への適切な管理等を求めていくとともに、関係団体と連携し市の補助制度など空き家に関する情報の周知をはかりながら、空き家の利活用などにつなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

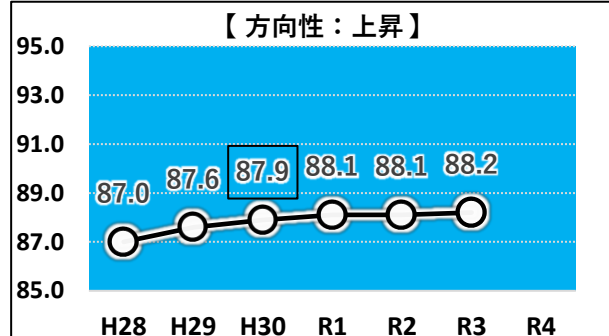
得点率 56.0% :

20点

15点

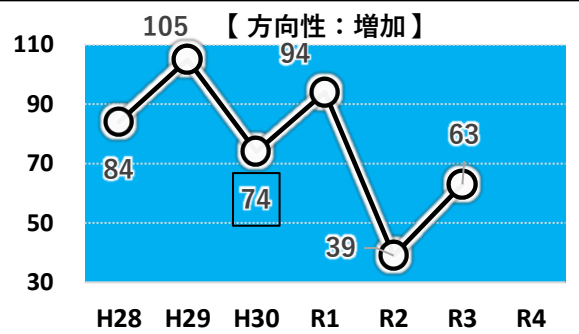
10点

【図1-2】都市計画道路の整備率
(%)



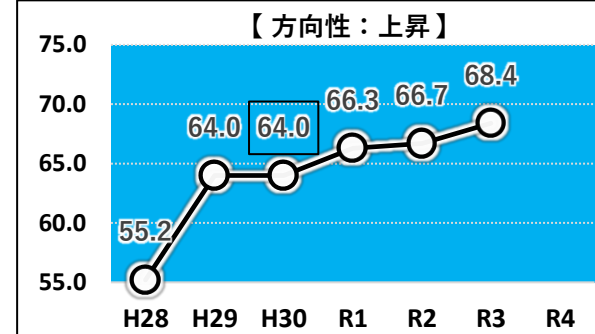
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】公園行為許可件数
(件)



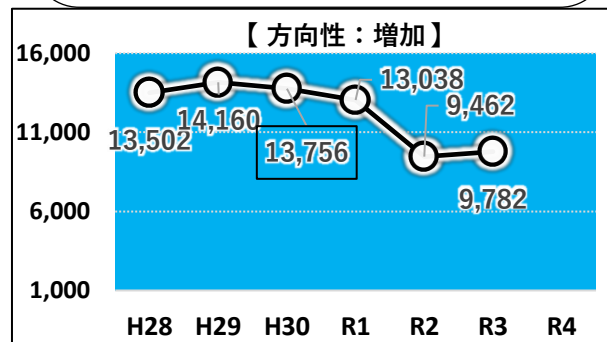
策定時以下・前年より増加：2点

【図1-4】高齢者及び身障者に対応した市
営住宅等の割合 (%)



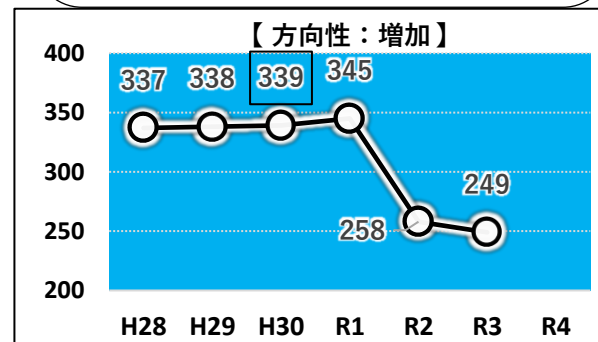
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-5】中心市街地の平日昼間9～17時
の歩行者通行量 (人)



策定時以下・前年より増加：2点

【図1-6】市内運行路線における路線バス
年間利用者数 (万人)



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 90点 /100点〕

中心市街地の活性化に向け、中心街に人を呼び込むイベントの開催支援や新規事業展開の支援、西3・9周辺地区市街地再開発事業への支援などに取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出の抑制等により「中心市街地歩行者通行量【図1-5】」は前年度比では微増となったものの、計画策定時を下回っています。今後は、感染状況などを踏まえながら、事業者等と連携し、にぎわいの創出に向けた取り組みを促進していく必要があります。

公園の適正管理や利活用促進に向け、公園緑地の整備や維持管理のほか、市民協働による帯広の森の育成・利活用などを進めており、新型コロナウイルス感染症によるイベント利用等への影響があったものの、「公園許可行為件数【図1-3】」は前年度より増加しています。今後も、感染対策を徹底するとともに、公園緑地の利活用方法や利用例の情報発信などにより、健康や福祉、観光、地域活性などの分野でのみどりの利活用を促進し、公園の魅力の向上につなげていく必要があります。

人口構成の変化に対応した住まいを提供するため、民間事業者を活用した子育て世帯・高齢者世帯向けの公的賃貸住宅の供給を促進したほか、ユニバーサルデザインを取り入れた市営住宅の建て替えを進めたことにより、「高齢者及び身障者に対応した市営住宅の割合【図1-4】」は前年より増加しています。また、除却費用の上昇や新型コロナウイルス感染症の影響により相続の手続きが進まなかったことなどにより「空き家数【図1-1】」は増加しています。今後も、関係団体と連携し市の補助制度など空き家に関する情報の周知をはかりながら、空き家の利活用などにつなげていく必要があります。

道路の整備・維持管理については、計画的な道路整備、橋梁や大型標識の定期的な点検・修繕、街路樹の維持管理、除雪体制の確保や除雪方法の情報発信などに取り組んでおり、都市計画道路の整備【図1-2】が進んでいる一方、除雪に関する問い合わせ件数は、大雪により道路交通に影響が生じたことにより、増加しました。今後も、計画的、定期的な維持管理を行うほか、除雪方法の情報発信などの取り組みを継続していく必要があります。

地域公共交通の確保に向けては、バス路線維持に対する支援や農村地区における交通手段の確保、公共交通の利用促進などの取り組みを進めていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛等の影響が継続しており、「市内運行路線における路線バス利用者数【図1-6】」は前年より大幅に減少しました。今後は、公共交通機関における感染防止対策の徹底とその取り組みの周知を継続しながら、交通事業者をはじめとする関係機関と連携し、利用者のニーズに即した交通サービスの提供の確保に向けた取り組みを進め、持続可能な公共交通サービスの構築につなげていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策22 認め合い、つながり、暮らす —多様な主体が活躍する地域社会の形成—



目指す姿

誰もが互いに尊重し合い、つながりながら、住みよいまちをつくるために主体的に行動し活躍しています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 54.5% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民団体等のまちづくり活動を支援するため、市民提案型協働のまちづくり支援事業を実施したほか、交付金補助による町内会の活動支援や、町内会活動の周知、町内会への加入啓発等を実施。また、市民相互の交流促進のため、コミュニティ施設を維持管理。
- 国際姉妹・友好都市、国内姉妹都市との交流活動を支援するため、高校生をはじめとする相互交流事業を実施。
- 移住促進を図るため、移住希望者に対する相談支援やホームページ等を活用した情報提供を実施。
- 男女がともに仕事と家庭生活を両立できる環境づくりや女性への暴力の根絶を図るため、男女共同参画に関する講座の実施や、啓発パンフレットを配布。
- アイヌ民族の歴史・文化に関する理解促進のため、講演会や、アイヌ民族文化情報センター（リウカ）、アイヌ文化とのふれあいゾーン（緑ヶ丘公園）を活用した周知啓発を実施。
- アイヌ子弟の教育環境の充実を図るため、教育扶助を支給。
- 平和意識の啓発を図るため、帯広市核兵器廃絶平和都市宣言30周年記念式典の開催や、平和カレンダーの作成、配布等を実施。



帯広市核兵器廃絶平和都市宣言
30周年記念式典の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲495.8% :

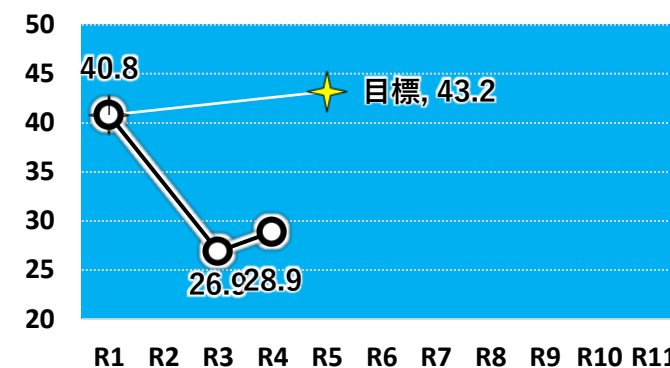
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合			↗
指標の考え方	市民による主体的なボランティア活動・地域行事等への参加や、市による多様な活動への支援などにより、上昇を目指します。	基準値 (R1)	40.8%
		実績値 (R4)	28.9%
		目標値 (R5)	43.2%

【図1-1】直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合（%）



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合」は28.9%であり、目標達成に向けて進捗していません。

市では、市民主体のまちづくり活動の促進やコミュニティ施設の維持管理などに取り組んでいるほか、市民団体や民間企業等において新たな社会貢献活動が展開されるなど、まちづくりに参画する主体の広がりが見られてきています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、公共施設の閉館をはじめ、様々なまちづくり活動の自粛、中止、縮小が相次いだほか、人々の外出抑制などが影響したものと考えます。

今後も、町内会、市民団体や民間企業、NPOなど、まちづくりに参加する多様な主体の活動支援などを通し、市民の地域社会活動への参加を促進していく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

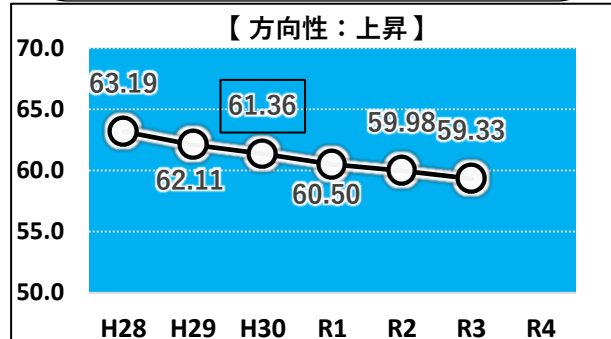
得点率 20.0% :

20点

15点

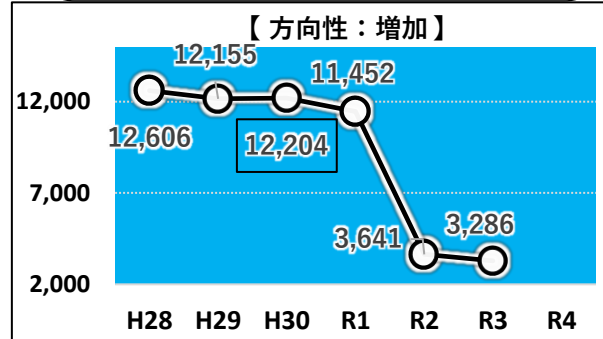
10点

【図1-2】町内会加入率
(%)



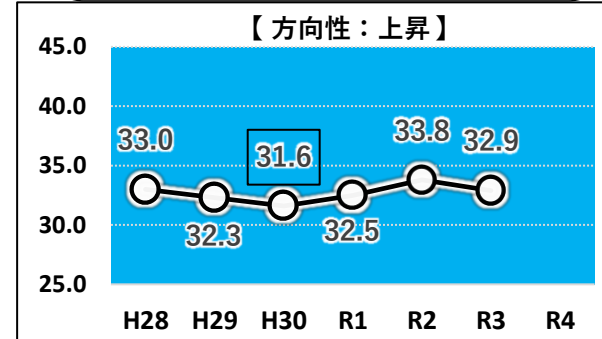
策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】国際理解推進事業・国際交流事業参加者数(人)



策定時以下・前年以下：0点

【図1-4】審議会等への女性の参画率
(%)



策定時より増加・前年以下：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点对象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 60点 /100点〕

コミュニティ活動の活性化に向け、市民提案型協働のまちづくり支援事業や、こども学校応援地域交付金のほか、市民団体等の活動情報の発信など市民団体やNPO等によるまちづくり活動への支援等により、新たに社会貢献活動を実施する団体・企業が見られており、まちづくりに参加する主体は広がりつつあります。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、様々なまちづくり活動の自粛、中止、縮小が相次いだことや人々の外出抑制により「直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合【図1-1】」は策定時と比べて減少しており、引き続き、市民団体やNPO等まちづくりに参加する多様な主体の活動を支援するなど、コミュニティ活動を促進していく必要があります。また、「町内会加入率【図1-2】」は依然として減少傾向にあるため、町内会の活動内容や役割の周知啓発、役員の負担軽減などに取り組み、持続可能な町内会活動を支援していく必要があります。

姉妹都市をはじめとした他地域との交流に向け、各種交流イベントの実施や国際交流ボランティアの育成、在住外国人への情報提供などの取り組みを行いました。国際交流ボランティア登録者は増加しているものの、「国際理解推進事業・国際交流事業参加者数【図1-3】」は、感染症拡大の影響で一部の事業が中止・延期となったほか、外国人が来日できず、日本文化を紹介する機会が持てなかったこともあり、策定時と比べて大きく減少しています。今後は各国の多様な文化への理解促進を図りながら、安全に交流できる時期を見定めつつ、市民主体の交流を促進していく必要があります。

女性活躍の促進や一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に向けては、「審議会等への女性の参画率【図1-4】」が横ばいで推移しているほか、新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインとの併用で開催した女性活躍や男女共同参画などの講座については、実施会場の定員制限や人々の外出頻度の減少などにより参加者数が微増に留まっています。また、デートDV予防にかかる講座や、女性に対する暴力の根絶などの意識向上をはかる取り組みを進めていますが、障害者、高齢者、子どもなどへの虐待等も依然として存在しています。引き続き、多様性を認め合いながら、誰もが活躍できる環境づくりに向けた取り組みを進めていくことが必要と考えます。

アイヌの人たちの誇りが尊重される社会の実現に向け、アイヌ民族に関する生活文化展や講習会等の開催、アイヌ教育相談員の配置や教育扶助の支給を通じたアイヌ子弟の進学機会の確保などに取り組んでいますが、感染症の拡大による事業の中止や縮小、施設の臨時休館、人々の外出自粛等により、アイヌ協会主催イベント等への参加者数やリウカの利用者数は減少しました。感染症対策を徹底するほか様々な情報発信の手法を検討し、アイヌ民族の歴史・文化への理解促進に向けた取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策23 未来に夢をつなぐ ―自治体経営の推進―



目指す姿

市民ニーズや行政を取り巻く環境の変化を的確に捉えた、市民に信頼される持続可能な自治体経営が行われています。



！事務事業の進捗状況

進捗率 98.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

●市民に行政情報を分かりやすく伝えるため、新たに各種行政手続きの手順や施設の利用案内等に係る動画をSNSで発信したほか、広報紙やホームページなど、様々な媒体を活用した情報発信を推進。

●効果的・効率的な行政運営に向け、諸証明等交付窓口へのキャッシュレス決済の導入や指定管理者制度導入施設の拡大のほか、市税や国民健康保険料、介護保険料等の収納関連業務を集約。

●まちづくりに関する取組の状況を市民と共有するため、第七期総合計画の進捗状況を取りまとめて公表。

●公共施設等の施設総量の適正化などを図るため、小中学校を統合し、大空地区義務教育学校を整備したほか、帯広市岩内自然の村の利活用に係る民間提案型調査を実施。

●デジタル化による市民の生活利便性の向上や、さらなる産業振興に向けた基盤整備のため、農村部における光ファイバ整備に対する支援を実施。

●自主財源の確保・拡大を図るため、ふるさと納税に係る返礼品の充実や広告付きAEDの導入のほか、未利用地・低利用地の売払や貸付などを実施。

●市民の日常生活における様々な問題の解決支援のため、市民相談員による一般相談や弁護士無料相談を実施。

●職員の意欲や能力の向上を促すため、職員に対して各種研修等を実施したほか、eラーニングによる自己啓発機会を提供。

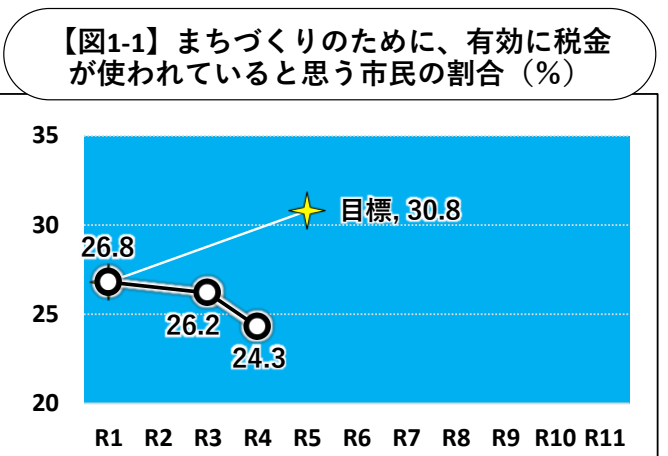


窓口でキャッシュレス決済を導入

II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲62.5% :	40点	30点	25点
--------------	-----	-----	-----

目指そう指標名			方向性
まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合			↗
指標の考え方	わかりやすい情報発信に努めながら、効果的・効率的な自治体経営を進め、市民の理解や共感を得ることにより、上昇を目指します。	基準値 (R1)	26.8%
		実績値 (R4)	24.3%
		目標値 (R5)	30.8%



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合」は24.3%であり、目標達成に向けて進捗していません。

市では、指定管理者制度導入施設の拡大や諸証明等交付窓口へのキャッシュレス決済の導入、ふるさと納税を通じた自主財源の確保など、効果的・効率的な行財政運営に向けた取り組みを進めているほか、広報紙をはじめ、SNSや市長記者会見、ふれあい市政講座の実施など多様な手法により広報広聴事業に取り組んでいますが、割合の上昇にはつながっていません。

「有効に税金が使われていない」と回答した方の理由では「どのように税金が使われているか分からない・分かりにくい」を選択した割合が71.0%と、前年と同様に高い値となっており、「自分の身近な所に、税金があまり使われていないと感じるから」と「必要のない分野に、多くの税金が使われていると感じるから」を選択した割合も前年に比べ高くなっています。

まちづくりアンケートにおいて、行政情報を分かりやすく知ることができると回答した人は、まちづくりのために有効に税金が活用されていると思うと回答した割合が高いことから、今後も様々な媒体を通じて分かりやすい適時の情報発信に努め、市民との情報共有を図り、市民の納得感を得ながら自治体経営を進めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

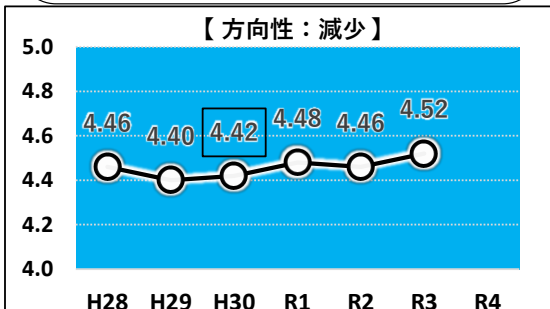
得点率 68.0% :

20点

15点

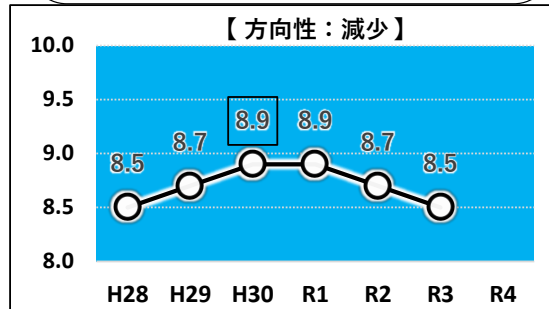
10点

【図1-2】市が管理する市民一人あたりの施設延床面積（㎡）



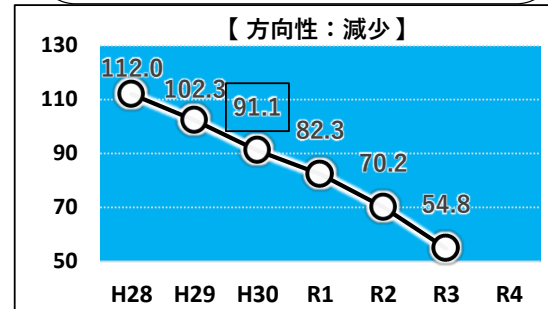
策定時以上・前年以上：0点

【図1-3】実質公債費比率（%）



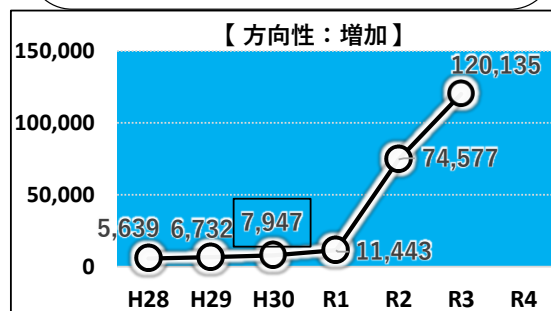
策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-4】将来負担比率（%）



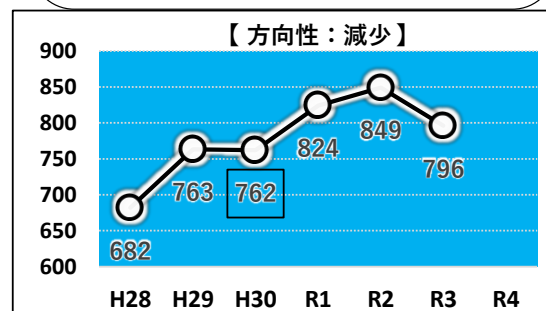
策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-5】SNS等登録者数（件）



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-6】月間の時間外勤務が45時間を超えた職員の数（人）



策定時以上・前年より減少：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 80点 /100点〕

まちづくりの考え方や取り組みに対する理解促進に向け、広報紙やホームページのほか、LINEなどのSNSの活用や市長記者会見等を通じた積極的な情報発信に取り組んでおり、「SNS等登録者数【図1-5】」は大幅に増加し、まちづくりアンケートにおける情報発信に関する満足度も上昇しています。一方で、「まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合【図1-1】」は前年に比べ低下しています。「有効に税金が使われていない」と回答した方の理由では「どのように税金が使われているか分からない・分かりにくい」を選択した割合が71.0%と昨年と同様に高い値となっているほか、「自分の身近な所に、税金があまり使われていないと感じるから」と「必要のない分野に、多くの税金が使われていると感じるから」を選択した割合も昨年に比べ高くなっていることから、市民がまちづくりの取り組みを身近なものと感じられるよう、本施策評価をはじめ様々な機会を通じ、施策の内容や成果などについて、より分かりやすい情報発信に努めていく必要があります。

効果的・効率的な自治体経営を進めるため、計画的な市債発行など中長期を見据えた財政運営に努めてきたことにより、「実質公債費比率【図1-3】」、「将来負担比率【図1-4】」ともに減少しています。また、業務の効率化に向け、ICTの活用範囲の拡大などに取り組んでおり、電子申請システムの活用のほか、パソコンで行っている作業を自動化するRPAや、活字や手書き文字をデータ化するAI-OCRの導入等により、作業時間の縮減が図られたことで「月間の時間外勤務時間数が45時間を超えた職員の数【図1-6】」も前年に比べ減少しています。今後も引き続き、組織全体で業務の平準化やICTの活用促進に取り組んでいく必要があります。

適正な業務執行を確保に向けては、定期監査や決算審査を実施しているほか、建設工事等の入札について、対象範囲の拡大等を図ってきたことなどに伴い、ほぼ全ての入札を一般競争入札により執行しています。

公共施設等の長寿命化や施設総量の適正化に向けては、公共施設マネジメント計画に基づき、施設の統合や長寿命化などの取り組みを進めておりますが、大空学園義務教育学校の整備などにより「市民一人あたりの施設延床面積【図1-2】」は前年と比べて増加しています。今後、財政面での制約がより強まると見込まれることから、各施設の老朽化の進行状況や公共施設に対するニーズの動向などを的確に捉え、市民の理解と協力を得ながら、公共施設マネジメントの更なる推進を図っていく必要があります。

職員の育成については、各種研修等の実施のほか、eラーニングによる自己啓発機会の提供などを行っています。

他自治体との連携については、廃棄物処理や水道、消防業務などの共同実施のほか、救急医療体制等を確保や観光周遊ルートの造成等定住自立圏形成協定に基づく取り組みなどを推進しており、連携による事務の効率化や地域の生活機能の確保、魅力向上などが図られています。今後も、他自治体などと連携・協力し、効率的な運営や地域の活性化につなげていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。

事務事業評価表

施策 1 取組 1 番号 1 事務事業 健康づくり推進事業										
目的	健康意識の向上に関する取り組みや、生活習慣病予防に関する知識を普及する人材の育成などを通し、市民の健康づくりを推進します。						担当課	健康推進課		
目標	スマートフォン用アプリを活用し、運動習慣の定着を促す健康マイレージ事業の参加者数について4,500人を目指します。									
事業実施状況	・健康づくり推進サポーターの育成と活動の推進(71人・2団体) ・健康マイレージの推進(2,878人) ・スマートライフプロジェクトおびひろの推進(92団体) ・おびひろ健康まつりの実施(中止)						単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
							事業費	1,723	1,563	
							特定財源	200	200	
							一般財源	1,523	1,363	
	指標名		健康マイレージ事業参加者数				単位	人		
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
			-	1,500		3,000	4,500			
評価検証	R3年度の健康マイレージ事業の参加者数は2,878名であり、目標を達成しませんでした。チラシなどの媒体を用い、関係団体や保健事業内での周知を行いました。協賛企業の加入が少なかったことが要因であると考えます。今後、改めて協賛企業の募集や効果的な周知等が必要と考えます。						2,230		2,878	

施策 1 取組 1 番号 2 事務事業 保健衛生普及啓発事業													
目的	保健衛生に関する情報提供や関係団体との連携などにより、市民の健康づくりを推進します。					担当課	健康推進課						
目標	子育てや健康づくりに役立つ情報を提供するすこやかネットの利用者数の増加を目指します。												
事業実施状況	・献血の普及啓発 ・臓器等提供の普及啓発 ・北海道難病連十勝支部への支援 ・健康づくりガイドの作成 ・地元食材の活用促進の啓発 ・帯広市すこやかネット事業の実施(利用件数:44,055件) ・公衆浴場の利用促進					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費		25,555	22,887				
						特定財源		0	0				
						一般財源		25,555	22,887				
						指標名		-			単位		
						基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度は、子育てや生活に役立つ情報を動画などを用いてわかりやすく作成し、関係機関と連携して周知したことで、すこやかネットの利用件数は前年を上回り、目標達成に向け進捗しています。												

施策 1 取組 2 番号 1 事務事業 疾病対策事業									
目的	各種検診や保健指導、受診勧奨の実施により、疾病の予防や早期発見・早期治療と重症化予防を推進します。					担当課	健康推進課		
目標	大腸がんの検診における精密検査の受診率について75.5%を目指します。								
事業実施状況	・がん対策の実施 ・市民健康診査等の実施 ・肝炎ウイルス検診の実施 ・骨粗しょう症検診の実施 ・結核検診の実施 ・各種検診の受診勧奨・事後指導 ・糖尿病対策の実施					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
						事業費	134,016	135,808	
						特定財源	3,172	3,113	
						一般財源	130,844	132,695	
	指標名		大腸がん検診の精密検査受診率				単位	%	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	68.9			72.1 66.6		73.8 65.7		75.5	
評価検証	R3年度の大腸がん検診の精密検査受診率(R1確定値)は65.7%であり、目標を達成しませんでした。精密検査には一定の費用がかかることや、検診結果を重要視していない方が多いことが影響していると考えます。大腸がんの多くは早期治療をすることにより重症化しにくい。ため、集団及び施設検診受診者に対し、早期発見・早期治療の重要性について引き続き周知していく必要があると考えます。								

施策 1 取組 2 番号 2 事務事業 健康教育事業												
目的	健康教育の実施により、生活習慣病の予防やこころの健康づくりの普及・啓発を図ります。						担当課	健康推進課				
目標	生活習慣の改善や病気の予防など健康づくりをテーマとした健康講座の受講者数について5,215人を目指します。											
事業実施状況	・集団健康教育の実施					単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費	3,339		3,529			
						特定財源	613		580			
						一般財源	2,726		2,949			
						指標名	健康講座受講者数				単位	人
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
						4,800		5,003		5,108		5,215
								927		857		
評価検証	R3年度の健康講座の受講者数は857人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症の影響により、市民や団体が講座参加を自粛したことが要因であると考えます。今後も、LINEを活用した運動の動画配信や感染症の対策を行いながら講座を開催するほか、健康相談等を通じ市民の健康づくりを促進していくことが必要と考えます。											

施策 1 取組 2 番号 3 事務事業 健康相談・訪問支援事業									
目的	健康相談や訪問による保健指導などにより、市民の健康づくりを促進します。						担当課	健康推進課	
	市民の健康に関する不安に対して電話や面談により対応する健康相談・訪問の件数について773件を目指します。								
事業実施状況	・健康相談の実施 ・保健指導・受診勧奨の実施 ・保健福祉サービスに関する情報提供		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		3,016		2,879		
			特定財源		461		436		
			一般財源		2,555		2,443		
			指標名	健康相談・訪問件数				単位	件
			基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
			668		773		773		773
					2,083		4,058		
	評価検証	R3年度の健康相談・訪問の件数は4,058件であり、目標を達成しました。							
新型コロナウイルス感染症の影響により、健康への不安に関する相談が増加していることや、土曜日、日曜日の相談対応を行うなど相談体制を強化したことによるものと考えます。									

施策 1 取組 2 番号 4 事務事業 自殺対策事業									
目的	自殺対策に関わる人材の育成や地域での支え合いの強化、こころの健康づくりの普及啓発などを通し自殺予防を図ります。					担当課	健康推進課		
目標	自殺の背景となる悩みの解決に向け、対応する様々な機関の連携や情報共有を促進する多分野合同研修会の参加者数について200人を目指します。								
事業実施状況	・帯広市生きたるを支える連携会議の開催 ・ゲートキーパーの養成(3回、57人) ・多分野合同研修会の実施(1回、35人) ・こころの健康づくりの普及啓発 (こころの体温計アクセス数23,287件、パネル展1回実施)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
						事業費	444	458	
						特定財源	380	389	
						一般財源	64	69	
	指標名	多分野合同研修会参加者数				単位	人		
	基準値		R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値	
				実績値		実績値		実績値	
		63	100		150		200		
			48		70				
評価検証	R3年度の多分野合同研修会の参加者数は70人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症の拡大により、計画していた研修会の実施を見合わせたことが要因であると考えます。 今後も新型コロナウイルス感染症の流行に伴う社会生活や環境等の変化から相談内容が多岐に渡ることが予測されるため、オンライン開催等、研修会の実施方法を工夫し、関係機関と連携した支援体制の構築を図っていくことが必要と考えます。								

事務事業評価表

施策	1	取組	2	番号	5	事務事業	感染症予防事業						
目的	予防接種や日常の感染予防対策の実施により、感染症の発生及びまん延を予防します。						担当課	健康推進課					
目標	子どもの麻しん・風しん混合ワクチン（2期）の接種率について95.0%を目指します。												
事業実施状況	・予防接種の周知啓発 ・定期接種の実施（接種者延べ55,801人） ・中学3年生・高校3年生のインフルエンザ予防接種費用助成の実施（接種者延べ647人） ・風しん抗体検査の実施（受検者延べ1,398人） ・新型インフルエンザ対策行動計画の推進 ・感染症発生状況の把握、情報発信 ・エキノコックス症血清検査の実施（受診者延べ126人） ・新型コロナウイルスワクチン接種の実施（接種				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
					事業費		466,286		1,484,651				
					特定財源		38,481		1,283,277				
					一般財源		427,805		201,374				
					指標名		麻しん・風しん混合ワクチン接種の接種率				単位	%	
					基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
					92.4		95.0		95.0		95.0		
							97.9		91.3				
評価検証	R3年度の麻しん・風しん混合ワクチン（2期）の接種率は91.3%であり、目標を達成しませんでした。対象者の保護者に対して、年2回の個別通知等により勸奨を行いました、必要性が十分に伝わらなかったことが要因であると考えます。今後も、個別通知のタイミングや内容を工夫して勸奨を行い、感染症対策と予防接種の必要性について周知啓発を図っていく必要があります。												

施策	1	取組	2	番号	6	事務事業	健康増進計画（けんこう帯広21）推進事業									
目的	健康増進計画を推進し、健康増進に関する施策を総合的に進めます。						担当課		健康推進課							
目標	-															
事業実施状況	・健康生活支援審議会健康づくり支援部会の開催 ・「けんこう帯広21」の推進						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
							事業費		0		0					
							特定財源		0		0					
							一般財源		0		0					
	指標名		-								単位					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値						
評価検証	-															

施策	1	取組	2	番号	7	事務事業	保健福祉センター等管理運営事業						
目的	保健福祉センター等の管理運営を通して、健康づくりや子育て支援など、各種福祉サービスを提供します。						担当課	健康推進課					
目標	-												
事業実施状況	・保健福祉センターの管理運営(利用者数38,578人) ・大正健康増進センターの管理運営(685人) ・川西健康増進センターの管理運営(1,983人)						単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
							事業費	45,020	41,285				
							特定財源	1,337	1,244				
							一般財源	43,683	40,041				
							指標名	-			単位		
							基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-												

施策	2	取組	1	番号	1	事務事業　のびのび子育て応援事業													
目的	地域担当保育士による乳児家庭訪問や保育所を活用した取り組み等により、家庭での子育てを支援します。					担当課		こども課											
目標	高校生や短大生などを対象とした、子どもの人権に対する理解促進を図る出前講座の参加者数について600人を目指します。																		
事業実施状況	・こにはちは赤ちゃん訪問事業の実施(481回) ・あそびの広場事業の実施(75回、357組、740人) ・保育所地域支援事業の実施 (保育と給食体験、親子で保育参加、小中高校生保育体験受け入れほか)(87組、157人) ・「子どもの権利条約」に係る出前講座の実施(17回、506人) ・サンデーファミリーの実施(6回、64組、195人)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
						事業費		1,927		1,962									
						特定財源		2,138		2,878									
						一般財源		△211		△916									
						指標名		出前講座の参加者数				単位		人					
						基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
						600				600 78				600 506				600	
						評価検証	R3年度の出前講座の参加者数は506人であり、目標を達成しませんでした。感染症対策により開催手法を検討し、オンライン開催などに取り組みましたが、予定していた一部の講座が実施できなかったことが要因であると考えます。												
近い将来、子育てを経験することになる高校生や大学生などに対し、子どもが享受すべき人権に対する理解促進を図るため、今後も様々な手法を検討しながら実施していくことが必要と考えます。																			

施策	2	取組	1	番号	2	事務事業	食育推進事業(保育所)				
目的	保育所での行事等を通して、児童の食に対する関心を高めるとともに、食と健康についての意識啓発を図ります。						担当課	こども課			
目標	食を通じた健康づくりを促進する食育講座（市主催）の1所あたりの平均参加人数について19人を目指します。										
事業実施状況	・行事での祝事食の提供(3回) ・ふるさと給食の提供(4回) ・保護者、児童向け食育講座の実施(5回、48人)						単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
							事業費	854	745		
							特定財源	0	0		
							一般財源	854	745		
	指標名	1所あたりの食育講座参加人数						単位	人		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
	17	19 3		19 6		19					
評価検証	R3年度の1所あたりの食育講座参加人数は6人であり、目標を達成しませんでした。感染症対策により開催手法を見直し、定員を減らしたことが要因であると考えます。 食を通じた健康づくりを促進するため、今後もオンライン開催や給食だよりの活用など様々な手法を検討しながら実施していくことが必要と考えます。										

施策	2	取組	1	番号	3	事務事業	子育て支援事業													
目的	子育て世代包括支援センターにおいて、子育て相談など多様な子育て支援事業を実施します。						担当課		子育て支援課											
目標	地域で子育てを支援するファミリーサポートセンター事業によるサポート件数について1,804件を目指します。																			
事業実施状況	・すこやかネット事業の実施(登録者数32人、アクセス数43,729件) ・絵本との出会い事業の実施(配布児童数1,007人) ・ファミリーサポートセンター事業の実施(会員数735人、援助活動件数1,510件) ・子育て応援事業所登録事業の実施(登録事業所数296事業所) ・利用者支援事業(基本型)の実施(セルフプラン作成数13件、支援プラン作成数80件) ・衛生用品等の購入支援(子育て支援総合センター・帯広ファミリーサポートセンターの2カ所)						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
							事業費		11,422		11,981									
							特定財源		21,423		22,248									
							一般財源		△10,001		△10,267									
							指標名		ファミリーサポートセンター事業の利用件数						単位		件			
							基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
							1,096				1,450 1,195				1,627 1,510				1,804	
評価検証	R3年度のファミリーサポートセンター事業の利用件数は1,510人であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、休校や学級閉鎖、習い事が休みとなり、送迎利用のキャンセルが多かったことなどが要因と考えます。利用件数は目標を下回りましたが、昨年度より利用件数が増加しており、特に就労による預かりや、保育所・幼稚園、習い事の送迎のニーズが高く、子育て世帯への支援の必要性が認められることから、今後も感染症対策を徹底しながら事業を継続していくことが必要と考えます。																			

事務事業評価表

施策	2	取組	1	番号	4	事務事業 歯科保健事業									
目的	幼児期の継続的な歯科健診等を通して、口腔の健康管理のための正しい知識の普及を図ります。					担当課	健康推進課								
目標	乳幼児の虫歯保有率の低下を目指します。														
事業実施状況	・集団歯科健診の実施 ・歯科医療機関での歯科健診、フッ化物塗布の実施					単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
						事業費	11,540		11,416						
						特定財源	0		0						
						一般財源	11,540		11,416						
						指標名	-						単位		
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R3年度は、1歳6か月児以降における定期的な歯科健診やフッ化物塗布の促進などにより、1歳6か月児から6歳児における虫歯保有率が平均1.2ポイント減少し、目標達成に向け進捗しています。														

施策	2	取組	1	番号	5	事務事業 食育推進事業（一般家庭）									
目的	料理教室などを通して、食と健康についての意識啓発や乳幼児期の栄養指導を行い、親子の健康の保持増進を図ります。								担当課		健康推進課				
目標	食と健康に関する理解を促進する料理教室の参加者数について42人を目指します。														
事業実施状況	・親子料理教室の開催(中止) ・パパと子の料理教室の開催(中止) ・離乳食教室の開催(参加者延167組) ・乳幼児栄養相談の実施					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
						事業費		825		778					
						特定財源		0		0					
						一般財源		825		778					
	指標名		親子料理教室、パパと子の料理教室の参加者数						単位		人				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値							
	42			42		42		42							
				0		0									
評価検証	R3年度の親子料理教室、パパと子の料理教室の参加者数は0人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症の影響により、料理教室の実施を見合わせたことが要因であると考えます。 今後は、感染状況に合わせた手法を検討していく必要があると考えます。														

施策	2	取組	1	番号	6	事務事業 地域子育て支援センター事業											
目的	地域子育て支援センターにおいて、育児相談や地域と親子の交流の場の提供を行い、地域での子育てを支援します。							担当課	子育て支援課								
目標	地域子育て支援センターが実施する子育てに関する講座等への参加組数の増加を目指します。																
事業実施状況	・地域子育て支援センターの運営(施設数6箇所、利用件数18,179件) ・地域子育て支援センター支援事業(参加組数2,061組) ・衛生管理用品等の購入支援(6箇所)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額						
					事業費		42,421		41,045								
					特定財源		39,509		38,090								
					一般財源		2,912		2,955								
					指標名		子育て支援センター支援事業参加組数						単位		組		
					基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値
					3,896				4,458 2,189				4,458 2,061		4,458		
	評価検証	R3年度の子育て支援センター支援事業参加組数は2,061組であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言期間中は相談対応以外の事業を中止したほか、再開後も感染症対策として講座等の参加組数を制限したことが要因であると考えます。各子育て支援センターでは、感染対策のため人数制限を設けながらも、子育て講座の回数を増やすなどの工夫を行い、利用者の育児不安の解消に努めました。育児相談や育児講座は利用者のニーズが高いことから、今後も感染症対策を徹底しながら、事業を継続していくことが必要と考えます。															

施策	2	取組	1	番号	7	事務事業 子ども発達支援事業										
目的	発達相談や早期療育の機会の提供により、発達の遅れや障害のある児童と家庭への支援を行います。						担当課		子育て支援課							
目標	子どもの発達に関する相談体制を維持します。															
事業実施状況	・発達支援センターの運営(延相談人数106人) ・こども発達相談室の運営(発達相談 相談件数650件、2・3・4歳児相談 相談件数266件) ・ことばの教室の運営(延相談人数198人) ・肢体不自由児機能訓練事業の実施(参加組数 親子212組) ・こども地域生活支援会議の開催(開催回数11回) ・難聴児の補聴器購入への支援(助成件数 7件)						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
							事業費		16,598		17,271					
							特定財源		630		620					
							一般財源		15,968		16,651					
							指標名		発達に心配のある子や障害児に関する相談件数				単位		件	
							基準値		R2		R3		R4			
									目標値 実績値		目標値 実績値		目標値 実績値			
							484		484 521		484 650		484 650		484	
評価検証	R3年度におけるこども発達相談室の相談件数は650件となりました。 こどもの発達に関する相談窓口として平成24年度に設置して以降、幼稚園や保育所、学校と連携しながら相談業務を行っており、保護者や関係機関に周知が進み、発達に心配のある子や障害児への相談に応じることができたものと考えます。															

施策	2	取組	1	番号	8	事務事業 母子保健サービス提供事業									
目的	妊娠・出産・育児に関する相談や支援を進め、精神的・経済的不安の軽減を図ります。							担当課		健康推進課					
目標	子育てに関する相談体制を維持します。														
事業実施状況	・母性相談の実施(相談件数延1,912件) ・訪問指導の実施(訪問件数延2,199件) ・特定不妊治療費の支援(延180件) ・不育症治療費の支援(延2件) ・妊娠中、産後早期の妊産婦への支援(産後ケア事業券延30件、産前産後サポート事業253件) ・利用者支援事業(母子保健型)の実施(1,122件)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
						事業費		19,864		20,216					
						特定財源		10,519		14,026					
						一般財源		9,345		6,190					
						指標名		妊娠、出産及び育児に関する相談件数				単位		件	
						基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	1,883			1,883 2,123		1,883 1,912		1,883							
	評価検証	R3年度の母性相談室での相談件数は1,912件となりました。 新型コロナウイルス感染症の影響により、来所での相談件数は微減しましたが、電話や家庭訪問により、妊娠、出産、育児不安等に関する相談に対応できたものと考えます。													

事務事業評価表

施策 2 取組 1 番号 9 事務事業 妊婦・乳幼児健康診査等事業										
目的	妊婦・乳幼児の健康診査等を通し、異常の早期発見や出産・育児に関する情報の提供・助言などを行い、母子の健康の保持増進を図ります。					担当課	健康推進課			
目標	乳幼児健康診査の受診体制を維持します。									
事業実施状況	・妊婦健康診査の実施(受診者延12,814人)									
	・乳幼児健康診査の実施(受診者延4,470人)									
	・両親教室の開催(参加者延178組)									
	・育児教室の開催(参加者延167組)									
	・すこやか親子教室の開催(参加者延703組)									
	単位:千円					R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
	事業費					117,837	113,591			
特定財源					0	0				
一般財源					117,837	113,591				
指標名					-				単位	
基準値					R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、乳幼児健診や教室を一時休止しましたが、日程の調整や感染対策の徹底により、年度内にすべての対象者に実施し、母子の健康状態等を把握することができており、目標達成に向け進捗しています。									

施策 2		取組 1		番号 10		事務事業 児童虐待予防・防止対策推進事業					
目的		虐待や育児に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携を進め、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。				担当課		子育て支援課			
目標		児童虐待等に関する相談体制を維持します。									
事業実施状況	・家庭児童相談室の運営(相談件数 893件) ・帯広市要保護児童対策地域協議会の開催 (代表者会議 1回、個別ケース検討会議44回)		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		5,659		5,235				
			特定財源		4,536		4,630				
			一般財源		1,123		605				
			指標名		-						単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R3年度は、要保護児童対策地域協議会の「個別ケース検討会議」において決定した支援方針に基づき、関係機関と連携して児童虐待の未然防止や早期発見、早期対応につなげており、適切な相談支援ができたものと考えます。										

施策 2 取組 1 番号 11 事務事業 児童手当支給事業												
目的	児童手当の支給により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。						担当課	こども課				
目標	-											
事業実施状況	・児童手当の支給(201,691件)				単位: 千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		2,231,247		2,189,609			
					特定財源		1,885,752		1,853,204			
					一般財源		345,495		336,405			
	指標名		-						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 2 取組 1 番号 12 事務事業 児童扶養手当支給事業									
目的	児童扶養手当の支給により、父子・母子家庭等の経済的負担の軽減を図ります。					担当課	こども課		
目標	-								
事業実施状況	・児童扶養手当の支給(2,037人)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		959,518	922,511			
			特定財源		321,629	306,634			
			一般財源		637,889	615,877			
			指標名		-				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 2 取組 1 番号 13 事務事業 乳幼児等医療費給付事業											
目的		乳幼児等医療費の給付により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。					担当課		こども課		
目標		-									
事業実施状況	・乳幼児等医療費の給付(125,741件)		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		232,460		279,845				
			特定財源		84,333		104,410				
			一般財源		148,127		175,435				
			指標名		-						単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 2 取組 1 番号 14 事務事業												ひとり親家庭等医療費給付事業													
目的		ひとり親家庭等への医療費の給付により、経済的負担の軽減を図ります。										担当課		こども課											
目標		-																							
事業実施状況		・ひとり親家庭等医療費の給付 (50,431件)										単位:千円		R2年度決算額				R3年度決算額				R4年度決算額			
												事業費		124,980				130,646							
												特定財源		30,294				32,396							
												一般財源		94,686				98,250							
		指標名		-										単位											
		基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値											
評価検証		-																							

事務事業評価表

施策 2 取組 1 番号 15 事務事業 未熟児養育医療給付事業										
目的	入院を必要とする未熟児に対して、養育に必要な医療の給付を行い、乳児の健康の保持および健やかな育成を図ります。					担当課	こども課			
目標	-									
事業実施状況	・未熟児養育医療の給付(29人)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		37,206		6,451				
		特定財源		16,961		15,096				
		一般財源		20,245		△8,645				
		指標名		-					単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 2 取組 1 番号 16 事務事業 助産施設入所費援助事業												
目的	経済的理由により、入院助産を受けられない妊産婦への分娩費用を援助し、経済的負担の軽減を図ります。						担当課		こども課			
目標	-											
事業実施状況	・助産施設入所費の援助(26人)				単位: 千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		8,842		13,762			
					特定財源		7,355		8,864			
					一般財源		1,487		4,898			
					指標名		-					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 2 取組 1 番号 17 事務事業 母子家庭等日常生活支援事業															
目的	一時的な生活援助や保育サービスを必要とするひとり親家庭等に家庭生活支援員を派遣し、日常生活を支援します。						担当課	こども課							
目標	-														
事業実施状況	・家庭生活支援員による家事、育児の支援(14件)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
					事業費		178		232						
					特定財源		128		155						
					一般財源		50		77						
					指標名		-						単位		
					基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-														

施策 2 取組 1 番号 18 事務事業 子育て短期支援事業									
目的	家庭における養育が一時的に困難となった児童を、児童養護施設において受け入れます。					担当課	子育て支援課		
目標	-								
事業実施状況	・児童養護施設における一時的養育の実施(延利用児童数1人、延利用日数7日) ・衛生管理用品等の購入支援(1箇所)	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費	653		78				
		特定財源	709		272				
		一般財源	△56		△194				
		指標名	-					単位	
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 2 取組 1 番号 19 事務事業 介護給付・地域生活支援事業														
目的	心身障害児へデイサービスの提供などにより、心身機能の維持向上や家庭の負担軽減を図ります。							担当課		子育て支援課				
目標	-													
事業実施状況	・自立支援給付の実施(受給児童数49人) ・地域生活支援事業の提供(受給児童数344人) ・障害児通所給付の実施(受給児童数1,245人) ・相談支援給付の実施(受給児童数462人)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
					事業費		1,076,118		1,216,022					
					特定財源		597,402		802,598					
					一般財源		478,716		413,424					
					指標名		-				単位			
					基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-													

施策 2 取組 1 番号 20 事務事業 特別児童扶養手当事業											
目的		20歳未満の身体又は精神に障害のある児童を養育する父母又は養育者に対する特別児童扶養手当の支給に関する事務を行います。					担当課		子育て支援課		
目標		-									
事業実施状況	・特別児童扶養手当の支給事務(受給資格者数501人)		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		105		106				
			特定財源		942		1,443				
			一般財源		△837		△1,337				
			指標名		-						単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 2 取組 2 番号 1 事務事業 保育士等資質向上事業										
目的	研修会の開催などにより、保育士等の資質向上を図ります。					担当課	こども課			
目標	保育士研修会や保育士向けゼミ講習会、保育実践交流会の参加者数について1,338人を目指します。									
事業実施状況	・保育士等研修会の開催(2回570人) ・私立保育所で構成する研修団体への支援 ・保育士の研修会参加に係る支援	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費	344		424					
		特定財源	0		45					
		一般財源	344		379					
		指標名	保育士等の資質向上にむけた研修会の参加者数					単位	人	
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		1,227	1,338 141		1,338 570		1,338			
評価検証	R3年度の保育士等の資質向上にむけた研修会の参加者数は570人であり、目標を達成しませんでした。感染状況を見ながら一部の研修会を開催したほか、オンライン形式の研修へ積極的に参加したものの、集合形式での会議・研修の多くが中止となったことが要因であると考えます。市内の保育関係者の合同研修・情報交換の場をつくり、市内の保育内容のレベルを向上させていくため、今後もオンライン開催を含めた様々な手法を検討しながら研修機会の確保を行っていくことが必要と考えます。									

施策 2 取組 2 番号 2 事務事業 病後児保育事業									
目的	多様な保育ニーズに対応するため、病気の回復期にある児童の受け入れを行います。					担当課	こども課		
目標	病気の回復期にある児童の受入体制を維持します。								
事業実施状況	・病後児保育の実施(延利用児童数179人)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
			事業費		6,483	7,813			
			特定財源		4,285	5,371			
			一般財源		2,198	2,442			
			指標名		-				単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、子育て家庭における多様な保育ニーズに対応し、新型コロナウイルスの感染拡大による影響はあったものの、病気の回復期にある児童を対象とした病後児保育を実施するなど、病後児童に対する適切な保育支援ができたものと考えます。								

施策 2 取組 2 番号 3 事務事業 公立保育所管理運営事業										
目的	公立保育所の管理運営により、安定した保育サービスを提供します。					担当課	こども課			
目標	-									
事業実施状況	・公立保育所の管理運営(8所) ・乳児保育(5所)、延長保育(8所)、一時保育(2所)、休日保育(1所)、特別支援保育(8所)の実施 ・保育料、副食費の賦課・徴収 ・収納率向上対策の推進 ・衛生管理用品等の購入	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		943,868		926,759				
		特定財源		638,976		593,893				
		一般財源		304,892		332,866				
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 2 取組 2 番号 4 事務事業 私立保育所運営事業										
目的	社会福祉法人等に保育業務を委託し、保育需要を踏まえた保育サービスを提供します。					担当課	こども課			
目標	-									
事業実施状況	・私立保育所への保育業務委託(21所) ・乳児保育(20所)、延長保育(21所)、一時保育(1所)、特別支援保育(21所)の実施 ・衛生管理用品等の購入支援	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費	2,515,654		2,527,057					
		特定財源	1,818,437		1,790,054					
		一般財源	697,217		737,003					
		指標名	-					単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 2 取組 2 番号 5 事務事業 地域型保育事業運営事業										
目的	小規模保育事業などの地域型保育事業を実施することにより、保育需要を踏まえた保育サービスを提供します。					担当課	こども課			
目標	-									
事業実施状況	・地域型保育事業給付の実施(小規模保育事業所4所、事業所内保育所1所) ・衛生管理用品等の購入支援		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		196,373		194,794			
			特定財源		126,952		133,482			
			一般財源		69,421		61,312			
			指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 2 取組 2 番号 6 事務事業 認定こども園等施設給付事業										
目的	施設給付の実施により、認定こども園等が行う教育・保育サービスの提供を支援します。						担当課	こども課		
目標	-									
事業実施状況	・認定こども園(10園)や施設型給付を受ける幼稚園(7園)への施設給付の実施 ・衛生管理用品等の購入支援	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費	1,116,743		1,234,298					
		特定財源	779,255		921,339					
		一般財源	337,488		312,959					
		指標名	-					単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策	2	取組	2	番号	7	事務事業 児童保育センター管理運営事業									
目的	児童保育センターの管理運営により、就学児童の安心な居場所の確保や健全育成を図ります。					担当課		こども課							
目標	-														
事業実施状況	・児童保育センターの管理運営 ・衛生管理用品等の購入支援					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
						事業費		814,995		777,157					
						特定財源		465,216		436,591					
						一般財源		349,779		340,566					
	指標名		-								単位				
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値					
評価検証	-														

施策	2	取組	2	番号	8	事務事業 幼稚園教育環境整備支援事業													
目的	幼稚園の特色ある教育等の支援を通して、児童の教育環境の整備を促進します。										担当課		こども課						
目標	-																		
事業実施状況	・幼稚園の教育環境整備への支援 (教員研修、スケートリンク造成、特別支援教育ほか)(14園)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
						事業費		14,353		11,312									
						特定財源		0		0									
						一般財源		14,353		11,312									
						指標名		-								単位			
						基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値						
評価検証	-																		

施策	2	取組	2	番号	9	事務事業 公立保育所整備事業													
目的	公立保育所の施設整備を実施し、保育環境を整備します。										担当課	こども課							
目標	-																		
事業実施状況	・公立保育所の施設整備(緑ヶ丘保育所)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
						事業費		0		9,053									
						特定財源		0		6,200									
						一般財源		0		2,853									
						指標名		-								単位			
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-																		

施策	2	取組	2	番号	10	事務事業 私立保育所整備事業									
目的	私立保育所の施設整備を支援し、保育環境を整備します。										担当課	こども課			
目標	-														
事業実施状況	・私立保育所建設費、施設整備費償還への支援(8施設)					単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
						事業費	66,704		66,174						
						特定財源	0		0						
						一般財源	66,704		66,174						
	指標名					-					単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値							
評価検証	-														

施策	2	取組	2	番号	11	事務事業 認定こども園整備事業									
目的	私立認定こども園の施設整備を支援し、保育環境を整備します。							担当課	こども課						
目標	-														
事業実施状況	・認定こども園建設費への支援					単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
						事業費	0		11,550						
						特定財源	0		10,700						
						一般財源	0		850						
	指標名					-					単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値							
評価検証	-														

施策	2	取組	2	番号	12	事務事業 児童保育センター整備事業														
目的	児童保育センターの施設整備を実施し、就学児童の保育環境を整備します。						担当課	こども課												
目標	-																			
事業実施状況	・児童保育センターの施設整備(大空)						単位:千円		R2年度決算額				R3年度決算額				R4年度決算額			
							事業費		37,012				4,240							
							特定財源		37,011				2,826							
							一般財源		1				1,414							
	指標名		-										単位							
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値										
評価検証	-																			

事務事業評価表

施策	2	取組	2	番号	13	事務事業	子育てのための施設等利用給付事業									
目的	認可外保育施設等の利用料の給付により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。						担当課		こども課							
目標	-															
事業実施状況	・認可外保育施設等の利用者負担の支援(認可外保育施設、幼稚園、預かり事業ほか)						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
							事業費		175,249		139,001					
							特定財源		129,839		108,153					
							一般財源		45,410		30,848					
	指標名		-								単位					
	基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値						
				実績値			実績値			実績値						
評価検証	-															

施策	2	取組	3	番号	1	事務事業	待機児童対策事業											
目的	認可保育所(地域型保育事業含む)に入所できない児童を、認可外保育施設で受け入れることにより、待機児童対策を進めます。						担当課		こども課									
目標	認可外保育施設における保育受入体制を確保します。																	
事業実施状況	・待機児童対策事業の実施(利用児童数 20人)						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
							事業費		3,090		4,383							
							特定財源		0		0							
							一般財源		3,090		4,383							
							指標名		-						単位			
							基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	R3年度は、認可外保育施設において認可保育所に入所できない児童の受入をはじめ、多様な保育ニーズに対応した取り組みを実施し、待機児童に対する適切な受入支援ができたものと考えます。																	

施策	2	取組	3	番号	2	事務事業	母子家庭等就業・自立支援事業													
目的	母子・父子自立支援員等による相談や母子家庭等就業・自立支援センター事業による就労支援を行い、ひとり親家庭等の自立を促進します。						担当課	こども課												
目標	ひとり親家庭等に対する相談体制や母子家庭等就業・自立支援センターによる就労支援体制を維持します。																			
事業実施状況	・母子・父子自立支援員及び就業支援専門員の配置 ・母子家庭等就業・自立支援センター事業の実施						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
							事業費		7,664		7,725									
							特定財源		1,000		1,000									
							一般財源		6,664		6,725									
							指標名		-								単位			
							基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	R3年度は、支援員による相談対応や、母子家庭等就業・自立支援センターによる就労支援を実施するなど、ひとり親家庭等の自立に向けた相談支援ができたものと考えます。																			

施策	2	取組	3	番号	3	事務事業	母子家庭等自立支援事業									
目的	就職のための教育訓練、職業訓練への支援により、ひとり親家庭の自立を促進します。						担当課		こども課							
目標	-															
事業実施状況	・自立支援教育訓練給付金の支給 ・高等職業訓練促進給付金等の支給 ・高等学校卒業程度認定試験合格支援費の支給						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
							事業費		13,972		10,227					
							特定財源		10,896		8,833					
							一般財源		3,076		1,394					
							指標名		-						単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値						
評価検証	-															

施策	2	取組	3	番号	再	事務事業	労働環境整備促進事業<再掲9-4-2>															
目的	労働相談の実施や子どもを生み育てやすい職場環境づくりなど、勤労者が安心して働くことができる環境整備を促進します。						担当課		商業労働課													
目標	-																					
事業実施状況	・子育て応援事業所促進事業の実施						単位:千円		R2年度決算額				R3年度決算額				R4年度決算額					
							事業費		-				-									
							特定財源		-				-									
							一般財源		-				-									
							指標名		-										単位			
							基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値						
										実績値			実績値			実績値						
評価検証	-																					

施策	2	取組	3	番号	再	事務事業	女性活躍推進事業<再掲22-3-1>										
目的	育児・介護休業制度等の周知や意識啓発などにより、男女がともに仕事と家庭生活が両立できる環境づくりを進めます。						担当課	市民活動課									
目標	-																
事業実施状況	・各種審議会等への女性の登用促進 ・女性活躍に関する講座の開催 ・ワークライフバランス啓発資料等の作成・配布						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
							事業費		-		-						
							特定財源		-		-						
							一般財源		-		-						
							指標名		-						単位		
	基準値		R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値									
				実績値		実績値		実績値									
評価検証	-																

事務事業評価表

施策 2 取組 4 番号 1 事務事業 子ども・若者支援地域協議会事業										
目的	円滑な社会生活を送る上で不安や困難を抱える子ども・若者を支援します。				担当課	地域福祉課				
目標	不安や困難を抱える子どもや若者等の心の不安や悩み、困り事に関する相談体制を維持します。									
事業実施状況	・子ども・若者支援地域協議会の開催 ・ヤングテレホン相談の実施(247件)		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		3,209		3,184			
			特定財源		0		0			
			一般財源		3,209		3,184			
			指標名		ヤングテレホン相談件数				単位	件
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値
	103		103 195		103 247		103 247		103 247	
評価検証	R3年度におけるヤングテレホン相談件数は247件となりました。 心の不安や悩み・困りごとに関する相談体制を維持し、相談窓口の周知などにより、不安や困難を抱える子どもや若者への相談に応じることができたものと考えます。									

施策 2 取組 4 番号 2 事務事業 青少年センター事業									
目的	街頭巡回活動などを通じて、青少年非行の防止と社会環境の改善を推進します。					担当課	学校地域連携課		
目標	青少年の非行などに対する巡回指導の1回当たりの指導数について0.58人を目指します。								
事業実施状況	・子ども110番の家の設置(1,009箇所) ・街頭巡回指導の実施 ・非行防止啓発事業の実施 ・出前講座の実施(0回) ・社会環境改善活動の実施 ・有害情報防止対策啓発事業	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		10,900	9,359				
		特定財源		0	0				
		一般財源		10,900	9,359				
		指標名	巡回指導による声かけ指導数				単位	人	
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
		0.92		0.73 1.67		0.65 1.47		0.58	
評価検証	R3年度の街頭巡回による指導数は1.47人であり、目標を達成しませんでした。 巡回時の声かけや啓発チラシを通して、自転車のながらスマホ走行などに対する注意喚起を促しているものの、依然として走行中の画面操作や音楽視聴などの割合が高い水準にあることから、今後も、警察署や生徒指導機関と連携しながら、走行ルールの徹底を図っていく必要があると考えます。								

施策 2 取組 4 番号 3 事務事業 青少年健全育成事業														
目的	家庭、地域、学校、関係機関等との連携により、青少年健全育成活動を推進します。					担当課	学校地域連携課							
目標	ジュニアリーダー養成事業や、子どもたちの豊かな人間性、社会性を養う体験活動の参加者数を維持します。													
事業実施状況	・帯広市青少年問題協議会の開催(1回) ・帯広市青少年育成者連絡協議会への支援 (各種事業中止により、補助金交付なし)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
						事業費		9,269		10,815				
						特定財源		0		0				
						一般財源		9,269		10,815				
	指標名		-								単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値						
評価検証	R3年度は、新型コロナウイルス感染症対策により帯広市青少年育成者連絡協議会の事業の多くが中止となったため、目標達成に向けあまり進捗していません。今後も、実施手法の見直しを検討しながら青少年の健全育成を促進していく必要があると考えます。													

施策 2 取組 4 番号 再 事務事業 体験活動機会提供事業（学校地域連携課）＜再掲12-1-2＞												
目的	体験機会の提供などにより、青少年の社会性を育みます。							担当課	学校地域連携課			
目標	-											
事業実施状況	・中学生からのメッセージ事業の実施 ・十勝子ども雪合戦の開催 ・おびひろキッズタウンの開催				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		-		-			
					特定財源		-		-			
					一般財源		-		-			
					指標名		-					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 2 取組 4 番号 再 事務事業 青少年活動支援事業（学校地域連携課）＜再掲12-1-3＞														
目的	青少年育成団体などと連携し、体験活動や宿泊研修を通して、積極的に地域や学校での活動に取り組む青少年のリーダー養成を進めます。						担当課		学校地域連携課					
目標	-													
事業実施状況	・ジュニアリーダーの養成 （地域子ども会リーダー宿泊研修会の開催、北海道地域子ども会リーダー研修会への派遣、ジュニアリーダーの育成支援）						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
							事業費		-		-			
							特定財源		-		-			
							一般財源		-		-			
							指標名		-					
	基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値				
				実績値			実績値			実績値				
評価検証	-													

施策 2 取組 0 番号 1 事務事業 おびひろこども未来プラン推進事業												
目的	審議会等の運営を通して、おびひろこども未来プランを推進し、子どもに関する施策を総合的に進めます。						担当課	こども課				
目標	-											
事業実施状況	・おびひろこども未来プランの推進 ・健康生活支援審議会児童育成部会の開催(3回) ・こども未来基金の管理				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		13,491		41,339			
					特定財源		13,318		41,179			
					一般財源		173		160			
					指標名		-					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 2 取組 0 番号 2 事務事業 子育て世帯特別給付事業											
目的		給付金の支給により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への生活支援を行います。					担当課		こども課		
目標		-									
事業実施状況	・子育て世帯臨時特別給付金(R2年度11,830世帯、R3年度13,604世帯)		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		207,477		2,287,902				
			特定財源		209,477		2,331,776				
			一般財源		△2,000		△43,874				
			指標名		-						単位
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証		-									

施策 2 取組 0 番号 3 事務事業 ひとり親世帯臨時特別給付事業												
目的	給付金の支給により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯への生活支援を行います。						担当課		こども課			
目標	-											
事業実施状況	・子育て世帯生活支援特別給付金(2,700世帯)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		0		225,483			
					特定財源		0		310,625			
					一般財源		0		△85,142			
					指標名		-					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 3 取組 1 番号 1 事務事業 成年後見制度利用支援事業									
目的	本人に代わり契約や財産管理を行う成年後見制度の利用支援により、高齢者等の権利擁護を図ります。				担当課	地域福祉課			
目標	成年後見支援センターにおける法人後見支援員の登録者数について81人を目指します。								
事業実施状況	・成年後見制度の利用支援(登録者65人) ・市民後見制度の啓発 ・市民後見人養成講座の開催(10人) ・成年後見支援センターの運営		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		21,501	22,714			
			特定財源		1,791	6,035			
			一般財源		19,710	16,679			
			指標名	市民後見人養成人数			単位	人	
			基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
			55	67 75		73 65		81	
評価検証	令和3年度の法人後見支援員の登録者数は65人であり、目標を達成しませんでした。 市民後見制度の啓発による新規登録者よりも、高齢化や家庭の事情により活動が難しいなどの理由で登録を抹消した方が上回ったことが要因と考えます。 今後も持続的な権利擁護を図っていくため、成年後見人制度利用者の増加を見据えた市民後見制度の啓発や、法人後見支援員の育成を継続していくことが必要と考えます。								

施策 3 取組 1 番号 2 事務事業 地域福祉推進事業									
目的	市民や関係団体等との連携により、高齢者や障害者等とともに支え合う地域福祉の環境づくりを進めます。				担当課	地域福祉課			
目標	地域において高齢者や障がいのある人等を支える環境づくりを進めるため、ボランティア養成講座の参加者数の増加を目指します。								
事業実施状況	・地域交流サロンの活動促進 ・戦没者追悼式の実施 ・福祉基金の管理 ・社会福祉法人の指導監査(3件) ・グリーンプラザの管理運営 ・帯広市社会福祉協議会への支援 ・ボランティア養成講座(2回30人) ・地域密着型サービス運営委員会の開催(3回) ・介護、障害サービス事業所等の指定・指導監査(指導30件)	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		107,181	151,669				
		特定財源		20,240	39,970				
		一般財源		86,941	111,699				
		指標名		-			単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度における社会福祉協議会によるボランティア養成講座の参加者数は、前年度と比べ減少しており、目標達成に向けあまり進捗していません。 オンライン研修を活用し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図ったほか、動画資料を希望者に貸し出し、自己研修に活用可能とするなど、工夫を図ったものの、結果的に参加者数が減ったものです。 地域福祉の環境づくりを進めるため、今後も感染症対策を徹底し、内容や手法の改善を図りながら事業を継続していくことが必要と考えます。								

事務事業評価表

施策 3 取組 2 番号 1 事務事業 民生委員・児童委員活動推進事業													
目的	民生委員・児童委員の配置や支援により、地域における相談活動を推進します。					担当課		地域福祉課					
目標	民生委員・児童委員による相談・支援体制を維持します。												
事業実施状況	・民生委員・児童委員の配置 ・民生委員・児童委員への活動支援（相談件数11,290件）					単位：千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費		26,759		26,408			
						特定財源		23,399		23,399			
						一般財源		3,360		3,009			
	指標名		民生委員・児童委員の相談・支援件数					単位		件			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値			
	10,908		10,908		10,908		10,908		10,908				
			10,847		11,290								
評価検証	R3年度における民生委員・児童委員の相談件数は11,290件となりました。 民生委員・児童委員を新たに委嘱し、委員数を維持したことにより、地域住民の困りごとへの相談に応じることが出来たものと考えます。 引き続き各地区の民生委員・児童委員による相談体制を維持し、地域福祉の環境づくりを進めます。												

施策 3 取組 2 番号 2 事務事業 地域福祉包括支援事業																			
目的	地域福祉にかかる関係団体等との連携等により、複合的な課題を抱える人や世帯に対し、包括的な支援を進めます。					担当課		地域福祉課											
目標	複合的な課題を抱える人や世帯に対して包括的な支援を行う体制づくりを進めます。																		
事業実施状況	・地域福祉関係団体との協議 ・きつきネットワーク事業の推進 ・包括的な相談、調整の推進					単位：千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
						事業費		0		0									
						特定財源		0		0									
						一般財源		0		0									
						指標名		-						単位					
						基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、包括的な相談体制推進に向け、庁内関係各課が連携し複合的な相談事例の検討や窓口職員等の研修を実施したほか、庁外関係機関との協議も行いました。 また、きつきネットワーク事業により地域の見守り体制の強化が図られており、目標達成に向け進捗しています。																		

施策 3 取組 2 番号 再 事務事業 地域包括支援センター運営事業<再掲4-1-1>																
目的	高齢者の健康の保持や生活の安定のために必要な支援を行うなど、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。						担当課	地域福祉課								
目標	-															
事業実施状況	・総合相談支援の実施 ・権利擁護の支援 ・包括的・継続的ケアマネジメントの支援 ・介護予防ケアマネジメントの実施 ・地域ケア会議の開催 ・ひとり暮らし高齢者等の支援 ・家族介護者リフレッシュ事業の実施					単位：千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
						事業費		-		-						
						特定財源		-		-						
						一般財源		-		-						
						指標名		-					単位			
						基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-															

施策 3 取組 2 番号 再 事務事業 生活困窮者自立促進支援事業<再掲7-3-2>													
目的	生活困窮者の状態に応じた相談支援等を実施し、困窮状態からの早期自立を促進します。					担当課		生活支援第1課・第2課					
目標	-												
事業実施状況	・生活困窮者の自立相談支援 ・生活困窮者の就労準備支援 ・住居確保給付金の支給 ・生活困窮世帯(被保護世帯含む)の子どもの学習支援					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費		-		-			
						特定財源		-		-			
						一般財源		-		-			
	指標名		-							単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 3 取組 0 番号 1 事務事業 地域福祉計画推進事業														
目的	健康生活支援審議会の運営を通して、地域福祉計画に基づき、保健・福祉・医療に関する施策を総合的に推進します。						担当課		地域福祉課					
目標	-													
事業実施状況	・健康生活支援審議会の開催(2回) ・地域福祉計画の推進					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
						事業費		1,547		666				
						特定財源		0		0				
						一般財源		1,547		666				
	指標名		-								単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-													

施策 3 取組 0 番号 2 事務事業 新型コロナウイルス対策に伴う給付事業														
目的	給付金の支給により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている世帯への支援を行います。					担当課		地域福祉課						
目標	-													
事業実施状況	・特別定額給付金(R2年度165,300人) ・臨時特別給付金(R3年度23,042世帯)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
						事業費		16,660,521		2,351,796				
						特定財源		16,660,521		2,318,196				
						一般財源		0		33,600				
	指標名		-								単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-													

事務事業評価表

施策 4 取組 1 番号 1 事務事業 地域包括支援センター運営事業										
目的	高齢者の健康の保持や生活の安定のために必要な支援を行うなど、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。				担当課	地域福祉課				
目標	高齢者等の生活に関わる課題等の解決に向けて話し合う地域ケア会議への参加者数について455人を目指します。									
事業実施状況	・総合相談支援の実施(12,894件) ・権利擁護の支援 ・包括的・継続的ケアマネジメントの支援 ・介護予防ケアマネジメントの実施 ・地域ケア会議の開催(55回598人) ・ひとり暮らし高齢者等の支援 ・家族介護者リフレッシュ事業の実施(4回50人)	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費	163,382		163,519					
		特定財源	131,931		132,042					
		一般財源	31,451		31,477					
		指標名	地域ケア会議参加者数					単位	人	
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		395		425 355		440 598		455		
評価検証	R3年度の地域ケア会議参加者数は598人であり、目標を達成しました。オンラインでの開催など感染対策を講じた上で実施したことが要因であると考えます。 今後も高齢者等の生活に係る課題等の解決に向け、ケアマネや医療職など多様な関係機関との連携体制構築を図り、感染対策を継続しながら、書面やオンライン開催など感染状況に合わせ実施していきます。									

施策 4 取組 1 番号 2 事務事業 認知症高齢者見守り事業									
目的	認知症に関する理解を促進し、認知症の人やその家族を地域で支える環境づくりを進めます。				担当課	地域福祉課			
目標	認知症の人やその家族に対して手助けをする認知症サポーターの養成を図る講座の受講者数について2,114人を目指します。								
事業実施状況	・認知症サポーター養成講座の開催(58回2,961人) ・認知症高齢者等SOSネットワークの運用 ・認知症地域支援推進員の配置 ・認知症初期集中支援推進事業 ・認知症カフェの開催 ・認知症ケアパス(認知症ガイドブック)の作成	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	24,292	23,964					
		特定財源	19,369	19,351					
		一般財源	4,923	4,613					
		指標名	認知症サポーター養成講座受講者数				単位	人	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	1,856		2,114 3,134		2,114 2,961		2,114		
評価検証	R3年度の認知症サポーター養成講座受講者数は2,961人であり、目標を達成しました。令和2年度に引き続き、おびひろ市民学における取り組みの一つとして市内の小中学校でも講座を開催したことから、児童生徒を中心にサポーターが増えたことが要因であると考えます。今後も認知症の人やその家族を地域で支える環境づくりを進めます。								

施策 4 取組 1 番号 3 事務事業 介護予防日常生活支援総合事業										
目的	社会参加を促す介護予防事業や、訪問型及び通所型サービスなどの多様なサービスを提供し、介護予防及び重症化の防止を図ります。				担当課	地域福祉課				
目標	高齢者等の住み慣れた地域での生活を支援するボランティア団体等の数について8団体を目指します。									
事業実施状況	・介護予防生活支援サービスの提供 ・一般介護予防事業 (介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業、地域リハビリテーション活動支援事業ほか) ・生活支援コーディネーターの配置 (9人) ・生活支援サービスに関わる協議体の設置	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	559,552	587,641						
		特定財源	483,845	508,510						
		一般財源	75,707	79,131						
		指標名	地域住民主体の生活支援を行う団体等の数				単位	団体		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		1		4 1	6 1	8				
評価検証	R3年度の地域住民主体の生活支援を行う団体等の数は1団体であり、目標を達成しませんでした。一部の圏域では、地域住民主体の単発的な支援実施や団体創出に向けた協議が行われたものの、住民間での感染症対策に対する意識の差や活動休止団体の再開支援など、圏域ごとの状況や取り組むべき課題が多様であり、生活支援を行う団体等の増加には至りませんでした。									
	高齢者等の生活支援ニーズは高まっていることから、今後も活動と感染症対策との両立を図りつつ、各圏域の課題に応じたコーディネートに取り組んでいく必要があると考えています。									

施策 4 取組 1 番号 4 事務事業 高齢者在宅生活支援事業									
目的	高齢者やその家族の相談に応じ、必要なサービスを提供するなど在宅高齢者の生活を支援します。				担当課	介護高齢福祉課			
目標	在宅高齢者の生活を支援するため、民間サービスも含めた様々なサービスを活用できる体制づくりを進めます。								
事業実施状況	・高齢者等の相談支援(相談件数1,370件) ・ひとり暮らし高齢者登録による生活支援の実施(登録者2,007人) ・ねたきり・認知症高齢者登録による生活支援の実施(登録者120人) ・理美容・クリーニングサービスの実施 (延利用件数 理美容 294件) (延利用件数 クリーニング 113件) ・在宅生活援助サービス事業の実施(延利用件数 197件) ・家族介護用品の支給(延利用件数944件) ・緊急通報システム事業の実施(設置台数571台) ・宅配事業者等による訪問活動の実施(延利用件数49,802件) ・配食サービスの実施(配食数69,077食)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
		事業費		73,775		45,954			
		特定財源		32,166		20,161			
		一般財源		41,609		25,793			
		指標名		-				単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度は、在宅高齢者の生活を支えるため、引き続き公的サービスの周知等により利用促進を図ったほか、新たな民間サービスの活用に向けての情報収集に努めました。また、配食サービス事業の将来的な民間移行を見据えた事業内容の見直しを行ったことで、新たに事業者2者が参画しており、目標達成に向けて進捗しています。								

施策	4	取組	1	番号	5	事務事業 高齢者虐待防止事業				
目的	地域包括支援センターや関係機関との連携により、高齢者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。					担当課	介護高齢福祉課			
目標	高齢者等に対する虐待防止への理解を促進する研修会の参加者数の増加を目指します。									
事業実施状況	・高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催(1回) ・高齢者虐待防止研修会の開催(オンライン開催 1回) ・被虐待高齢者の保護、支援(通報件数34件、認定件数4件)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費	46	41		
						特定財源	37	33		
						一般財源	9	8		
						指標名	-			単位
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため高齢者虐待防止研修会をオンラインにより開催しましたが、対面による開催と比して参加者に限りがあったため、目標達成に向けあまり進捗していません。 今後、地域における感染状況を見定めながら研修会を企画するほか、ホームページ等の多様な媒体を活用して高齢者虐待防止に関する普及啓発を促進していく必要があります。									

施策	4	取組	1	番号	6	事務事業 在宅医療・介護連携推進事業				
目的	在宅医療と介護の連携を推進し、高齢者が住み慣れた地域で暮らすための支援体制づくりを進めます。					担当課	地域福祉課			
目標	医療と介護の関係者が連携できる体制づくりを進めます。									
事業実施状況	・在宅医療・介護ネットワーク会議の開催(2回) ・多職種連携研修会の開催 ・医療と介護の連携体制構築 ・在宅医療に関する地域住民への普及啓発					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費	3,125	3,225		
						特定財源	2,524	2,604		
						一般財源	601	621		
						指標名	-			単位
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R3年度は、在宅医療・介護ネットワーク会議や、多職種連携研修会の開催、関係機関の平時の連携体制構築に向けた協議などを行いました。 市内医療機関及びケアマネジャー向けの調査結果において、ケアマネジャーの医療機関に対する意識改善や、相談窓口や対応時間を明示する医療機関が増加するなど、医療と介護の関係者間の連携が進んでおり、目標達成に向け進捗しています。									

事務事業評価表

施策	4	取組	1	番号	7	事務事業	生活支援ハウス運営事業										
目的	生活支援ハウスの運営支援を通して、介護支援、居住、交流などの機能を総合的に提供し、高齢者の自立した生活を支援します。						担当課		介護高齢福祉課								
目標	-																
事業実施状況	・生活支援ハウスへの運営支援(定員40名、月平均入居者29名)						単位:千円		R2年度決算額			R3年度決算額			R4年度決算額		
							事業費		42,402			42,225					
							特定財源		7,658			8,164					
							一般財源		34,744			34,061					
							指標名		-						単位		
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値							
評価検証	-																

施策 4 取組 1 番号 8 事務事業 地域介護・福祉空間整備事業																				
目的	地域密着型の小規模介護施設の整備などを支援し、日常生活圏域内で高齢者が安心して生活できる環境整備を進めます。						担当課		介護高齢福祉課											
目標	-																			
事業実施状況	・認知症高齢者グループホームに対する家族面会室の整備経費支援(介護施設等における新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業)(3施設)						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
							事業費		128,876		4,084									
							特定財源		128,876		4,084									
							一般財源		0		0									
							指標名		-								単位			
							基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値						
評価検証	-																			

施策 4 取組 1 番号 9 事務事業 老人福祉施設等整備補助事業										
目的	民間事業者との連携により、各種老人福祉施設の整備を促進し、在宅生活が困難な高齢者を支援します。					担当課	介護高齢福祉課			
目標	-									
事業実施状況	・特別養護老人ホーム建設費償還への支援(6施設) ・生活支援ハウス建設費償還への支援(1施設)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		52,041		51,250				
		特定財源		0		0				
		一般財源		52,041		51,250				
		指標名		-					単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 4 取組 1 番号 10 事務事業 老人保護措置事業										
目的	養護老人ホームへの入所措置により、在宅での生活が困難な高齢者の生活の安定を図ります。					担当課	介護高齢福祉課			
目標	-									
事業実施状況	・養護老人ホームへの入所措置(月平均入居者173名)		単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費	326,929		324,125				
			特定財源	84,704		91,452				
			一般財源	242,225		232,673				
	指標名	-						単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 4 取組 2 番号 1 事務事業 高齢者おでかけサポートバス事業											
目的	バスの無料乗車証の交付により、高齢者の外出・移動を支援し、社会参加の促進や健康の維持増進などを図ります。						担当課	介護高齢福祉課			
目標	高齢者の社会参加を促進するバス無料乗車証の交付率について67.6%を目指します。										
事業実施状況	・高齢者バス無料乗車証の交付(交付率62.9%) ・高齢者の社会参加などを促進する「いきいき元気事業」の実施 (「まちなか」利用者数 10,263人)	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
		事業費	170,098		168,457						
		特定財源	803		698						
		一般財源	169,295		167,759						
		指標名	バス無料乗車証の交付率						単位	%	
		基準値	R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
		63.2		65.4 63.5			66.5			67.6	
評価検証	R3年度のバス無料乗車証の交付率は62.9%であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛によりバスを利用する機会が減り、例年より無料乗車証の交付を求める人が少なかったものと考えます。今後も事業の啓発を行い利用促進に努めます。										

施策 4 取組 2 番号 2 事務事業 老人クラブ等活動支援事業											
目的		老人クラブへの支援などにより、高齢者の知識・経験を活かした社会活動や生きがいづくりを促進します。				担当課		市民活動課			
目標		高齢者の生きがい創出などにつながる老人クラブの活動の継続を目指します。									
事業実施状況	・検討委員会の開催(4回) ・老人クラブ等への支援(107団体、4,506人) ・市公用バスの貸出(7件、107人)		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		29,421		28,370				
			特定財源		5,355		5,401				
			一般財源		24,066		22,969				
			指標名		-				単位		
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	趣味の活動や交流の場の多様化、高齢者就業の増加などを背景に、老人クラブへの新規入会の減少、会員の高齢化が進行、役員の負担感の増大や、活動の継続性など、様々な面で課題が生じています。こうした状況を踏まえ、R3年度は、関係団体とともに、これからの老人クラブ活動に関する検討委員会を設置し、市老連・地区老連の役割や活動の必要性、友愛訪問活動や、今後の支援のあり方などについて協議を行い、市として提言書を受理しました。今後、関係団体と連携しながら、対応方策の具体化を進めていく考えであり、目標達成に向けて進捗しています。										

事務事業評価表

施策	4	取組	2	番号	3	事務事業 敬老祝金支給事業									
目的	敬老祝金の贈呈を通して、高齢者の生きがいづくりや市民の敬老意識の向上につなげます。						担当課		介護高齢福祉課						
目標	-														
事業実施状況	・敬老祝金の贈呈(88歳984人、100歳62人)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
						事業費		28,678		30,356					
						特定財源		0		0					
						一般財源		28,678		30,356					
	指標名		-								単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値							
評価検証	-														

施策 4 取組 2 番号 再 事務事業 雇用拡大・機会確保促進事業<再掲9-4-1>													
目的	高齢者、移住者、女性等を含む多様な人材と企業のマッチング事業等の実施により、求職者の状況に応じた多様な就業機会の確保を図ります。						担当課	商業労働課					
目標	-												
事業実施状況	・高齢者の就業機会の拡大 ・シルバー人材センターへの運営支援		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
			事業費		-		-						
			特定財源		-		-						
			一般財源		-		-						
			指標名		-						単位		
			基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-												

施策 4 取組 2 番号 再 事務事業 学習機会提供事業（生涯学習文化課）＜再掲13-1-1＞														
目的		学習情報のほか、生涯にわたって学ぶ様々な機会を提供します。						担当課		生涯学習文化課				
目標		-												
事業実施状況	・市民大学講座の実施 ・高齢者学級の実施 ・プラザエンジョイスクールの実施					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
						事業費		-		-				
						特定財源		-		-				
						一般財源		-		-				
	指標名		-								単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証		-												

施策	4	取組	0	番号	1	事務事業	高齢者保健福祉計画推進事業						
目的	高齢者保健福祉計画を推進し、高齢者福祉に関する施策を総合的に進めます。						担当課		介護高齢福祉課				
目標	-												
事業実施状況	・高齢者保健福祉計画の推進 ・健康生活支援審議会高齢者支援部会の開催(2回)					単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
						事業費	0		0				
						特定財源	0		0				
						一般財源	0		0				
						指標名	-					単位	
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-												

事務事業評価表

施策 5 取組 1 番号 1 事務事業 障害者理解促進事業										
目的	障害者団体、ノーマライゼーションに関する地域住民活動への支援や地域住民の交流を通して、障害や障害のある人に対する理解を促進します。					担当課	障害福祉課			
目標	地域住民との交流を通じ、障害や障害のある人に対する理解を促進する市民活動プラザ六中の利用者数の増加を目指します。									
事業実施状況	・福祉のひろばへの支援 ・帯広心身障害者(児)育成会への支援 ・ノーマライゼーション推進活動への支援(4地区への補助) ・障害者週間記念事業の実施 ・手話言語条例の施行に伴う周知・啓発等の実施 ・おびひろ市民学での手話授業(生徒・児童数 2,635人) ・企業向け出前講座(1社) ・市民活動プラザ六中での地域支え合い体制づくり事業の実施(利用者数 36,493人)					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
						事業費		47,082	16,250	
						特定財源		32,100	0	
						一般財源		14,982	16,250	
	指標名		-			単位				
	基準値		R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値		
				実績値		実績値		実績値		
評価検証	R3年度は、市民活動プラザ六中開設10周年記念事業や地域マイスター講座、六中サポーターの養成など、障害や障害のある人に対する理解促進に向けた取り組みを進めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は前年と比べ減少しており、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、感染リスクを考慮しながら、随時事業内容への工夫を検討していくとともに、アフターコロナを見据え積極的に事業のPRを行っていく必要があると考えます。									

施策 5 取組 1 番号 2 事務事業 障害者虐待防止事業									
目的	虐待に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携により、障害者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。					担当課	障害福祉課		
目標	関係機関と障害者虐待事例等の共有や虐待に関する相談体制を維持します。								
事業実施状況	・障害者虐待防止センターの運営（通報件数36件） ・虐待に関する啓発活動の実施			単位：千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
				事業費		16	16		
				特定財源		22	22		
				一般財源		△6	△6		
	指標名					-	単位		
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、障害者虐待に関する関係機関との連携や、24時間体制での相談対応など、適切に虐待に関する相談に応じることができたものと考えます。								

施策 5 取組 2 番号 1 事務事業 地域生活支援拠点等整備推進事業												
目的	地域での相談体制の充実などにより、障害のある人の日常生活を支援します。					担当課	障害福祉課					
目標	障害のある人の自立した生活に向けた相談体制を維持します。											
事業実施状況	・各種相談員の配置(相談員12人:相談対応 12,013件) ・一般相談支援事業の委託(5か所:相談対応 5,227件) ・基幹相談支援センターの運営(1か所:相談支援 201件) ・帯広市地域自立支援協議会の開催(地域生活支援会議 11回、各会議・専門部会 39回) ・障害のある方の生活状況調査(調査対象 214人)					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
						事業費		39,354	53,206			
						特定財源		239,803	228,728			
						一般財源		△200,449	△175,522			
						指標名	一般相談支援事業所における相談件数			単位	件	
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
						4,181		4,610 5,248		4,841 5,227		5,083
評価検証	R3年度の一般相談支援事業所における相談件数は5,227件となりました。 相談支援事業所を通じ、日常生活等に係る相談体制を維持できたことにより、障害のある人の自立した生活に向けた相談に応じることができたものと考えます。											

施策 5 取組 2 番号 2 事務事業 障害者コミュニケーション支援事業																
目的		手話・要約筆記通訳者や支援者などの派遣により、障害のある人の自立や日常生活を支援します。			担当課		障害福祉課、介護高齢福祉課									
目標		聴覚障害者の社会参加を後押しする手話通訳者の派遣件数について547件を目指します。														
事業実施状況	・おびひろ市民学での手話授業(生徒・児童数2,652人)(再掲) ・聴覚障害者等への手話・要約筆記通訳者などの派遣(手話 714件、要約筆記 12件) ・入院中の筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者への支援者の派遣(0件) ・手話・要約筆記奉仕員養成講座等の実施(受講者数 手話 14名、要約筆記 8名)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
					事業費		8,266		9,172							
					特定財源		261		437							
					一般財源		8,005		8,735							
	指標名		手話通訳者派遣件数					単位		件						
			基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
			467				547 558				547 741				547	
評価検証		R3年度の手話通訳者派遣件数は714件であり、目標を達成しました。 新型コロナウイルス感染症の拡大により、庁内や関係機関からの要望などに基づく講演等への派遣は減少しましたが、おびひろ市民学など手話の普及啓発のための派遣のほか、ワクチン接種時の同席や介護保険の利用に関する相談など、健康・医療・保健に関する派遣が前年度より増加したことが要因であると考えます。														

施策	5	取組	2	番号	3	事務事業 障害者日常生活支援事業												
目的	クリーニング・理美容サービスの各種在宅サービスの提供や日常生活用具の給付などにより、日常生活の支援や経済的負担の軽減を図ります。					担当課	障害福祉課											
目標	障害のある人の日常生活を支援する各種サービスの利用率の向上を目指します。																	
事業実施状況	・日常生活用具の給付・貸付(支給決定件数994件) ・理美容・クリーニング等サービスの実施(理美容・クリーニング対象者92人、緊急通報システム対象者26人)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
					事業費		57,741		60,011									
					特定財源		1,515		1,380									
					一般財源		56,226		58,631									
					指標名		-		単位									
					基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、障害のある人の日常生活を支援するため、様々な公的サービスを提供してきていますが、特に理美容・クリーニング等サービスについては、個々でニーズにばらつきがあることから、利用率が低水準で推移しており、目標達成に向けあまり進捗していません。今後も、必要な人に支援が行き届くよう、福祉ガイドへの掲載や窓口への案内等を通じた制度の周知を図っていくとともに、利用者の意見などを聴取して、より効果的に利用を促していく必要があると考えます。																	

事務事業評価表

施策 5 取組 2 番号 4 事務事業 障害者施設整備補助事業													
目的		民間事業者との連携により、各種障害者施設の整備を促進し、障害者が安心して生活できる環境整備を進めます。				担当課	障害福祉課						
目標		-											
事業実施状況	・障害者施設建設費償還への支援(2施設)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費		6,405		6,342			
						特定財源		0		0			
						一般財源		6,405		6,342			
	指標名					-						単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 5 取組 2 番号 5 事務事業 障害者自立支援給付事業										
目的	介護給付費や障害者自立支援訓練等給付費の支給などにより、障害のある人の日常生活や自立した生活を支援します。					担当課	障害福祉課			
目標	-									
事業実施状況	・障害者介護給付費の支給 ・自立支援訓練等給付費の支給					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
						事業費		4,519,198	4,741,899	
						特定財源		3,425,231	3,596,324	
						一般財源		1,093,967	1,145,575	
	指標名					-			単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 5 取組 2 番号 6 事務事業 障害者医療給付事業														
目的	障害者医療給付費の支給により、障害の除去・軽減を支援するとともに、経済的負担の軽減を図ります。						担当課	障害福祉課						
目標	-													
事業実施状況	・障害者医療給付費の支給(自立支援医療(更生医療)給付件数598件)						単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
							事業費		683,382		680,240			
							特定財源		458,374		458,789			
							一般財源		225,008		221,451			
	指標名						-		単位					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-													

施策 5 取組 2 番号 7 事務事業 障害者補装具給付事業												
目的	障害者補装具給付費の支給により、身体機能の補完を支援するとともに、経済的負担の軽減を図ります。						担当課	障害福祉課				
目標	-											
事業実施状況	・障害者補装具給付費の支給(528件)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		49,699		60,892			
					特定財源		52,163		47,456			
					一般財源		△2,464		13,436			
	指標名				-				単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 5 取組 2 番号 8 事務事業 特別障害者手当等支給事業														
目的	特別な介護を必要とする最重度の障害者に手当を支給し、経済的負担の軽減を図ります。						担当課	障害福祉課						
目標	-													
事業実施状況	・特別障害者手当等の支給(特別障害者手当88件、障害児福祉手当87件、福祉手当5件)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
						事業費		46,455		45,685				
						特定財源		34,712		34,125				
						一般財源		11,743		11,560				
	指標名					-					単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-													

施策 5 取組 2 番号 9 事務事業 障害者福祉サービス管理運営事業														
目的	障害者自立支援審査会の開催などにより、障害支援区分の判定を行い、公平・公正な障害者施策の推進を図ります。						担当課	障害福祉課						
目標	-													
事業実施状況	・障害認定調査の実施(610回) ・障害者自立支援審査会の開催(33回)						単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
							事業費		23,626		26,344			
							特定財源		0		0			
							一般財源		23,626		26,344			
	指標名						-				単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-													

事務事業評価表

施策 5 取組 2 番号 10 事務事業 地域生活支援給付事業																
目的		日中一時支援などの提供により、障害のある人の地域における自立した生活を支援します。				担当課		障害福祉課								
目標		-														
事業実施状況	・地域生活支援事業(移動支援、日中一時支援、訪問入浴)の提供				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
					事業費		99,066		104,337							
					特定財源		3,650		0							
					一般財源		95,416		104,337							
					指標名				-				単位			
					基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-															

施策 5 取組 3 番号 1 事務事業 障害者就労促進事業													
目的	障害のある人の一般就労や、就労後の職場定着の支援などにより、障害のある人の自立や就労を促進します。					担当課	障害福祉課						
目標	企業に一般就労している障害者数について930人を目指します。												
事業実施状況	・障害者施設からの物品優先調達 ・障害者就労・生活支援事業 ・障害者の職場体験実習の実施(8課17名) ・障害者の就労に係る相談対応 ・農福連携の推進等による障害者の就労機会の拡大					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費		2,614		2,617			
						特定財源		0		0			
						一般財源		2,614		2,617			
	指標名		企業に一般就労している障害者数					単位		人			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値			
	726		821		874		930						
			843		828								
評価検証	R3年度の企業に一般就労している障害者数は828人であり、目標を達成しませんでした。 就労継続支援事業利用者向けに、庁内の職場体験実習などを実施しましたが、福祉就労事業所において一般就労に向けたノウハウが浸透していないほか、企業が抱える個々の事情を的確に捉えきれていないなどの理由により、福祉就労から一般就労への利用者の移行が進んでいないことが要因であると考えます。 今後、福祉就労事業所のスキル向上に向けた働きかけや、企業が障害者雇用に対して理解を深める機会を創出する必要があります。												

施策 5 取組 3 番号 2 事務事業 障害者社会参加促進事業																
目的	地域活動支援センターの運営や障害のある人の各種活動への支援などにより、障害のある人の自立や社会参加を促進します。						担当課		障害福祉課							
目標	障害のある人の社会参加等を促進する障害者生活支援センターの利用率向上を目指します。															
事業実施状況	・視覚障害者リハビリテーション事業(65件)、音声障害者発声研修事業(14回)などの社会活動、余暇活動への支援 ・地域活動支援センターへの運営支援(8か所) ・障害者生活支援センターの運営(事業利用者延べ1,686人) ・重度障害者等タクシー料金、通所施設等交通費の助成(重度障害者等タクシー利用者数 2,250人) ・医療的ケア事業の実施					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
						事業費		125,724		126,789						
						特定財源		6,129		4,776						
						一般財源		119,595		122,013						
						指標名		-				単位				
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、障害者生活支援センターにおいて、創作的活動など社会参加を促進するための事業を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症対策として、定員削減などの対応を行ったことにより、新規利用者が少なくなっており、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、一人でも多くの人が利用できるよう、衛生面はもとより、運用面においても活動中のソーシャルディスタンスの確保や定員数の随時見直しなどを行い、利用者が安心して活動できる環境づくりを進めるとともに、アフターコロナを見据え積極的に事業のPRを行っていく必要があります。															

施策 5 取組 0 番号 1 事務事業 障害者計画推進事業													
目的	障害者計画を推進し、障害者福祉に関する施策を総合的に進めます。						担当課		障害福祉課				
目標	-												
事業実施状況	・障害者計画の推進 ・健康生活支援審議会障害者支援部会の開催(障害者支援部会2回)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費		1,636		0			
						特定財源		0		0			
						一般財源		1,636		0			
						指標名		-					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値			
評価検証	-												

事務事業評価表

施策 6 取組 1 番号 1 事務事業 看護師等人材確保事業									
目的	看護師等の養成機関への支援等により、医療に従事する人材の確保を図ります。					担当課	健康推進課		
目標	看護師等の管内定着率について65.1%を目指します。								
事業実施状況	・看護師等養成機関等への運営支援 ・帯広高等看護学院の運営支援 ・経済的な理由により修学の継続が困難な学生への支援					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
						事業費	81,509	76,243	
						特定財源	1,100	2,100	
						一般財源	80,409	74,143	
	指標名		看護師等の管内定着率				単位	%	
	基準値		R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値	実績値
				実績値		実績値		実績値	
	62.5			65.1		65.1		65.1	
				65.1		61.4			
評価検証	R3年度の看護師等の管内定着率は、H29以来の道外就職者が2人いた影響もあり、61.4%と目標を達成できませんでしたが、市内定着率は60.2%と前年より約5%増加しています。コロナ禍においても修学を継続できるように学生支援を行った効果等により、一定程度の看護師確保は図れてはいるものの、今後、管内就職先の情報提供等に努めていく必要があると考えます。								

施策 6 取組 2 番号 1 事務事業 救急医療対策事業																	
目的	医療機関や関係機関との連携により、救急医療体制を維持し、夜間、休日等でも安心して医療を受けられる環境づくりを進めます。					担当課		健康推進課									
目標	夜間・休日でも受診可能な医療体制を維持します。																
事業実施状況	・休日夜間急病センターの運営 ・二次救急医療体制の維持 ・在宅当番医制の維持 ・休日歯科診療体制の維持 ・帯広市急病テレホンセンターによる救急医療情報の提供 ・公共施設へのAEDの設置 ・道東ドクターヘリ運航調整委員会との連携					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
						事業費		241,782		239,464							
						特定財源		92,156		79,058							
						一般財源		149,626		160,406							
						指標名		-						単位			
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	R3年度は、医療機関や関係機関との連携により、救急医療体制を維持し、夜間、休日等でも受診可能な医療体制を維持できたものと考えます。																

施策 6 取組 2 番号 2 事務事業 地域医療体制整備支援事業																
目的	医療機関や関係機関と連携し、地域医療体制を整備します。					担当課	健康推進課									
目標	救命救急センター、小児救急医療、周産期医療、小児医療などの体制を維持します。															
事業実施状況	・健康生活支援審議会地域医療推進部会の開催 ・地域医療の確保に関する要望活動 ・帯広厚生病院への運営支援 ・心身障害者歯科治療事業の支援 ・訪問看護ステーションへの運営支援				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
					事業費		267,210		212,240							
					特定財源		63,501		0							
					一般財源		203,709		212,240							
					指標名		-				単位					
					基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4 目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、医療機関や関係機関との連携により、地域医療体制の確保や、救命救急センター、小児救急医療、周産期医療、小児医療などの体制を維持できたものと考えます。															

施策 7 取組 1 番号 1 事務事業 国民健康保険制度運営事業											
目的	北海道の運営方針を踏まえ、事務の標準化・広域化をすすめるとともに、医療費の適正化などにより、国民健康保険の安定的な運営を図ります。					担当課	国保課、収納課				
目標	-										
事業実施状況	・国民健康保険運営協議会の運営 ・国民健康保険事業費納付金の支出 ・国民健康保険料の独自減免 ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険料の減免 ・レセプト点検の実施 ・医療費通知の実施 ・ジェネリック医薬品の使用促進 ・重複・多受診者への指導 ・保険者努力支援制度への対応 ・保険料過誤納付金の還付				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
					事業費	4,929,728	4,888,474				
					特定財源	3,689,340	3,501,478				
					一般財源	1,240,388	1,386,996				
					指標名	-			単位		
					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-										

施策 7 取組 1 番号 2 事務事業 国民健康保険料賦課・徴収事業															
目的	保険料の適正な賦課・徴収や収納率向上対策などにより、国民健康保険の健全な運営を図ります。					担当課		国保課、収納課							
目標	-														
事業実施状況	・保険料の賦課、徴収事務 ・収納率向上対策の推進 ・保険料の納付相談の実施 ・キャッシュレス決済の導入				単位: 千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
					事業費		93,570		74,303						
					特定財源		30,539		21,206						
					一般財源		63,031		53,097						
					指標名				-				単位		
					基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-														

施策	7	取組	1	番号	3	事務事業 療養給付費等支給事業					
目的	被保険者の医療費に関する保険者負担分、出産育児一時金及び葬祭費の支給を行います。					担当課	国保課				
目標	-										
事業実施状況	・療養給付費の支給 ・療養費の支給 ・高額療養費の支給 ・出産育児一時金の支給 ・葬祭費の支給 ・傷病手当金の支給					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
						事業費	10,421,265	10,568,916			
						特定財源	10,418,040	10,567,471			
						一般財源	3,225	1,445			
						指標名	-			単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 7 取組 1 番号 4 事務事業 検診事業											
目的	被保険者を対象とした各種検診を実施し、疾病の早期発見・早期治療により、健康維持や疾病の重症化予防を図ります。					担当課	国保課				
目標	-										
事業実施状況	・各種がん検診の実施(受診者数8,403人) ・人間ドックの実施(受診者数432人) ・脳ドックの実施(受診者数659人) ・歯科ドックの実施(受診者数412人)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費		31,082		30,728					
		特定財源		31,082		30,728					
		一般財源		0		0					
		指標名		-						単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-										

施策 7 取組 1 番号 5 事務事業 特定健康診査及び特定保健指導事業										
目的	被保険者を対象とした健康診査・保健指導を実施し、健康の維持・増進により、生活習慣病の予防を図ります。					担当課	国保課、健康推進課			
目標	-									
事業実施状況	・特定健康診査の実施(受診者数8,058人) ・特定保健指導の実施(終了者数235人) ・特定健康診査未受診者、特定保健指導未利用者対策事業の実施 ・国保データベースを活用した特定保健指導の推進	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		89,865		88,485				
		特定財源		60,506		58,312				
		一般財源		29,359		30,173				
		指標名 -						単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策	7	取組	1	番号	6	事務事業	後期高齢者医療制度運営事業											
目的	後期高齢者医療制度に関する事務を適切に執行し、制度の安定的な運営を図ります。						担当課	国保課、収納課										
目標	-																	
事業実施状況	・後期高齢者医療制度の運営に関する市町村事務 ・保険料過誤納付金の還付						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
							事業費		6,860		7,649							
							特定財源		680		1,958							
							一般財源		6,180		5,691							
							指標名		-						単位			
							基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-																	

施策 7 取組 1 番号 7 事務事業 後期高齢者医療保険料徴収事業												
目的	後期高齢者医療保険料の徴収や制度周知などを進め、制度の安定的な運営を図ります。					担当課	国保課、収納課					
目標	-											
事業実施状況	・後期高齢者医療保険料の徴収 ・後期高齢者医療制度の周知				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		27,591		21,029			
					特定財源		1,978		83			
					一般財源		25,613		20,946			
	指標名		-						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 7 取組 1 番号 8 事務事業 後期高齢者医療広域連合市町村負担金納付事業										
目的	後期高齢者医療制度の運営主体である北海道後期高齢者医療広域連合の運営に必要な経費を負担します。					担当課	国保課、収納課			
目標	-									
事業実施状況	・市町村負担金(事務費、療養給付費、保険料等)の納付		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		4,216,108		4,203,444			
			特定財源		1,897,040		1,943,864			
			一般財源		2,319,068		2,259,580			
			指標名 -						単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値
評価検証	-									

施策	7	取組	1	番号	9	事務事業 後期高齢者健康診査事業				
目的	被保険者を対象とした各種健診を実施し、疾病の早期発見・早期治療により、健康維持や疾病の重症化予防を図ります。					担当課	国保課			
目標	-									
事業実施状況	・健康診査の実施(受診者数4,292人) ・人間ドックの実施(受診者数49人) ・脳ドックの実施(受診者数198人) ・歯科ドックの実施(受診者数344人)					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
						事業費		40,988	41,747	
						特定財源		37,304	41,747	
						一般財源		3,684	0	
						指標名		-		
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 7 取組 2 番号 1 事務事業 介護給付等費用適正化事業										
目的	要介護認定や介護報酬請求の適正化などを進め、介護保険制度の安定的な運営を図ります。				担当課	介護高齢福祉課				
目標	介護保険サービスの適切な利用につなげるため、ケアプランの点検件数について94件を目指します。									
事業実施状況	・給付費の適正化(ケアプラン点検件数91件)	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費	7,554		7,921					
		特定財源	6,100		6,396					
		一般財源	1,454		1,525					
		指標名	ケアプランの点検件数					単位	件	
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		75	87 35		91 91		94			
評価検証	R3年度のケアプランの点検件数は91件であり、目標を達成しました。職員によるケアプラン点検等を実施しているほか、北海道介護支援専門員協会に委託してケアプラン点検を行うのに合わせ給付適正化研修会を開催し、介護支援専門員の資質向上に努めたことが効果的であったと考えます。									

施策 7 取組 2 番号 2 事務事業 介護保険制度運営事業									
目的	介護認定審査会の運営や賦課・徴収などの事務を行い、介護保険制度の適切な運営を図ります。					担当課	介護高齢福祉課・収納課		
目標	-								
事業実施状況	・介護認定審査会の運営(審査件数6,085件、審査回数155回、認定調査件数3,920件) ・介護保険制度の周知 ・介護保険料の賦課、徴収 ・介護保険被保険者の資格管理 ・介護資格所有者の職場復帰の支援 ・ペイジー口座振替受付サービスの推進 ・キャッシュレス決済の導入	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費	166,129		175,856				
		特定財源	5,831		4,229				
		一般財源	160,298		171,627				
		指標名	-				単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 7 取組 2 番号 3 事務事業 介護保険制度運営安定化事業											
目的	介護保険制度の財政安定化に係る貸付制度や基金の積立等を行い、制度の安定的な運営を図ります。					担当課	介護高齢福祉課・収納課				
目標	-										
事業実施状況	・介護給付費準備基金の管理 ・保険料過誤納付金の還付		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		312,272		423,934				
			特定財源		312,272		423,934				
			一般財源		0		0				
	指標名		-					単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-										

施策	7	取組	2	番号	4	事務事業 介護保険利用者負担軽減対策事業										
目的	低所得の介護保険利用者が介護サービスを利用する際の負担軽減を図ります。					担当課	介護高齢福祉課									
目標	-															
事業実施状況	・低所得者に対する介護保険利用者負担軽減(6,171件)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
						事業費		64,858		64,093						
						特定財源		21,496		21,823						
						一般財源		43,362		42,270						
						指標名		-				単位				
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-															

施策 7 取組 2 番号 5 事務事業 介護保険料減免制度事業											
目的	災害などにより一時的に保険料の納付が困難となった低所得の被保険者に対し、保険料の負担軽減を図ります。				担当課		介護高齢福祉課				
目標	-										
事業実施状況	・介護保険料の法定減免(0件) ・介護保険料の独自減免(289件)		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		0		0				
			特定財源		0		0				
			一般財源		0		0				
			指標名		-						単位
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-										

施策 7 取組 2 番号 6 事務事業 介護保険給付事業									
目的	要介護者が利用した介護サービスに要する保険者負担分の支出を行い、制度の適正な運用を図ります。					担当課	介護高齢福祉課		
目標	-								
事業実施状況	・介護サービス給付費の支給		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		13,783,947		14,261,436		
			特定財源		11,826,292		12,236,136		
			一般財源		1,957,655		2,025,300		
			指標名		-				単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 7 取組 2 番号 7 事務事業 介護保険事業計画推進事業																	
目的	介護保険事業計画を推進し、介護保険サービスの確保と制度の持続的な運営を図ります。						担当課	介護高齢福祉課									
目標	-																
事業実施状況	・介護保険事業計画の推進(事業なし)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
						事業費		8,036		0							
						特定財源		0		0							
						一般財源		8,036		0							
						指標名					-		単位				
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-																

施策	7	取組	3	番号	1	事務事業 早期把握・自立支援事業						
目的	民生委員等と連携を図り、要保護者の早期把握に努めるとともに、公共職業安定所と連携した就労支援を実施し、被保護者の自立を促進します。					担当課	生活支援第1課					
目標	自立支援プログラムを利用した被保護者の就労率について50.0%を目指します。											
事業実施状況	・要保護者・被保護者との面談相談の実施(新規相談897件、申請383件) ・被保護者への就労支援(就労自立促進事業<参加者24人、就労者14人>、被保護者就労支援事業<参加者42人、就労者18人>、被保護者就労準備支援事業<4事業、参加者25人、就労者4人>					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	12,442	11,768				
						特定財源	6,361	6,332				
						一般財源	6,081	5,436				
						指標名	自立支援プログラム利用者の就労率				単位	%
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
						44.4		50.0 32.0	50.0 39.6	50.0		
評価検証	令和3年度の自立支援プログラム利用者の就労率は39.6%であり目標を達成できませんでした。ハローワークや委託先事業所と連携した就労支援会議の開催等の取り組みをとおして就労に向けた支援を行ったことで前年度より就労率が向上しましたが、コロナ禍によりプログラム利用者の希望する求人が減少したことが要因であると考えます。今後も関係機関と連携し、被保護者個々の置かれている状況や能力に応じた就労に繋がるよう適切な支援を実施していく必要があると考えます。											

施策 7 取組 3 番号 2 事務事業 生活困窮者自立促進支援事業												
目的 目標	生活困窮者の状態に応じた相談支援等を実施し、困窮状態からの早期自立を促進します。					担当課	生活支援第1課					
	生活困窮者の生活や就労に関する相談体制を維持します。											
事業実施状況	・生活困窮者の自立相談支援(新規相談件数677件(実人数)) ・生活困窮者の就労準備支援(3件(実人数)) ・住居確保給付金の支給(新規申請決定件数42世帯、給付額13,780,600円) ・生活困窮世帯(被保護世帯含む)の子どもの学習支援(小学生<参加者11人、延べ189人>、中学生(高校生含む)<参加者17人、延べ451人>) ・生活困窮者世帯への支援金の支給(新規申請決定件数127世帯、給付額26,700,000円)					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
						事業費		54,380	68,852			
						特定財源		43,078	78,526			
						一般財源		11,302	△9,674			
						指標名		人口10万人あたりの自立相談件数			単位	件
						基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4
評価検証	令和3年度における人口10万人あたりの自立相談件数は34件/月となり目標を達成しました。 住居確保給付金に係る相談が落ち着いたことから令和2年度に比して件数は減少しているものの、コロナ禍において生活困窮世帯が増える中で、庁舎内はもとより関係機関と連携の上、パンフレット等の設置や配布等をおした周知を図り、自立相談支援センターの認知度向上に努めたことが効果的であったと考えます。また、自立相談支援センターと連携し生活困窮者の自立に向けた相談体制の構築に取り組んだことで、適切に相談に応じることができたものと考えます。					7.3		9.1 41.2	9.1 34.3	9.1		

施策 7 取組 3 番号 3 事務事業 救護施設東明寮整備補助事業										
目的		救護施設東明寮の移転改築に伴う借入金の償還を支援し、障害を持つ要保護者の生活や自立を支援します。					担当課	地域福祉課		
目標		-								
事業実施状況	・救護施設東明寮の移転改築費償還への支援		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		9,043		9,009			
			特定財源		0		0			
			一般財源		9,043		9,009			
	指標名		-						単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 7 取組 3 番号 4 事務事業 生活保護事業										
目的	被保護者の生活実態を把握し、的確な助言・指導を行います。					担当課	生活支援第1課・第2課			
目標	-									
事業実施状況	・要保護者・被保護者との面談相談の実施(新規相談897件、申請383件) ・被保護者の家庭訪問の実施(被保護者3,839世帯/月平均、ケースワーカー33名、家庭訪問6,458件) ・被保護者への助言、指導(文書指導71件) ・被保護者に対する健康管理支援(特定健診受診勧奨 2,098名)					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
						事業費		77,042	78,861	
						特定財源		1,949	1,754	
						一般財源		75,093	77,107	
	指標名		-			単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策	7	取組	3	番号	5	事務事業 生活保護等支給事業									
目的	生活に困窮する被保護者等に対し、保護費等による支援により、生活の安定を図ります。					担当課		生活支援第1課・第2課							
目標	-														
事業実施状況	・保護費の支給 ・中国残留邦人等への支援給付費等の支援					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
						事業費		7,861,175		7,669,558					
						特定財源		6,214,240		6,129,598					
						一般財源		1,646,935		1,539,960					
	指標名		-								単位				
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値					
評価検証	-														

施策	7	取組	0	番号	1	事務事業 国民年金事業									
目的	市民が適正に年金を受給できるよう、制度周知や各種受付事務などを進めます。					担当課	戸籍住民課								
目標	-														
事業実施状況	・広報紙やパンフレットによる制度周知 ・被保険者の各種受付事務の実施					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
						事業費		9,678		7,982					
						特定財源		42,977		41,310					
						一般財源		△33,299		△33,328					
	指標名		-								単位				
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値					
評価検証	-														

施策	8	取組	1	番号	1	事務事業 制度融資事業（農政課）									
目的	長期・低利等の資金の貸付により、農業経営の高度化・安定化を図ります。					担当課		農政課							
目標	農業者の経営の高度化・安定化を図る農林業育成資金の新規貸付件数について99件を目指します。														
事業実施状況	・農林業育成資金の貸付(新規貸付91件) ・農地保有合理化事業資金の貸付(新規貸付0件)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
						事業費		2,172,092		2,412,954					
						特定財源		2,167,757		2,408,138					
						一般財源		4,335		4,816					
	指標名		制度資金利用件数						単位		件				
	基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値					
				実績値			実績値			実績値					
		55		99		99				99					
				82		91									
評価検証	R3年度の新規貸付件数は91件であり、目標を達成しませんでした。 国の補助事業を活用する農業者が多かったことなどにより資金需要が減少したことが要因であると考えます。今後も農協を通じ、農業者に貸付制度を効果的に周知していくことが必要であると考えます。														

施策	8	取組	1	番号	2	事務事業 農業経営体育成・強化事業										
目的	経営研修や新規就農者の支援などを進め、優れた経営能力と生産技術を持った担い手の育成・確保を図ります。						担当課	農政課								
目標	担い手の育成・確保を図る研修会（市主催又は共催）への参加者数について90人を目指します。															
事業実施状況	・担い手の強化、育成支援(十勝地域農業者合同研修会149名(会場18名、オンライン131名)、アグリカレッジ13名(新規就農者コース)) ・農業振興基金の管理(寄附件数4,521件、寄付金額67,472,000円)						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
							事業費		24,258		105,312					
							特定財源		23,051		50,537					
							一般財源		1,207		54,775					
	指標名		各種研修への参加者数						単位		人					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値						
63		75 95		82 162		90										
評価検証	R3年度の各種研修への参加者数は162人であり、目標を達成しました。 新型コロナウイルス感染症対策として、動画配信サイトを活用した研修会を2回開催したことや、農業者が高い関心を持つ「土づくり」を研修題目とし、前年度からの継続的な内容として用意したことが要因であると考えます。															

施策	8	取組	1	番号	3	事務事業 クリーン農業推進事業												
目的	生産者・関係団体との連携によるクリーン農業技術の普及などにより、安全で良質な農産物の生産を進めます。						担当課		農政課									
目標	持続的な生産活動を推進するとともに環境負荷の低減を図る環境保全型農業の実践者数について66人を目指します。																	
事業実施状況	・クリーン農業技術等の普及促進(土づくり・減肥減農の取組み事例集作成及び配布) ・環境保全型農業直接支援対策事業の実施(実施面積64,165a)						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
							事業費		32,826		35,016							
							特定財源		24,815		26,448							
							一般財源		8,011		8,568							
							指標名		環境保全型農業実践者数						単位		人	
							基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値		
										実績値			実績値					
		59		62		64		66										
				62		60												
評価検証	R3年度の環境保全型農業実践者数は60人であり、目標を達成しませんでした。 新規に取り組んだ生産者は増加したものの、天候の影響による病虫害防除回数の増などにより、実践まで至らなかったことが要因であると考えます。 引き続き、年2回行っている事業周知やクリーン農業技術の取組事例集の配布による情報提供を継続し、環境保全型農業への理解醸成を図っていくことが必要であると考えます。																	

事務事業評価表

施策 8 取組 1 番号 4 事務事業 営農技術向上対策事業									
目的	営農技術情報の提供や試験研究などを進め、生産性の向上や環境負荷の低減を図ります。					担当課		農政課	
目標	地域農業における生産性の向上や環境負荷の低減などに関する営農技術の試験研究数について14件を目指します。								
事業実施状況	・営農技術試験、調査、情報提供(営農技術情報の提供11回) ・土壌、堆肥分析などへの支援(検査点数1,629点) ・新技術の導入や研究などへの支援(実施主体4団体) ・新規作物の栽培実証事業の実施及び普及への支援(新規作物試験栽培5a)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
		事業費		15,577		15,360			
		特定財源		6		225			
		一般財源		15,571		15,135			
		指標名		営農技術試験研究数				単位	件
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
		12			14 14		14 17		14
評価検証	R3年度の営農技術試験研究数は17件であり、目標を達成しました。 農業団体や農業者等とともに、試験研究課題や当地での技術普及について協議を行ったほか、帯広市農業技術センターの機能が民間企業等に認知されるようになったことで当地に適した試験依頼が増加したことが要因であると考えます。								

施策 8 取組 1 番号 5 事務事業 多面的機能支払推進事業											
目的	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。					担当課	農村振興課				
目標	水源の涵養や自然環境の保全など農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数について16団体を目指します。										
事業実施状況	・農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動(水路の泥上げ、草刈、農道の補修など)に係る支援(13,562.51ha)					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費		183,760		194,539	
						特定財源		137,920		146,020	
						一般財源		45,840		48,519	
	指標名		農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数					単位	団体		
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
	14			15 16		16 17		16			
評価検証	R3年度の多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数は17団体であり、目標を達成しました。組合毎に事業内容の説明を行い、地域活動の意義や重要性を周知してきたことが効果的であったと考えます。										

施策 8 取組 1 番号 6 事務事業 有害鳥獣駆除事業									
目的	有害鳥獣の駆除により、農林業被害を防止します。					担当課	農村振興課		
目標	鳥獣害による農業被害額を2,849万円にまで抑制します。								
事業実施状況	・有害鳥獣の駆除 ・帯広市鳥獣被害対策実施隊による被害対策の実施(出動回数230回)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		5,315	5,075			
			特定財源		965	917			
			一般財源		4,350	4,158			
			指標名		鳥獣害による農業被害額				単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	5,530			2,849 3,511		2,849 2,356		2,849	
評価検証	R3年度の鳥獣害による農業被害額は2,356万円であり、目標を達成しました。 実施隊などによる有害鳥獣の捕獲により目標を達成しましたが、野生動物の個体数は気候や餌条件等により変動することから、安定的に目標値を下回ることができるよう、当面は現在の駆除体制を維持していくことが必要と考えます。								

施策 8 取組 1 番号 7 事務事業 家畜衛生対策事業										
目的	防疫体制の充実や予防接種など家畜衛生対策を進め、畜産経営の安定化を図ります。					担当課	農政課			
目標	予防接種の実施などにより家畜伝染病の発生防止を目指します。									
事業実施状況	・予防接種への支援(ワクチン接種延べ頭数14,165頭) ・家畜伝染病発生予防の啓発、推進 ・情報収集や危機管理体制の整備 ・防疫資材の備蓄		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		1,415		1,541			
			特定財源		240		1			
			一般財源		1,175		1,540			
			指標名		-					
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R3年度は、自衛防疫組員に予防接種の支援を行ったほか、伝染病発生予防の啓発活動などに取り組んだことにより、家畜伝染病の発生が防止されており、目標達成に向け進捗しています。									

施策 8 取組 1 番号 8 事務事業 生乳生産安定対策事業										
目的	乳質改善や牛群の資質向上などを進め、酪農経営の安定化と安全・安心な生乳の生産を促進します。					担当課	農政課			
目標	生乳の安定的な出荷を維持します。									
事業実施状況	・生乳検査、乳質改善への支援(生乳検査17,745検体) ・牛群の改良、飼養管理改善への支援(乳牛検定 延べ頭数44,805頭) ・酪農家の負担軽減への支援(酪農ヘルパー利用延べ回数1,356回)	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費		2,568	2,568					
		特定財源		500	500					
		一般財源		2,068	2,068					
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、酪農家に対する各種支援などにより、生産基盤が安定し、生乳出荷量が増加しており、目標達成に向け進捗しています。									

施策 8 取組 1 番号 9 事務事業 農業技術センター管理運営事業									
目的	農業者及び農業生産活動の支援拠点である農業技術センターを管理運営し、農業振興施策を総合的に展開します。					担当課	農政課		
目標	-								
事業実施状況	・農業技術センターの維持管理 ・農業行政に関する事務 ・農業・農村基本計画の推進		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		9,825	11,379			
			特定財源		33	43			
			一般財源		9,792	11,336			
			指標名		-				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 8 取組 1 番号 10 事務事業 八千代公共育成牧場管理運営事業														
目的	八千代公共育成牧場の管理運営や利用促進を通して、畜産経営の安定化を図ります。					担当課	農政課							
目標	-													
事業実施状況	・八千代公共育成牧場の管理運営 ・八千代公共育成牧場の利用促進				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
					事業費		180,792		187,204					
					特定財源		123,640		124,804					
					一般財源		57,152		62,400					
	指標名				-						単位			
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	-													

施策 8 取組 1 番号 11 事務事業 畜産研修センター管理運営事業														
目的	畜産研修センターの管理運営により、畜産や農業に関する研修機会を提供し、農業理解の促進を図ります。					担当課	農政課							
目標	-													
事業実施状況	・畜産研修センターの管理運営(利用者数809名) ・研修機会の提供				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
					事業費		22,836		24,525					
					特定財源		804		1,317					
					一般財源		22,032		23,208					
	指標名				-						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-													

施策 8 取組 1 番号 12 事務事業 畜産振興事業												
目的	飼養管理技術の普及や畜産関連情報の収集・提供などを通じ、畜産の振興を図ります。					担当課	農政課					
目標	-											
事業実施状況	・飼養管理技術の普及促進 ・畜産関連情報の収集、提供 ・バイオガスプラント整備に向けた支援				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		1,035		1,056			
					特定財源		0		0			
					一般財源		1,035		1,056			
	指標名				-						単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 8 取組 1 番号 13 事務事業 農業生産体制強化事業											
目的	農業用機械や施設整備の支援などを進め、生産性の向上を図ります。						担当課	農政課			
目標	-										
事業実施状況	・農業用機械等の整備支援(11経営体(トラクター、GPSガイダンス、ビートハーベスターなど)) ・先進的な生産技術や作業体系の導入支援(ソフト事業6実施主体(病害虫抵抗性品種の導入など)、ハード事業3実施主体(てん菜プランターなど)) ・馬鈴しょ集出荷・貯蔵施設等整備支援(2実施主体) ・土壌・飼料分析施設等整備支援(2実施主体) ・畜産クラスター事業の推進						単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
							事業費		305,819	479,963	
							特定財源		305,819	479,963	
							一般財源		0	0	
							指標名		-	単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 8 取組 1 番号 14 事務事業 農業経営基盤強化資金利子補給事業														
目的	農業者の借入資金に対する金利負担を軽減し、経営改善の促進、担い手の育成・確保を図ります。						担当課	農政課						
目標	-													
事業実施状況	・農業経営基盤強化資金利子補給(新規案件数0件)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
					事業費		3,114		2,442					
					特定財源		1,557		1,221					
					一般財源		1,557		1,221					
	指標名				-						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-													

施策 8 取組 1 番号 15 事務事業 農業基盤施設維持補修事業										
目的	農業用排水施設、畑地かんがい施設の適切な維持管理を促進し、生産性の維持を図ります。					担当課	農村振興課			
目標	-									
事業実施状況	・明渠の維持管理への支援 (水利施設管理強化事業補助金) ・明渠周辺の環境保全への支援 (明渠排水維持管理事業補助金) ・畑地かんがい施設の維持管理への支援(維持管理協議会負担金) ・明渠橋の健全度調査の実施(6橋)					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
						事業費		11,924	12,098	
						特定財源		6,246	6,246	
						一般財源		5,678	5,852	
	指標名		-			単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策		8	取組	1	番号	16	事務事業	道営水利施設等保全高度化事業						
目的	農業用排水施設の整備や土層改良などの生産基盤整備を総合的に進め、生産性・収益性の向上を図ります。						担当課	農村振興課						
目標	-													
事業実施状況	・明渠・畑地かんがい・暗渠排水、土層改良などの整備(川西西2地区、大正北2地区、大正南2地区、川西中央2-1地区、帯広かわにし1地区) ・整備費の償還						単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
							事業費		215,329	191,182				
							特定財源		100,905	88,993				
							一般財源		114,424	102,189				
							指標名		-			単位		
							基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-													

施策	8	取組	1	番号	17	事務事業	国営土地改良事業					
目的	農業用水の確保など農業生産基盤の整備を促進し、生産性・収益性の向上を図ります。					担当課	農村振興課					
目標	-											
事業実施状況	・国営かんがい排水事業による農業生産基盤整備費の償還					単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費	17,314		17,314			
						特定財源	0		0			
						一般財源	17,314		17,314			
	指標名					-					単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-											

施策	8	取組	1	番号	18	事務事業	土地改良促進事業					
目的	土地改良事業を円滑に推進するため、事業実施に伴う事務を行います。						担当課	農村振興課				
目標	-											
事業実施状況	・土地改良事業に関する事務					単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費	4,960		5,181			
						特定財源	1,801		1,654			
						一般財源	3,159		3,527			
	指標名					-					単位	
	基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値		
				実績値			実績値			実績値		
評価検証	-											

施策 8 取組 1 番号 19 事務事業 農業委員会運営事業														
目的		農業生産力の向上や農業経営の合理化を図るため、農地に関する権利移動や転用、利用集積などの業務を行います。					担当課		農業委員会事務局					
目標		-												
事業実施状況	・農地法に基づく法令業務 ・農業経営基盤強化促進法に基づく農地の利用集積等に関する業務 ・農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく農地の集積・集約化等に関する業務 ・農業者年金業務 ・法人化その他の農業経営の合理化に関する業務 ・農業に関する調査及び情報提供 ・農業後継者結婚対策業務 ・農地等証明発行						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
							事業費		20,122		20,077			
							特定財源		18,142		18,577			
							一般財源		1,980		1,500			
							指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値						
評価検証		-												

施策 8 取組 2 番号 1 事務事業 フードバレーとかち食・農活性化事業												
目的	地域の農畜産物などの情報発信を通じ、十勝農業の魅力向上を図ります。							担当課		農政課		
目標	十勝の農畜産物など地域資源の情報を掲載したホームページ「十勝の食卓」のアクセス数を維持します。											
事業実施状況	・地域資源に係る情報の収集・発信(「地域資源」の紹介ページの追加・更新101件、地域の食材を使用した「おいしいレシピ」の追加・更新21件、十勝の食卓HPアクセス数78,673回)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		264		264			
					特定財源		0		0			
					一般財源		264		264			
					指標名		-					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	R3年度は、「地域の資源」の紹介ページや「おいしいレシピ」の追加・更新をするなど、内容の充実に取り組んだことによりアクセス数が増加しており、目標達成に向け進捗しています。											

施策	8	取組	2	番号	2	事務事業	農畜産物安全安心推進事業						
目的	食の安全・安心に向けた取り組みなどにより、農業の競争力強化を促進します。						担当課	農政課					
目標	持続可能な農業生産や輸出拡大につながる国際水準GAPに取り組む農家数の増加を目指します。												
事業実施状況	・農畜産物の安全安心に係る普及啓発(啓発ポスター等の設置53か所) ・国際水準GAPオンライン研修の周知(受講農家数67名)						単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
							事業費	433	433				
							特定財源	289	289				
							一般財源	144	144				
							指標名	-			単位		
							基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度は、農地等への立入禁止啓発活動を行ったほか、十勝型GAP普及支援により、生産者の安全・安心な農畜産物の生産に対する意識が向上したことなどから、国際水準GAPの研修を受講する農家数が増加するなど、目標達成に向け進捗しています。												

事務事業評価表

施策 8 取組 2 番号 3 事務事業 黒毛和牛生産振興事業												
目的	繁殖・素牛育成技術の普及など肉用牛の生産振興により、畜産経営の安定化や地域ブランド「十勝和牛素牛」の普及を図ります。					担当課	農政課					
目標	繁殖雌牛の飼養頭数の増加を目指します。											
事業実施状況	・黒毛和牛の繁殖、育成技術の普及促進(生産技術巡回指導12回、黒毛和種繁殖雌牛飼養頭数884頭) ・黒毛和牛の受精卵移植の促進(和牛受精卵移植86頭 R4.3.31現在八千代牧場) ・とかち帯広和牛生産改良組合への支援					単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費	117		111			
						特定財源	0		0			
						一般財源	117		111			
						指標名	-				単位	
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度は、和牛素牛生産の指導巡回や和牛改良組合の研修会などの取り組みにより、飼養管理技術が向上し、枝肉共励会での上位入賞や黒毛和種繁殖用雌牛の飼養頭数の増加に結びついたものと考えており、目標達成に向け進捗しています。											

施策 8 取組 2 番号 4 事務事業 畜産物加工研修センター管理運営事業												
目的	畜産物加工研修センターの管理運営により、畜産物の付加価値の向上、農業理解の促進を図ります。						担当課	農政課				
目標	-											
事業実施状況	・畜産物加工研修センターの管理運営 ・加工研修機会の提供(研修参加人数(乳加工、肉加工)計383名) ・畜産物の加工技術、製品の研究開発				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		13,267		13,101			
					特定財源		167		301			
					一般財源		13,100		12,800			
	指標名		-						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 8 取組 2 番号 再 事務事業 フードパレーとかち推進事業<再掲9-2-3>																	
目的	十勝管内の自治体や関係機関と連携し、地域の農林水産物の付加価値向上や情報発信などに取り組み、「フードパレーとかち」を推進します。						担当課	経済企画課									
目標	-																
事業実施状況	・十勝産農畜産物、加工品の販路拡大						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
							事業費		-		-						
							特定財源		-		-						
							一般財源		-		-						
							指標名		-		単位						
							基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-																

施策	8	取組	3	番号	1	事務事業 食育推進事業（農業分野）													
目的	各種イベントの開催などを通して、地産地消の促進や市民の食や健康への意識の向上を図ります。					担当課	農政課												
目標	食育に関心を持つ市民の割合の増加を目指します。																		
事業実施状況	・食や農業に関するイベントの開催・支援(食育推進イベント(ブース出展)0件、食育サポーター活用13件) ・消費者と生産者との相互交流の促進 ・地場農畜産物の消費拡大					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
						事業費		4,602		2,686									
						特定財源		3,522		0									
						一般財源		1,080		2,686									
						指標名				-		単位							
						基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、「食育推進サポーター」による市内小学校への食育出前授業等の取り組みを実施しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により例年どおりの食育推進事業を実施できなかったため、目標達成に向けあまり進捗していません。今後も出前授業等を通し市民の食育に対する関心を高めていくことが必要であると考えます。																		

施策 8 取組 3 番号 2 事務事業 帯広の森市民農園管理運営事業											
目的	帯広の森市民農園の管理運営により、農業に対する理解促進や都市と農村の交流促進を図ります。						担当課	農政課			
目標	-										
事業実施状況	・帯広の森市民農園の管理運営 ・市民農園(162区画)、学童農園(市内12団体)の運営					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
						事業費	18,820	17,939			
						特定財源	1,482	1,555			
						一般財源	17,338	16,384			
						指標名	-			単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 8 取組 3 番号 3 事務事業 とかち大平原交流センター管理運営事業											
目的	とかち大平原交流センターの管理運営により、農業・農村の歴史や魅力を発信し、農業・農村の理解促進、農業・農村文化の継承を図ります。					担当課		農政課			
目標	-										
事業実施状況	・とかち大平原交流センターの管理運営 ・とかち農機具歴史館の管理運営		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		10,861		10,888				
			特定財源		61		74				
			一般財源		10,800		10,814				
	指標名		-						単位		
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 8 取組 3 番号 4 事務事業 農村活性化促進事業												
目的	農村におけるコミュニティの維持・確保、景観形成などの取り組みを通じて、農村の活性化を図ります。					担当課	農村振興課					
目標	-											
事業実施状況	・農業センターの維持管理(7施設) ・耕地防風林の整備への支援(17戸)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		14,770		15,713			
					特定財源		3,559		53			
					一般財源		11,211		15,660			
	指標名				-						単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-											

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 多面的機能支払推進事業<再掲8-1-5>												
目的	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。						担当課	農村振興課				
目標	-											
事業実施状況	・農業・農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るための地域の共同活動(水路の泥上げ、草刈、農道の補修など)に係る支援(取り組み面積13,562.51ha)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		-		-			
					特定財源		-		-			
					一般財源		-		-			
	指標名				-				単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 配水管整備事業<再掲20-1-1>														
目的		配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定供給を図ります。					担当課		水道課					
目標		-												
事業実施状況	・配水管整備事業(上水)L=2682.3m ・配水管整備事業(簡水)L= 407.7m ・管路近代化事業 L=8965.4m				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
					事業費		-		-					
					特定財源		-		-					
					一般財源		-		-					
	指標名				-						単位			
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	-													

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 農村下水道施設整備事業<再掲20-1-10>															
目的	農村下水道の整備により、農村部における快適な生活環境づくりを進めます。						担当課	下水道課							
目標	-														
事業実施状況	・個別排水処理施設の整備 ・清川下水処理場などの設備更新				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
					事業費		-		-						
					特定財源		-		-						
					一般財源		-		-						
					指標名				-				単位		
					基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-														

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 量水器整備事業<再掲20-2-2>										
目的	水道メーターや止水栓の更新などにより、漏水の防止など、利用者サービスの向上を図ります。						担当課	水道課		
目標	-									
事業実施状況	・水道メーターの更新 ・止水栓の更新 ・作業時間の短縮が可能な「掘削しないメーターボックス」への更新				単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
					事業費		-	-		
					特定財源		-	-		
					一般財源		-	-		
	指標名				-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策	8	取組	3	番号	再	事務事業	水道施設維持管理事業<再掲20-2-7>							
目的	適切な水道施設の維持管理などにより、水道事業を安定的に運営します。						担当課	水道課						
目標	-													
事業実施状況	・配水管、水道施設、量水器の維持管理						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
							事業費		-		-			
							特定財源		-		-			
							一般財源		-		-			
	指標名		-						単位					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-													

事務事業評価表

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 下水道施設維持管理事業<再掲20-2-8>												
目的	適切な下水道施設の維持管理などにより、下水道事業を安定的に運営します。							担当課		下水道課		
目標	-											
事業実施状況	・下水道管の維持管理 ・個別排水処理施設、農業集落排水施設の維持管理				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		-		-			
					特定財源		-		-			
					一般財源		-		-			
	指標名		-						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 下水道普及促進事業<再掲20-2-12>														
目的	下水道の利用を促進し、生活環境の保全、公衆衛生の向上を図ります。						担当課	下水道課						
目標	-													
事業実施状況	・下水道への接続の普及啓発 ・排水設備改造資金の貸付				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
					事業費		-		-					
					特定財源		-		-					
					一般財源		-		-					
	指標名				-				単位					
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	-													

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 あいのりタクシー・バス運行事業<再掲21-6-1>																
目的		農村地区において乗合方式のタクシー・バスを運行し、地域住民の交通手段を確保します。					担当課		都市政策課							
目標		-														
事業実施状況	・大正地区乗合タクシーの運行(利用者数2,026人) ・川西地区乗合バスの運行(利用者数6,996人)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
						事業費		-		-						
						特定財源		-		-						
						一般財源		-		-						
						指標名			-			単位				
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-															

施策	8	取組	4	番号	1	事務事業 森林整備促進事業									
目的	私有林等の森林整備を支援し、森林の適切な管理を促進します。						担当課		農村振興課						
目標	森林経営計画の作成面積割合について64.9%を目指します。														
事業実施状況	・私有林の現況調査、施業提案 ・私有林整備への支援 ・森林情報の整備 ・帯広市森林環境振興基金の管理(年度末残高:51,383,886円)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
						事業費		37,101		46,600					
						特定財源		6,663		43,977					
						一般財源		30,438		2,623					
	指標名		森林経営計画作成面積割合								単位		%		
	基準値		R2		目標値		R3		目標値		R4		目標値		
					実績値				実績値				実績値		
	63.3				64.9				64.9				64.9		
65.6					64.6										
評価検証	R3年度の森林経営計画作成面積は64.6%であり、目標を達成できませんでした。とちろ帯広空港の民営化に伴う森林経営計画からの面積減が、新規作成分の面積増を上回ったことが要因と考えます。今後は現況調査や施業提案など新たな森林経営計画作成に結び付く事業を実施していく必要があると考えます。														

施策 8 取組 4 番号 2 事務事業 林業振興事業														
目的 目標	民有林の造成や担い手の育成・確保等の支援を通じ、林業を振興します。					担当課		農村振興課						
林業事業体が雇用している現場作業員及び作業日数（森林作業員の延べ人口）の増加を目指します。														
事業実施状況	・民有林の造林などへの支援 ・森林認証の継続 ・林地台帳の運用 ・森林作業員の就労の安定化(33人)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
						事業費		13,516		6,246				
						特定財源		8,213		2,137				
						一般財源		5,303		4,109				
	指標名								-		単位			
	基準値				R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	R3年度は、民有林における施業への補助や、森林認証制度への参画、森林作業員就労条件整備事業の実施により、森林所有者の施業意欲の向上が図られ、現場作業員及び作業日数の増加につながっており、目標達成に向け進捗しています。													

施策 8 取組 4 番号 3 事務事業 林道等整備事業													
目的 目標	林道・作業道を整備し、森林を適切に管理します。					担当課		農村振興課					
	-												
事業実施状況	・台風により被災した林道の復旧(石山第2線(清水町羽帯))					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費		41,239		24,200			
						特定財源		39,132		22,942			
						一般財源		2,107		1,258			
	指標名		-						単位				
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値			
評価検証	-												

事務事業評価表

施策 8 取組 4 番号 4 事務事業 市有林造成事業												
目的	水源かん養や環境保全など、森林が持つ公益的機能を積極的に発揮させるため、造林や間伐などの森林整備を進め、市有林を適切に管理します。					担当課	農村振興課					
目標	-											
事業実施状況	・森林施業計画に基づく造成事業の実施(新植、下刈、間伐など)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		41,693		70,887			
					特定財源		38,484		43,495			
					一般財源		3,209		27,392			
	指標名				-				単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 8 取組 4 番号 5 事務事業 市有林収穫事業									
目的	間伐や皆伐の適切な実施により、市有林の維持・管理を進めるとともに、森林資源の活用を図ります。				担当課	農村振興課			
目標	-								
事業実施状況	・森林施業計画に基づく収穫事業の実施(間伐材等の売り払い)				単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
					事業費		5,725	5,485	
					特定財源		17,666	23,291	
					一般財源		△11,941	△17,806	
					指標名		-		
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 8 取組 4 番号 6 事務事業 市有林・林道等管理事業												
目的	林業関係情報の収集・提供や市有林・林道の適切な管理などに取り組み、森林・林業行政施策を総合的に推進します。							担当課	農村振興課			
目標	-											
事業実施状況	・市有林の適正管理 ・市有林野管理経営審議会の開催 ・林道の管理 ・林業行政に関する事務 ・森林が持つ機能等の理解の促進				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		4,250		4,856			
					特定財源		252		463			
					一般財源		3,998		4,393			
					指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 8 取組 5 番号 1 事務事業 ばん系馬生産振興事業									
目的	ばん馬生産者の生産意欲を高め、ばん馬の生産を振興します。					担当課	ばんえい振興課		
目標	ばんえい競馬の新馬能力検査申込頭数について291頭を目指します。								
事業実施状況	・生産者への生産奨励金支給(5,146件、5,989万2,283円)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
			事業費		56,964	67,880			
			特定財源		54,852	65,634			
			一般財源		2,112	2,246			
	指標名		新馬能力検査申込頭数				単位	頭	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証			256	291	291	291			
				329	342				
評価検証	R3年度の新馬能力検査申込頭数は342頭であり、目標を達成しました。 安定的な競馬運営とともに、生産奨励金の支給が効果的であったと考えます。								

施策 8 取組 5 番号 2 事務事業 馬文化承継事業									
目的	ばん馬とふれあう機会の提供などにより、人と馬との文化を継承します。					担当課	ばんえい振興課		
目標	ばんえい十勝PR馬のイベント等への派遣回数について76回を目指します。								
事業実施状況	・馬とふれあう機会の提供(0件) ・馬耕技術伝承プロジェクトの実施への支援 ・草競馬等における生産者への表彰への支援				単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
					事業費		9,738	8,135	
					特定財源		3,064	3,997	
					一般財源		6,674	4,138	
	指標名				ばんえい十勝PR馬のイベント等派遣回数			単位	回
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	37			76 0		76 0	76		
評価検証	R3年度のばんえい十勝PR馬のイベント等派遣回数は0回であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、PR馬の派遣を自粛したことが要因であります。PR馬の派遣については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた慎重な対応が必要であり、今後、コロナ禍においても馬文化にふれることができる機会を提供していくことなどが必要と考えます。								

施策 8 取組 5 番号 3 事務事業 競馬開催事業									
目的	世界で唯一の地域資源であるばんえい競馬を開催します。					担当課	ばんえい振興課		
目標	売上増加やコスト削減を通じ、ばんえい競馬の安定運営を目指します。								
事業実施状況	・ばんえい競馬の開催(開催日数149日、発売額517億9,517万3,200円)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		49,252,681	53,384,780			
			特定財源		49,223,192	53,355,991			
			一般財源		29,489	28,789			
	指標名			-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、売上向上の取り組みなど、収支は黒字となり、ばんえい競馬の安定的な運営が図られ、目標に向け進捗しています。								

事務事業評価表

施策 9 取組 1 番号 1 事務事業 市場開拓・販路拡大事業											
目的	関係機関等と連携した地場産品の付加価値向上などの取り組みを通じ、市場開拓・販路拡大を促進します。					担当課	経済企画課				
目標	海外との取引に必要なとなる原産地証明の発行件数について476件を目指します。										
事業実施状況	・国内・海外販路拡大に向けた支援 (JETRO北海道による海外展開セミナーの実施(2回)) ・工場等の衛生水準の向上支援 ・関係機関との連携による地域内外へのとかちブランドのPR促進 ・地場産品ブランド化の総合的な支援			単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
				事業費		352		6,178			
				特定財源		0		0			
				一般財源		352		6,178			
	指標名		原産地証明発行件数				単位		件		
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
	406			476 103			476 114			476	
評価検証	R3年度の原産地証明発行件数は114件であり、目標を達成しませんでした。 シンガポールの規制緩和により当証明の発行が不要になった商品があることが主な要因と考えます。 関係機関と連携したセミナーの開催の他、越境EC（インターネットを利用した国際的な電子商取引）の活用支援が必用と考えます。										

施策 9 取組 1 番号 2 事務事業 知的財産保護・活用促進事業										
目的	特許や実用新案の登録など、地域の知的財産活動を支援し、地元企業の製品開発等を促進します。					担当課	経済企画課			
目標	地元企業の製品開発の促進や知的財産の活用に関する発明相談件数について32件を目指します。									
事業実施状況	・弁理士等による発明相談会の実施(12回)		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		4		5			
			特定財源		0		0			
			一般財源		4		5			
	指標名		発明相談件数					単位		件
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	28			32		32		32		
評価検証	R3年度の発明相談件数は25件であり、目標を達成しませんでした。 リモートでの開催も行ったものの、周知させることが不足していたことが原因と考えます。 今後は、目標達成に向け関係機関との協力や、地域事業者への周知活動を強化していく必要があると考えます。									

施策 9 取組 1 番号 3 事務事業 経営相談事業									
目的	中小企業に対する経営相談などにより、経営改善を促進し、経営基盤の強化を図ります。					担当課	商業労働課		
目標	中小企業の経営に係る相談体制を維持します。								
事業実施状況	・経営相談の実施(相談件数1805件) ・中小企業相談所による経営、講習会などの実施(42件) ・経済動向の把握と情報提供 ・北海道中小企業総合支援センターとの連携					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
						事業費	26,191	16,161	
						特定財源	12,588	0	
						一般財源	13,603	16,161	
	指標名	経営相談件数					単位	件	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	1,329		1,329 1,772		1,329 1,805		1,329		
評価検証	R3年度の経営相談件数は1805件であり、目標を達成しました。 新型コロナウイルス感染症の影響も含めた中小企業の経営に係る相談に応じたことにより、地元企業の経営基盤の強化につながっているものと考えます。								

施策 9 取組 1 番号 4 事務事業 商店街活性化事業										
目的	商店街のにぎわい創出や環境整備などを支援し、商店街の活性化を図ります。					担当課	商業労働課			
目標	商店街空き店舗率について8.6%を目指します。									
事業実施状況	・商店街が新たに取り組む事業等への支援(6件) ・演出、催事事業への支援(9件) ・商店街ロードヒーティング設備維持への支援(7件)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		35,161		12,255				
		特定財源		22,579		0				
		一般財源		12,582		12,255				
		指標名	商店街空き店舗率					単位	%	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
		8.6			8.6 9.6		8.6 10.1		8.6	
評価検証	R3年度の商店街空き店舗率は10.1%であり、目標を達成しませんでした。飲食店等が撤退し空き店舗数が増えたことや、営業店舗の「住宅化」や「駐車場化」により総店舗数が減少したことが影響したと考えます。今後、商店街における空き店舗情報の周知や、事業者等の中心市街地活性化への取り組みを促進していく必要があると考えます。									

施策 9 取組 1 番号 5 事務事業 制度融資事業（商業労働課）									
目的	長期・低利な資金の貸付や信用保証料の補給により、中小企業の経営基盤の強化を図ります。					担当課	商業労働課		
目標	市内融資に占める市の制度融資の割合について現状の水準を維持します。								
事業実施状況	・制度融資のあっせん(あっせん数173件) ・信用保証料の補給(補給件数118件)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		4,953,933		4,920,410		
			特定財源		4,953,932		4,902,309		
			一般財源		1		18,101		
			指標名	制度融資実行割合				単位	%
	基準値		R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値	
				実績値		実績値		実績値	
			24.48	24.48		24.48		24.48	
		3.70		15.30					
評価検証	R3年度の制度融資実行割合は15.3%であり、目標を達成しませんでした。国の新型コロナウイルス施策に伴う政府系金融機関の実質無利子無担保融資が継続されたことなどが要因であると考えます。今後も、中小企業にとって円滑で有利な資金調達が可能となるよう制度融資等に関する効果的な情報提供を行うことが必要であると考えます。								

施策 9 取組 1 番号 6 事務事業 人材育成事業									
目的	関係機関の連携により多様な研修機会を提供し、総合的な人材育成を進めます。					担当課	経済企画課		
目標	地域の経済発展に貢献する人材を育成するフードバレーとかち人材育成事業の修了者数の増加を目指します。								
事業実施状況	・フードバレーとかち人材育成事業の実施(修了者数41名)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
		事業費		5,513		4,757			
		特定財源		2,756		0			
		一般財源		2,757		4,757			
		指標名		-				単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度の修了者数は41名（前年修了者数：51名）であり、前年よりも修了者数を下回り目標に向けあまり進捗していません。新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったコースや、例年対面授業を実施していたコースが全回オンライン授業としたことで受講控えが主な要因と考えられます。対面とオンラインの2グループに分け、感染拡大防止を図りつつ開催をしていく必要があると考えます。								

事務事業評価表

施策 9 取組 1 番号 7 事務事業 産業支援機能提供事業									
目的	新製品の研究開発や産学官連携の支援、相談体制の充実などを通じ、地域工業の活性化を図ります。					担当課	経済企画課		
目標	新製品・新技術の開発等に向けた技術相談件数の増加を目指します。								
事業実施状況	・とかち財団への支援(とかち財団による技術指導相談件数903件) ・十勝産業振興センター建設費償還への支援(設備機器利用件数66件) ・商工観光振興基金の管理(商工観光振興基金の寄付者数10,830名、寄付額144,356,000円) ・製品開発、販路開拓等への支援 ・関係機関に配置されたコーディネーター等との連携による支援相談体制の充実 ・北海道中小企業総合支援センター等との連携 ・起業希望者向けのコーディネーターの配置	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
		事業費		176,722		110,535			
		特定財源		7,697		1,000			
		一般財源		169,025		109,535			
		指標名		-				単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度は、関係機関とともに、企業等の技術的課題の解決や新製品開発等の相談に対応し、必要に応じて生産現場等に赴き指導及び助言を実施するなど連携を強化してきたことにより、相談件数は増加しており、目標達成に向け進捗しています。								

施策		9	取組		1	番号		8	事務事業		産業振興ビジョン推進事業					
目的		中小企業者等と連携しながら、帯広市産業振興ビジョンを推進し、中小企業の活性化を図ります。								担当課		経済企画課				
目標		-														
事業実施状況	・帯広市産業振興会議の開催 ・産業振興ビジョンの推進		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
			事業費		0		0									
			特定財源		0		0									
			一般財源		0		0									
			指標名		-						単位					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値						
評価検証	-															

施策 9 取組 1 番号 9 事務事業 企業支援事業													
目的	地元企業との意見交換や事業成果の確認・指導等を通じ、企業の経営力強化を図ります。					担当課	経済企画課						
目標	-												
事業実施状況	・地元企業との意見交換や事業成果の確認、指導等					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費		233		0			
						特定財源		0		0			
						一般財源		233		0			
	指標名		-						単位				
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 9 取組 1 番号 10 事務事業 職業能力開発・向上推進事業											
目的		関係機関の連携により、職業能力開発を促進し、高度な技能を有する人材の育成・確保を図ります。				担当課		商業労働課			
目標		-									
事業実施状況	・職業能力開発事業への支援 ・職業能力開発センターへの運営支援 ・北海道職業能力開発促進大会への支援		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		34,055		33,708				
			特定財源		200		100				
			一般財源		33,855		33,608				
			指標名		-				単位		
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-										

施策 9 取組 1 番号 11 事務事業 商業活性化事業										
目的	商業・商店街の活性化のための情報収集・提供や中小企業団体の組織強化支援などを通し、商業の振興を図ります。					担当課	商業労働課・経済企画課			
目標	-									
事業実施状況	・商業・商店街の活性化に関する情報収集・提供 ・大規模小売店舗立地法に関する事務 ・商業行政に関する事務 ・中小企業団体の組織強化への支援 ・プレミアム付商品券による地域消費喚起 ・飲食業経営継続支援金(937件) ・酒類販売業者への支援(14件) ・飲食店が入居するビル等の共用部分の感染対策への支援(1件) ・帯広市緊急事態措置協力支援金(1060件)					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
						事業費		786,676	925,666	
						特定財源		783,133	921,304	
						一般財源		3,543	4,362	
	指標名		-				単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策	9	取組	1	番号	12	事務事業	組織設立認可等関連事業							
目的	中小企業協同組合などの設立認可等に関する事務を進めます。						担当課	商業労働課						
目標	-													
事業実施状況	・組合設立認可等に関する事務						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
							事業費		0		0			
							特定財源		0		0			
							一般財源		0		0			
	指標名		-						単位					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-													

事務事業評価表

施策 9 取組 2 番号 1 事務事業 十勝・イノベーション・エコシステム推進事業											
目的	産学官金が連携した支援体制により、持続的な事業創出を促進します。					担当課	経済企画課				
目標	産学官金の連携による支援を通じた事業化件数の増加を目指します。										
事業実施状況	・域内外の異分野人材との触発や先進地視察等による事業創発の推進 ・起業候補者の発掘から事業構想の創発、事業計画の磨き上げ、事業化までを一貫してサポートする支援システムの構築(とかち・イノベーション・プログラム2021参加者数35名(うち新規参加者数23名)、事業構想発表件数6件)		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		80,264		48,265				
			特定財源		76,113		47,580				
			一般財源		4,151		685				
			指標名		-				単位		
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、とかち・イノベーション・プログラムにおいて、一部セッションにおけるリモート開催を継続して導入したほか、関係機関への周知や人的ネットワークを通じた参加者募集などを行ったことにより、子育て世帯からの参加をはじめ、新規参加者が半数を超えるなど、参加者の裾野も着実に広がり、支援を通じた事業化件数の増加につながっており、目標達成に向け進捗しています。										

施策 9 取組 2 番号 2 事務事業 産学官連携促進事業														
目的	産学官連携を促進し、大学等の研究成果を活用した新たな事業の創出を図ります。					担当課	経済企画課							
目標	産学官連携による新商品開発件数の増加を目指します。													
事業実施状況	・新商品の開発支援(十勝ブランド認証商品数156件) ・商談会への出展支援					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
						事業費		430		700				
						特定財源		0		0				
						一般財源		430		700				
	指標名		-								単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	R3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、首都圏で開催される展示会、商談会には参加できなかったものの、代替事業として帯広市内で域外企業との商談会を行い地域発の商品、技術等のPR及び販路拡大等の取り組みを行ったことにより十勝ブランド認証機構による認証商品数は増加しており、目標達成に向け進捗しています。													

施策 9 取組 2 番号 3 事務事業 フードバレーとかち推進事業											
目的	十勝管内の自治体や関係機関と連携し、地域の農林水産物の付加価値向上や情報発信などに取り組み、「フードバレーとかち」を推進します。					担当課	経済企画課				
目標	事業者間の連携促進等による6次産業化件数の増加を目指します。										
事業実施状況	・十勝の企業や食・農林漁業に関する情報発信(講演等18件、メルマガ発行28件、Facebook投稿42回)、試験研究機関と生産者や企業等との連携促進(農研機構と連携したスマートフードチェーンプロジェクトの発足) ・「フードバレーとかち」の取り組みへの住民参加の促進(十勝ファンミーティングはコロナ禍の影響により延期) ・生産・加工・流通業者の連携機会の提供など、コーディネート機能の発揮(企業、団体等の視察対応42件) ・域内外企業等との連携促進(日本航空、JALUXとの包括連携協定) ・十勝産農畜産物、加工品の販路拡大(フェア等への協力) ・フードバレーを通じた交流の推進(富士宮市で実施したフードバレープレサミットにおいて、十勝の特産品をPR) ・バイオマス産業都市構想の推進(域内バイオマス状況調査1回、実証事業1回) ・十勝の食の高付加価値化の推進(加工業務用野菜の推進や、おから、ワインカスを使ったプロジェクトの推進)					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費		15,834	9,996		
						特定財源		0	0		
						一般財源		15,834	9,996		
	指標名		-				単位				
	基準値		R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値			
				実績値		実績値		実績値			
	評価検証	R3年度は、フードバレーとかち推進協議会を通して、その連携企業と域内企業等のマッチング支援により、チーズやパン、ワインの新商品開発や首都圏での販路拡大につながったほか、管内農協の特産品を活用した新商品の開発が進むなど、6次産業化事例が増加しており、目標達成に向け進捗しています。									

施策 9 取組 3 番号 1 事務事業 企業立地促進事業									
目的	企業の設備投資に対する支援などにより、企業立地を促進します。					担当課	経済企画課		
目標	立地企業件数について8件を目指します。								
事業実施状況	・企業訪問活動による情報収集 ・立地企業の設備投資への支援(2件) ・新たな工業団地の造成		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		67,888	68,284			
			特定財源		4,505	0			
			一般財源		63,383	68,284			
	指標名		立地企業件数					単位	件
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	5		8		8		8		
			4		2				
評価検証	R3年度の立地企業件数は2件であり、目標を達成しませんでした。 西19条北工業団地の分譲は順調に進んでいるものの実際の立地には一定の時間を要することが考えられます。企業の需要はあるものと考えられるので、今後も企業訪問などを通し情報収集に努め、企業立地の促進につなげていくことが必要と考えます。								

事務事業評価表

施策	9	取組	4	番号	1	事務事業	雇用拡大・機会確保促進事業				
目的	高齢者、移住者、女性等を含む多様な人材と企業のマッチング事業等の実施により、求職者の状況に応じた多様な就業機会の確保を図ります。						担当課	商業労働課			
目標	UIJターン情報の提供登録者について108人を目指します。										
事業実施状況	・季節労働者の通年雇用化促進 ・UIJ ターン、人材マッチングの促進 ・高齢者の就業機会の拡大 ・シルバー人材センターへの運営支援 ・国の雇用調整助成金嵩上げ及び手続きの支援						単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
							事業費	47,769	66,877		
							特定財源	13,150	34,089		
							一般財源	34,619	32,788		
							指標名	UIJターン情報提供先の登録数			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
		63	83 139	95 196	108						
評価検証	R3年度のUIJターン情報の提供登録者は196人であり、目標を達成しました。 移住相談会の定期的な開催や移住イベントの実施など、移住希望者との接点を増やしたことが効果的であったと考えます。										

施策	9	取組	4	番号	2	事務事業	労働環境整備促進事業					
目的	労働相談の実施や子どもを生育しやすい職場環境づくりなど、勤労者が安心して働くことができる環境整備を促進します。						担当課		商業労働課			
目標	とちか勤労共済センター会員数について8,538人を目指します。											
事業実施状況	・労働相談の実施 ・子育て応援事業所促進事業の実施 ・とちか勤労者共済センターへの運営支援 ・事業所雇用実態調査の実施						単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
							事業費	13,053	12,379			
							特定財源	0	0			
							一般財源	13,053	12,379			
	指標名		とちか勤労共済センター会員数					単位	人			
	基準値		R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値	8,538			
				実績値		実績値		実績値				
7,613			8,075		8,306		8,371					
			8,264		8,371							
評価検証	R3年度のとちか勤労者共済センター会員数は8,371人であり、目標を達成しました。 十勝管内市町村における広報や商工会を通じたパンフレットの送付や、ホームページでの周知が効果的であったと考えます。											

施策	9	取組	4	番号	再	事務事業	子育て支援事業<再掲2-1-3>				
目的	子育て世代包括支援センターにおいて、子育て相談など多様な子育て支援事業を実施します。						担当課	子育て支援課			
目標	-										
事業実施状況	・ファミリーサポートセンター事業の実施 ・子育て応援事業所登録事業の実施						単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
							事業費		-	-	
							特定財源		-	-	
							一般財源		-	-	
	指標名		-					単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策	9	取組	4	番号	再	事務事業	障害者就労促進事業<再掲5-3-1>							
目的	障害のある人の一般就労や、就労後の職場定着の支援などにより、障害のある人の自立や就労を促進します。						担当課		障害福祉課					
目標	-													
事業実施状況	・障害者施設からの物品優先調達 ・障害者就労・生活支援事業 ・障害者の職場体験実習の実施 ・障害者の就労環境づくり ・農福連携の推進等による障害者の就労機会の拡大						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
							事業費		-		-			
							特定財源		-		-			
							一般財源		-		-			
							指標名		-					
	基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値				
				実績値			実績値			実績値				
評価検証	-													

施策	9	取組	4	番号	再	事務事業	移住推進事業<再掲22-2-1>							
目的	移住に関する相談活動や情報提供などにより、移住等を促進します。						担当課	観光交流課						
目標	-													
事業実施状況	・移住に関する情報収集、提供 ・移住に関する相談の実施 ・ちょっと暮らしサポート事業の実施						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
							事業費		-		-			
							特定財源		-		-			
							一般財源		-		-			
	指標名		-						単位					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-													

施策	9	取組	4	番号	再	事務事業	女性活躍推進事業<再掲22-3-1>											
目的	育児・介護休業制度等の周知や意識啓発などにより、男女がともに仕事と家庭生活が両立できる環境づくりを進めます。						担当課		市民活動課									
目標	-																	
事業実施状況	・女性活躍に関する講座の開催 ・ワークライフバランス啓発資料等の作成・配布						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
							事業費		-		-							
							特定財源		-		-							
							一般財源		-		-							
							指標名						-		単位			
							基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値		
										実績値			実績値			実績値		
評価検証	-																	

事務事業評価表

施策 10 取組 1 番号 1 事務事業 体験・滞在型観光推進事業									
目的	管内町村などと連携し、自然や農業、食を活かした体験・滞在型観光を進めます。				担当課	観光交流課			
目標	十勝のアウトドア観光消費額について861百万円を目指します。								
事業実施状況	・自然体験観光推進事業の実施(ヤマメ、ニジマス放流1回) ・十勝アウトドアDMOへの支援 ・アウトドア観光情報の発信 ・ワーケーションの推進 ・アイヌ古式舞踊の観光コンテンツ化に向けた取組の実施(舞踊披露15回)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
		事業費		36,597		27,285			
		特定財源		17,754		17,950			
		一般財源		18,843		9,335			
		指標名		十勝のアウトドア観光消費額				単位	百万円
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
		775.7			811.5 299.9		835.9 337.9		861.0
評価検証	R3年度の十勝のアウトドア観光消費額は337.9百万円であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光需要が大きく低減したことなどが要因であると考えます。								

施策 10 取組 1 番号 2 事務事業 三大まつり等開催事業										
目的		各種イベントにおいて十勝の魅力を発信することにより、にぎわいの創出や交流人口の拡大を図ります。			担当課		観光交流課			
目標		帯広三大まつりの来場者数の増加を目指します。								
事業実施状況	・三大まつり(平原まつり中止、菊まつり規模縮小3565人、氷まつり中止)への支援 ・地域イベントへの協力、支援		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		29,311		42,536			
			特定財源		875		0			
			一般財源		28,436		42,536			
			指標名		-					単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証		R3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、三大まつりをはじめ各種イベントが中止・縮小開催となったことから、来場者数は大きく減少しており、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、感染対策を考慮した開催方法やまつり全体のあり方について関係機関と連携しながら検討していく必要があると考えます。								

施策 10 取組 1 番号 3 事務事業 地域観光圏連携推進事業														
目的	地域観光圏と連携し、広域観光ルートの形成を図ります。					担当課	観光交流課							
目標	全道外国人観光客宿泊客延べ数道東シェアの向上を目指します。													
事業実施状況	・道内他地域との連携による広域観光の推進 (web雑誌での情報発信の実施)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
						事業費		2,322		1,667				
						特定財源		0		0				
						一般財源		2,322		1,667				
	指標名		-						単位					
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、北海道全体の外国人観光客がほとんどいなくなるとともに、道東地区における宿泊客延べ数も減少しており、目標達成に向けあまり進捗していません。													

施策 10 取組 2 番号 1 事務事業 アンテナショップ運営事業									
目的	とちか物産センターの運営を支援し、地域の特産品等の宣伝、販売を促進します。				担当課	経済企画課			
目標	とちか物産センターの売上額について3.2億円を目指します。								
事業実施状況	・とちか物産センターへの運営支援	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
		事業費		16,700		16,700			
		特定財源		0		0			
		一般財源		16,700		16,700			
		指標名		とちか物産センター売上額				単位	億円
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
		3.2			3.2		3.2		3.2
					0.2		0.2		
評価検証	R3年度のとちか物産センター売上額は0.2億円であり、目標を達成しませんでした。 ギフト商品の拡充によりインターネット受注高は増加傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により駅利用者数、観光客数が大きく減少したことが要因であると考えます。今後、帯広物産協会および会員企業による商品開発の促進をはかることはもとより、ネット販売用の商品ラインナップをさらに拡充するなど、多様な販売チャネルを活かした販売戦略を展開していく必要があると考えます。								

施策 10 取組 2 番号 2 事務事業 物産販路拡大推進事業										
目的	物産展への特産品出展などにより、特産品の販路拡大や地域のイメージアップを図ります。				担当課	経済企画課				
目標	物産展等の取扱額について3.3億円を目指します。									
事業実施状況	・道内外での物産展の開催 ・北海道の物産と観光展等への出展支援(28店) ・北海道の物産と観光展合同企画会議への支援		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		3,550		3,550			
			特定財源		0		0			
			一般財源		3,550		3,550			
			指標名		物産展等取扱額				単位	億円
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	3.0			3.3 1.4		3.3 2.1		3.3		
評価検証	R3年度の物産展等取扱額は2.1億円であり、目標を達成しませんでした。 新たな商品開発や全道の物産協会との連携強化を図ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国の物産展が中止・縮小となったことが要因であると考えます。今年度は28店の出展を予定しており、商品開発や連携強化を深め、コロナ禍でも対応可能な物産展への関わり方を検討していく必要があります。									

施策 10 取組 2 番号 3 事務事業 観光プロモーション事業														
目的	国内外において、地域の魅力を活かした誘致宣伝活動を進め、観光客の誘致を図ります。				担当課	観光交流課								
目標	市内観光入込客数について332万人を目指します。													
事業実施状況	・観光ポスター、パンフレットなどによる観光情報の発信 ・地域おこし協力隊制度の活用による地域の魅力発信(フリーペーパー3回、パンフレット1回) ・観光客の誘致に向けたプロモーション活動の実施(アニメ制作1回、現地プロモーション3回) ・おびひろ割の実施(宿泊3373人泊、体験1238人)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
					事業費		100,340		59,976					
					特定財源		78,434		47,093					
					一般財源		21,906		12,883					
					指標名		市内観光入込客数				単位		万人	
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
	292.5				311.6 140.6				321.7 138.2				332.0	
	評価検証	R3年度の市内観光入込客数は138.2万人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外からの入込客数が減少したことが要因であると考えます。 コロナ禍においては即効性のある取り組みを講じることが難しい状況であり、感染症の収束後に向けたプロモーション活動の継続的な取り組みが必要と考えます。												

事務事業評価表

施策	10	取組	2	番号	4	事務事業	コンベンション誘致推進事業						
目的	関係機関と連携した情報発信や開催支援により、コンベンションの誘致を進めます。					担当課	観光交流課						
目標	コンベンション誘致件数の増加を目指します。												
事業実施状況	・コンベンションの誘致活動(商談会3回) ・コンベンションの開催支援(ラリー北海道)					単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
						事業費	3,830		3,617				
						特定財源	0		0				
						一般財源	3,830		3,617				
						指標名	-					単位	
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、関係機関と連携した情報発信や開催支援によるコンベンションの誘致を進めてきたものの、新型コロナウイルス感染症の影響によるコンベンションの中止等により、コンベンション誘致件数の増加には至っておらず、目標達成に向けあまり進捗していません。今後もこの地域の特色を活かした継続的な誘致活動を展開していくことが必要と考えます。												

施策	10	取組	2	番号	再	事務事業	空港利用促進事業<再掲11-2-1>									
目的	関係機関と連携した航空会社等への要請活動やプロモーション活動等に取り組み、とから帯広空港の利用促進を図ります。						担当課		観光交流課							
目標	-															
事業実施状況	・航空路線の充実に向けた関係機関への要請活動の実施 ・利用促進に向けたプロモーション活動の実施 ・新たな路線就航のための調査、検討 ・通訳の配置など受入体制の充実						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
							事業費		-		-		-			
							特定財源		-		-		-			
							一般財源		-		-		-			
	指標名		-				単位									
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値								
評価検証	-															

施策	10	取組	2	番号	再	事務事業	スポーツ大会・合宿等誘致事業 <再掲15-3-1>									
目的	情報発信や関係団体と連携し、スポーツ大会・合宿等の誘致を進めるほか、プロスポーツの選手と触れ合う機会を創出します。						担当課		スポーツ課							
目標	-															
事業実施状況	・各種全国・全道大会等の誘致、開催支援 ・合宿の誘致 ・スケート国際大会の誘致、開催 ・プロスポーツ等の誘致						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
							事業費		-		-		-			
							特定財源		-		-		-			
							一般財源		-		-		-			
	指標名		-						単位							
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値								
評価検証	-															

施策	10	取組	3	番号	1	事務事業	観光インフォメーション推進事業						
目的	駅や空港等における観光や物産情報の提供などにより、観光客の利便性向上を図ります。					担当課	観光交流課						
目標	観光情報センター利用者数について50,000人を目指します。												
事業実施状況	・とから観光情報センターの運営(20,780人) ・空港観光案内所への運営支援 ・馬の資料館を活用した情報発信					単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
						事業費	30,959		30,959				
						特定財源	0		0				
						一般財源	30,959		30,959				
	指標名		観光情報センター利用者数					単位		人			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値					
	49,517		50,000 23,773		50,000 20,780		50,000						
評価検証	R3年度の観光情報センター利用者数は20,780人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光入込客数が大きく減少したことが要因であると考えます。今後、SNSやホームページの活用といった非接触型の情報案内を強化するなど、社会環境等の変化に対応した多様な情報発信が必要と考えます。												

施策	10	取組	3	番号	2	事務事業	観光景観等整備事業										
目的	景観等の整備を通し、観光客等に対する地域のイメージアップを図ります。						担当課		観光交流課								
目標	地域観光景観等を維持します。																
事業実施状況	・中心市街地へのWi-Fiスポットの維持管理への支援(利用件数9549件) ・シーニックバイウェイ北海道「トカプチ雄大空間ルート」への運営支援						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
							事業費		1,677		863						
							特定財源		0		0						
							一般財源		1,677		863						
							指標名		-		単位						
							基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、中心市街地におけるWi-Fi環境の維持管理への支援やライトアップイベントなどに取り組み、観光受入環境、景観の維持を図っており、目標達成に向け進捗しています。																

施策	10	取組	3	番号	3	事務事業	観光推進団体支援事業													
目的	観光推進団体の育成、支援や連携を進め、観光客の受入環境の充実を図ります。						担当課		観光交流課											
目標	観光スポットやモデルルートなどの情報を提供する帯広観光コンベンション協会HPのアクセス数の増加を目指します。																			
事業実施状況	・帯広観光コンベンション協会への支援（HPアクセス数365,457件） ・十勝観光連盟など各種団体との連携						単位:千円		R2年度決算額			R3年度決算額			R4年度決算額					
							事業費		57,561			60,981								
							特定財源		0			0								
							一般財源		57,561			60,981								
							指標名		-						単位					
							基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、観光推進団体の育成、支援や連携を通じ観光案内を実施したものの、新型コロナウイルス感染症の拡大による観光需要の減少に伴い、帯広観光コンベンション協会HPのアクセス数は減少しており、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、SNSを活用した観光スポット紹介を強化するなど、多様な情報発信の取り組みが必要と考えます。																			

事務事業評価表

施策 10 取組 3 番号 4 事務事業 観光施設管理運営事業												
目的	観光施設を適正に維持管理し、観光客受入環境の充実を図ります。					担当課	観光交流課					
目標	-											
事業実施状況	・観光施設の維持管理				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		33,403		34,261			
					特定財源		236		739			
					一般財源		33,167		33,522			
	指標名		-						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-											

施策 10 取組 3 番号 5 事務事業 北愛国交流広場管理運営事業												
目的		北愛国交流広場の適切な管理運営により、各種イベントの開催を促進します。				担当課		観光交流課				
目標		-										
事業実施状況	・北愛国交流広場の管理運営				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		6,779		5,607			
					特定財源		1,203		0			
					一般財源		5,576		5,607			
	指標名		-						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-											

施策 11 取組 1 番号 1 事務事業 十勝港利活用促進事業														
目的	管内自治体と連携し十勝港の整備などを進め、十勝港の利活用を促進します。						担当課	企画課						
目標	-													
事業実施状況	・十勝港の港湾機能の整備や利活用促進に関する国や北海道等への要望活動の実施				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
					事業費		0		0					
					特定財源		0		0					
					一般財源		0		0					
					指標名 -						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-													

施策 11 取組 1 番号 2 事務事業 主要幹線・広域道路整備促進事業										
目的	主要な幹線道路や高規格幹線道路の整備を促進し、広域的な交通ネットワークの形成を図ります。					担当課	都市政策課			
目標	-									
事業実施状況	・高規格幹線道路の整備に関する要望活動の実施	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		948		868				
		特定財源		0		0				
		一般財源		948		868				
		指標名 -						単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 11 取組 1 番号 3 事務事業 鉄道高速化等促進事業												
目的	石勝線・根室線の高速化等の促進のほか、維持充実にに向けた要望活動などにより、鉄道輸送の利便性の向上を図ります。				担当課	都市政策課						
目標	-											
事業実施状況	・石勝線・根室線の高速化の促進や、維持充実にに向けた要望活動の実施 ・JR北海道の線区見直し等に係る情報収集 ・北海道新幹線の札幌延伸を見据えた圏域への波及効果などに係る情報収集				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		0		0			
					特定財源		0		0			
					一般財源		0		0			
					指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 11 取組 1 番号 再 事務事業 地域公共交通活性化事業<再掲21-6-2>																		
目的	地域公共交通網形成計画に基づき、事業者等との連携によるバス交通の利便性の向上や活性化を図ります。						担当課	都市政策課										
目標	-																	
事業実施状況	・公共交通の利用促進(小学生等への交通環境学習の実施(14回736名参加)、バス停留所除雪対策の実施(対象停留所714箇所)、関係機関と連携した公共交通実態調査など)						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
							事業費		-		-							
							特定財源		-		-							
							一般財源		-		-							
							指標名		-						単位			
							基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-																	

施策	11	取組	2	番号	1	事務事業	空港利用促進事業											
目的	関係機関と連携した航空会社等への要請活動やプロモーション活動等に取り組み、とちか帯広空港の利用促進を図ります。						担当課		観光交流課									
目標	とちか帯広空港におけるチャーター便の増加を目指します。																	
事業実施状況	・とちか帯広空港開港40周年記念遊覧飛行の実施(1回) ・航空会社企業会員向けビジネスキャンブモニターツアーの実施(1回) ・利用促進に向けたプロモーション活動の実施 ・国内チャーター便歓迎事業の実施(6回)						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
							事業費		5,200		3,281							
							特定財源		0		0							
							一般財源		5,200		3,281							
							指標名		-						単位			
							基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	R3年度は5月、8月、11月に計14往復の国内チャーター便の運航がありましたが、コロナ禍の長期化の影響もあり目標達成に向けてあまり進捗していません。今後の感染症の収束を見据え、関係機関と連携した利用促進策を展開していくことが必要と考えます。																	

施策	11	取組	2	番号	2	事務事業	空港整備事業										
目的	滑走路の改良など空港施設の整備により、空港機能の維持向上を図り、航空機の安全で安定的な運航を確保します。						担当課		観光交流課								
目標	-																
事業実施状況	・空港施設整備に関する関係機関との調整協議 ・誘導路改良工事 ・誘導路灯火改良工事 ・監視制御装置設置工事 ・滑走路端安全区域(RESA)整備実施設計						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
							事業費		1,556,232		863,045						
							特定財源		1,538,307		845,734						
							一般財源		17,925		17,311						
							指標名		-				単位				
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値							
評価検証	-																

施策	11	取組	2	番号	3	事務事業	空港施設維持補修事業									
目的	滑走路などの空港施設を維持補修し、航空機の安全で安定的な運航を確保します。						担当課	観光交流課								
目標	-															
事業実施状況	・誘導路、航空灯火等の維持補修						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
							事業費		37,781		6,175					
							特定財源		0		0					
							一般財源		37,781		6,175					
	指標名		-						単位							
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値						
評価検証	-															

施策	11	取組	2	番号	4	事務事業	空港管理運営事業															
目的	とちか帯広空港を適切に管理運営し、航空機の安全で安定的な運航を確保します。						担当課		観光交流課													
目標	-																					
事業実施状況	・車両購入費の償還 ・北海道内7空港の一括運営委託に係る業務 (モニタリングの実施)						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額									
							事業費		451,250		48,412											
							特定財源		43,752		0											
							一般財源		407,498		48,412											
							指標名						-						単位			
							基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値						
評価検証	-																					

事務事業評価表

施策 12 取組 1 番号 1 事務事業 食育推進事業（小・中学校）（給食センター）										
目的	学校給食における地元産食材の活用や教科を通して食育を進め、食に関する正しい理解を促進します。					担当課	給食センター			
目標	学校給食が好きだと思う児童生徒の割合について71.3%を目指します。									
事業実施状況	・ふるさと給食の提供(5回) ・地場産農産物生産者との交流 ・食育・給食のPR ・学校給食における地元産食材導入の推進(63.1%) ・食育アンケートの実施 ・姉妹都市交流給食の提供(1回)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		1,927		1,929				
		特定財源		0		0				
		一般財源		1,927		1,929				
		指標名		学校給食が好きだと思う児童生徒の割合				単位	%	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
		69.8		70.3 65.1		70.8 72.9		71.3		
評価検証	R3年度の学校給食が好きだと思う児童生徒の割合は72.9%であり、目標を達成しました。 学校給食を通じた食や地域産業に対する正しい理解を促進するため、ふるさと給食の提供のほか、栄養教諭等による食育指導などを実施したことが効果的であったと考えます。 引き続き、新メニューの開発などを通じた学校給食の魅力向上のほか、各種媒体を活用した情報発信を行っていく必要があると考えます。									

施策 12 取組 1 番号 2 事務事業 体験活動機会提供事業（学校地域連携課）										
目的	体験機会の提供などにより、青少年の社会性を育みます。					担当課	学校地域連携課			
目標	子どもたちの豊かな人間性や社会性を養う体験活動の参加者数を維持します。									
事業実施状況	・中学生からのメッセージ事業の実施（発表者14人、来場者98人） ・冬季活動機会提供事業（中止） ・おびひろキッズタウン（中止）	単位：千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		119		121				
		特定財源		0		0				
		一般財源		119		121				
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、中学生からのメッセージを実施しましたが、新型コロナウイルス感染症対策により、冬季活動機会提供事業やおびひろキッズタウンを中止したため、目標達成に向けあまり進捗していません。今後も、必要な感染症対策を実施しながら事業を継続していくことが必要であると考えます。									

施策	12	取組	1	番号	3	事務事業 青少年活動支援事業（学校地域連携課）						
目的	青少年育成団体などと連携し、体験活動や宿泊研修を通して、積極的に地域や学校での活動に取り組む青少年のリーダー養成を進めます。					担当課	学校地域連携課					
目標	地域活動等に取り組むジュニアリーダーの養成事業への参加者数を維持します。											
事業実施状況	・ジュニアリーダーの養成 (地域子ども会リーダー宿泊研修会の開催(中止)、北海道地域子ども会リーダー研修会やジュニアリーダーコースへの派遣、ジュニアリーダーの育成支援)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	5	74				
						特定財源	0	0				
						一般財源	5	74				
						指標名	-			単位		
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度は、中高校生を対象としたあるふあの会の部会と、北海道地域子ども会リーダー研修会やジュニアリーダーコースへの派遣は行いましたが、新型コロナウイルス感染症対策により、地域子ども会リーダー研修会を中止したため、目標達成に向けあまり進捗していません。今後も、必要な感染症対策を実施し、活動を継続していくことが必要であると考えます。											

施策 12 取組 1 番号 4 事務事業 おびひろ市民学推進事業																
目的	学校・家庭・地域が連携し、子どもの学びや育ちを支援することにより、地域への誇りや愛着を持つ子どもたちの育成を図ります。					担当課	学校教育指導課									
目標	おびひろ市民学を通じて地域のことが好きになったと回答した子どもの割合の増加を目指します。															
事業実施状況	・全小中学校の児童生徒を対象とした「おびひろ市民学」の実施 ・各学校が独自に取り組む特色ある教育活動への支援 ・総合的な学習の時間の取り組み等への支援					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
						事業費		10,159		7,826						
						特定財源		0		0						
						一般財源		10,159		7,826						
						指標名		-						単位		
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、市内全校において、帯広市の豊かな自然環境や歴史、伝統、文化、地域住民との関わりを通した「おびひろ市民学」を実施したことにより、市内全児童生徒に行った「帯広に関するアンケート」において、「帯広のことが好き」と肯定的な回答をした児童生徒の割合が増加しており、目標達成に向け進捗しています。															

施策 12 取組 1 番号 5 事務事業 外国語指導講師派遣事業										
目的	外国人講師を派遣し、諸外国の言語・文化等への理解やコミュニケーション能力の育成を図ります。					担当課	学校教育指導課			
目標	英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合おうとする子どもの割合の増加を目指します。									
事業実施状況	・小中学校への外国語指導講師の派遣(1,384回)		単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費	29,582		29,575				
			特定財源	0		0				
			一般財源	29,582		29,575				
			指標名	-					単位	
			基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、市内全校へ外国人講師を派遣したことにより、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合おうとする子どもの割合が増加しており、目標達成に向けて進捗しています。									

施策 12 取組 1 番号 6 事務事業 動画教材作成事業										
目的	地域素材を生かした動画教材を作成し、授業で活用することにより、地域理解、学習意欲や学力の向上を図ります。					担当課	教育研究所			
目標	児童生徒の学習に対する意欲向上を促す動画教材の利用回数の増加を目指します。									
事業実施状況	・地域素材を生かした動画教材の作成(8本、44,252回)		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		502		502			
			特定財源		0		0			
			一般財源		502		502			
			指標名 -						単位	
			基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度は、おびひろ市民学の中学校3年生での必須単元である「帯広市のこれから」に係わる動画を作成したことなどにより、利用回数は増えており、目標達成に向けて進捗しています。									

事務事業評価表

施策 12 取組 2 番号 1 事務事業 地域連携推進事業												
目的	学校施設や人材の活用により、地域住民に学習機会を提供し、地域との結びつきを深めます。					担当課	南商業高校					
目標	地域と学校とのつながりを促進する学校開放事業の参加者数の増加を目指します。											
事業実施状況	・学校開放講座の開催(中止)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		0		0			
					特定財源		0		0			
					一般財源		0		0			
	指標名		-					単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	R3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため講座の実施を取りやめたため、目標達成に向けあまり進捗していません。 今後は、整備してきた資材の活用や人数の制限などの感染症対策を講じながら、学校内での実施に向けた検討を行う必要があります。											

施策 12 取組 2 番号 2 事務事業 国際理解教育推進事業											
目的	個々の生徒の実力に応じた英語教育や外国の実社会に触れる機会の提供などにより、英語能力の向上や外国の生活文化の理解促進を図ります。					担当課	南商業高校				
目標	-										
事業実施状況	・インターネットを活用した英語学習の推進 ・マディソン市への生徒派遣(中止) ・外国語指導講師の配置(1人)			単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
				事業費		5,043		4,825			
				特定財源		0		0			
				一般財源		5,043		4,825			
	指標名		-						単位		
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-										

施策 12 取組 2 番号 3 事務事業 キャリア教育推進事業										
目的	外部講師を活用した専門教育などにより、社会人・職業人として必要とされる能力の育成を図ります。					担当課	南商業高校			
目標	-									
事業実施状況	・外部講師を活用した専門教育の推進 ・情報機器の整備 ・北海道高等学校商業教育フェアへの参加(中止)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		8,644		11,351				
		特定財源		0		0				
		一般財源		8,644		11,351				
		指標名		-					単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 12 取組 2 番号 4 事務事業 社会人教育推進事業									
目的	ボランティア活動の推進など、課外活動を充実し、生徒の社会性の育成を図ります。					担当課	南商業高校		
目標	-								
事業実施状況	・ボランティア活動の推進 ・宿泊研修(中止)、見学旅行の実施		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		10		2,342		
			特定財源		0		0		
			一般財源		10		2,342		
	指標名		-					単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 12 取組 2 番号 5 事務事業 学校運営事業										
目的	学校運営を適切に進め、良好な学習環境を提供します。					担当課	南商業高校			
目標	-									
事業実施状況	・学校保健の推進 ・学校運営に関する事務 ・スクールカウンセラーの配置(1人)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		22,320		23,246				
		特定財源		79,128		75,462				
		一般財源		△56,808		△52,216				
		指標名		-					単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策	12	取組	2	番号	6	事務事業	学校施設維持管理事業（南商）					
目的	学校施設を適切に維持管理し、良好な学習環境を提供する。						担当課	南商業高校				
目標	-											
事業実施状況	・学校施設の維持管理 ・設備の改修等					単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費	49,741		63,315			
						特定財源	15,425		17,447			
						一般財源	34,316		45,868			
	指標名					-					単位	
						基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 12 取組 2 番号 7 事務事業 学習環境整備事業（南商）												
目的	学校図書や備品の整備等により、良好な学習環境を提供する。							担当課	南商業高校			
目標	-											
事業実施状況	・学校図書の整備 ・備品等の整備				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		6,741		16,805			
					特定財源		34		10,246			
					一般財源		6,707		6,559			
	指標名		-						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 12 取組 3 番号 1 事務事業 教員リーダー育成事業									
目的	人間力に裏打ちされたリーダーシップのある教師を育成し、教師全体の指導力向上を図ります。					担当課	教育研究所		
目標	教員リーダー研修の参加者数について192人を目指します。								
事業実施状況	・研修会の開催(4回) ・参加者同士の交流、協議		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		188	207			
			特定財源		0	0			
			一般財源		188	207			
	指標名		教員リーダー研修参加人数				単位	人	
	基準値		R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値	
				実績値		実績値		実績値	
評価検証	172		192		192		192		
			24		202				
R3年度的人数は202人であり、目標を達成しました。従来は対面での受講のみとしていましたが、オンラインでの受講を可能にしたことが要因であると考えます。									

施策 12 取組 3 番号 2 事務事業 教育研究事業										
目的	教育に関する調査研究の成果を各学校に提供し、教師の指導力向上を図ります。				担当課	教育研究所				
目標	教師の指導力を向上する研修講座（教育研究所主催）の参加者数について801人を目指します。									
事業実施状況	・教育研究所の運営 ・調査研究紀要の発刊 ・研修講座の開催(10回) ・情報教育の推進	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費		11,865	18,592					
		特定財源		0	0					
		一般財源		11,865	18,592					
		指標名	研修講座への参加人数					単位	人	
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
			726	801 948		801 793		801		
評価検証	R3年度的人数は793人となり、目標を達成しませんでした。対面とオンラインでの参加を可能としましたが、野外見学を伴う研修においては、座学のための配信であったことなどから、参加者数が伸びなかったことが要因と考えます。今後、オンラインでの参加でも満足感があり、興味関心を引き出すような研修を増やしていく必要があります。									

施策 12 取組 3 番号 3 事務事業 学校図書館運営事業												
目的	図書資料の整備や学校図書館活性化事業の推進により、児童生徒の読書活動の充実を図ります。					担当課	学校教育課					
目標	子どもの読書機会の増加及び興味関心の向上を目指します。											
事業実施状況	・学校図書館の運営 ・学校図書館図書資料の整備(蔵書率100%達成) ・学校図書館活性化事業に対する支援(小学校26校、中学校14校)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		52,791		71,787			
					特定財源		31,669		0			
					一般財源		21,122		71,787			
					指標名				-		単位	
					基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校図書ボランティアの活動が依然として制限される状況においても、学校図書の蔵書率100%達成に向けた整備や帯広市電子図書館による電子書籍の授業等での活用などにより、書籍の貸し出しが増加傾向にあり、目標達成に向けて進捗しています。 学校図書の蔵書率と学校におけるICTの活用状況を踏まえながら、児童生徒の読書活動に関わる評価検証手法の検討を進め、学校図書と電子図書の総合的な導入を進める必要があると考えます。											

施策 12 取組 3 番号 4 事務事業 学校保健事業										
目的	健康診断の実施や、関係団体と連携した学校保健推進体制を整備し、児童生徒の健康保持を促進します。					担当課	学校教育課			
目標	-									
事業実施状況	・健康診断の実施 ・学校内の衛生環境の確保 ・スポーツ振興センター災害共済給付 ・学校保健委員会設置の推進	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		65,389		63,898				
		特定財源		6,570		4,503				
		一般財源		58,819		59,395				
		指標名		-					単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 12 取組 3 番号 5 事務事業 データベース教材作成事業														
目的 データベース教材を活用し、一人ひとりの学習達成状況に応じた指導を行い、学習意欲や学力の向上を図ります。				担当課		教育研究所								
目標 児童生徒の学習に対する意欲向上を促すデータベース教材の利用回数の増加を目指します。														
事業実施状況	・データベース教材の作成(10本、421,613回)			単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
				事業費		700		700						
				特定財源		0		0						
				一般財源		700		700						
				指標名			-					単位		
				基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度はChromebook端末と親和性の高い教材を作成したことによりソフトの利用回数が増えており、目標達成に向けて進捗しています。													

事務事業評価表

施策 12 取組 3 番号 6 事務事業 学校施設維持管理事業（職員室CMI）												
目的	学校施設を適切に維持管理し良好な学習環境を提供します。						担当課	企画総務課				
目標	-											
事業実施状況	・職員室用パソコンの維持管理				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		54,983		67,827			
					特定財源		0		0			
					一般財源		54,983		67,827			
					指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 12 取組 3 番号 7 事務事業 文化系大会派遣支援事業																
目的	全国・全道大会への参加を支援し、文化系クラブの活動を促進します。						担当課	学校教育課								
目標	-															
事業実施状況	・文化系クラブの全道・全国大会派遣及びPCR検査費用への支援(大会派遣71件、検査費用0件)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
					事業費		0		1,361							
					特定財源		0		0							
					一般財源		0		1,361							
					指標名						-		単位			
					基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-															

施策 12 取組 3 番号 8 事務事業 体育系大会派遣支援事業											
目的	全国・全道大会への参加を支援し、体育系クラブの活動を促進します。						担当課	学校教育課			
目標	-										
事業実施状況	・体育会系クラブの全道・全国大会派遣及びPCR検査費用への支援(大会派遣257件、検査費用21件) ・全道大会の開催支援		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		1,524		11,444				
			特定財源		0		0				
			一般財源		1,524		11,444				
			指標名		-						単位
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-										

施策 12 取組 3 番号 9 事務事業 教職員管理事業									
目的	教職員の人事管理や福利厚生などを適切に行い、教職員が能力を十分に発揮することができる環境を整備します。					担当課	学校教育課		
目標	-								
事業実施状況	・教職員の人事、服務管理、福利厚生等 ・教職員住宅の整備(清川中学校)、維持管理等 ・教職員の働き方改革の推進		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		9,643	32,277			
			特定財源		2,342	21,172			
			一般財源		7,301	11,105			
			指標名		-				単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 12 取組 3 番号 10 事務事業 教育指導推進事業									
目的	教育理論等に関する調査・研究や普及を進め、教師の指導力向上を図ります。					担当課	学校教育指導課		
目標	-								
事業実施状況	・各教科、部門の研究 ・地域特性を活かした教材の研究 ・各種講座等への参加	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		2,375	2,601				
		特定財源		331	604				
		一般財源		2,044	1,997				
		指標名 -					単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-								

施策 12 取組 3 番号 11 事務事業 学力検査事業											
目的	児童生徒の学力を調査・分析し、学習指導に活用することにより、学習意欲や学力の向上を図ります。						担当課	教育研究所			
目標	-										
事業実施状況	・標準学力調査の実施		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		6,071		6,775				
			特定財源		0		0				
			一般財源		6,071		6,775				
			指標名		-						単位
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 12 取組 3 番号 12 事務事業 教育研修センター事業													
目的	十勝教育研修センターの活用により、職員研修を効果的・効率的に実施し、教師の指導力向上を図ります。					担当課		教育研究所					
目標	-												
事業実施状況	・十勝教育研修センターの運営(実施主体:十勝圏複合事務組合)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費		8,366		8,351			
						特定財源		0		0			
						一般財源		8,366		8,351			
	指標名		-				単位						
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値					
評価検証	-												

施策 12 取組 3 番号 13 事務事業 学校給食事業														
目的 目標	安全・安心な学校給食の提供により、健全な心と体の育成を図ります。					担当課		給食センター						
	-													
事業 実施 状況	・学校給食の提供 ・食物アレルギーへの対応					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
						事業費		637,169		651,025				
						特定財源		615,315		628,765				
						一般財源		21,854		22,260				
	指標名		-						単位					
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価 検証	-													

施策 12 取組 3 番号 14 事務事業 学校給食センター管理運営事業												
目的	学校給食センターを管理運営し、安全・安心な学校給食を提供します。					担当課		給食センター				
目標	-											
事業実施状況	・学校給食センターの管理運営 ・衛生管理・危機管理の徹底 ・施設・設備の更新 ・学校給食センターの運営手法の調査、研究				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		537,199		544,051			
					特定財源		26,555		7,163			
					一般財源		510,644		536,888			
					指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 12 取組 3 番号 15 事務事業 食育推進事業（小・中学校）（学校教育指導課）												
目的		学校給食や教科を通して食育を進め、食に関する正しい理解を促進します。				担当課		学校教育指導課				
目標		朝食を毎日食べている子どもの割合の増加を目指します。										
事業実施状況	・栄養教諭、食育指導専門員等による食育指導（213回） ・食育、給食のPR				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		5,313		5,315			
					特定財源		0		0			
					一般財源		5,313		5,315			
	指標名		-						単位			
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4 目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、市内全校で栄養教諭及び食育指導専門員による食育指導を実施しましたが、起床時刻や就寝時刻のばらつき等の生活習慣の乱れから、朝食を毎日食べている子どもの割合は減少し目標達成に向けあまり進捗していません。今後も「おびひろ市民学」の「つながる食育」を通し、生活習慣を含めた食育指導の充実を図る必要があると考えます。											

施策 12 取組 4 番号 1 事務事業 学校・家庭・地域連携事業（学校支援地域本部）																	
目的 目標	地域全体で子どもを応援する仕組みにより、各学校単位の取り組みの充実やボランティア等の支援、各取り組みのつながり強化を図ります。					担当課	学校地域連携課										
学校地域ボランティア参加者数の増加を目指します。																	
事業実施状況	・学校支援地域本部の活動支援 ・学校支援ボランティアの育成 ・帯広市学校・家庭・地域協働会議の運営 ・こども学校応援地域基金プロジェクトの運営 ・登下校時の交通事故や不審者から児童を守る安全対策の実施					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
						事業費		28,542		63,719							
						特定財源		25,373		60,813							
						一般財源		3,169		2,906							
						指標名		-				単位					
						基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4	
	評価検証	R3年度は、学校と地域とをつなぐ人材を育成するため、地域コーディネーター向けの研修会を開催しましたが、新型コロナウイルス感染症対策により、学校と地域との連携した活動が縮小・中止されたことから、目標達成に向けあまり進捗していません。今後も、感染防止策を実施しつつ活動を継続していくことが必要であると考えます。															

施策 12 取組 4 番号 2 事務事業 学校・家庭・地域連携事業（子どもの居場所づくり）																			
目的 目標	放課後等に児童が安心して安全に過ごせる場を設け、地域の人との交流を通して、豊かな人間性や社会性を養います。					担当課		学校地域連携課											
放課後の居場所づくり活動に関わるボランティア登録者数を維持します。																			
事業実施状況	・放課後子ども広場の開催（参加ボランティア数延べ920名、実施回数186回） ・居場所づくりに関わるボランティアの養成（参加者6名） ・放課後子ども広場運営委員会の開催（2回）					単位：千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
						事業費		3,077		2,885									
						特定財源		3,077		2,885									
						一般財源		0		0									
						指標名		-				単位							
						基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、ボランティア養成講座で一般参加者を募集しなかったことにより、ボランティア登録者数が減少しています。また、放課後子ども広場の実施についても、緊急事態宣言等により開催を中止した時期があったことから開催回数が減少しており、目標達成に向けあまり進捗していません。今後も感染防止策を講じながらのPR活動を行うことで、新規ボランティアの増加につなげていくことが必要であると考えます。																		

事務事業評価表

施策 12 取組 4 番号 3 事務事業 コミュニティ・スクール等推進事業														
目的	学校運営協議会の活用により、学校と家庭・地域住民との協働による特色ある学校づくりを進めます。					担当課	学校地域連携課							
目標	地域と一体となって特色ある学校づくりを進めるコミュニティ・スクールの導入校の増加を目指します。													
事業実施状況	・コミュニティ・スクールの普及啓発（CS通信の発行3回） ・コミュニティ・スクールの導入（16校）、運営 ・学校運営に関する協議 ・学校評議員制度の活用					単位：千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
						事業費	1,513		1,725					
						特定財源	0		0					
						一般財源	1,513		1,725					
						指標名	-					単位		
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R3年度は、リーフレットの作成・配布、コミュニティ・スクール通信を発行し周知啓発を行ったほか、学校・地域との協力により新たに16校で導入が進むなど、目標達成に向け進捗しています。													

施策 12 取組 4 番号 4 事務事業 通学路安全確保事業										
目的		通学路の点検などを行い、児童生徒の登下校における安全の確保を図ります。				担当課	学校地域連携課			
目標		-								
事業実施状況	・通学路の安全点検 ・通学路安全対策連絡協議会の運営		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		0		0			
			特定財源		0		0			
			一般財源		0		0			
			指標名 -					単位		
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証		-								

施策 12 取組 4 番号 5 事務事業 子ども安全ネットワーク運用事業											
目的	不審者情報や災害情報の保護者への迅速な提供により、適切な対応を促し、児童生徒の安全確保を図ります。					担当課	学校教育指導課				
目標	保護者の子ども安全ネットワークへの登録率の増加を目指します。										
事業実施状況	・情報通信機器による連絡網「子ども安全ネットワーク」の運用(9951件、99.4%)		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		1,891		1,654				
			特定財源		0		0				
			一般財源		1,891		1,654				
			指標名 -						単位		
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、各学校が新型コロナウイルス感染症対策に係る緊急連絡の方法として学校便り等を通じ、情報通信機器による連絡網「子ども安全ネットワーク」の周知及び登録の徹底を行ったことにより、登録率がほぼ100%となっており、目標達成に向け進捗しています。										

施策 12 取組 4 番号 6 事務事業 幼保小中連携推進事業										
目的	幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校の連携を推進し、教育活動の円滑な接続を図ります。					担当課	学校教育指導課			
目標	エリア・ファミリー構想をもとに、エリア内における幼保小及び小中の連携を推進し、小中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合を増加します。									
事業実施状況	・異校種連携の啓発 ・地区レベルにおける協議の場の開催 ・幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校のなめらかな接続をはかるスタートカリキュラムや、教育課程に位置付けた教育の推進 ・小中一貫教育の推進	単位：千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		750		750				
		特定財源		0		0				
		一般財源		750		750				
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、全学校が新型コロナウイルス感染症対策により教育活動が制限されたため、帯広市小中一貫教育推進基本方針及びエリア・ファミリー構想に基づく取り組みが十分にできず、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、ICTを活用した授業参観や授業交流を行うことが必要であると考えます。									

施策 12 取組 4 番号 7 事務事業 通学区域管理事業										
目的	地域の実情等を踏まえ通学区域を設定し、適切な就学環境を整備します。					担当課	学校地域連携課			
目標	-									
事業実施状況	・通学区域の設定、見直し		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		0		0			
			特定財源		0		0			
			一般財源		0		0			
	指標名		-						単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値
評価検証	-									

施策 12 取組 5 番号 1 事務事業 就学資金貸付事業														
目的	経済的理由により、高等学校、専門学校、大学への就学が困難な人に修学資金を貸付し、進学機会の確保を図ります。					担当課	学校教育課							
目標	-													
事業実施状況	・帯広市奨学生選考委員会の開催 ・帯広市奨学資金の貸与(新規4件、継続18件)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
					事業費		22,486		14,810					
					特定財源		32,574		26,520					
					一般財源		△10,088		△11,710					
					指標名		-						単位	
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	-													

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 2 事務事業 特別支援教育推進事業											
目的	インクルーシブ教育の考え方に基き、多様な子どもの場を整備し、児童生徒一人ひとりの特性や状況にあった教育を受けられる環境を整備します。					担当課	学校教育課				
目標	-										
事業実施状況	・特別支援学級の開設 ・特別支援学級の環境整備 ・通級指導教室開設に向けた検討 ・特別な配慮を要する児童生徒に対応した環境整備				単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費	978		620			
					特定財源	0		0			
					一般財源	978		620			
	指標名				-				単位		
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-										

施策 12 取組 5 番号 3 事務事業 特別支援教育支援員配置事業									
目的	障害や学習において困り感を抱えた児童生徒が、一人ひとりの特性や状況にあった教育を受けられる環境を整備します。					担当課	学校教育課		
目標	-								
事業実施状況	・特別支援教育補助員の配置(68人) ・生活介助員の配置(31人)				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
					事業費	140,833	147,619		
					特定財源	6,287	4,064		
					一般財源	134,546	143,555		
	指標名				-			単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 4 事務事業 教育支援委員会運営事業																
目的	障害や学習において困り感を抱えた児童生徒が、一人ひとりの特性や状況にあった環境で教育を受けられるよう、適切な就学先を勧奨します。						担当課	学校教育課								
目標	-															
事業実施状況	・教育支援委員会による教育相談及び就学先の勧奨の実施(教育相談件数483件)						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
							事業費		1,603		1,527					
							特定財源		0		0					
							一般財源		1,603		1,527					
	指標名						-						単位			
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値			
評価検証	-															

施策 12 取組 5 番号 5 事務事業 小規模特認校推進事業												
目的	農村地域の小規模校の特色を活かした教育の機会を提供します。					担当課	学校教育課					
目標	-											
事業実施状況	・小規模特認校制度利用の推進				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		0		0			
					特定財源		0		0			
					一般財源		0		0			
	指標名				-				単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 12 取組 5 番号 6 事務事業 児童生徒支援事業												
目的	相談員等を学校に配置し、児童生徒の心の問題への対応を図るほか、いじめや不登校、非行の相談・指導を行い、未然防止や早期解決を図ります。					担当課	学校教育指導課					
目標	不登校児童生徒の減少を目指します。											
事業実施状況	・こころの教室相談員の配置(6人) ・家庭訪問相談員の配置(6人) ・スクールソーシャルワーカーの配置(6人) ・新校教育相談員の配置(1人) ・適応指導教室の運営 ・いじめ、不登校、非行等に関する対策委員会の運営					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	19,895	20,062				
						特定財源	366	182				
						一般財源	19,529	19,880				
						指標名	-	単位				
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度は、教育相談員等の配置や適応指導教室の運営等、様々な支援に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖や登校自粛等の影響などにより欠席数は増加しており、目標達成に向けあまり進捗していません。こうした状況は本市に限らず全国的な傾向ではありますが、今後、ICTを活用した学びの保障や居場所づくりなど、登校できない児童生徒への学びの環境づくりを進めることが必要であると考えます。											

施策 12 取組 5 番号 7 事務事業 高等学校間口対策事業												
目的	PTAや中学校などと連携した高等学校の間口確保に向けた要望活動などにより、希望する地元的高等学校などへ進学できる機会の確保を図ります。					担当課	企画総務課					
目標	-											
事業実施状況	・帯広市高等学校間口対策協議会の開催 ・北海道教育委員会への要請活動					単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費	0		0			
						特定財源	0		0			
						一般財源	0		0			
	指標名					-					単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 8 事務事業 学校施設地域開放推進事業												
目的		体育館などの学校施設を地域に開放し、施設を有効に活用するとともに、学校と地域の結びつきを深めます。				担当課	企画総務課、学校教育課					
目標		-										
事業実施状況	・スポーツ、文化、地域活動等への施設開放 ・学校図書館の土曜開放				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		127,836		125,922			
					特定財源		0		0			
					一般財源		127,836		125,922			
	指標名				-				単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 12 取組 5 番号 9 事務事業 学校施設維持管理事業（小・中学校）														
目的	学校施設を適切に維持管理し良好な学習環境を提供します。						担当課	企画総務課、学校地域連携課						
目標	-													
事業実施状況	・学校施設の保守点検 ・学校プールの維持管理 ・リンクの造成委託 ・日常経費支出 ・学習機会保障のための物品、機材等の整備						単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
							事業費		653,996	646,578				
							特定財源		114,610	26,818				
							一般財源		539,386	619,760				
							指標名		-	単位				
							基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-													

施策 12 取組 5 番号 10 事務事業 学習環境整備事業（小・中学校）											
目的	学校の備品等の維持・整備を進め、良好な学習環境を提供します。						担当課	企画総務課			
目標	-										
事業実施状況	・小中学校児童生徒用机、椅子の賃貸借及び維持管理 ・消耗品及び備品等による学習環境の維持、整備				単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
					事業費		20,775	24,880			
					特定財源		0	0			
					一般財源		20,775	24,880			
					指標名		-				単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 12 取組 5 番号 11 事務事業 義務教育施設整備事業													
目的	校舎、体育館の改築や長寿命化等を進め、安全で安心して学ぶことができる環境を整備します。					担当課	企画総務課、学校地域連携課						
目標	-												
事業実施状況	・学校トイレの改修及び洋式化(8校) ・防災機能強化 ・煙突用断熱材の除去(緑丘小、柏小) ・ボイラーの改修(啓西小、つつじ小、第一中) ・学校施設の長寿命化計画に基づく施設の維持管理(広陽小、開西小) ・大空地区義務教育学校の整備					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費		1,527,104		2,436,628			
						特定財源		1,380,502		2,245,294			
						一般財源		146,602		191,334			
	指標名		-								単位		
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 12 取組 5 番号 12 事務事業 学校環境整備事業												
目的	学校施設の修繕、学校の備品等の整備・管理など、維持を進め、良好な学習環境を提供します。					担当課	企画総務課、学校地域連携課					
目標	-											
事業実施状況	・学校施設の修繕 ・設備・機器類の修繕 ・屋外教育環境の整備					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
						事業費		70,290	92,638			
						特定財源		500	0			
						一般財源		69,790	92,638			
						指標名				-	単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-											

施策 12 取組 5 番号 13 事務事業 小・中学校適正配置推進事業											
目的	小・中学校の適正配置を進め、適正な学校規模の維持を図り、良好な教育環境を確保します。					担当課	学校地域連携課				
目標	-										
事業実施状況	・大空中学校適正規模の確保等に関する実施計画に基づく取り組み ・市民への説明 ・帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画の推進					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費		71	232		
						特定財源		0	0		
						一般財源		71	232		
						指標名			-	単位	
	基準値			R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 14 事務事業 就学援助費等支給事業											
目的	経済的な困難を抱える世帯や、特別支援学級に通う児童生徒の保護者への支援により、誰もが等しく教育を受けることができる機会を確保します。					担当課	学校教育課				
目標	-										
事業実施状況	・就学援助費の支給 ・特別支援教育就学奨励費の支給			単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
				事業費		190,327		199,351			
				特定財源		3,985		3,827			
				一般財源		186,342		195,524			
				指標名		-					
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 12 取組 5 番号 15 事務事業 障害者高等学校等就学支援事業												
目的	特別支援学校高等部等に在学している生徒の保護者に対する経済的支援により、高等教育機関等への進学を促進します。					担当課	学校教育課					
目標	-											
事業実施状況	・障害者高等教育補助金の交付(98名)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		2,700		2,940			
					特定財源		0		0			
					一般財源		2,700		2,940			
	指標名		-						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-											

施策 12 取組 5 番号 16 事務事業 私立高等学校支援事業																
目的	私立高等学校の教材教具の整備を支援し、教育環境の充実をはかります。					担当課	企画総務課									
目標	-															
事業実施状況	・私立学校教材教具整備費補助金の交付					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
						事業費		3,873		3,945						
						特定財源		0		0						
						一般財源		3,873		3,945						
						指標名		-						単位		
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-															

施策 12 取組 5 番号 17 事務事業 スクールバス運行事業													
目的	遠距離通学や校外活動における交通手段を確保し、安心して通学・活動できる環境を整備します。					担当課	学校教育課						
目標	-												
事業実施状況	・農村地区におけるスクールバスの運行 ・肢体不自由児学級在籍児童、生徒に係るタクシーの運行 ・プール学習、校外活動等におけるバス送迎					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費		125,441		132,584			
						特定財源		0		0			
						一般財源		125,441		132,584			
						指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値					
評価検証	-												

施策 12 取組 5 番号 18 事務事業 教材教具整備事業										
目的	教材教具の整備により、児童生徒が充実した教育を受けることができる教育環境の整備を進めます。					担当課	学校教育課			
目標	-									
事業実施状況	・教材用消耗品、備品の整備、維持管理 ・副読本の作成 ・ピアノ等の維持管理					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
						事業費		189,085	145,691	
						特定財源		25,912	1,690	
						一般財源		163,173	144,001	
						指標名		-		
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策	12	取組	5	番号	19	事務事業 ICT教育環境整備事業										
目的	ICT機器の整備により、児童生徒が充実した教育を受けることができる教育環境の整備を進めます。					担当課	学校教育課									
目標	-															
事業実施状況	・ICT教育環境の整備、維持管理(学校ICTヘルプデスクの設置、デジタルドリルの活用及びオンラインによる健康観察や授業等の実施)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
						事業費		753,715		92,349						
						特定財源		382,344		12,977						
						一般財源		371,371		79,372						
						指標名		-						単位		
						基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 12 取組 0 番号 1 事務事業 教育委員会運営事業												
目的		教育委員会運営に関する事務を進め、地域の実情に応じた教育行政を推進します。				担当課		企画総務課、学校地域連携課、学校教育課				
目標		-										
事業実施状況	・教育委員会会議の開催、運営 ・教育委員会事務局の運営 ・修学旅行の取消料等の支援				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		60,912		58,813			
					特定財源		14,963		358			
					一般財源		45,949		58,455			
	指標名		-						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-											

施策 12 取組 0 番号 2 事務事業 教育基本計画推進事業												
目的		教育基本計画に基づき、教育に関する施策を総合的に推進します。						担当課		企画総務課		
目標		-										
事業実施状況	・教育基本計画の策定及び進捗管理 ・教育に関する点検、評価報告 ・教育行政執行方針の策定 ・教育懇談会の開催		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
			事業費		18		9					
			特定財源		0		0					
			一般財源		18		9					
	指標名		-						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-											

施策 13 取組 1 番号 1 事務事業 学習機会提供事業（生涯学習文化課）												
目的	学習情報のほか、生涯にわたって学ぶ様々な機会を提供します。						担当課	生涯学習文化課				
目標	市民に学びの機会を提供する市民大学講座での学習の満足度について94.0%を目指します。											
事業実施状況	・市民大学講座の実施(26講座980人) ・生涯学習情報誌「まなびや」の発行(年4回) ・高齢者学級の実施(1年生77人、2年生76人) ・プラザエンジョイスchoolの実施(第Ⅰ期644人、第Ⅱ期460人、第Ⅲ期469人、第Ⅳ期462人) ・放送大学の実施(学習室11人利用)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		843		804			
					特定財源		18		27			
					一般財源		825		777			
	指標名		市民大学講座での学習の満足度						単位	%		
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
		94.0	94.0 96.6			94.0 96.9			94.0			
評価検証	R3年度の市民大学講座での学習の満足度（「満足」「やや満足」と答えた人の割合）は96.9%であり、目標を達成しました。 アンケートで頂いた意見等を参考に、オンライン講座を企画したことが効果的であったと考えます。											

施策	13	取組	1	番号	2	事務事業	子ども向けプログラム推進事業（図書館）						
目的	おはなし会や、子ども向け図書の紹介などにより、子どもが幼児期から読書に親しむことができる環境づくりを進めます。						担当課	図書館					
目標	子ども向けおはなし会の参加者数について1,964人を目指します。												
事業実施状況	・図書館等での子どもを対象としたおはなし会の実施(48回、1,143人) ・家庭における読書活動推進事業の実施(家読にチャレンジ！2021 参加者数76人) ・子育て応援バッグ(絵本セット)の貸出(930件) ・ブックリストの作成・配布(4・5歳児向け6,000冊作成)						単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
							事業費	297	354				
							特定財源	0	0				
							一般財源	297	354				
							指標名	おはなし会(子ども向け)の参加者数				単位	人
							基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
							1,964		1,964 963		1,964 1,143		1,964
評価検証	R3年度のおはなし会の参加者数は1,143人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症対策に伴う開催中止や市民の外出自粛の影響が要因と考えます。今後も定期的なおはなし会の動画配信など、読書を身近に感じ親しめる機会を作っていく必要があると考えます。												

施策	13	取組	1	番号	3	事務事業	図書館・学校連携事業					
目的	学校及び児童保育センターへの貸出や、図書館司書による学校図書館への支援を進め、児童生徒の読書活動を推進します。					担当課	図書館					
目標	学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数について595件を目指します。											
事業実施状況	・学校及び児童保育センターへの図書のセット貸出(752件) ・学校図書館クリニック(1回、23人)、リユース会(1回、28人)の実施					単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費	605		719			
						特定財源	0		0			
						一般財源	605		719			
	指標名		学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数					単位		件		
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
	595		595		595		595		595			
		838		752								
評価検証	R3年度の学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数は752件であり、目標を達成しました。 学校への貸出は、感染症の影響により学級閉鎖等が相次いだことから、件数が落ち込んだものの、児童保育センターへの貸出について、毎月の継続的な利用があったことが要因であると考えます。											

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 4 事務事業 学習機会提供事業（図書館）										
目的	各種講座や講演会などを開催し、市民が図書や各種資料を学習活動等に利用することができる機会を提供します。					担当課	図書館			
目標	市民の読書活動の推進や図書資料等の学習活動への活用につなげる講座の参加者数について438人を目指します。									
事業実施状況	・語り手育成講習会ほか各種講座・教室の実施（7回、65人） ・社会教育施設連携講演会（3回、69人） ・畜大連携事業（1回、15人）	単位：千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費	0		48					
		特定財源	0		0					
		一般財源	0		48					
		指標名	市民向け講座の参加者数					単位	人	
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	438	
		438		438 130		438 149				
評価検証	R3年度の市民向け講座の参加者数は149人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症対策に伴う休館や事業中止、開催事業の参加人数を制限したことが要因であると考えます。コロナ禍の状況では多くの参加者を見込むことが難しいものの、今後も定期的な各種講座や講演会等、市民が参加できる学習機会を提供していく必要があると考えます。									

施策 13 取組 1 番号 5 事務事業 図書館地域サービス運営事業														
目的	移動図書館バスの運行やコミュニティセンター図書室等への配本により、地域における図書館サービスの提供を図ります。					担当課	図書館							
目標	移動図書館やコミュニティセンター図書室への配本など地域における図書館サービス体制を維持します。													
事業実施状況	・移動図書館バスの運行 ・コミュニティセンター図書室等への配本		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
			事業費		3,136		4,336							
			特定財源		0		0							
			一般財源		3,136		4,336							
			指標名		-				単位					
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	R3年度は新型コロナウイルス感染症対策に伴う運行中止により、利用者数が伸びず目標に向けてあまり進捗していません。今後もバスステーションの見直しの検討や魅力的な蔵書を充実させるなどにより、利用者サービスの向上を図って行く必要があると考えます。													

施策 13 取組 1 番号 6 事務事業 体験活動機会提供事業（児童会館）												
目的	児童会館において、科学教室など幼少期から科学や文化に親しむ機会を提供します。					担当課	児童会館					
目標	児童会館利用者数について150,012人を目指します。											
事業実施状況	○児童会館の利用者数115,361人 ・常設コーナーの利用（科学展示室19,386人、プラネタリウム4,040人、遊び場52,331人など） ・科学教室・工作教室等の開催（50回941人） ・文化関連事業の開催6,661人（人形劇、将棋、囲碁、児童劇団、ジオラマ展等） ・子育て支援事業の開催（もつくん教室8回99人） ・わくわく子どもまつり等の開催（5回1,930人） ・宿泊学習等の実施2,488人（65校2団体）				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		3,105		3,316			
					特定財源		212		244			
					一般財源		2,893		3,072			
					指標名		児童会館利用者数				単位	人
	基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値		
				実績値			実績値			実績値		
144,874		150,012		150,012		150,012						
		50,476		115,361								
評価検証	R3年度の児童会館利用者数は115,361人であり、目標を達成しませんでした。 遊び場のリニューアルなどに取り組み、前年度から利用者数が倍以上の増加になったものの、新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休館や事前予約制・定員制限の導入、プラネタリウム更新作業に伴う4か月間の投影休止などが要因になったと考えます。今後、プラネタリウム更新等による機能の充実、設備や行事の拡充などを通し、利用の促進を図っていく必要があると考えます。											

施策 13 取組 1 番号 7 事務事業 学習機会提供事業（百年記念館）										
目的	博物館活動・創造活動に関する各種の展示・講座等を開催し、市民の学習活動を支援します。					担当課	百年記念館			
目標	百年記念館における事業参加者数（講座、企画展等の入室者数）について13,090人を目指します。									
事業実施状況	・博物館講座（11回、285人）、企画展等の実施（2回、2,656人） ・美術分野の展示の実施（1回、1,603人） ・創造活動講座の実施（27回、639人） ・出前講座の開催	単位：千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費	4,085		4,315					
		特定財源	404		622					
		一般財源	3,681		3,693					
		指標名	事業参加者数（講座、企画展等の入室者数）					単位	人	
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		9,844	13,090		13,090		13,090			
			5,185		6,038					
評価検証	R3年度の実績は6,038名であり目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症対策による講座の開催中止、企画展会期中の閉館などが要因であると考えます。今後、常設展示を学ぶためのワークシートの活用促進など、新しい学習機会の提供に取り組む必要があると考えます。									

施策 13 取組 1 番号 8 事務事業 学習機会提供事業（動物園）									
目的	飼育体験など動物や自然環境について学ぶ機会を提供し、市民の学習活動を支援します。					担当課	動物園		
目標	動物園における教育講座、体験講座の参加者数について407人にします。								
事業実施状況	・体験事業（1日飼育係・裏側探検隊等12回197人） ・教育事業（おびZoo寺子屋等7回129人） ・人材育成（実習受入等3回7人） ・帯広畜産大学連携事業（サテライトブース設置・共同研究等）	単位：千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費	3,004		3,253				
		特定財源	0		0				
		一般財源	3,004		3,253				
		指標名	教育講座、体験講座の参加者数				単位	人	
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
		402		407 335		407 333		407	
評価検証	R3年度の教育講座、体験講座の参加者数は333人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症対策に伴う講座の開催中止や定員数を減らしたことが要因であると考えます。 今後、感染対策を講じた上で、講座の開催数や定員数を確保しつつ、オンライン講座の開催などにより、参加機会の確保に努めていく必要があると考えます。								

施策 13 取組 1 番号 9 事務事業 図書館間ネットワーク事業										
目的	図書館間の資料の相互貸借や、十勝管内在住者への広域貸出しにより、利用者サービスの向上を図ります。					担当課	図書館			
目標	蔵書にない図書の貸出を可能にする他図書館との相互貸借体制を維持します。									
事業実施状況	・相互貸借業務の実施(貸出1,170冊、借受938冊) ・十勝管内在住者への広域貸出しの実施(12,222人、62,610冊)	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費	308		302					
		特定財源	0		0					
		一般財源	308		302					
		指標名	-					単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R3年度は相互貸借や広域貸出により、他館と連携した利用者サービスの向上を図ることができ目標に向け進捗しています。									

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 10 事務事業 とかちプラザ管理運営事業												
目的	とかちプラザの管理運営により、市民の生涯学習活動等の場を提供します。						担当課	生涯学習文化課				
目標	-											
事業実施状況	・とかちプラザの管理運営				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		217,090		205,438			
					特定財源		23,437		3,400			
					一般財源		193,653		202,038			
	指標名		-						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策	13	取組	1	番号	11	事務事業	とかちプラザ施設整備事業													
目的	とかちプラザの適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。						担当課		生涯学習文化課											
目標	-																			
事業実施状況	・とかちプラザの改修、修繕						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
							事業費		21,980		33,068									
							特定財源		17,000		27,000									
							一般財源		4,980		6,068									
	指標名						-						単位							
													基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値	
評価検証	-																			

施策	13	取組	1	番号	12	事務事業	郷土資料収集・保存整備事業									
目的	帯広・十勝等に関する各種資料の収集・整理・保存を進め、郷土の歴史や文化について市民の学習・調査研究に提供します。						担当課	図書館								
目標	-															
事業実施状況	・郷土資料の収集・整理・保存						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
							事業費		102		780					
							特定財源		0		0					
							一般財源		102		780					
	指標名						-						単位			
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値			
評価検証	-															

施策 13 取組 1 番号 13 事務事業 図書資料・刊行物等整備事業													
目的		蔵書等の整備や新聞・雑誌等の収集により、社会動向等の情報を市民へ提供します。					担当課		図書館				
目標		-											
事業実施状況	・蔵書等の整備 ・図書館図書整備基金の管理 ・新聞、雑誌、広報、官報等の収集 ・資料の整備及び製本 ・図書館雑誌スポンサー制度の実施					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費		64,414		38,610			
						特定財源		14,250		3,018			
						一般財源		50,164		35,592			
						指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 13 取組 1 番号 14 事務事業 図書館管理運営事業												
目的	図書館の管理運営により、市民が図書や各種資料を学習活動等に利用することができる環境を提供します。						担当課	図書館				
目標	-											
事業実施状況	・図書館の管理運営 ・図書館情報システムの運営管理				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		165,882		160,104			
					特定財源		822		732			
					一般財源		165,060		159,372			
					指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-											

施策	13	取組	1	番号	15	事務事業	図書館施設整備事業									
目的	図書館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。						担当課	図書館								
目標	-															
事業実施状況	・施設の改修、修繕						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
							事業費		10,101		1,201					
							特定財源		8,900		900					
							一般財源		1,201		301					
	指標名						-						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値						
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 16 事務事業 児童会館施設整備事業											
目的	児童会館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。				担当課	児童会館					
目標	-										
事業実施状況	・施設の修繕と更新、改修 ・プラネタリウム投影機の更新と改修 ・遊び場の改修(第二講堂) ・科学展示室の簡易実験体験ブースの設置			単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
				事業費		16,710		22,654			
				特定財源		2,200		4,200			
				一般財源		14,510		18,454			
				指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-										

施策 13 取組 1 番号 17 事務事業 児童会館管理運営事業										
目的	児童会館の管理運営により、幼少期から科学に親しむことができる環境など多様な体験活動の機会を提供します。					担当課	児童会館			
目標	-									
事業実施状況	・児童会館の管理運営	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		51,649		53,980				
		特定財源		1,122		1,658				
		一般財源		50,527		52,322				
		指標名		-					単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 13 取組 1 番号 18 事務事業 野草園管理運営事業										
目的	野草園の管理運営により、自然観察や環境学習など体験活動の場を提供します。				担当課	児童会館				
目標	-									
事業実施状況	・野草園の管理運営 ・アイヌ文化に関わりのある植物等を解説する看板の製作・設置	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費	2,391		3,703					
		特定財源	0		1,110					
		一般財源	2,391		2,593					
		指標名	-					単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 13 取組 1 番号 19 事務事業 農業体験実習館管理運営事業												
目的	岩内自然の村の管理運営により、自然体験活動の場を提供します。							担当課	児童会館			
目標	-											
事業実施状況	・岩内自然の村の管理運営	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
		事業費		7,770		7,658						
		特定財源		103		0						
		一般財源		7,667		7,658						
		指標名		-				単位				
		基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-											

施策 13 取組 1 番号 20 事務事業 百年記念館管理運営事業									
目的	百年記念館の管理運営により、市民が郷土の自然・歴史等を学び、創造活動ができる環境を提供します。					担当課	百年記念館		
目標	-								
事業実施状況	・百年記念館の管理運営 ・帯広百年記念館運営審議会の開催		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		46,596	41,162			
			特定財源		3,162	3,463			
			一般財源		43,434	37,699			
			指標名		-				単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 13 取組 1 番号 21 事務事業 百年記念館施設整備事業											
目的	百年記念館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。					担当課	百年記念館				
目標	-										
事業実施状況	・施設の改修、修繕	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費		14,596		4,441					
		特定財源		9,800		0					
		一般財源		4,796		4,441					
		指標名		-					単位		
		基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 22 事務事業 動物園管理運営事業										
目的	動物園の管理運営により、市民が動物や自然等について学ぶための環境を提供します。					担当課	動物園			
目標	-									
事業実施状況	・動物園の管理運営 ・アイヌ文化と関わる動物の生態を解説するパネルの設置	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		129,538		125,224				
		特定財源		59,111		57,086				
		一般財源		70,427		68,138				
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 13 取組 1 番号 23 事務事業 動物園施設整備事業										
目的	動物園の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。					担当課	動物園			
目標	-									
事業実施状況	・施設及び遊具の改修、修繕(アザラシ舎等)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		29,032		231,720				
		特定財源		27,933		230,114				
		一般財源		1,099		1,606				
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 13 取組 2 番号 1 事務事業 学習を通じたまちづくり支援事業									
目的	社会教育関係団体等による学習活動を支援し、学習を通じたまちづくりを促進します。					担当課	生涯学習文化課		
目標	生涯学習推進委員会が企画・運営するコミュニティ講座の参加者数について24,400人を目指します。								
事業実施状況	・生涯学習推進委員会への支援 ・社会教育団体等への支援(市P連補助金850,000円) ・学生の社会参加(17日実施、参加者数2年生22人)※1年生未実施 ・指導者登録(登録者数177人) ・成人の集いの開催				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
					事業費	8,691	9,771		
					特定財源	134	709		
					一般財源	8,557	9,062		
	指標名		コミュニティ講座の参加者数				単位	人	
	基準値		R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値	24,400
				実績値		実績値		実績値	
			23,423	24,400	4,155	24,400	4,518		
評価検証	R3年度のコミュニティ講座の講座回数は97回、参加者数は4,539人となり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症対策に伴う講座の開催中止や規模縮小が要因であると考えます。今後、講座の屋外開催など、様々な手法を検討していくことが必要であると考えます。								

施策 13 取組 2 番号 2 事務事業 図書館ボランティア活動推進事業									
目的	図書館におけるボランティア活動を推進し、施設の取り組みに活かします。					担当課	図書館		
目標	図書館に関わるボランティア団体数について5団体を目指します。								
事業実施状況	・ボランティア活動への支援(5団体)				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
					事業費	97	94		
					特定財源	0	0		
					一般財源	97	94		
	指標名		ボランティア団体数				単位	団体	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	5			5		5		5	
				5		5			
評価検証	R3年度の図書館のボランティア団体数は5団体であり、目標を達成しました。 新型コロナウイルス感染症対策に伴うおはなし会の中止、感染対策を講じながらの事業実施となりましたが、ボランティア団体の意見を踏まえ、間隔を保ちながらも楽しめるメニューを行うなどの工夫により、継続して活動できる場づくりを提供できたことが効果的であったと考えます。								

施策 13 取組 2 番号 3 事務事業 百年記念館ボランティア活動推進事業											
目的	博物館の活性化及び地域住民と博物館とをつなぐ役割を担うボランティア活動を推進し、施設の取り組みに活かします。					担当課	百年記念館				
目標	百年記念館に関わるボランティア会員数について27人を目指します。										
事業実施状況	・ボランティア養成講座の開催や研修の実施 ・収蔵資料の整理と活用 ・独自事業の開催 ・常設展示室解説		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額			
			事業費		13	11					
			特定財源		0	0					
			一般財源		13	11					
			指標名		ボランティア会員数				単位	人	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
			27		27 28		27 28		27 28		
評価検証	R3年度のボランティア会員数は28名であり、目標を達成しました。新型コロナウイルス感染症対策に伴い、見学時の解説の中止が多くあったものの、会員の参加機会の確保に向け、収蔵資料の整理作業やレコードコンサート等において、感染対策を徹底しながら、継続的な活動を実施したことが効果的であったと考えます。										

施策 13 取組 2 番号 4 事務事業 博物館活動推進事業									
目的	自らが学び、その成果を活かすことができる環境づくりを進めます。					担当課	百年記念館		
目標	郷土の歴史・文化に関わる展示をしている百年記念館常設展示室の入場者数について16,059人にします。								
事業実施状況	・学芸関係職員の調査研究や研修参加 ・博物館資料、美術品の収集、保管 ・常設展示室の充実 ・帯広百年記念館紀要の発刊		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	6,354	8,903				
			特定財源	4	13				
			一般財源	6,350	8,890				
			指標名	常設展示室入場者数				単位	人
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		15,496	16,059		16,059		16,059		
			9,695		10,690				
評価検証	R3年度の常設展示室入場者数は10,690名であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休館や市民の外出自粛などが要因であると考えます。今後は、常設展示室でのモバイルガイドを活用した学習機会の提供などにより、利用促進に取り組む必要があると考えます。								

事務事業評価表

施策 13 取組 2 番号 5 事務事業 動物園ボランティア活動推進事業												
目的	動物園におけるボランティア活動を推進し、施設の取り組みに活かします。					担当課	動物園					
目標	動物園に関わるボランティア団体数について8団体を目指します。											
事業実施状況	・施設整備ボランティア(各奉仕活動)5団体 ・事業協力ボランティア(ZooFul等) 2団体 ・運営推進ボランティア(動物園協会)1団体					単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費	0		0			
						特定財源	0		0			
						一般財源	0		0			
	指標名		ボランティア団体数					単位	団体			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
	8		8		8		8					
評価検証	R3年度の動物園ボランティア団体数は8団体であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症対策により、活動を控えた団体があったことが要因であると考えます。 今後も、ボランティア活動についての周知や活動内容に対するアドバイス等の支援を行い、継続的な取り組みにつなげていく必要があると考えます。					9		8				

施策 13 取組 3 番号 1 事務事業 高等教育推進事業											
目的	帯広畜産大学や関係団体などと連携し、高等教育機関の整備・充実や、大学の研究・教育機能の活用を通じて、高等教育の推進を図ります。						担当課	企画課			
目標	学生のまちづくりへの参画促進などを図る帯広畜産大学の学生によるまちづくり活動の件数について15件を目指します。										
事業実施状況	・とかち高等教育推進まちづくり会議の運営 ・高等教育機関の整備充実に対する情報収集 ・帯広畜産大学の整備・拡充に向けた情報収集や要望活動の実施 ・帯広畜産大学との包括連携協定に基づく各種事業の推進(学生主体のまちづくり活動の推進など)					単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額
						事業費	3,769		3,824		
						特定財源	1,160		1,466		
						一般財源	2,609		2,358		
	指標名	帯広畜産大学の学生によるまちづくり活動の件数						単位	件		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
	14		15 0		15 4		15				
評価検証	R3年度の帯広畜産大学の学生によるまちづくり活動の件数は4件であり、目標を達成できませんでした。 コロナ禍における学生生活の変化から、サークル活動など、学生主体の活動の停滞が要因と考えます。 コロナ禍における学生の現状を踏まえ、大学と連携しながら、学生が地域の課題解決に向けた取り組みを進めることで、まちづくりへの参画につなげていく必要があります。										

施策	13	取組	3	番号	再	事務事業	人材育成事業<再掲9-1-6>							
目的	関係機関の連携により多様な研修機会を提供し、総合的な人材育成を進めます。						担当課	経済企画課						
目標	-													
事業実施状況	・フードバレーとかち人材育成事業の実施						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
							事業費		-		-			
							特定財源		-		-			
							一般財源		-		-			
							指標名		-				単位	
							基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-													

施策 13 取組 3 番号 再 事務事業 学習機会提供事業（動物園） ＜再掲13-1-8＞										
目的		飼育体験など動物や自然環境について学ぶ機会を提供し、市民の学習活動を支援します。					担当課	動物園		
目標		-								
事業実施状況	・帯広畜産大学連携事業（サテライトブース設置・共同研究等）		単位：千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		-		-			
			特定財源		-		-			
			一般財源		-		-			
	指標名		-						単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策	13	取組	0	番号	1	事務事業	社会教育委員会議運営事業									
目的	社会教育施策のあり方や課題などについて議論するための会議や研究大会への出席などを通し、社会教育委員活動の充実を図ります。						担当課	生涯学習文化課								
目標	-															
事業実施状況	・社会教育委員会議の開催(3回実施) ・研修大会等への参加(中止)						単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
							事業費	193		300						
							特定財源	0		0						
							一般財源	193		300						
							指標名	-						単位		
							基準値	R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	0															

事務事業評価表

施策 14 取組 1 番号 1 事務事業 文化活動団体・指導者育成事業									
目的	市民の主体的な文化活動の促進や優秀な活動を表彰し、文化芸術活動を支える人材や団体を育成します。				担当課	生涯学習文化課			
目標	市ホームページの文化団体紹介ページのアクセス数について1,921回を目指します。								
事業実施状況	・文化団体等の情報提供(HP掲載団体252団体) ・文化賞・文化奨励賞・文化活動功労賞の実施(受賞者3個人、1団体) ・文化団体への活動支援(事業補助2団体、大会派遣補助5件) ・十勝馬唄全国大会への支援(大会中止により0件)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		1,285	1,729			
			特定財源		50	50			
			一般財源		1,235	1,679			
			指標名		市ホームページの文化団体紹介ページの年間総アクセス数				単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	1,777		1,848 792		1,884 340		1,921		
評価検証	R3年度の文化団体紹介ページのアクセス数は340件であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症の影響により、文化的活動の自粛傾向が継続し、文化団体紹介ページの活用機会が減少したことが要因であると考えます。今後、文化活動団体等の情報提供を行うウェブ掲示板の活用などにより、文化活動を促進していく必要があると考えます。								

施策 14 取組 1 番号 2 事務事業 市民文化活動促進事業									
目的	市民主体の文化芸術活動を推進します。					担当課	生涯学習文化課		
目標	市民芸術祭の出演者・出品者数について640人を目指します。								
事業実施状況	・市民主体の文化活動への支援(文化事業の後援件数94件) ・市民芸術祭の開催(ステージ出演者数351人、展示出品者数404人) ・文化芸術活動発表会の開催(1事業) ・活動成果発表機会の提供(4事業)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
			事業費		646	1,460			
			特定財源		146	0			
			一般財源		500	1,460			
			指標名			市民芸術祭出演者・出品者数			単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	1,330			640 0		640 755		640	
評価検証	R3年度の市民芸術祭の出演者・出品者数は755人であり、目標を達成しました。 新型コロナウイルス感染症の影響により活動成果の発表機会が減少する中、基本的な感染対策の徹底を図り、安心して参加できる環境づくりに努めたことが要因であると考えます。								

施策 14 取組 1 番号 3 事務事業 市民文芸誌発刊事業									
目的	文芸作品の表彰、文芸誌への掲載により、市民の主体的な文化活動を促進します。					担当課	図書館		
目標	市民文芸・とかちジュニア文芸の応募者数について386人を目指します。								
事業実施状況	・文芸作品の募集、表彰 ・各種関連教室、講座の開催(3回、6人) ・「市民文芸」の発刊(応募者107人) ・「とかちジュニア文芸」の発刊(応募者297人)	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
		事業費		2,038	1,887				
		特定財源		190	203				
		一般財源		1,848	1,684				
		指標名		市民文芸ととかちジュニア文芸の応募者数			単位	人	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	340			386 357		386 404		386	
	評価検証	R3年度の市民文芸・とかちジュニア文芸の応募者数は404人であり、目標を達成しました。従来の手法に加え、図書館公式TwitterなどSNSを活用しながら広く周知したことが効果的であったと考えます。フォロワーも着実に増加していることから、今後も継続してSNSでの周知に取り組みます。							

施策 14 取組 1 番号 4 事務事業 文化施設整備事業												
目的	文化施設の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。					担当課	生涯学習文化課					
目標	-											
事業実施状況	・市民文化ホールの改修、修繕				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		50,787		76,765			
					特定財源		37,700		61,300			
					一般財源		13,087		15,465			
					指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 14 取組 1 番号 5 事務事業 文化施設管理運営事業									
目的	文化施設の管理運営により、市民の文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術にふれることができる機会を提供します。					担当課	生涯学習文化課、百年記念館		
目標	-								
事業実施状況	・グリーンステージの管理 ・市民文化ホールの管理運営 ・市民ギャラリーの管理	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		196,607	158,032				
		特定財源		25,190	1,095				
		一般財源		171,417	156,937				
		指標名			-	単位			
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-								

施策 14 取組 2 番号 1 事務事業 文化芸術鑑賞事業									
目的	市民に良質な文化芸術にふれる機会を提供し、文化芸術への関心を高めめます。					担当課	生涯学習文化課、百年記念館		
目標	文化芸術の鑑賞機会を提供する鑑賞事業の満足度について77.4%を目指します。								
事業実施状況	・優れた文化芸術鑑賞機会の提供(2事業、1,728人) ・市と企業の協働による文化芸術鑑賞機会の提供(1事業、239人)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		1,700	1,078			
			特定財源		0	0			
			一般財源		1,700	1,078			
			指標名		鑑賞者の満足度				単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	76.3		76.7 82.0		77.0 86.0		77.4		
評価検証	R3年度の文化芸術鑑賞事業の鑑賞者の満足度は86%であり、目標を達成しました。 新型コロナウイルス感染症対策に伴い、多くの事業で開催中止を余儀なくされましたが、鑑賞者アンケート等を踏まえニーズをとらえた事業を実施したことが効果的であったと考えます。								

事務事業評価表

施策 14 取組 2 番号 2 事務事業 子ども向け鑑賞機会提供事業（生涯学習文化課）											
目的	子どもたちに良質な文化芸術にふれる機会を提供し、子どもたちの感性や創造力の育成を図ります。					担当課	生涯学習文化課				
目標	親子で参加できるコンサートの満足度を維持します。										
事業実施状況	・子ども向けの文化芸術鑑賞機会の提供(2事業、1,138人)		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		0		2,393				
			特定財源		0		0				
			一般財源		0		2,393				
	指標名		-					単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R3年度は、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、多くの事業で開催中止となったことから、鑑賞者の満足度を図るアンケートを実施できず、目標達成に向けた進捗を確認できませんでした。今後も基本的な感染対策の徹底のほか、感染状況を踏まえた実施手法を検討しながら、子どもたちが直に文化芸術に触れる機会を継続的に提供していく必要があると考えます。										

施策 14 取組 3 番号 1 事務事業 文化財調査・保存事業											
目的	文化財等を保存・活用し、郷土の歴史や文化への理解を促進します。					担当課	百年記念館				
目標	一般公開を含めた文化財の活用件数の増加を目指します。										
事業実施状況	・文化財の保存、利活用				単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費	616		584			
					特定財源	0		0			
					一般財源	616		584			
	指標名				-				単位		
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R3年度の文化財を活用した公開事業（2回）における参加者数は162人で、R2年度と比較し80人減少し、目標達成に向けてあまり進捗していません。 新型コロナウイルス感染症の流行による市民の外出自粛の影響が要因であると考えます。 今後も事業内容を工夫しながら、継続的に文化財を通じた郷土の歴史や文化への理解促進を進める必要があると考えます。										

施策 14 取組 3 番号 2 事務事業 おびひろ・まちの歴史調査・収集普及事業											
目的	帯広の歴史に関する史料の収集・調査を実施し、体系にまとめることで今後のまちづくり、人づくりに活用します。				担当課	百年記念館					
目標	歴史に関する講座の受講者数について123人を目指します。										
事業実施状況	・史料収集調査と成果の公表(7回、119人) ・帯広市史専門委員会の開催(4回) ・普及事業を推進するネットワークづくり			単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
				事業費		3,040		3,223			
				特定財源		0		0			
				一般財源		3,040		3,223			
	指標名		歴史関係の博物館講座、連続講座の受講者数。						単位	人	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
	116		123 93		123 119				123		
評価検証	R3年度の歴史関係の博物館講座、連続講座の受講者数は119名で目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症対策に伴う休館措置により、一部の講座が中止になったことが要因であると考えます。今後も感染対策を徹底したうえで講座を開催し、郷土の歴史資料に触れる機会を提供していくことが必要であると考えます。										

施策 14 取組 3 番号 3 事務事業 埋蔵文化財調査・保存・活用事業									
目的	埋蔵文化財の調査・保護・保存活用により、郷土の歴史への関心を深めます。				担当課	百年記念館			
目標	埋蔵文化財センター来館者数について243人を目指します。								
事業実施状況	・八千代A遺跡出土品の活用 ・埋蔵文化財の保護、保存 ・埋蔵文化財の調査研究、活用 ・埋蔵文化財センターの管理運営			単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
				事業費	2,317	2,449			
				特定財源	0	0			
				一般財源	2,317	2,449			
	指標名		埋蔵文化財センター来館者数				単位	人	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	190			243 114		243 99		243	
評価検証	R3年度の埋蔵文化財センター来館者数は99人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症対策に伴う施設の臨時休館や市民の外出自粛の影響が要因であると考えます。 市民がより郷土の歴史への関心を深める機会となるよう、国の重要文化財である八千代A遺跡の特設コーナーの周知の強化や、学校教育での活用促進に取り組む必要があると考えます。								

施策 14 取組 3 番号 再 事務事業 アイヌ民族文化調査・普及事業<再掲22-4-4>										
目的	アイヌ民族文化情報センター「リウカ」において学ぶ機会を提供し、アイヌ民族の歴史・文化への理解を促進します。					担当課	百年記念館			
目標	-									
事業実施状況	・アイヌ民族文化に関する情報提供、普及活動 ・アイヌ民族文化に関する情報収集、調査	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費	-		-					
		特定財源	-		-					
		一般財源	-		-					
		指標名	-					単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 14 取組 3 番号 再 事務事業 アイヌ伝統文化保存・伝承事業<再掲22-4-5>										
目的	アイヌ古式舞踊保護団体や、アイヌの伝統文化の保存・伝承活動を支援し、十勝に伝わるアイヌ文化の保存伝承、発展を図ります。					担当課	百年記念館			
目標	-									
事業実施状況	・帯広カムイトウボボ保存会への支援 ・アイヌ文化の保存伝承、普及啓発					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
						事業費		-	-	-
						特定財源		-	-	-
						一般財源		-	-	-
	指標名					-		単位		
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 14 取組 0 番号 1 事務事業 文化振興事業										
目的	情報収集などを通して、文化芸術振興に関する施策を総合的に推進します。				担当課	生涯学習文化課				
目標	-									
事業実施状況	・文化振興に関する事務 ・ふるさと文化基金の管理		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		4,410		7,796			
			特定財源		4,265		7,655			
			一般財源		145		141			
			指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 15 取組 1 番号 1 事務事業 学校開放事業														
目的	小・中学校の体育館等を開放し、市民にスポーツ活動の場を提供します。				担当課	スポーツ課								
目標	市民の主体的なスポーツ活動を促進する学校開放事業の利用者数について165,289人を目指します。													
事業実施状況	・小中学校の体育館等の地域への開放(301団体、延べ87,860人利用)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
					事業費		2,116		2,079					
					特定財源		972		2,225					
					一般財源		1,144		△146					
	指標名		学校開放事業利用者数						単位		人			
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
	165,289				165,289		165,289		165,289		165,289			
評価検証	R3年度の学校開放事業利用者数は87,860人であり、目標を達成しませんでした。													
	新型コロナウイルス感染対策に伴い、少年団及び一般団体の使用を制限したことが利用者減少の要因であると考えます。 今後は学校教育への感染の影響を配慮しつつ、利用者等に利用可能期間の周知や感染対策等の啓発を継続しながら、活動の場の提供を行っていく必要があると考えます。													

施策 15 取組 1 番号 2 事務事業 地域スポーツ振興事業									
目的	総合型地域スポーツクラブの支援やスポーツ教室、大会の開催などにより、市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供します。					担当課	スポーツ課		
目標	スポーツ教室開催数について114回を目指します。								
事業実施状況	・総合型地域スポーツクラブへの支援 ・地域ごとのスポーツ推進委員の配置(推進員数48人) ・各種スポーツ教室の開催(22回、延べ735人参加) ・スポーツ大会の開催 ・パークゴルフ場の環境維持 ・フードパレーとかちマラソンの開催(オンライン参加人数738人)				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
					事業費	16,237	16,244		
					特定財源	7,969	0		
					一般財源	8,268	16,244		
	指標名		スポーツ教室開催数			単位	回		
	基準値		R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値	
				実績値		実績値		実績値	
	98		114		114		114		
		18		22					
評価検証	R3年度のスポーツ教室開催数は22回であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症対策に伴う地域スポーツ振興事業を中止したこと、また降雪が少なかったことにより小学校のスケートリンクの完成が遅れたことが要因であると考えます。 スポーツ推進員が実施する教室に新たなメニューを追加するなど、地域のスポーツ活動が活発化していくような工夫を進めていく必要があると考えます。								

施策 15 取組 1 番号 3 事務事業 社会体育施設管理運営事業																		
目的	社会体育施設の管理運営により、市民のスポーツ活動やスポーツ交流の場を提供します。					担当課	スポーツ課											
目標	-																	
事業実施状況	・社会体育施設の管理運営				単位: 千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
					事業費		1,397,224		1,422,241									
					特定財源		80,392		36,699									
					一般財源		1,316,832		1,385,542									
					指標名						-		単位					
					基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	-																	

事務事業評価表

施策 15 取組 1 番号 4 事務事業 社会体育施設整備事業												
目的	社会体育施設の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。						担当課		スポーツ課			
目標	-											
事業実施状況	・施設の改修、修繕				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		37,884		75,688			
					特定財源		34,600		63,400			
					一般財源		3,284		12,288			
	指標名		-						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-											

施策 15 取組 1 番号 再 事務事業 健康づくり推進事業<再掲1-1-1>										
目的		健康意識の向上に関する取り組みや、生活習慣病予防に関する知識を普及する人材の育成などを通し、市民の健康づくりを推進します。					担当課		健康推進課	
目標		-								
事業実施状況	・健康マイレージの推進		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		-		-			
			特定財源		-		-			
			一般財源		-		-			
	指標名		-					単位		
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 15 取組 1 番号 再 事務事業 学校施設地域開放推進事業<再掲12-5-8>															
目的 目標	体育館などの学校施設を地域に開放し、施設を有効に活用するとともに、学校と地域の結びつきを深めます。					担当課		企画総務課							
	-														
事業実施状況	・スポーツ、文化、地域活動等への施設開放					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
						事業費		-		-					
						特定財源		-		-					
						一般財源		-		-					
						指標名			-		単位				
	基準値			R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	-														

施策 15 取組 2 番号 1 事務事業 スケート競技振興事業										
目的 目標	子どもたちに年齢に応じたスケートの専門的指導を行い、競技力の向上を図ります。					担当課		スポーツ課		
	地域に根ざしたスポーツであるスケートの子どもたちの競技力向上を図るほっとドリームプロジェクト事業の参加者数について4,974人を目指します。									
事業実施状況	・スケート競技の裾野拡大や競技力向上をはかる「ほっとドリームプロジェクト」の推進(延べ1,840人参加)		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		1,974		1,564			
			特定財源		449		507			
			一般財源		1,525		1,057			
			指標名		ほっとドリームプロジェクト事業参加者数				単位	
			基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
		3,320		4,974		4,974		4,974		
				1,331		1,840				
評価検証	R3年度のほっとドリームプロジェクト事業の参加者数は1,840人であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症対策に伴い、対象者を十勝管内に限定したことや、降雪が少なかったことにより各学校のスケートリンクの完成が遅れ、教室への講師派遣回数が減少したことが要因であると考えます。									
	前年度対比では参加人数が増加しており、スケート教室に対する地域の需要は高いことから、事業の開催について周知を行うとともに、参加者への感染予防を徹底した上で、子ども達の一層の参加促進を図っていく必要があると考えます。									

施策 15 取組 2 番号 2 事務事業 団体・人材育成事業																
目的 目標	専門性を備えたスポーツ指導者の育成やスポーツ少年団・スポーツ団体への支援を通し、人材の育成を図ります。					担当課		スポーツ課								
	スポーツ少年団加入割合の上昇を目指します。															
事業実施状況	・スポーツ少年団本部への支援(少年団数70団体、登録者数1,440人) ・スポーツ少年団指導者育成の支援(347人) ・各種交流大会等の開催 ・スポーツ推進委員の育成 ・帯広市スポーツ協会への支援 ・全国・全道大会等への派遣支援(164件、607人)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
						事業費		10,717		11,578						
						特定財源		0		0						
						一般財源		10,717		11,578						
						指標名		-				単位				
						基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R3年度は、各団体への支援を通じて指導者の育成を図ったほか、全国全道大会等への派遣支援など競技スポーツの普及・振興に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化していることによりスポーツ活動の規模が依然として縮小しているため、スポーツ少年団の加入割合は17.6%（前年比0.5ポイント減少）にとどまっており、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、活動時の安全確保に関する指導者への研修などを通して、感染対策等の正確かつ新しい情報を提供することにより、スポーツ少年団へ安心して加入できる環境づくりに取り組む必要があると考えます。															

事務事業評価表

施策 15 取組 2 番号 3 事務事業 スポーツ振興推進事業														
目的	健康スポーツ都市宣言の理念に基づき、スポーツ振興に関する施策を総合的に進めます。					担当課	スポーツ課							
目標	-													
事業実施状況	・スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施 ＜スポーツ賞＞ （功労部門・個人）1人、 （成績部門・団体）1組 ＜スポーツ奨励賞＞ （個人）8人、（団体）1組 ・スポーツ振興に関する事務 ・スポーツ推進審議会の開催 ・スポーツ振興基金の管理				単位：千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
					事業費		9,747		13,236					
					特定財源		3,466		7,072					
					一般財源		6,281		6,164					
					指標名				-		単位			
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	-													

施策 15 取組 3 番号 1 事務事業 スポーツ大会・合宿等誘致事業												
目的	情報発信や関係団体と連携し、スポーツ大会・合宿等の誘致を進めるほか、プロスポーツの選手と触れ合う機会を創出します。					担当課	スポーツ課					
目標	スポーツに関連した大会や合宿で本市を訪れる人数について24,411人を目指します。											
事業実施状況	・各種全国・全道大会等の誘致、開催支援(14大会への支援) ・合宿の誘致(宿泊団体数250団体、宿泊者数4,954人) ・全国大会等出場者への感染症検査費補助(3件) ・プロ野球公式戦の誘致(北海道日本ハム対オリックス戦) ・東京2020パラリンピック合宿誘致事業(アルゼンチンパラ水泳選手団と地域住民とのオンライン交流会開催)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	6,713	12,541				
						特定財源	0	0				
						一般財源	6,713	12,541				
						指標名	大会・合宿で訪れた人数				単位	人
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
	16,986	24,411 3,897	24,411 4,954	24,411								
評価検証	R3年度の大会・合宿により帯広市を訪れた人数は4,954人であり、昨年度より増加したものの目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症対策に伴い、予定されていた各大会・合宿が中止となったことが要因であると考えます。 今後、各競技団体と協力の上、感染対策を講じながら、地域の安全を確保し、合宿の受入体制を整えていく必要があると考えます。											

施策 16 取組 1 番号 1 事務事業 再生可能エネルギー導入促進事業									
目的	太陽光やバイオマスなどの再生可能エネルギーの導入を促進し、エネルギーの有効活用を図ります。					担当課	環境課		
目標	新エネルギー機器の導入数の増加を目指します。								
事業実施状況	・新エネルギー導入への支援(太陽光発電システム、蓄電池84件、木質ペレットストーブ2件、エコジョーズ(潜熱回収型ガス給湯暖房機)、ガスエンジンコージェネレーションシステム(ガスによる発電発熱利用システム)191件、エコキュート(CO2冷媒ヒートポンプ給湯器)55件、太陽光発電システム貸付2件)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
		事業費		195,814		146,160			
		特定財源		175,870		126,809			
		一般財源		19,944		19,351			
		指標名				-		単位	
		基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、市の補助事業をホームページや広報にて周知し新エネルギー機器の導入が進み温室効果ガスの削減につながっており、目標達成に向け進捗しています。								

施策 16 取組 1 番号 2 事務事業 環境意識向上対策事業																
目的	学校などと連携した環境教育などを進め、市民の環境に対する意識の向上を図ります。					担当課	環境課									
目標	環境に対する市民の意識向上を図る出前環境教室の参加者数の増加を目指します。															
事業実施状況	・帯広市環境白書の作成、公表 ・ホームページ等による環境情報の提供 ・環境にやさしい活動実践校の取り組み支援(活動実践校:市内26小学校、14中学校、1高校) ・出前環境教室の実施(実施回数27回1,656名受講) ・環境交流会の開催(209人来場) ・省エネ啓発チラシの全戸配布(77,000部配布) ・COOL CHOICEの推進				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
					事業費		703		882							
					特定財源		400		400							
					一般財源		303		482							
					指標名				-		単位					
					基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4 目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を中止したものの環境交流会や出前環境教室の実施、HP・広報おびひろでの啓発や市内全戸への啓発チラシの配布など様々な取り組みにより市民の環境意識の向上につながっており、目標達成に向け進捗しています。															

施策 16 取組 1 番号 3 事務事業 省エネルギー活動推進事業									
目的 目標	行政における省エネルギーへの率先した取り組みや市民、企業への普及啓発などにより、エネルギーの有効活用を図ります。					担当課	環境課		
	廃食用油の家庭からの回収量について69,946ℓを目指します。								
事業実施状況	・公共施設の省エネ化 ・廃食用油のリサイクル推進(廃食用油の回収、バイオディーゼル燃料の公用車等での利用) ・電気自動車などエコカーの普及啓発 ・ノーカーデーの実施(延参加人数6,824人、距離数33,101km、CO2削減量4,838kg) ・家庭における省エネの促進				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
					事業費	416	274		
					特定財源	0	0		
					一般財源	416	274		
	指標名		家庭用廃食用油の回収量				単位	ℓ	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	66,591			69,946 78,917		69,946 74,992		69,946	
評価検証	R3年度の家庭用廃食用油の回収量は74,992ℓであり、目標を達成しました。 ホームページや広報を活用した周知により、市民に取り組みが浸透した結果であると考えます。								

事務事業評価表

施策 16 取組 1 番号 4 事務事業 エコタウン構想推進事業												
目的	リサイクル関連施設等の集積など、エコタウン構想を推進し、環境負荷低減・温室効果ガス削減を図ります。					担当課	中島地区振興課					
目標	-											
事業実施状況	・土地利用に向けた地域、関係機関等との調整 ・環境関連企業の立地促進 ・中島緑地(多目的広場)の芝管理				単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
					事業費		24	3,490				
					特定財源		0	0				
					一般財源		24	3,490				
					指標名			-		単位		
					基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-											

施策 16 取組 1 番号 再 事務事業 フードバレーとかち推進事業<再掲9-2-3>														
目的	十勝管内の自治体や関係機関と連携し、地域の農林水産物の付加価値向上や情報発信などに取り組み、「フードバレーとかち」を推進します。					担当課	経済企画課							
目標	-													
事業実施状況	・バイオマス産業都市構想の推進					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
						事業費		-		-				
						特定財源		-		-				
						一般財源		-		-				
	指標名					-					単位			
	基準値			R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値			
評価検証	-													

施策 16 取組 2 番号 1 事務事業 排出指導事業									
目的	排出マナーの周知や指導などにより、ごみの適正排出を促進します。					担当課	清掃事業課		
目標	ごみの適正排出に関する問い合わせ・苦情件数について27,370件以下を目指します。								
事業実施状況	・清掃指導員の巡回パトロールの実施 ・排出マナーの周知・適正排出指導 ・ごみの減量化・資源化の周知・指導 ・ごみステーションのごみ飛散防止(カラス等への対策) ・身体の障害などによりごみ排出が困難な世帯への戸別収集(サポート収集事業)の実施				単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
					事業費		8,104	9,539	
					特定財源		0	0	
					一般財源		8,104	9,539	
	指標名		問い合わせ・苦情件数				単位	件	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	27,831			27,600 24,079		27,485 24,777		27,370	
評価検証	R3年度のごみに関する問い合わせ・苦情件数(指導件数)は24,777件であり、目標を達成しました。新型コロナウイルス感染症の影響で自宅で過ごす時間が増え、ごみ排出量が増加したことなどに伴い、ごみの飛散に関する対応は増加したものの、新たにLINEを活用した排出方法の周知や指導チラシの配布などにより、排出ルールが市民に浸透し、適正排出に関する問い合わせ・苦情件数が減少したことが要因であると考えます。								

施策 16 取組 2 番号 2 事務事業 不法投棄対策事業											
目的	夜間パトロールなどの実施により、ごみの不法投棄を防止します。						担当課	清掃事業課			
目標	ごみの不法投棄件数について39件以下を目指します。										
事業実施状況	・不法投棄防止の意識啓発 ・夜間パトロールの実施		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		4,415		4,420				
			特定財源		0		0				
			一般財源		4,415		4,420				
	指標名		不法投棄件数						単位	件	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
	61		39 48		39 24				39		
評価検証	R3年度の不法投棄件数は24件で、目標を達成しました。 看板設置や夜間パトロールを継続して実施した効果と考えます。特定廃家電の不法投棄が24件中20件を占めていることから、今後も、特定廃家電の適正処理について周知徹底していくことが必要と考えます。										

施策 16 取組 2 番号 3 事務事業 資源回収推進事業									
目的	町内会等の資源集団回収・資源回収事業者への支援により、地域の自主的なリサイクル活動を進め、再資源化やごみの減量化を促進します。					担当課	清掃事業課		
目標	町内会等における資源集団回収量について7,551tを目指します。								
事業実施状況	・資源集団回収の奨励 ・資源回収事業者への支援				単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
					事業費		48,418	44,588	
					特定財源		0	0	
					一般財源		48,418	44,588	
	指標名		資源集団回収量				単位	t	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
			6,961		7,551 5,954	7,551 5,669	7,551		
	評価検証	R3年度の資源集団回収量は5,669tであり、目標を達成しませんでした。 資源集団回収を実施する団体数が減少傾向であることに加え、団体規模（参加人数）の縮小化などにより、回収される資源量が減少していることが要因と考えられます。今後も効果的な周知を図りながら地域の自主的なリサイクル活動を支援していくことが必要と考えます。							

事務事業評価表

施策 16 取組 2 番号 4 事務事業 リサイクル推進事業									
目的	ごみの分別収集を進め、再資源化を促進します。					担当課	清掃事業課		
目標	資源ごみの排出量について7,325t以下を目指します。								
事業実施状況	・廃棄物減量等推進審議会の開催 ・資源ごみの収集・運搬 ・資源の収集車両の維持管理 ・小型家電リサイクル事業の実施				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
					事業費	190,486	245,547		
					特定財源	24	0		
					一般財源	190,462	245,547		
	指標名		資源ごみ排出量				単位	t	
	基準値		R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値	
				実績値		実績値		実績値	
		7,360	7,325		7,325		7,325		
			7,865		7,980				
評価検証	R3年度の資源ごみ排出量は7,980tであり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症の影響で、自宅過ごす時間が増えたことにより、テイクアウト容器や飲料容器、宅配に使用されるダンボール等の排出量が増えたことが要因と考えられます。今後もごみの排出量削減や資源集団回収の積極的な利用について、広報誌やごみ懇談会等を通じて効果的に周知を図る必要があると考えます。								

施策 16 取組 2 番号 5 事務事業 ごみ発生抑制・再使用促進事業									
目的	市民への意識啓発などにより、ごみの発生抑制及び再使用を促進します。					担当課	清掃事業課		
目標	ごみの発生抑制や資源の再使用に対する意識向上を図る出前講座の参加者数について1,465人を目指します。								
事業実施状況	・生ごみ減量の促進 （「ディスポーザ」の周知、生ごみ堆肥化容器・電動生ごみ処理機の購入支援、ダンボールコンポストのPR） ・ごみ発生抑制の周知 （「ごみユニティメール」の発行、ごみ懇談会の開催、エコエコ紙芝居の開催、簡易包装のPR、マイバッグ持参運動の推進） ・リサイクルイベント（リサイクルまつり）の開催 ・収集曜日区域図の作成					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
						事業費	3,015	3,175	
						特定財源	300	301	
						一般財源	2,715	2,874	
	指標名	出前講座参加者人数			単位	人			
	基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値		
			実績値		実績値		実績値		
	1,414		1,439		1,452		1,465		
			1,166		1,178				
評価検証	R3年度の出前講座参加者人数は1,178人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症の影響により団体等が活動を自粛したことに伴い、ごみ懇談会やエコエコ紙芝居等出前講座への要請が減少したことが要因と考えます。今後は、感染症対策を踏まえて実施していることや、少人数開催が可能なこと等について効果的な周知を図り参加者数の増加につなげていく必要があると考えます。								

施策 16 取組 2 番号 6 事務事業 災害廃棄物処理事業									
目的	大規模災害発生時に、災害廃棄物を適切かつ迅速に処理を進めます。				担当課	清掃事業課			
目標	-								
事業実施状況	・災害廃棄物の処理方法に関する市民周知 ・災害廃棄物を迅速に処理するための準備 ・災害発生時の適正かつ迅速な災害廃棄物の処理			単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
				事業費	0	0			
				特定財源	0	0			
				一般財源	0	0			
				指標名	-			単位	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 16 取組 2 番号 7 事務事業 清掃施設管理運営事業																		
目的	清掃施設を管理運営し、業務を円滑に進めます。							担当課	清掃事業課									
目標	-																	
事業実施状況	・清掃センターの管理運営				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
					事業費		12,108		10,657									
					特定財源		824		294									
					一般財源		11,284		10,363									
					指標名		-				単位							
					基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	-																	

施策 16 取組 2 番号 8 事務事業 旧ごみ埋立処分場管理事業																		
目的	旧ごみ埋立処分場を適切に維持管理し、施設周辺の環境保全を図ります。					担当課	清掃事業課											
目標	-																	
事業実施状況	・旧ごみ埋立処分場の管理				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
					事業費		1,522		1,854									
					特定財源		0		0									
					一般財源		1,522		1,854									
					指標名						-		単位					
					基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	-																	

施策 16 取組 2 番号 9 事務事業 ごみ処理施設管理運営事業									
目的	一般廃棄物の処理を行う処理施設を管理運営し、廃棄物の効率的な処理を進めます。					担当課	清掃事業課		
目標	-								
事業実施状況	・ごみ処理施設の管理運営(実施主体:十勝圏複合事務組合) (くりりんセンター、一般廃棄物最終処分場、リサイクルプラザ)				単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
					事業費		812,656	782,862	
					特定財源		0	0	
					一般財源		812,656	782,862	
					指標名		-		
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 16 取組 2 番号 10 事務事業 し尿処理施設管理運営事業										
目的	し尿処理施設を管理運営し、し尿等の効率的な処理を進めます。					担当課	清掃事業課			
目標	-									
事業実施状況	・し尿処理施設の管理運営(実施主体:十勝圏複合事務組合)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		24,964	26,359				
			特定財源		309	0				
			一般財源		24,655	26,359				
			指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 16 取組 2 番号 11 事務事業 ごみ収集・運搬事業										
目的	ごみの収集・運搬を円滑に行い、ごみの適正処理を進めます。					担当課	清掃事業課			
目標	-									
事業実施状況	・ごみの収集、運搬業務 ・ごみの収集車両の維持管理	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費		323,885	316,704					
		特定財源		257,425	257,425					
		一般財源		66,460	59,279					
		指標名		-			単位			
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 16 取組 2 番号 12 事務事業 ごみ処理手数料収納管理事業										
目的	指定ごみ袋・処理券の管理、ごみ処理手数料の収納業務を適切に進めます。					担当課	清掃事業課			
目標	-									
事業実施状況	・指定ごみ袋、ごみ処理券の作成、保管、配送、販売業務 ・ごみ処理手数料の収納管理事務					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
						事業費		115,533	121,672	
						特定財源		117,505	116,594	
						一般財源		△1,972	5,078	
	指標名		-			単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 16 取組 2 番号 13 事務事業 し尿収集・運搬事業											
目的	し尿等の収集・運搬を円滑に行い、し尿等の適正処理を進めます。					担当課	清掃事業課				
目標	-										
事業実施状況	・し尿、汚水の収集、運搬業務	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費		68,373	68,378						
		特定財源		20,251	19,756						
		一般財源		48,122	48,622						
		指標名		-			単位				
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-										

施策 16 取組 2 番号 14 事務事業 し尿処理手数料収納管理事業										
目的	し尿処理券の管理、し尿処理手数料の収納業務を適切に進めます。					担当課	清掃事業課			
目標	-									
事業実施状況	・し尿処理券の作成、販売業務 ・し尿処理手数料の収納管理業務	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費		1,560	1,560					
		特定財源		0	0					
		一般財源		1,560	1,560					
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 16 取組 2 番号 15 事務事業 一般廃棄物処理業関連事業										
目的	一般廃棄物処理業の許可等に関する事務を進めます。						担当課	清掃事業課		
目標	-									
事業実施状況	・一般廃棄物処理業許可事務 ・浄化槽清掃業許可事務		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		314		369			
			特定財源		825		1,368			
			一般財源		△511		△999			
			指標名		-					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値
	評価検証	-								

事務事業評価表

施策 16 取組 3 番号 1 事務事業 環境監視・測定事業														
目的	環境（大気、河川、騒音、振動、悪臭）の監視・測定や対策に取り組み、生活環境の保全を図ります。					担当課	環境課							
目標	河川水質等の環境基準の達成を維持します。													
事業実施状況	・大気の測定調査の実施(各項目市内1箇所、窒素酸化物、微小粒子状物質) ・河川の水質測定調査の実施(市内8河川11地点、生活環境項目・健康項目調査) ・地下水の水位観測の実施(市内4箇所) ・航空機騒音の測定調査の実施(固定局2箇所、移動局5箇所) 道路交通騒音常時監視測定(11路線14区間※重複区間を除く) ・悪臭の測定調査(市内4事業所) ・公害苦情対応(23件) ・PCB廃棄物の処分の実施					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
						事業費		61,529	50,313					
						特定財源		45	45					
						一般財源		61,484	50,268					
						指標名		-				単位		
						基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、環境基準類型指定河川におけるすべての測定地点で環境基準（BOD75％値）を達成しており、良好な河川環境が維持され、目標達成に向け進捗しています。													

施策 16 取組 3 番号 2 事務事業 自然環境保全対策事業															
目的	自然環境保全地区の監視などにより、自然林や生物生息環境など自然環境の保全を図ります。				担当課	環境課									
目標	自然環境保全地区をはじめとした市内森林面積の減少を抑制します。														
事業実施状況	・自然環境保全地区の監視(監視員3名 月2回) ・移入動物問題等に関する情報提供(HP、広報おびひろへ記事掲載) ・公共工事環境配慮ガイドラインに基づく取り組みの推進 ・日高山脈襟裳国定公園の国立公園化に向けた取り組みの推進(期成会要望、実行委員会によるインスタグラムフォトラリーの開催) ・アライグマ防除対策の実施(捕獲頭数:62頭)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
					事業費		1,486		1,611						
					特定財源		479		343						
					一般財源		1,007		1,268						
					指標名				-		単位				
					基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値	
								実績値			実績値				
評価検証	R3年度は、市内の森林面積はわずかに減少していますが、保全地区等市内の自然環境は保全されており、目標達成に向け進捗しています。														

施策 16 取組 3 番号 3 事務事業 環境保全連携促進事業										
目的	市民・事業者・行政の連携により、環境負荷低減の取り組みを進めます。				担当課	環境課				
目標	個人で清掃活動を行うエコフレンズの登録者数の増加を目指します。									
事業実施状況	・帯広市町内会連合会と連携したまち美化の推進(活動広報1回、花苗共同購入事業実施1回:30連合町内会参加) ・清掃ボランティア「エコフレンズ」の推進(登録者数3,986名) ・清掃ボランティア「クリーン・キャンパス・21」への協力、支援 ・空き地の草刈り指導(苦情受付件数:57件)	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費		251	216					
		特定財源		0	0					
		一般財源		251	216					
		指標名		-			単位			
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、エコフレンズの登録者数が増加し、市民によるまち美化の取り組み等により地域の環境が保全されており、目標達成に向け進捗しています。									

施策 16 取組 3 番号 4 事務事業 犬等管理事業										
目的	犬等の適正な管理や飼育指導により、狂犬病の発生防止と生活環境の保全を図ります。					担当課	環境課			
目標	-									
事業実施状況	・畜犬の登録及び狂犬病予防注射の接種促進 (新規登録:612頭、注射接種:4635頭) ・犬等の適正飼育の啓発、指導(飼い主への チラシの送付、町内会回覧による啓発、苦情に よる等による指導件数:20件) ・野犬の掃とう(浮浪犬捕獲頭数:7頭)	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費	10,292		7,900					
		特定財源	4,304		4,389					
		一般財源	5,988		3,511					
		指標名	-					単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 16 取組 0 番号 1 事務事業 環境関連計画推進事業										
目的	環境基本計画などの環境関連計画に基づき、環境保全に関する施策を総合的に推進します。				担当課	環境課				
目標	-									
事業実施状況	・帯広市環境基本計画の推進 ・帯広市環境審議会の開催(書面開催1回) ・エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネ法)に基づく事務 ・帯広市環境モデル都市行動計画の推進 ・帯広市環境基金の管理 ・帯広市エコオフィスの推進	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費		18,766	33,236					
		特定財源		12,089	27,216					
		一般財源		6,677	6,020					
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 17 取組 1 番号 1 事務事業 防災意識普及啓発事業										
目的	防災に関する情報提供や教育、実践的な防災訓練などを通して、防災意識の向上を図ります。					担当課	危機対策課			
目標	防災訓練・講座の参加者数について8,235人を目指します。									
事業実施状況	・地域防災訓練、冬季防災訓練は新型コロナウイルス感染症の影響で中止(避難所運営職員及び新規採用職員の図上訓練は実施120人参加) ・防災講座の実施(70回) ・地域防災マネージャーの配置(1人)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		4,201		5,005				
		特定財源		0		100				
		一般財源		4,201		4,905				
		指標名	防災活動への参加者数					単位	人	
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		7,744	8,235 4,286		8,235 4,529		8,235			
評価検証	R3年度の防災活動への参加者数は4,529人であり、目標を達成しませんでした。 前年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により地域防災訓練と冬季防災訓練を中止したことや、対面での出前講座の開催が制約され、行事全体が縮小されたことが要因と考えます。 今後は感染対策を講じながら訓練や講座等を開催するとともに、コロナ禍において防災啓発が市民に行き届くよう、広報紙やインターネットなどを活用した啓発に取り組んでいく必要があると考えます。									

施策 17 取組 2 番号 1 事務事業 要援護者避難支援体制整備事業										
目的	要援護者の把握を進めるとともに、地域などと協力し、避難支援体制を整備します。					担当課		危機対策課		
目標	災害時に自力で避難することが困難な災害時要援護者の避難支援等を定める個別計画の策定完了件数について454件を目指します。									
事業実施状況	・おびひろ避難支援プランの推進(R3年度末:登録者数1,711人、策定完了件数338件、個別計画作成協議会数25) ・避難支援プラン推進員の配置(1人)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		3,341		3,457				
		特定財源		0		0				
		一般財源		3,341		3,457				
		指標名		災害時要援護者の個別計画策定完了件数				単位		件
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
		334	394 353		424 338		454			
評価検証	R3年度の災害時要援護者の個別計画策定完了件数は338件であり目標を達成しませんでした。支援者となる地域（町内会）が、制度の複雑さや要援護者の支援を負担に感じ、個別計画作成協議会の立ち上げに繋がらないことが要因であると考えます。今後は災害対策基本法の改正により、優先度の高い避難行動要支援者の個別計画の作成が努力義務化されたことへの対応などを含め、地域が取り組みやすい制度に見直していく必要があります。									

施策 17 取組 2 番号 2 事務事業 自主防災組織育成事業											
目的	自主防災組織の育成や指導的役割を担う人材の育成を進め、地域防災力の向上を図ります。					担当課	危機対策課				
目標	自主防災組織への防災出前講座の実施率について77.5%を目指します。										
事業実施状況	・帯広市町内会連合会への支援 ・自主防災組織の育成 ・地域防災マネージャーの配置(1人)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費		4,372		4,993					
		特定財源		0		0					
		一般財源		4,372		4,993					
		指標名		自主防災組織への防災出前講座実施率				単位	%		
		基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値
		64.7			71.1 0.9			74.3 21.2			77.5
評価検証	R3年度の自主防災組織への防災出前講座実施率は21.2%であり、目標を達成しませんでした。前年度に続き、コロナ禍により講座の開催が確保できなかったことが要因と考えます。地域における防災力の向上を図るため、コロナ禍における開催手法を検討していく必要があります。										

施策 17 取組 3 番号 1 事務事業 建築物耐震化推進事業										
目的	地震による建築物の倒壊の被害や、これに起因する市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止するため、建築物の耐震化を推進します。					担当課	建築開発課			
目標	無料耐震簡易診断（市実施）の実施件数について81件を目指します。									
事業実施状況	・耐震診断・改修・建替えへの支援（診断0件、改修0件、建替え0件） ・相談体制の整備 ・パンフレット等による情報提供 ・無料耐震簡易診断の実施 ・第3期耐震改修促進計画の策定	単位：千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		1,875		1,941				
		特定財源		1,870		1,936				
		一般財源		5		5				
		指標名	無料耐震簡易診断件数					単位	件	
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		34	81 66		81 67		81			
評価検証	R3年度の無料耐震簡易診断件数は67件であり、目標を達成しませんでした。 無料耐震簡易診断は、住宅耐震化への理解と実践につなげていくものですが、耐震改修費用の負担や不透明さ及び築40年を超え空き家になる等の利用形態の変化が要因で耐震化が進んでいないと考えます。引き続き、地震防災対策に対する理解醸成を図り耐震化を促進するとともに、空家対策と連携し耐震性が不十分な旧耐震住宅の除却を促進する必要があると考えます。									

事務事業評価表

施策 17 取組 3 番号 2 事務事業 地域防災推進事業										
目的		災害・緊急時の通信体制の確保や避難経路の明示など、避難所や防災拠点施設の維持管理に取り組みます。					担当課		危機対策課	
目標		災害時における市民の適切な避難行動につなげる体制を確保します。								
事業実施状況	・災害時の情報発信、連絡体制の整備及び維持管理 ・避難所機能の整備及び維持管理 ・防災資機材等整備基準に基づく備蓄品の更新、整備 ・緊急情報一斉伝達システムの運用 ・備蓄倉庫の建設 ・指定避難所備蓄品収納物置の整備	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		89,855		203,384				
		特定財源		78,382		153,200				
		一般財源		11,473		50,184				
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、災害備蓄品を集中管理する拠点備蓄倉庫と各指定避難所の開設及び運営初期に必要な感染症対策資機材等を保管する倉庫（物置）をそれぞれ整備し、備蓄体制の強化を図ったほか、備蓄基準に基づく備蓄品の整備に加え、指定避難所内で感染症等に対応するスペースの停電対応資機材（暖房、照明、発電機等）を整備しました。 また、緊急情報一斉伝達システムやSNS等の情報収集手段の周知を図っており、目標達成に向け進捗しています。									

施策 17 取組 3 番号 3 事務事業 防災事業										
目的	防災関係機関との連携による防災体制の整備のための事務を行います。					担当課	危機対策課			
目標	民間企業等との防災協定の締結数の増加を目指します。									
事業実施状況	・防災会議の開催（書面開催、1回） ・民間企業等との防災協定の締結（1件、合計80件） ・自衛官募集事務の実施 ・山岳遭難防止協議会に係る事務対応	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		660		430				
		特定財源		0		28				
		一般財源		660		402				
		指標名 -						単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度の民間企業等との防災協定締結数は1件で、R3年度末の協定締結数は80件となっており、目標達成に向け進捗しています。引き続き防災力の強化に有効となる協定の締結に取り組みます。									

施策 17 取組 3 番号 4 事務事業 国民保護計画推進事業											
目的	国及び道の計画を踏まえ、市の国民保護に関する計画に基づき、関係機関と連携協力し実施する国民保護措置を総合的に推進します。					担当課	危機対策課				
目標	-										
事業実施状況	・国民保護協議会の開催(R3は未開催) ・帯広市国民保護計画の推進		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額			
			事業費		0	0					
			特定財源		0	0					
			一般財源		0	0					
			指標名		-					単位	
			基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-										

施策 17 取組 3 番号 5 事務事業 河川管理事業											
目的	河川を適切に管理し、洪水などの被害を防止します。					担当課	管理課、道路維持課				
目標	河川敷地の管理や支障木処理、河川パトロールなどを通じ河川を適切に管理します。										
事業実施状況	・樋門樋管の点検管理 ・河川敷地の管理(河川草刈り44,839㎡) ・河川敷地の支障木処理(大成川) ・河川のパトロール	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費		7,863		7,487					
		特定財源		1,495		1,497					
		一般財源		6,368		5,990					
		指標名 -							単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R3年度は、洪水時の被害防止のため、樋門樋管の点検管理や河川敷地の草刈りを行ったほか、河川敷地の支障木の伐採等を実施し、河川の適正管理に取り組んでおり、目標達成に向け進捗しています。										

施策 17 取組 3 番号 6 事務事業 治水対策事業										
目的	国や道に対する十勝川流域水系の整備や適正な管理の要望などを通し、治水対策を促進します。					担当課	管理課			
目標	-									
事業実施状況	・十勝川治水促進期会会を通した要望活動の実施（要望活動2回、意見交換会2回）		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		140		140			
			特定財源		0		0			
			一般財源		140		140			
			指標名		-					単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 17 取組 3 番号 再 事務事業 配水管整備事業<再掲20-1-1>														
目的 配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定供給を図ります。					担当課		水道課							
目標 -														
事業実施状況	・配水管整備事業(上水)L=2682.3m ・配水管整備事業(簡水)L= 407.7m ・管路近代化事業 L=8965.4m				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
					事業費		-		-					
					特定財源		-		-					
					一般財源		-		-					
	指標名				-						単位			
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	-													

施策 17 取組 3 番号 再 事務事業 浄水場等耐震化事業<再掲20-1-2>												
目的	浄水場等の計画的な耐震化により、水道水の安定供給を図ります。					担当課	水道課					
目標	-											
事業実施状況	・中島配水場の耐震補強実施設計 ・大正配水池の耐震化工事				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
	指標名				-				単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 17 取組 3 番号 再 事務事業 浸水対策下水道事業<再掲20-1-3>														
目的		雨水管の整備などにより、浸水地域の解消を図り、安全で快適な生活環境づくりを進めます。					担当課		下水道課					
目標		-												
事業実施状況	・公共下水道雨水管整備事業					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
						事業費		-		-		-		
						特定財源		-		-		-		
						一般財源		-		-		-		
	指標名					-					単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-													

施策 17 取組 3 番号 再 事務事業 災害時体制強化事業<再掲20-1-4>											
目的	自然災害等による被害を最小限にとどめ、被害を受けた場合であっても迅速に復旧できる上下水道の体制強化を図ります。					担当課	水道総務課ほか				
目標	-										
事業実施状況	・災害対策備蓄資器材等の購入 (大型水のう、水中汚水ポンプ購入) ・応急給水体制などの整備				単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費	-		-			
					特定財源	-		-			
					一般財源	-		-			
	指標名				-		単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 18 取組 1 番号 1 事務事業 広域消防管理運営事業																		
目的	管内自治体と連携し、消防に関する事務の共同処理を進め、効率的な消防体制の充実を図ります。						担当課		消防課									
目標	管内町村との連携により、市町村の枠を越えた消防・救急体制の確保を目指します。																	
事業実施状況	・とかち広域消防事務組合を通した消防に関する事務の共同処理の推進(実施主体:とかち広域消防事務組合)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
					事業費		1,860,449		1,830,552									
					特定財源		16,230		10,847									
					一般財源		1,844,219		1,819,705									
					指標名						-		単位					
					基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	令和3年度は、管内19市町村で構成するととかち広域消防事務組合が主体となり、救急搬送時における救急隊員等の新型コロナウイルス感染リスクの低減や消防職場内の感染防止対策の強化のほか、NET119緊急通報システムの導入など消防に関する事務の共同処理を進めており、目標達成に向け進捗しています。																	

施策 18 取組 1 番号 2 事務事業 消防水利整備事業											
目的 目標	消火栓、防火水槽の新設、維持管理を行い、消防水利を充実します。					担当課	消防課				
	-										
事業 実施 状況	・消火栓の更新(27基)、移設(5基)、修繕(7基)				単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費	30,966		36,714			
					特定財源	25,100		28,200			
					一般財源	5,866		8,514			
	指標名				-				単位		
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価 検証	-										

施策 18 取組 1 番号 3 事務事業 消防行政事業										
目的 目標	消防庁舎の適切な維持管理などにより、消防体制を維持します。						担当課	消防課		
	-									
事業実施状況	・消防庁舎の維持管理				単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
					事業費		4,441	2,901		
					特定財源		2,901	2,901		
					一般財源		1,540	0		
	指標名				-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	評価検証	-								

施策 18 取組 2 番号 1 事務事業 消防団活動促進事業														
目的 目標	消防団員の確保、教育訓練などにより、地域防災力の強化を図ります。						担当課		消防課					
	消防団協力事業所の累計数について14事業所を目指します。													
事業実施状況	・消防団員確保に向けた普及啓発の実施(消防団員346人、消防団協力事業所新規認定1事業所) ・教育訓練、研修会の充実(教育訓練4回、研修会1回 計354人) ・安全装備品等の整備(雨衣兼防寒衣180着、保安帽35個、救助用半長靴15足)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
					事業費		41,978		47,253					
					特定財源		5,198		8,253					
					一般財源		36,780		39,000					
	指標名		消防団協力事業所累計数						単位		事業所			
	基準値		R2		目標値		R3		目標値		R4		目標値	
					実績値				実績値					
11				12				13				14		
				13				14						
評価検証	令和3年度の消防団協力事業所累計数は14事業所であり、目標を達成しました。 ホームページや広報おびひろでのPRを実施したほか、興味を示す企業の情報収集を図り、説明の機会を設けることで消防団協力事業所表示制度の理解や関心が得られたほか、一般業務における入団促進活動やSNS等を活用した情報発信の強化と併せて、消防団制度そのものへの理解を深められたことが効果的であったと考えます。													

施策 18 取組 2 番号 2 事務事業 消防団詰所管理事業														
目的	消防団詰所の適切な維持管理などにより、消防体制を維持します。						担当課		消防課					
目標	-													
事業実施状況	・消防団詰所の維持管理				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
					事業費		1,617		1,718					
					特定財源		0		0					
					一般財源		1,617		1,718					
	指標名				-						単位			
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	-													

施策 18 取組 2 番号 3 事務事業 消防団詰所整備事業											
目的	消防団詰所の整備を進め、災害に強い消防体制を整備します。						担当課	消防課			
目標	-										
事業実施状況	-	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費		0		0					
		特定財源		0		0					
		一般財源		0		0					
		指標名		-					単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 18 取組 2 番号 4 事務事業 消防団車両整備事業										
目的	消防団車両を更新し、消防力を充実します。						担当課	消防課		
目標	-									
事業実施状況	・消防団車両の更新(小型動力ポンプ付積載車1台)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		0		27,229				
		特定財源		0		25,500				
		一般財源		0		1,729				
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 18 取組 2 番号 5 事務事業 消防機器更新事業																		
目的	消防機器を更新し、消防力を充実します。						担当課	消防課										
目標	-																	
事業実施状況	・消防団に係る消防機器の更新等 ・消防団車両用消防ホース(65mm5本、50mm4本)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
					事業費		1,254		341									
					特定財源		0		0									
					一般財源		1,254		341									
					指標名		-						単位					
					基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	-																	

施策 18 取組 2 番号 6 事務事業 消防団車両・装備管理事業												
目的	消防団車両や装備を適切に管理し、消防体制を維持します。						担当課	消防課				
目標	-											
事業実施状況	・消防団に係る消防車両・装備の維持管理		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
			事業費		2,409		3,126					
			特定財源		0		0					
			一般財源		2,409		3,126					
			指標名		-						単位	
			基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値
	評価検証	-										

施策 19 取組 1 番号 1 事務事業 交通安全教育推進事業										
目的	児童や高齢者等への交通安全教育を進め、市民の交通安全意識の向上を図ります。					担当課	危機対策課			
目標	交通安全教室の参加者数について38,204人を目指します。									
事業実施状況	・交通安全教室の実施(258回19,908人) ・交通安全誘導の実施(1,275回)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		6,567	15,722				
			特定財源		0	0				
			一般財源		6,567	15,722				
	指標名		交通安全教室の参加者数					単位	人	
	基準値		R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値		
				実績値		実績値		実績値		
	37,013		38,204		38,204		38,204			
			23,207		19,908					
評価検証	R3年度の交通安全教室の参加者数は19,908人であり、目標を達成しませんでした。 小中学校や保育所を中心に開催している交通安全教室が、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したことが要因と考えます。市民の交通安全意識の向上を図るため、コロナ禍における開催手法を検討していく必要があります。									

施策 19 取組 1 番号 2 事務事業 交通安全運動推進事業												
目的	関係機関・団体と連携し、交通事故防止の啓発活動などを進め、市民の交通安全意識の向上を図ります。					担当課	危機対策課					
目標	高齢者向けドライビング体験会の参加者数について270人を目指します。											
事業実施状況	・高齢者向けドライビング体験会の実施(1回15人) ・帯広市交通安全市民会議の開催(2回) ・広報活動の実施 ・関係団体の活動への支援	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
		事業費		15,821		7,467						
		特定財源		0		0						
		一般財源		15,821		7,467						
		指標名		高齢者向け体験会の参加者数					単位	人		
		基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
		249		264 0		267 15		270				
評価検証	R3年度の高齢者向けドライビング体験会の参加者数は15人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症の影響により、年3回の開催予定が1回の開催に留まったことに加え、少人数で開催したことが要因と考えます。 高齢ドライバーの運転技術及び適性のチェックによる交通事故の未然防止を図るため、コロナ禍における開催手法を検討していく必要があります。											

事務事業評価表

施策 19 取組 1 番号 3 事務事業 防犯意識啓発事業									
目的	防犯に関する情報提供や街頭啓発、自主的な学習活動の促進により、市民の防犯意識の向上を図ります。					担当課	危機対策課		
目標	防犯・不審者にかかる安心安全ニュース1件あたりのリーチ数について3,465件を目指します。								
事業実施状況	・防犯グッズ展の開催(1回) ・防犯パトロールの実施(2,049回) ・防犯関係団体の活動への支援 ・防犯に関する周知・啓発(安心安全ニュース71件発信)	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
		事業費		7,504	7,053				
		特定財源		0	0				
		一般財源		7,504	7,053				
		指標名		防犯・不審者にかかる安心安全ニュース1件当たりリーチ数			単位	件	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	3,051			3,253 3,365		3,357 1,920		3,465	
評価検証	R3年度の防犯・不審者にかかる安心安全ニュース1件当たりリーチ数は1,920件であり、目標（3,357件）を達成しませんでした。 市の防犯情報に関する公式LINEの登録者数は、R3年度末で11,480人となっており、防犯・不審者情報の入手方法が変化してきていることが要因と考えます。								

施策 19 取組 1 番号 4 事務事業 交通安全施設整備事業（危機対策課）									
目的	学校周辺や危険箇所における、交通安全に関する標識の設置や歩道の整備により、安全な交通環境の整備を進めます。					担当課	危機対策課		
目標	-								
事業実施状況	・信号機設置等の要望活動の実施 ・交通安全注意喚起看板の設置		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		869	836			
			特定財源		0	0			
			一般財源		869	836			
			指標名		-				単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 19 取組 1 番号 5 事務事業 交通安全施設整備事業（土木課）														
目的		学校周辺や危険箇所における歩道の整備を進め、安全な交通環境を確保します。					担当課		土木課					
目標		-												
事業実施状況	・幹線道路や生活道路における歩道の整備 ・通学路などの歩道の再整備（南26丁目西線）		単位：千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
			事業費		9,559		9,394							
			特定財源		8,600		8,500							
			一般財源		959		894							
			指標名		-				単位					
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証		-												

施策 19 取組 1 番号 6 事務事業 交通安全対策特別交付金対象事業									
目的	視線誘導標や区画線など、交付金を活用した交通安全施設の設置により、安全な交通環境を確保します。					担当課	道路維持課		
目標	-								
事業実施状況	・視線誘導標の設置(24本) ・区画線の設置(延長L=59km)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		24,310	24,321			
			特定財源		6,300	0			
			一般財源		18,010	24,321			
			指標名		-				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 19 取組 1 番号 7 事務事業 防犯灯整備支援事業									
目的	防犯灯の新設や更新、維持管理を支援し、安全な生活環境の整備を促進します。					担当課	市民活動課		
目標	-								
事業実施状況	・町内会の防犯灯新設、更新の支援(80灯) ・町内会の防犯灯維持費用の支援(16,258灯)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		60,098	58,770			
			特定財源		0	0			
			一般財源		60,098	58,770			
			指標名		-				単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 19 取組 2 番号 1 事務事業 消費者活動促進事業											
目的	消費生活に関する講座や講演会の開催などにより、消費者被害の未然防止や合理的な消費生活を促進します。					担当課	商業労働課				
目標	消費生活に関する講座等の参加者数について2,943人を目指します。										
事業実施状況	・消費生活に関する講座、講演会の開催(1,059人) ・消費生活展の開催(R3年度中止) ・消費生活審議会の開催(書面開催1回) ・消費者団体の活動支援(会員数:351人)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額			
			事業費		1,435	1,355					
			特定財源		0	0					
			一般財源		1,435	1,355					
			指標名		消費生活に関する講座等の参加者数				単位	人	
	基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値	
				実績値			実績値			実績値	
		2,575		2,943		2,943		2,943			
				879		1,059					
評価検証	R3年度の消費生活に関する講座等の参加者数は1,059人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年どおりの講座や生活展が開催できなかったことや、出前講座申込等の自粛に係る参加者の減少が要因であると考えます。令和4年4月から成年年齢の引き下げとなったことなど、消費生活が変化していく中で、今後もトラブルの未然防止について、ポストコロナを見据えたより一層の周知が必要であると考えます。										

事務事業評価表

施策 19 取組 2 番号 2 事務事業 消費者情報提供活動事業												
目的	消費生活に関する情報の収集・提供などにより、市民の安全で合理的な消費生活を支援します。					担当課	商業労働課					
目標	食料品・雑貨・燃料の小売価格を掲載したホームページの閲覧数について4,252件を目指します。											
事業実施状況	・消費生活に関する情報提供 ・小売価格調査の実施 (毎月10日、生活関連商品等32品目、36点の価格を調査)		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
			事業費		5,404		5,458					
			特定財源		0		0					
			一般財源		5,404		5,458					
			指標名		小売価格調査HP閲覧数				単位		件	
			基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値
			3,039				4,252 3,489		4,252 2,485		4,252	
評価検証	R3年度の小売価格調査HP閲覧数は2,485件であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症に関する情報など他分野の大きなトピックスへ消費者の関心が推移したことなどが、小売価格調査HP閲覧数が伸び悩んだ要因と考えます。今後も引き続き一般消費者に対し、消費生活に関する情報の発信や小売価格調査の実施等を通じて安全で合理的な消費生活の支援を行うとともに、新たな情報発信の手段等についても検討していく必要があると考えます。											

施策 19 取組 2 番号 3 事務事業 消費生活相談支援事業										
目的	消費生活相談や消費者講座の実施などにより、消費者被害の未然防止や消費生活の向上を図ります。					担当課	商業労働課			
目標	消費生活に関する相談機能を維持します。									
事業実施状況	・消費生活アドバイスセンターの運営 ・地域消費者講座の開催 ・消費生活相談員の資質向上 ・専門家による相談の実施 ・消費者被害防止啓発資料の作成・配布 (委託料:21,314千円、相談実績:1,262件)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		23,521		23,939				
		特定財源		5,630		5,820				
		一般財源		17,891		18,119				
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	令和3年度は、相談員の研修派遣や、弁護士相談の実施等の適切な消費生活相談などを通し、相談機能の維持に繋がっており、目標達成に向けて進捗しています。									

施策 19 取組 2 番号 4 事務事業 計量適正化推進事業												
目的	計量器や商品表示などの検査・指導により、適正な取引を促進します。						担当課	商業労働課				
目標	-											
事業実施状況	・検査、指導の実施 (計量器定期検査:268戸、765台、量目立入検査:8戸、1471個)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		4,237		3,989			
					特定財源		0		1,283			
					一般財源		4,237		2,706			
					指標名		-					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 20 取組 1 番号 1 事務事業 配水管整備事業												
目的		配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定供給を図ります。				担当課		水道課				
目標		-										
事業実施状況	・配水管整備事業(上水)L=2682.3m ・配水管整備事業(簡水)L= 407.7m ・管路近代化事業 L=8965.4m				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		755,304		935,408			
					特定財源		755,304		935,408			
					一般財源		0		0			
					指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-											

施策 20 取組 1 番号 2 事務事業 浄水場等耐震化事業										
目的 目標	浄水場等の計画的な耐震化により、水道水の安定供給を図ります。					担当課	水道課			
	-									
事業 実施 状況	・中島配水場の耐震補強実施設計 ・大正配水池の耐震化工事	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		26,081		17,499				
		特定財源		26,081		17,499				
		一般財源		0		0				
		指標名		-					単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価 検証	-									

施策 20 取組 1 番号 3 事務事業 浸水対策下水道事業										
目的	雨水管の整備などにより、浸水地域の解消を図り、安全で快適な生活環境づくりを進めます。					担当課	下水道課			
目標	-									
事業実施状況	・公共下水道雨水管整備事業 ・下水道マンホール蓋取替 ・汚水枘取替	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		485,670		639,737				
		特定財源		477,441		629,957				
		一般財源		8,229		9,780				
		指標名		-					単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 20 取組 1 番号 4 事務事業 災害時体制強化事業																			
目的 自然災害等による被害を最小限にとどめ、被害を受けた場合であっても迅速に復旧できる上下水道の体制強化を図ります。						担当課		水道総務課ほか											
目標		-																	
事業実施状況	・災害対策備蓄資器材等の購入 (大型水のう、水中汚水ポンプ購入) ・応急給水体制などの整備					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
						事業費		80,135		113,939									
						特定財源		80,135		113,939									
						一般財源		0		0									
						指標名		-				単位							
						基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	-																		

施策	20	取組	1	番号	5	事務事業 浄水場等施設整備事業													
目的	浄水場等の計画的かつ効率的な更新などにより、水道機能を保全し、水道水の安定供給を図ります。						担当課	水道課											
目標	-																		
事業実施状況	・稲田浄水場などの改修・設備更新 ・川西地区受水切替事業 L=1115.0m					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
						事業費		239,333		460,335									
						特定財源		239,333		460,335									
						一般財源		0		0									
						指標名		-								単位			
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-																		

施策	20	取組	1	番号	6	事務事業 未普及解消下水道事業														
目的	污水管の整備により、未整備地区の解消を図り、快適な生活環境づくりを進めます。						担当課	下水道課												
目標	-																			
事業実施状況	・公共下水道污水管整備事業					単位:千円		R2年度決算額			R3年度決算額			R4年度決算額						
						事業費		68,166			54,096									
						特定財源		68,166			54,096									
						一般財源		0			0									
						指標名		-									単位			
						基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値					
									実績値			実績値			実績値					
評価検証	-																			

施策	20	取組	1	番号	7	事務事業 管渠長寿命化更新事業														
目的	下水道管の長寿命化を進め、下水道機能を適切に維持します。						担当課	下水道課												
目標	-																			
事業実施状況	・管渠長寿命化更新事業					単位:千円		R2年度決算額			R3年度決算額			R4年度決算額						
						事業費		22,605			23,320									
						特定財源		22,605			23,320									
						一般財源		0			0									
						指標名		-									単位			
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値					
評価検証	-																			

施策	20	取組	1	番号	8	事務事業 流域下水道事業													
目的	北海道が所管する十勝川流域下水道浄化センターの改修や耐震化等により、施設の機能維持と災害に強い施設づくりを進めます。					担当課	下水道課												
目標	-																		
事業実施状況	・十勝川流域下水道浄化センターの施設整備 (実施主体:北海道)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
						事業費		16,950		69,850									
						特定財源		15,232		67,532									
						一般財源		1,718		2,318									
						指標名		-								単位			
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-																		

施策	20	取組	1	番号	9	事務事業 汚水処理施設統合事業												
目的	汚水の一括処理などを進め、適正な施設規模による下水道サービスの安定供給を図ります。					担当課		下水道課										
目標	-																	
事業実施状況	・終末処理場などの改修、設備更新					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額						
						事業費		60,973		398,577								
						特定財源		60,872		397,140								
						一般財源		101		1,437								
						指標名		-								単位		
						基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値			
									実績値			実績値			実績値			
評価検証	-																	

事務事業評価表

施策	20	取組	1	番号	10	事務事業 農村下水道施設整備事業				
目的	農村下水道の整備により、農村部における快適な生活環境づくりを進めます。					担当課	下水道課			
目標	-									
事業実施状況	・個別排水処理施設の整備 ・清川下水処理場などの設備更新					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
						事業費		36,828	47,559	
						特定財源		36,828	47,559	
						一般財源		0	0	
	指標名		-			単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 20 取組 2 番号 1 事務事業 情報提供事業										
目的	イベントなどを通したPRや積極的な情報発信により、上下水道に関する理解を促進し、市民との協働により事業を進めます。					担当課	水道総務課、下水道課			
目標	水道水ができるまでの仕組みや水の大切さを伝える水を見る週間の来場者数について861人を目指します。									
事業実施状況	・イベントによるPRや学習機会の提供 ・広報紙やホームページなどによる情報提供 ・ペットボトル水の製造・販売・PR ・マンホールカードの制作					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費	4,789	4,866		
						特定財源	4,152	4,487		
						一般財源	637	379		
	指標名					水を見る週間来場者数			単位	人
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	687			861 0		861 0		861		
評価検証	R3年度の水を見る週間は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示のみとしたことから来場者数の把握を行いませんでした。 R3年度にホームページをリニューアルし、キッズページを設けるなど、よりわかりやすく情報を提供しており、今後もPRの方法を検討していく必要があると考えます。									

施策 20 取組 2 番号 2 事務事業 量水器整備事業									
目的	水道メーターや止水栓の更新などにより、漏水の防止など、利用者サービスの向上を図ります。					担当課	水道課		
目標	-								
事業実施状況	・水道メーターの更新 ・止水栓の更新 ・作業時間の短縮が可能な「掘削しないメーターボックス」への更新		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
			事業費		374,870	410,255			
			特定財源		374,870	410,255			
			一般財源		0	0			
			指標名		-				単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 20 取組 2 番号 3 事務事業 利用者サービス推進事業											
目的	上下水道に関する利用者の負担軽減や利便性向上などにより、利用者サービスの向上を図ります。					担当課	水道総務課、水道課、料金課				
目標	水道料金・下水道使用料の納付の利便性を高める手法の導入を目指します。										
事業実施状況	・水道凍結注意チラシの作成・配布 ・キャッシュレス決済の導入				単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費	2,279		6,364			
					特定財源	2,279		2,491			
					一般財源	0		3,873			
	指標名					-		単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R3年度は、利便性向上のためキャッシュレス決済の収納代行業者の選定など導入に向けた準備を進めており、目標達成に向け進捗しています。										

施策 20 取組 2 番号 4 事務事業 組織力向上対策事業														
目的	上下水道の知識や技術の継承などを進め、質の高い上下水道サービスの提供を図ります。					担当課	水道総務課ほか							
目標	質の高い上下水道サービスの提供につながる先進地等研修の参加数について8人を目指します。													
事業実施状況	・研修会、講習会などへの参加				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
					事業費		358		905					
					特定財源		358		905					
					一般財源		0		0					
			指標名 先進地等研修参加数						単位		人			
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
			-		8 7		8 10				8			
評価検証	R3年度の先進地域等研修の参加者数は10人であり、目標を達成しました。 質の高い上下水道サービスの提供に向けて、職員の専門的な知識や技術の習得を推進してきたことによるものと考えます。													

施策 20 取組 2 番号 5 事務事業 水道料金・下水道使用料収納事業										
目的	料金・使用料の適正な調定・収納や収入の確保に向けた取り組みを進め、上下水道事業を健全に経営します。					担当課	料金課			
目標	-									
事業実施状況	・水道メーターの検針 ・水道料金、下水道使用料の調定、収納事務 ・収納率向上対策の推進					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費	296,409	298,035		
						特定財源	296,409	298,035		
						一般財源	0	0		
	指標名					-	単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 20 取組 2 番号 6 事務事業 財政基盤強化対策事業										
目的	業務の効率化などにより、持続可能な財政基盤を確保し、上下水道事業を健全に経営します。					担当課	水道総務課ほか			
目標	上下水道事業の健全で安定的な経営を維持します。									
事業実施状況	・GISや各種業務システムの活用 ・終末処理場の包括民間委託の実施		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		201,955		197,952			
			特定財源		201,955		197,952			
			一般財源		0		0			
	指標名		-						単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度は、適切な維持管理や業務の効率化を推進する中で、水道事業会計・下水道事業会計ともに、上下水道ビジョンの収支見通し以上の純損益や累積資金残高を確保でき、健全で安定的な経営を維持しており、目標達成に向け進捗しています。									

施策 20 取組 2 番号 7 事務事業 水道施設維持管理事業												
目的	適切な水道施設の維持管理などにより、水道事業を安定的に運営します。					担当課	水道課					
目標	-											
事業実施状況	・配水管、水道施設、量水器の維持管理				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		345,467		354,549			
					特定財源		317,536		318,141			
					一般財源		27,931		36,408			
	指標名				-						単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 20 取組 2 番号 8 事務事業 下水道施設維持管理事業												
目的	適切な下水道施設の維持管理などにより、下水道事業を安定的に運営します。					担当課	下水道課					
目標	-											
事業実施状況	・下水道管の維持管理 ・終末処理場の維持管理 ・個別排水処理施設、農業集落排水施設の維持管理				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		369,515		384,134			
					特定財源		369,515		384,134			
					一般財源		0		0			
	指標名				-				単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 20 取組 2 番号 9 事務事業 水道事業経営管理事業										
目的	水道事業の適切な管理運営により、水道水の安定供給を図ります。						担当課	水道総務課		
目標	-									
事業実施状況	・上下水道ビジョンの推進 ・帯広市公営企業経営審議会の開催 ・企業債の償還及び資金運用 ・資産の管理 ・十勝中部広域水道企業団支出金				単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
					事業費		4,216,777	4,124,594		
					特定財源		4,186,205	4,094,159		
					一般財源		30,572	30,435		
					指標名		-			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 20 取組 2 番号 10 事務事業 下水道事業経営管理事業										
目的	下水道事業の適切な管理運営により、生活環境の保全や公衆衛生の向上を図ります。					担当課	水道総務課			
目標	-									
事業実施状況	・上下水道ビジョンの推進 ・帯広市公営企業経営審議会の開催 ・企業債の償還及び資金運用 ・資産の管理					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
						事業費		5,553,677	5,384,445	
						特定財源		4,304,973	4,067,278	
						一般財源		1,248,704	1,317,167	
	指標名					-			単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 20 取組 2 番号 11 事務事業 上下水道資源有効利用事業												
目的	浄水・下水処理の過程で発生する資源の有効利用により、環境負荷の軽減を図ります。					担当課	下水道課					
目標	-											
事業実施状況	・十勝川流域下水道浄化センターとの共同乾燥処理 ・下水汚泥の耕地への還元 ・発生ガスの有効活用				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		30,332		29,699			
					特定財源		30,332		29,699			
					一般財源		0		0			
	指標名				-				単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 20 取組 2 番号 12 事務事業 下水道普及促進事業											
目的	下水道の利用を促進し、生活環境の保全、公衆衛生の向上を図ります。					担当課	下水道課				
目標	下水道未接続家屋の減少を目指します。										
事業実施状況	・下水道への接続の普及啓発 ・排水設備改造資金の貸付		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費		8,580	6,211					
			特定財源		8,580	6,211					
			一般財源		0	0					
	指標名		-					単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R3年度は、トイレの水洗化などを図るため、戸別訪問や文書指導を行ったほか、自己資金のみで工事費を負担することが困難な場合には、排水設備改造資金貸付金制度を周知したことで、下水道未接続家屋は減少しており、目標達成に向け進捗しています。										

施策 20 取組 2 番号 13 事務事業 水道水源水質保全事業														
目的	札幌内川の水質調査などにより、水源の水質を保全し、安全な水道水の供給を図ります。					担当課		水道課						
目標	-													
事業実施状況	・札幌内川上流域等の河川表流水調査 ・札幌内川上流域等の水源水質調査 ・水道法に基づく水質基準検査					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
						事業費		55,260		51,676				
						特定財源		55,260		51,676				
						一般財源		0		0				
	指標名					-					単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-													

施策 21 取組 1 番号 1 事務事業 にぎわいづくり支援事業														
目的	歩行者天国などの取り組みを支援し、中心市街地のにぎわいを創出します。					担当課		商業労働課						
目標	中心市街地におけるイベント実施時の歩行者通行量（6地点）について14,504人を目指します。													
事業実施状況	・歩行者天国、イルミネーションなどの取り組みへの支援 (歩行者通行量(6地点)3,464人)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
						事業費		1,070		1,154				
						特定財源		500		500				
						一般財源		570		654				
	指標名					イベント実施時の歩行者通行量(6地点)					単位		人	
	基準値			R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値			
	14,121				14,105 3,608			14,239 3,464			14,504			
評価検証	R3年度のイベント実施時の歩行者通行量（6地点）は3,464人であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛要請やイベント中止が要因であると考えます。今後、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じたイベントの開催や規模縮小などの対応が必要であると考えます。													

施策 21 取組 1 番号 2 事務事業 市民活動交流センター管理運営事業												
目的	市民活動交流センターの管理運営により、市民の活動・交流などを通じた中心市街地のにぎわいの創出を図ります。						担当課	商業労働課				
目標	-											
事業実施状況	・市民活動交流センターの管理運営				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		31,506		31,720			
					特定財源		79		85			
					一般財源		31,427		31,635			
	指標名				-						単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 21 取組 1 番号 3 事務事業 駅北多目的広場管理事業														
目的	駅北多目的広場の管理により、イベントなどへの活用を促進を通じた中心市街地のにぎわいの創出を図ります。						担当課		商業労働課					
目標	-													
事業実施状況	・駅北多目的広場の管理、整備					単位: 千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
						事業費		1,302		1,267				
						特定財源		194		239				
						一般財源		1,108		1,028				
	指標名					-					単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-													

事務事業評価表

施策 21 取組 1 番号 4 事務事業 市営駐車場管理運営事業											
目的	市営駐車場の管理運営により、中心市街地を訪れる人の利便性の確保を図ります。					担当課	商業労働課				
目標	-										
事業実施状況	・市営駐車場の管理運営	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費		84,531		37,921					
		特定財源		0		9,640					
		一般財源		84,531		28,281					
		指標名		-					単位		
		基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値
評価検証	-										

施策 21 取組 1 番号 5 事務事業 中心市街地整備事業																
目的	市街地再開発事業などにより、街なか居住の促進や交流人口の拡大を図ります。					担当課	商業労働課									
目標	-															
事業実施状況	・市街地再開発事業等の促進(旧イトーヨーカドービル及び周辺施設の再開発)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
					事業費		846,877		707,914							
					特定財源		846,877		707,914							
					一般財源		0		0							
					指標名				-				単位			
					基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-															

施策 21 取組 1 番号 6 事務事業 中心市街地活性化基本計画推進事業											
目的	関係機関と連携しながら中心市街地活性化基本計画を推進し、にぎわいのある中心市街地の形成を図ります。					担当課	商業労働課				
目標	-										
事業実施状況	・中心市街地活性化基本計画の策定、進捗管理 ・中心市街地活性化協議会への運営支援 ・中心市街地活性化事業の推進 ・まちなか居住及び開業の相談対応、情報提供 ・中心市街地活性化に向けた人材の発掘、育成 ・中心市街地における首都圏企業等の新規事業創出型ワーケーションの促進	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費		7,437		16,091					
		特定財源		0		6,600					
		一般財源		7,437		9,491					
		指標名		-					単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-										

施策 21 取組 2 番号 1 事務事業 帯広の森づくり活動促進事業										
目的	帯広の森における市民の自主的な森づくり活動を促進するとともに、その活動を支援します。					担当課	みどりの課			
目標	帯広の森の育成に関わる活動者数の増加を目指します。									
事業実施状況	・帯広の森づくり協議会の運営 ・帯広の森づくり活動団体の承認 ・帯広の森利活用事業の実施(活動者数2,036人) ・植生、小動物等調査の実施		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		816	806				
			特定財源		809	798				
			一般財源		7	8				
			指標名		-					単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で帯広の森の利活用事業が中止や縮小になったことにより、帯広の森の育成に関わる活動が減少し、目標達成に向けあまり進捗していません。今後も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を徹底した上での事業実施が必要と考えます。									

施策 21 取組 2 番号 2 事務事業 花いっぱい推進事業																			
目的	市民協働による花とみどりの環境づくりなどにより、市民の緑化意識の向上を図ります。					担当課	みどりの課												
目標	市民協働による花とみどりの環境づくりの機会の提供等により、市民の緑化意識の醸成を図ります。																		
事業実施状況	・花苗の提供(花壇コンクール68団体、フラワー通り整備26団体) ・花による緑化活動団体への支援 ・市民協働のモデルガーデン事業等による庭づくりなどの推進					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
						事業費		3,796		4,324									
						特定財源		3,746		3,874									
						一般財源		50		450									
						指標名		-						単位					
						基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で各種事業が中止となり、目標達成に向けあまり進捗していません。高齢化等による参加団体の減少などの課題がある中、時代に即した持続可能な事業となるよう内容を見直しており、今後も適宜見直しを行いながら進めていく必要があると考えます。																		

施策 21 取組 2 番号 3 事務事業 緑化推進事業																	
目的	緑の基本計画に基づく緑地の保全や緑化の推進に総合的に取り組みます。					担当課	みどりの課										
目標	市民の緑化に対する意識を高めながら、適切な緑地の保全や緑化の推進に取り組みます。																
事業実施状況	・緑化審議会の開催 ・緑の基本計画の推進 ・緑の募金活動の実施 ・おびひろマザーフォレスト事業による苗木の配布(4本) ・緑の保全地区(1地区)及び保存樹木(10本)の管理・周知 ・緑化協議 ・緑化の啓発(イベント開催など) ・緑化重点地区の支援 ・みどり資源利活用の推進 ・緑化活動団体との連携・支援 ・慶事記念樹の贈呈(引換数:404本) ・桜並木の整備・管理					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
						事業費		13,871		30,267							
						特定財源		13,619		29,143							
						一般財源		252		1,124							
						指標名		-				単位					
						基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4 目標値 実績値	
	評価	R3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で一部の事業が中止となりましたが、緑化協議や慶事記念樹の贈呈、緑化活動団体との連携・支援等に取り組んでおり、目標の達成に向けて進捗しています。															

事務事業評価表

施策 21 取組 2 番号 4 事務事業 公園整備事業													
目的	公園緑地の整備により、市民のレクリエーションや憩いの場等を提供します。					担当課	みどりの課						
目標	-												
事業実施状況	・緑地の整備(中島緑地) ・公園の実施設計(丘の町公園) ・河川管理者などの関係機関と協議、連携					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費		150,711		97,853			
						特定財源		136,536		85,439			
						一般財源		14,175		12,414			
						指標名		-				単位	
						基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-												

施策 21 取組 2 番号 5 事務事業 公園管理運営事業										
目的	草刈や樹木の剪定・遊具の安全点検など公園を適切に維持管理し、安全で快適な利用環境の確保や多様な利活用を促進します。						担当課	みどりの課		
目標	-									
事業実施状況	・公園・緑地の維持管理 ・みどりと花のセンターの管理運営 ・公園の多様な利活用の促進	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		235,833		257,775				
		特定財源		2,141		2,193				
		一般財源		233,692		255,582				
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 21 取組 2 番号 6 事務事業 帯広の森管理運営事業										
目的	帯広の森を適切に管理し、帯広の森の育成や利活用の促進を図ります。					担当課	みどりの課			
目標	-									
事業実施状況	・帯広の森維持管理、育成管理 ・帯広の森・はぐくむの管理運営 ・十勝飛行場周辺伐採跡地の維持管理・育成管理	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		55,733		56,476				
		特定財源		3,552		4,563				
		一般財源		52,181		51,913				
		指標名 -						単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 21 取組 2 番号 7 事務事業 既存公園整備事業														
目的	公園施設の改修・更新などにより、安全で快適な利用環境を維持します。					担当課	みどりの課							
目標	-													
事業実施状況	・公園施設長寿命化計画に基づく公園施設(木製遊具等)の更新				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
					事業費		71,137		60,346					
					特定財源		64,870		55,942					
					一般財源		6,267		4,404					
					指標名		-						単位	
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	-													

施策 21 取組 2 番号 8 事務事業 帯広の森整備事業													
目的	運動施設等と連絡する園路などの整備を進め、散歩や森林浴など市民の多様な利活用を促進します。					担当課	みどりの課						
目標	-												
事業実施状況	・園路、休養施設の整備(築山周辺) ・園路、駐車場等の実施設計(十勝飛行場周辺)					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費		22,297	15,356				
						特定財源		21,148	14,928				
						一般財源		1,149	428				
						指標名		-			単位		
						基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-												

施策 21 取組 3 番号 1 事務事業 住宅サポートシステム事業												
目的	住まいに関する情報の提供や相談業務、住宅建設費への支援などにより、良質な住宅取得を促進します。				担当課	建築開発課						
目標	相続や売却をはじめ住宅に関する様々な相談に応じる住まいのワンストップ相談窓口の利用件数の増加を目指します。											
事業実施状況	・市HP、リーフレットなどによる住情報の提供 ・住まいの総合相談窓口対応 ・住まいのワンストップ相談窓口の実施(実施回数15回、相談者数27名、相談員数延41名) ・良質な住宅の新築への支援				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
					事業費	10,213	3,785					
					特定財源	4,689	2,043					
					一般財源	5,524	1,742					
					指標名	-				単位		
					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、広報おびひろや、OCTV、ラジオ、市ホームページなどで相談窓口の周知をしましたが、住まいのワンストップ相談窓口の利用件数は減少したことから、目標達成に向けあまり進歩していません。今後も、住まいに関する情報の提供や良質な住宅取得の促進にむけ、市民のニーズに合わせた相談対応に努めていく必要があると考えます。											

事務事業評価表

施策 21 取組 3 番号 2 事務事業 住まいの改修助成事業										
目的	住宅改修を促進し、住宅環境の向上を図ります。					担当課	建築開発課			
目標	市の支援による住宅の長寿命化や省エネ化の実施件数の増加を目指します。									
事業実施状況	・住宅改修への助成の実施(申請件数439件、交付決定402件、助成件数390件(12件取りやめ))		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		21,112		21,175			
			特定財源		9,000		8,842			
			一般財源		12,112		12,333			
			指標名		-					単位
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度は、引き続き随時申請とし申請方法の周知啓発を行いました。前年より申込が少なく、助成件数も減少したことから、目標達成に向けあまり進捗していません。今後も、住宅改修の促進による住宅環境の向上に向け、周知啓発を進めていく必要があると考えます。									

施策 21 取組 3 番号 3 事務事業 ユニバーサルデザイン住宅普及促進事業										
目的	ユニバーサルデザイン住宅に関する相談や支援により、住宅環境の向上を図ります。					担当課	建築開発課			
目標	誰もが暮らしやすい住宅についてのアドバイスをを行うユニバーサルアドバイザーへの相談件数の増加を目指します。									
事業実施状況	・福祉、保健医療及び建築の専門知識を有するアドバイザーによるユニバーサルデザイン住宅相談会の実施 ・ユニバーサルデザイン住宅補助金の実施 (相談会14回実施、相談件数27件、補助件数改造18件)	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費	7,929		7,515					
		特定財源	4,002		2,448					
		一般財源	3,927		5,067					
		指標名	-					単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R3年度は、アドバイザーによる相談会を24回実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により計4回中止し、相談件数も減少したことから、目標達成に向けあまり進捗していません。今後とも、ユニバーサルデザイン住宅の普及に向け、感染状況を考慮した相談会の開催や、個別の相談対応などに努めていく必要があると考えます。									

施策 21 取組 3 番号 4 事務事業 空家等対策事業									
目的	空家等の発生の抑制や、危険な空家等(特定空家等)の解消の促進を図ります。				担当課	建築開発課			
目標	放置すると倒壊等のおそれがある特定空家等の減少を目指します。								
事業実施状況	・水道データに基づく実態調査の実施 ・特定空家等の調査、認定及び措置 ・リーフレットなどによる情報発信 ・ワンストップ相談窓口などによる相談対応 ・改修補助、特定空家解体補助金などの実施 (相談件数72件、補助件数 改修0件、解体3件)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
		事業費		3,561		1,687			
		特定財源		2,500		912			
		一般財源		1,061		775			
		指標名		-				単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度は、空家所有者等へのリーフレット送付や、空家に関する相談対応などにより、空家の除却、利活用が進んできており、目標達成に向け進捗しています。								

施策 21 取組 4 番号 1 事務事業 地域優良賃貸住宅整備事業											
目的	民間事業者等による公的賃貸住宅の供給により、子育て世帯等への良好な居住環境の提供を図ります。					担当課	住宅営繕課				
目標	-										
事業実施状況	・地域優良賃貸住宅の供給(子育て世帯向け住宅 12戸整備)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費		25,467		15,370					
		特定財源		25,433		15,353					
		一般財源		34		17					
		指標名		-				単位			
		基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値
評価検証	-										

施策 21 取組 4 番号 2 事務事業 ストック総合改善事業												
目的	公営住宅の個別改善を進め、良好な居住環境を提供します。						担当課	住宅営繕課				
目標	-											
事業実施状況	・福祉対応や長寿命化等の個別改善(北郊団地、若葉団地、新緑団地、大正第二団地)		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
			事業費		73,143		83,822					
			特定財源		70,986		81,404					
			一般財源		2,157		2,418					
	指標名		-						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 21 取組 4 番号 3 事務事業 公営住宅整備事業												
目的	老朽化した公営住宅を建替し、良好な居住環境を提供します。						担当課	住宅営繕課				
目標	-											
事業実施状況	・公営住宅の建替(大空団地4街区)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		426,216		297,011			
					特定財源		413,207		296,856			
					一般財源		13,009		155			
					指標名		-					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 21 取組 4 番号 4 事務事業 公営住宅維持修繕事業											
目的		公営住宅等の維持修繕を行い、住宅の機能維持を図ります。					担当課		住宅営繕課		
目標		-									
事業実施状況	・公営住宅の設備、駐車場等の維持修繕		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		147,086		158,282				
			特定財源		639,483		629,463				
			一般財源		△492,397		△471,181				
			指標名		-						単位
	基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値	
				実績値			実績値			実績値	
評価検証		-									

施策 21 取組 4 番号 5 事務事業 公営住宅管理運営事業											
目的	公営住宅を適切に管理し、良好な居住環境を提供します。					担当課	住宅営繕課				
目標	-										
事業実施状況	・公営住宅の管理 ・借上公営住宅の管理 ・入居事務 ・公営住宅審議会の開催 ・公営住宅使用料の賦課、徴収事務 ・公営住宅使用料の収納率向上対策の推進	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費		191,609		172,286					
		特定財源		91,159		89,720					
		一般財源		100,450		82,566					
		指標名		-				単位			
		基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値
評価検証	-										

施策 21 取組 4 番号 6 事務事業 高齢者向け等優良賃貸住宅供給促進事業										
目的	地域優良賃貸住宅等への家賃補助を行い、高齢者、子育て世帯への居住の安定確保を進めます。					担当課	住宅営繕課			
目標	-									
事業実施状況	・高齢者向け等優良賃貸住宅の家賃支援		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		47,236		52,888			
			特定財源		21,372		26,562			
			一般財源		25,864		26,326			
			指標名		-					単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 21 取組 5 番号 1 事務事業 市道除雪事業											
目的	除雪作業の実施による安全な道路通行の確保や除雪方法等の情報発信を進めます。					担当課	道路維持課				
目標	除雪に関する問い合わせ件数について1,200件以下を目指します。										
事業実施状況	・道路除雪業務(市街地:幹線道路3回 歩道3回 生活道路3回、郊外地:全線3回) ・砂散布などの凍結路面対策の実施 ・雪捨場の管理(3か所) ・町内会が主体となり除排雪を行う「パートナーシップ除排雪」の促進 ・除雪方法等の情報発信	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費		1,000,756		879,867					
		特定財源		5,008		5,576					
		一般財源		995,748		874,291					
		指標名		除雪に関する問い合わせ件数				単位	件		
		基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値
		1,941		1,200 876		1,200		1,200			
評価検証	R3年度の除雪に関する問い合わせ件数は1,862件であり、目標を達成しませんでした。令和4年1月に59cmの降雪があり、市民が除雪の出勤状況を把握することが困難となったほか、道路交通にも影響が生じたことが要因と考えます。今後も、引き続き天候など降雪状況に応じた除雪を行うとともに、ホームページやSNSを活用した除雪情報の充実などを検討する必要があると考えます。										

施策 21 取組 5 番号 2 事務事業 自転車駐車対策事業										
目的	巡回・指導などにより、自転車の放置や迷惑駐車を防止します。					担当課	管理課			
目標	放置自転車および長期間駐車自転車等の減少を目指します。									
事業実施状況	・放置禁止区域、駐輪場の巡回、点検 ・放置自転車および長期間駐車自転車等に対する指導、警告、撤去	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		1,903		1,947				
		特定財源		13		11				
		一般財源		1,890		1,936				
		指標名		-					単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、対象区域の放置自転車等の確認に伴う指導・警告および撤去により、放置自転車および長期間駐車自転車等が0台となり、目標達成に向けて進捗しています。									

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 3 事務事業 自転車・歩行者利用環境整備事業										
目的	自転車道等の利用環境の整備を進め、自転車の利用を促進します。					担当課	都市政策課			
目標	-									
事業実施状況	・自転車・歩行者の通行空間の整備	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		1,216		0				
		特定財源		606		0				
		一般財源		610		0				
		指標名		-					単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 21 取組 5 番号 4 事務事業 都市計画道路整備事業															
目的	都市計画道路の整備を進め、道路交通の円滑化を図ります。						担当課	土木課							
目標	-														
事業実施状況	・都市計画道路の整備(青柳通、学園通、18条通、大和通線、川西・稲田西2線線)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
					事業費		396,963		460,201						
					特定財源		375,096		431,879						
					一般財源		21,867		28,322						
					指標名		-						単位		
					基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-														

施策 21 取組 5 番号 5 事務事業 生活道路整備事業										
目的	市民に身近な生活道路の整備を進め、生活基盤の充実を図ります。					担当課	土木課			
目標	-									
事業実施状況	・生活道路の整備(西17条北2・2号線、大空町・9号線、大空町・14号線、(仮)西25南3・9号線、競馬場南・西郊線、白樺通西甲線、南7丁目西乙線、美栄・26号線、広野・太平上清川線、昭和・23号線、昭和・東2線線、昭和・東6線線、以平5号・幸福28号線、幸福・24号線、(仮)幸福・東5線線、(仮)幸福・29号線、泉・西8線線、(仮)別府・南17線線、(仮)昭和・20号西線)	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費	282,962		447,368					
		特定財源	260,721		142,961					
		一般財源	22,241		304,407					
		指標名	-					単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 21 取組 5 番号 6 事務事業 橋梁長寿命化事業										
目的	橋梁の点検や修繕などにより、道路網の安全性向上を図ります。					担当課	土木課			
目標	-									
事業実施状況	・橋梁や横断歩道橋の計画的な点検及び修繕 (中駒橋、第一岩内橋、緑森大橋、流麗1号橋、川西橋、別府橋、新開歩道橋、愛国大橋、西11条橋、森の六線橋、北2線橋、南1線橋、緑園橋、西16条橋、橋梁点検99橋)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		345,026		251,392				
		特定財源		329,781		240,566				
		一般財源		15,245		10,826				
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 21 取組 5 番号 7 事務事業 道路ストック修繕事業										
目的	道路施設の点検や修繕により、道路網の安全性向上を図ります。				担当課	土木課、道路維持課				
目標	-									
事業実施状況	・道路舗装、道路施設の計画的な点検及び修繕(白樺通線、東4条線、南5線甲線、稲田町・2号甲線、西9号南線、西10号南線、南町南・西6号線、柏・弥生通線)	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費		44,017	213,191					
		特定財源		43,309	213,060					
		一般財源		708	131					
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 21 取組 5 番号 8 事務事業 道路案内標識整備事業												
目的	道路案内標識の設置等により、運転者の円滑な通行と交通の安全の確保を図ります。						担当課	管理課				
目標	-											
事業実施状況	・道路案内標識の修正 ・信号機地点名標示板の設置				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		116		116			
					特定財源		0		0			
					一般財源		116		116			
					指標名		-					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 9 事務事業 市道管理事業										
目的	市道を適切に管理し、安全で快適な道路環境を確保します。					担当課	管理課			
目標	-									
事業実施状況	・不法占用物件の撤去、道路美化 ・市道認定 ・法定外公共物等管理システムの運用 ・駅南北広場等の管理 ・長期放置自転車の処理	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		6,953		6,819				
		特定財源		45,645		55,062				
		一般財源		△38,692		△48,243				
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 21 取組 5 番号 10 事務事業 道路台帳整備事業									
目的	道路法に基づき道路台帳を整備し、適切に市道を管理します。					担当課	管理課		
目標	-								
事業実施状況	・道路台帳の補正 ・道路台帳図の作成		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
			事業費		4,338	4,184			
			特定財源		0	0			
			一般財源		4,338	4,184			
	指標名		-					単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	評価検証	-							

施策 21 取組 5 番号 11 事務事業 特殊舗装整備事業									
目的	特殊舗装により整備された道路を改良し、道路機能の維持・向上を図ります。					担当課	道路維持課		
目標	-								
事業実施状況	・特殊舗装道路の改良(大通西1条仲通丁線ほか16路線)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
		事業費		198,913		201,124			
		特定財源		179,000		180,900			
		一般財源		19,913		20,224			
		指標名		-				単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-								

施策 21 取組 5 番号 12 事務事業 街路樹維持管理事業									
目的	街路樹の剪定や更新などにより、道路の安全な利用環境や良好なみどりの環境を維持します。					担当課	道路維持課		
目標	-								
事業実施状況	・街路樹の維持管理(剪定・伐採) ・植樹帯の草刈(道路附帯、工業団地幹線、白樺通他)		単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費	120,951		120,463			
			特定財源	0		0			
			一般財源	120,951		120,463			
			指標名	-					単位
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 21 取組 5 番号 13 事務事業 道路照明管理事業																	
目的	道路照明を適切に管理し、夜間における安全な通行の確保を図ります。					担当課	道路維持課										
目標	-																
事業実施状況	・道路照明灯の維持管理(照明灯交換50ランプ、安定器交換50箇所) ・道路照明灯の省エネルギー化(52灯)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
						事業費		94,923		103,411							
						特定財源		0		0							
						一般財源		94,923		103,411							
						指標名		-						単位			
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-																

施策 21 取組 5 番号 14 事務事業 橋梁維持補修事業												
目的	橋梁の維持補修により、安全な通行の確保を図ります。							担当課	道路維持課			
目標	-											
事業実施状況	・橋梁の高欄などの簡易的修繕(西帯広駅二線橋)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		400		385			
					特定財源		0		0			
					一般財源		400		385			
					指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 15 事務事業 道路車両センター管理運営事業											
目的	道路車両センターを適切に管理運営し、道路管理体制を保持します。						担当課	道路維持課			
目標	-										
事業実施状況	・道路車両センターの管理運営			単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
				事業費		4,376		4,116			
				特定財源		0		263			
				一般財源		4,376		3,853			
				指標名		-					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-										

施策 21 取組 5 番号 16 事務事業 オーバーレイ事業										
目的	高級舗装道路のひび割れやわだちの補修を行い、道路機能の改善を図ります。					担当課	道路維持課			
目標	-									
事業実施状況	・オーバーレイの実施(富士・豊西西5線ほか4路線)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		25,289		86,427				
		特定財源		22,700		68,600				
		一般財源		2,589		17,827				
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 21 取組 5 番号 17 事務事業 道路側溝整備事業										
目的	道路冠水を防止するため、雨水管や雨水樹を設置し、排水施設の整備を進めます。					担当課	道路維持課			
目標	-									
事業実施状況	・道路側溝の整備(緑ヶ丘公園南3号線)	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費	32,483		28,138					
		特定財源	29,200		25,300					
		一般財源	3,283		2,838					
		指標名	-					単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 21 取組 5 番号 18 事務事業 道路維持車両整備事業									
目的	除雪機械などの道路維持車両を計画的に配備し、道路の維持補修や除雪の体制強化を図ります。					担当課	道路維持課		
目標	-								
事業実施状況	・道路維持車両の整備(道路維持作業車1台)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
		事業費		0		0			
		特定財源		0		0			
		一般財源		0		0			
		指標名		-				単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-								

施策 21 取組 5 番号 19 事務事業 市道維持補修事業										
目的	パトロールによる道路の補修、路面清掃や草刈りを行い、安全で快適な道路環境を保ちます。					担当課	道路維持課			
目標	-									
事業実施状況	・道路パトロールの実施 ・道路の維持補修(路面・雨水樹清掃他) ・道路維持車両の管理 ・ロードヒーティング、凍結防止設備の管理	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		204,720		204,752				
		特定財源		2,750		2,488				
		一般財源		201,970		202,264				
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 21 取組 6 番号 1 事務事業 あいのりタクシー・バス運行事業											
目的	農村地区において乗合方式のタクシー・バスを運行し、地域住民の交通手段を確保します。					担当課	都市政策課				
目標	あいのりタクシー及びあいのりバスの利用者数の増加を目指します。										
事業実施状況	・大正地区乗合タクシーの運行(利用者数2,026人) ・川西地区乗合バスの運行(利用者数6,996人)		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		27,072		28,478				
			特定財源		5,014		5,379				
			一般財源		22,058		23,099				
			指標名 -						単位		
	基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値	
				実績値			実績値			実績値	
評価検証	R3年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルスによる外出自粛の影響を大きく受けたことにより、利用者が大幅に減少しており、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、感染症対策を徹底し、利用者の多くを占める高齢者を中心に利便性向上に向けた意見交換等を行い、交通事業者等と連携しながら、地域の住民が利用しやすい運行形態を検討していく必要があります。										

事務事業評価表

施策 21 取組 6 番号 2 事務事業 地域公共交通活性化事業												
目的	地域公共交通網形成計画に基づき、事業者等との連携によるバス交通の利便性の向上や活性化を図ります。							担当課	都市政策課			
目標	市内完結路線における路線バス年間利用者数の増加を目指します。											
事業実施状況	・公共交通の利用促進(小学生等への交通環境学習の実施(14回736名参加)、バス停留所除雪対策の実施(対象停留所714箇所)、関係機関と連携した公共交通実態調査など) ・バス運行維持に対する支援(2社166,406千円)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		159,963		168,036			
					特定財源		2,056		2,106			
					一般財源		157,907		165,930			
					指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値		
				実績値			実績値					
評価検証	R3年度は、バス事業者と連携しながら、交通環境学習やバス利用啓発小冊子の配布などの利用促進策を継続して実施しましたが、新型コロナウイルスの影響を大きく受けたことにより路線バス利用者は大幅に減少しており、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、事業者等と連携しながらバスの利便性向上及び利用促進に向けた検討を行い、利用しやすい公共交通サービスの実現・確保に向けた取り組みを進めていく必要があります。											

施策 21 取組 6 番号 再 事務事業 高齢者おでかけサポートバス事業<再掲4-2-1>													
目的	バスの無料乗車証の交付により、高齢者の外出・移動を支援し、社会参加の促進や健康の維持増進などを図ります。							担当課	介護高齢福祉課				
目標	-												
事業実施状況	・高齢者バス無料乗車証の交付			単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
				事業費		-		-					
				特定財源		-		-					
				一般財源		-		-					
	指標名		-							単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 21 取組 0 番号 1 事務事業 中島霊園管理運営事業												
目的	中島霊園を適切に管理運営し、快適な利用環境を提供します。							担当課	戸籍住民課			
目標	-											
事業実施状況	・中島霊園の維持管理 ・墓地区画貸出業務 ・中島霊園基金の管理	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
		事業費		11,288		53,900						
		特定財源		2,870		4,272						
		一般財源		8,418		49,628						
		指標名		-				単位				
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-											

施策 21 取組 0 番号 2 事務事業 既存墓地管理運営事業													
目的	既存墓地を適切に管理運営し、快適な利用環境を提供します。							担当課	戸籍住民課				
目標	-												
事業実施状況	・既存墓地の維持管理 ・墓地区画貸出業務			単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
				事業費		14,580		13,664					
				特定財源		506		1,087					
				一般財源		14,074		12,577					
				指標名		-						単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 21 取組 0 番号 3 事務事業 火葬場管理運営事業												
目的	火葬場を適切に管理運営します。							担当課	戸籍住民課			
目標	-											
事業実施状況	・火葬場の維持管理 ・火葬業務 ・施設の長寿命化			単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
				事業費		129,179		133,928				
				特定財源		83,442		85,106				
				一般財源		45,737		48,822				
				指標名		-						単位
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 21 取組 0 番号 4 事務事業 鉄道高架レリーフ維持管理事業												
目的	鉄道により分断された市街地南北の一体的・効率的な土地利用を促進し、魅力ある都市空間を形成します。							担当課	商業労働課			
目標	-											
事業実施状況	・鉄道高架レリーフの点検			単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
				事業費		0		0				
				特定財源		0		0				
				一般財源		0		0				
				指標名		-						単位
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 21 取組 0 番号 5 事務事業 都市景観形成促進事業										
目的	地区計画制度の推進や景観形成に資する建築物の表彰などを通じ、良好な居住環境や景観の形成を促進します。					担当課	都市政策課			
目標	まちづくりに貢献している建築物を表彰する帯広市まちづくりデザイン賞の応募件数について6件を目指します。									
事業実施状況	・まちづくりデザイン賞の実施 ・帯広市都市環境デザイン委員会の開催 ・地区計画の決定、変更		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		225	289				
			特定財源		225	289				
			一般財源		0	0				
			指標名		帯広市まちづくりデザイン賞の応募申込数			単位	件	
			基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
			5			6 0		6 3		6
						6	0		3	
評価検証	R3年度の帯広市まちづくりデザイン賞の応募件数は3件であり、目標を達成しませんでした。応募件数を増やすため、関係業界への周知や過去受賞建築物のパネル展、ラジオ・広報・SNS等によるPRをしました。事業者等へ浸透するまでに至らなかったことが要因であると考えます。今後は、これまでの取組に加えて、市公式YouTubeチャンネルによる紹介など、より賞の知名度を高める取組を進める必要があると考えます。									

施策 21 取組 0 番号 6 事務事業 都市計画制度推進事業											
目的	都市計画に関する調査等に基づき、都市計画制度を適切に運用します。					担当課	都市政策課				
目標	-										
事業実施状況	・都市計画に関する調査、情報収集等 ・帯広圏広域都市計画協議会の運営 ・帯広市都市計画審議会の開催 ・第2次帯広市都市計画マスタープランの推進 ・都市開発基金の管理 ・帯広圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の推進			単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
				事業費		6,807		10,767			
				特定財源		1,189		9,323			
				一般財源		5,618		1,444			
				指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 21 取組 0 番号 7 事務事業 開発行為等審査・指導事業									
目的	民間事業者による開発行為等を審査・指導し、秩序ある市街地の形成、良質な宅地の供給を促進します。					担当課	建築開発課		
目標	-								
事業実施状況	・開発行為等許可申請審査、指導		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		102	120			
			特定財源		1,105	1,807			
			一般財源		△1,003	△1,687			
			指標名		-				単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	評価検証	-							

施策 21 取組 0 番号 8 事務事業 民間土地区画整理指導事業									
目的	民間の土地区画整理事業に対する指導により、秩序ある市街地の形成、良質な宅地の供給を促進します。					担当課	建築開発課		
目標	-								
事業実施状況	・民間土地区画整理事業への指導	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
		事業費		1,076		4,730			
		特定財源		424		2,255			
		一般財源		652		2,475			
		指標名		-				単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-								

施策 21 取組 0 番号 9 事務事業 土地取引届出事業											
目的	国土利用計画法等に基づき、土地取引に関する事務を進めます。						担当課	建築開発課			
目標	-										
事業実施状況	・土地取引届出に対する審査等			単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額		
				事業費		106		104			
				特定財源		101		100			
				一般財源		5		4			
				指標名		-					
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 21 取組 0 番号 10 事務事業 建築物確認事業									
目的	建築基準法に基づき、建築物の確認事務などを進めます。					担当課	建築開発課		
目標	-								
事業実施状況	・建築物の確認、検査、許可等 ・既存建築物の適正な維持、保全に係る指導等 ・建築相談の実施 ・建築行政に関する事務				単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
					事業費		8,575	8,642	
					特定財源		21,571	22,420	
					一般財源		△12,996	△13,778	
					指標名		-		
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策	21	取組	0	番号	11	事務事業	住宅改修等貸付金事業										
目的	過去に貸し付けた住宅建設資金・UD住宅新築等貸付金を管理します。						担当課	建築開発課									
目標	-																
事業実施状況	・貸付金の管理						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
							事業費		260,448		221,589						
							特定財源		257,310		218,952						
							一般財源		3,138		2,637						
	指標名						-						単位				
							基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-																

施策	22	取組	1	番号	1	事務事業	市民提案型協働のまちづくり支援事業							
目的	市民グループやNPO、ボランティア団体等が提案するまちづくり活動を支援し、市民の主体的なまちづくり活動を促進します。						担当課	市民活動課						
目標	市民提案型協働のまちづくり支援事業の応募団体数について13団体を目指します。													
事業実施状況	・市民からの提案事業への支援(応募10件、採択9件) ・事業の見直し(補助金交付要綱改訂等)						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
							事業費		1,454		2,039			
							特定財源		0		0			
							一般財源		1,454		2,039			
	指標名		支援事業の応募団体数						単位		団体			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
	12			13 10			13 10			13				
評価検証	R3年度の応募団体数は10団体であり、目標を達成しませんでした。 募集期間の大半が、新型コロナウイルス感染症対策に係る北海道全域を対象とした緊急事態措置期間と重複し、市民活動の先行きが不透明な中で、各団体からの事前の相談数が、ここ数年と比較して半分程度に減少したことが要因であると考えます。 一方で、補助対象部門の見直しなどを行い、応募のしやすさを改善したため、例年、応募数が相談数の半数程度にとどまっていたのに対し、R3年度は相談数11団体中、10団体が応募に至りました。 今後、目標を達成するため、若い世代などをターゲットに、さらなる事業の周知に取り組む必要があります。													

施策	22	取組	1	番号	2	事務事業	町内会活動等支援事業							
目的	町内会等の活動を支援し、地域コミュニティの形成を促進します。						担当課	市民活動課						
目標	身近な地域における絆づくりや課題解決などに向けた町内会の自主的な活動の継続を目指します。													
事業実施状況	・町内会活動の周知、加入促進 ・帯広市町内会連合会への支援 ・町内会自治活動への支援(単位町内会762件、地区連合町内会47件)						単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
							事業費		34,838	34,804				
							特定財源		0	0				
							一般財源		34,838	34,804				
	指標名						-						単位	
							基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き、様々な町内会行事が自粛・中止となりましたが、コロナ禍における町内会活動の周知のほか、町内会への文書発送の削減、転入時期における市役所窓口での町内会加入案内や、市職員への啓発の強化など、町内会活動を支えるための様々な取り組みを進めたことにより、目標達成に向け進捗しています。 ライフスタイルや人々の価値観の多様化などを背景に、町内会加入率は減少傾向にあり、役員の負担感や活動の継続性など、様々な面で課題が生じているため、引き続き、支援を進めていくことが必要です。													

事務事業評価表

施策	22	取組	1	番号	3	事務事業	市民協働推進事業										
目的	活動相談や情報提供などにより、NPO、ボランティア団体等の活動を支援し、市民参加の取り組みを促進します。						担当課	市民活動課									
目標	若者、女性、企業など、多様な主体がまちづくりに参加しやすい環境づくりを目指します。																
事業実施状況	・市民活動ポータルサイトの運用 ・市民活動交流センター市民活動情報室の運営(利用者数251人)						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
							事業費		4,350		4,457						
							特定財源		0		0						
							一般財源		4,350		4,457						
							指標名		-				単位				
							基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	少子高齢化の進展や人々の価値観の変化などを背景に、地域課題が複雑多様化する中で、NPOやボランティア団体、地縁組織はもとより、若者、女性、企業など、これまで以上に多様な主体がまちづくりに関わる必要があります。 R3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な市民活動の実施が難しい面もありましたが、オンラインでの講演会開催、SNSを活用した会合の実施や活動情報の発信など、感染症対策と両立した取り組みが見られています。様々な機会を通し、こうした事例を情報発信してきており、目標達成に向け進捗しています。																

施策	22	取組	1	番号	4	事務事業	コミュニティ施設維持管理事業									
目的	市民相互が交流・連携する場を提供します。						担当課	市民活動課								
目標	-															
事業実施状況	・コミュニティ施設の整備、維持管理(利用者数342,566人)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
					事業費		162,802		178,411							
					特定財源		8,049		8,175							
					一般財源		154,753		170,236							
					指標名		-				単位					
					基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-															

施策	22	取組	1	番号	再	事務事業	健康教育事業<再掲1-2-2>									
目的	健康教育の実施により、生活習慣病の予防やこころの健康づくりの普及・啓発を図ります。						担当課		健康推進課							
目標	-															
事業実施状況	・集団健康教育の実施						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
							事業費		-		-					
							特定財源		-		-					
							一般財源		-		-					
	指標名		-						単位							
	基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値						
				実績値			実績値			実績値						
評価検証	-															

施策	22	取組	1	番号	再	事務事業	地域福祉推進事業<再掲3-1-2>															
目的	市民や関係団体等との連携により、高齢者や障害者等とともに支え合う地域福祉の環境づくりを進めます。						担当課	地域福祉課														
目標	-																					
事業実施状況	・地域交流サロンの活動促進						単位:千円		R2年度決算額				R3年度決算額				R4年度決算額					
							事業費		-				-									
							特定財源		-				-									
							一般財源		-				-									
							指標名		-										単位			
							基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値						
										実績値			実績値			実績値						
評価検証	-																					

施策	22	取組	1	番号	再	事務事業	学校・家庭・地域連携事業（学校地域支援本部）（再掲12-4-1）											
目的	地域全体で子どもを応援する仕組みにより、各学校単位の取り組みの充実やボランティア等の支援、各取り組みのつながり強化を図ります。						担当課	学校地域連携課										
目標	-																	
事業実施状況	・学校支援地域本部の活動支援 ・学校支援ボランティアの育成 ・帯広市学校・家庭・地域協働会議の運営 ・子ども学校応援地域基金プロジェクトの運営 ・登下校時の交通事故や不審者から児童を守る安全対策の実施						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
							事業費		-		-							
							特定財源		-		-							
							一般財源		-		-							
							指標名		-						単位			
							基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-																	

施策	22	取組	1	番号	再	事務事業	学校・家庭・地域連携事業（子どもの居場所づくり）＜再掲12-4-2＞											
目的	放課後等に児童が安心して安全に過ごせる場を設け、地域の人との交流を通して、豊かな人間性や社会性を養います。						担当課	学校地域連携課										
目標	-																	
事業実施状況	・放課後子ども広場の開催 ・居場所づくりに関わるボランティアの養成 ・放課後子ども広場運営委員会の開催						単位：千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
							事業費		-		-							
							特定財源		-		-							
							一般財源		-		-							
							指標名		-						単位			
							基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-																	

事務事業評価表

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 学習機会提供事業（生涯学習文化課）＜再掲13-1-1＞												
目的	学習情報のほか、生涯にわたって学ぶ様々な機会を提供します。								担当課		生涯学習文化課	
目標	-											
事業実施状況	・市民大学講座の実施 ・高齢者学級の実施 ・プラザエンジョイスchoolの実施				単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
					事業費	-		-		-		
					特定財源	-		-		-		
					一般財源	-		-		-		
	指標名		-								単位	
	基準値		R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値				
				実績値		実績値		実績値				
評価検証	-											

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 学習を通じたまちづくり支援事業＜再掲13-2-1＞										
目的	社会教育関係団体等による学習活動を支援し、学習を通じたまちづくりを促進します。					担当課	生涯学習文化課			
目標	-									
事業実施状況	・生涯学習推進委員会への支援 ・社会教育団体等への支援 ・学生の社会参加 ・指導者登録	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		-		-				
		特定財源		-		-				
		一般財源		-		-				
		指標名		-					単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 市民文化活動促進事業<再掲14-1-2>												
目的	市民主体の文化芸術活動を推進します。							担当課	生涯学習文化課			
目標	-											
事業実施状況	・市民主体の文化活動への支援 ・市民芸術祭の開催 ・文化芸術活動発表会の開催				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		-		-			
					特定財源		-		-			
					一般財源		-		-			
					指標名		-					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
	評価検証	-										

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 文化芸術鑑賞事業<再掲14-2-1>												
目的		市民に良質な文化芸術にふれる機会を提供し、文化芸術への関心を高めます。					担当課	生涯学習文化課、百年記念館				
目標		-										
事業実施状況	・優れた文化芸術鑑賞機会の提供		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
			事業費		-		-		-			
			特定財源		-		-		-			
			一般財源		-		-		-			
			指標名		-						単位	
			基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 市民活動交流センター管理運営事業<再掲21-1-2>												
目的	市民活動交流センターの管理運営により、市民の活動・交流などを通して中心市街地のにぎわいの創出を図ります。						担当課		商業労働課			
目標	-											
事業実施状況	・市民活動交流センターの管理運営				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		-		-			
					特定財源		-		-			
					一般財源		-		-			
					指標名		-					
	基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値		
				実績値			実績値			実績値		
評価検証	-											

施策 22 取組 2 番号 1 事務事業 移住推進事業									
目的	移住に関する相談活動や情報提供などにより、移住等を促進します。					担当課	観光交流課		
目標	移住に関するホームページアクセス数について12,544件を目指します。								
事業実施状況	・移住に関する情報収集、提供 ・移住に関する相談の実施(118人) ・ちょっと暮らしサポート事業の実施 (3件17日間)	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費	380		386				
		特定財源	0		0				
		一般財源	380		386				
		指標名	移住に関するホームページアクセス数				単位	件	
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
		10,955	12,544 13,324		12,544 21,673		12,544		
評価検証	R3年の移住に関するホームページアクセス数は21,673件であり、目標を達成しました。 コロナ禍で地方への関心が高まったことや、市公式サイトに移住特設ページを掲載したことにより、移住に興味を持つ方がアクセスしやすくなったことが要因であると考えます。								

事務事業評価表

施策 22 取組 2 番号 2 事務事業 国内地域間交流促進事業											
目的	東京帯広会や関西帯広会等との交流や支援を通して、多様な地域間交流を進めます。						担当課	観光交流課			
目標	東京帯広会・関西帯広会への支援を通じ、帯広を応援する人材を確保するための運営体制を維持します。										
事業実施状況	・東京帯広会の活動への支援 ・関西帯広会の活動への支援 ・ふるさと訪問ツアーの受入の中止 ・県人会、ふるさと会等の活動への対応				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
					事業費	1,013	1,027				
					特定財源	0	0				
					一般財源	1,013	1,027				
					指標名	-					単位
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R3年度は、関西帯広会の郷土訪問ツアーが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、各帯広会による新規会員の勧誘などにより、運営体制が維持できており、目標達成に向けて進捗しています。										

施策 22 取組 2 番号 3 事務事業 国際姉妹・友好都市交流事業													
目的		国際姉妹・友好都市との交流に関する業務を進め、幅広い分野での市民主体による交流を促進します。					担当課		観光交流課				
目標		国際姉妹・友好都市間における市民主体の交流活動を維持します。											
事業実施状況	・国際姉妹・友好都市交流業務 ・スワード市への高校生派遣、受入の中止、動画交換実施(当地2人、スワード2人) ・朝陽市への高校生派遣、受入の中止 ・市民主体の交流活動への支援 ・姉妹都市展示コーナーなどによる情報提供(随時・図書館等展示2回) ・マディソン市との訪問団派遣交流の延期		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
			事業費		142		205						
			特定財源		142		205						
			一般財源		0		0						
			指標名		-					単位			
			基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	R3年度は、新型コロナウイルス感染症対策による、アメリカ、中国及び本国の出入国管理の厳格化のため、高校生相互派遣事業及び周年事業が中止や延期となったことにより、代替事業として当地とスワード市の高校生とのインターネットを活用した交流を試験的に実施しましたが、市民主体の継続した交流活動につながらなかったことから、目標達成に向けあまり進捗していません。姉妹都市、友好都市とのつながりを保持するため、引き続きオンラインでのコミュニケーション等を活用した若者の交流手法を検討していくことが必要と考えます。												

施策 22 取組 2 番号 4 事務事業 国内姉妹都市交流事業											
目的	国内姉妹都市への派遣等により、幅広い分野での市民主体による交流を促進します。						担当課	観光交流課			
目標	国内姉妹都市間における市民主体の交流活動を維持します。										
事業実施状況	・国内姉妹都市交流業務(物産交流7回) ・市民主体の交流活動促進 ・子ども親善訪問団派遣、受入の中止、オンライン交流実施(当地合計121人、姉妹都市合計125人) ・姉妹都市展示コーナーなどによる情報提供(随時・図書館等展示2回) ・大分市との訪問団相互派遣交流の中止(物産交流3回)	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
		事業費	7		1,595						
		特定財源	7		845						
		一般財源	0		750						
		指標名	-						単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R3年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、子ども親善訪問団の派遣、受入及び大分市との訪問団相互派遣が中止となりましたが、代替事業として姉妹都市との小学生のオンライン交流を実施したことにより派遣事業よりも多くの児童が交流できたこと、大分市との物産交流等を実施したことにより、市民が姉妹都市に親しみを深める機会がもてたことから、コロナ禍に実現可能な交流として、一定の効果があったものと考えており、目標達成に向け進捗しています。										

施策 22 取組 2 番号 5 事務事業 国際交流活動促進事業											
目的	市民主体の国際交流活動を支援し、市民レベルの交流拡大を図ります。						担当課	観光交流課			
目標	国際交流ボランティアの増加を目指します。										
事業実施状況	・市民主体の国際交流活動への支援 ・国際親善交流基金の管理 ・留学生による地域活動への支援 ・国際交流ボランティアの育成(9名増加) ・国際交流団体のネットワークづくり ・国際交流団体への支援	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
		事業費	7,819		802						
		特定財源	7,438		453						
		一般財源	381		349						
		指標名	-						単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R3年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、市民団体の活動は縮小したものの、感染対策を行ったうえで実施したイベントなどでの周知に取り組んだことにより、国際交流ボランティア登録者数は増加しており、目標達成に向け進捗しています。										

施策 22 取組 2 番号 6 事務事業 国際理解推進事業											
目的	国際理解教育や在住外国人への日本文化紹介など、異なる文化・習慣等の相互理解を促進します。						担当課	観光交流課			
目標	外国人講師の派遣回数や日本文化紹介機会の増加を目指します。										
事業実施状況	・外国人講師派遣(紹介)事業の実施 ・国際交流員による小中学校訪問(51時間) ・諸外国の生活文化紹介 ・日本文化紹介事業の実施 ・国際交流員による事業の企画、実施 ・通訳・翻訳業務(翻訳14回・通訳47回) ・在住外国人への情報提供・相談の実施 ・多文化共生社会の推進				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
					事業費	16,505	10,054				
					特定財源	420	603				
					一般財源	16,085	9,451				
					指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	R3年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、市民への外国人講師派遣の機会が減少したほか、JICA研修員などの外国人がわずかしき来日できなかったことに伴い、日本文化を紹介する機会がほとんど持てなかったことから、目標達成に向けあまり進捗していません。今後は多様な文化への理解促進を図りながら、安全に交流できる適切な時期に市民主体の交流を継続していくことが必要です。										

事務事業評価表

施策 22 取組 2 番号 7 事務事業 国際協力事業														
目的	地域の技術や特性を活かした人材の育成など、JICA北海道センター（帯広）を核に関係機関と連携し、国際協力を進めます。						担当課		観光交流課					
目標	JICA北海道センター（帯広）等との連携による研修事業などを通じ、国際協力が可能な体制を維持します。													
事業実施状況	・国際研修指導員による青年研修事業等の実施（12コース受託） ・国際協力関係機関との連絡調整						単位：千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
							事業費		3,237		2,705			
	特定財源		0		0									
	一般財源		3,237		2,705									
	指標名		-						単位					
	基準値		R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値						
				実績値		実績値		実績値						
評価検証	R3年度は、JICA帯広が実施する研修事業が、新型コロナウイルス感染症対策により中止となったものの、遠隔研修事業等に切り替えて取り組むなど、国際協力が可能な体制が維持できており、目標達成に向け進捗しています。													

施策 22 取組 2 番号 8 事務事業 森の交流館・十勝管理運営事業												
目的		国際交流の拠点施設である森の交流館・十勝の管理運営を通して、地域の国際化を総合的に進めます。						担当課		観光交流課		
目標		-										
事業実施状況	・森の交流館・十勝の管理運営				単位：千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		21,406		21,604			
					特定財源		1,647		905			
					一般財源		19,759		20,699			
					指標名		-					
	基準値		R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値				
				実績値		実績値		実績値				
評価検証		-										

施策	22	取組	3	番号	1	事務事業 女性活躍推進事業									
目的	ライフステージに応じたワーク・ライフ・バランスの普及、浸透や、女性の政策過程への参画などにより、男女がともに暮らしやすい環境づくりを進めます。						担当課		市民活動課						
目標	男女共同参画講座のうちワーク・ライフ・バランス、女性活躍に関する講座の参加者数について103人を目指します。														
事業実施状況	・各種審議会等への女性の登用促進(32.9%) ・女性活躍に関する講座の開催(3回58人) ・ワークライフバランス啓発資料等の作成・配布(2,115枚) ・男女共同参画専門員の配置						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
							事業費		2,717		2,840				
							特定財源		0		0				
							一般財源		2,717		2,840				
	指標名		女性活躍等に関する講座の参加者数						単位		人				
	基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値					
				実績値			実績値								
		77	103		103		103								
			36		58										
評価検証	R3年度の女性活躍に関する講座の参加者数は58人であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインと併用した講座を開催しましたが、予定していた講座の日程変更や、実施会場の定員制限のほか、人々の外出頻度の減少などが影響したものと考えます。引き続き、対象者のニーズに応えた講座づくりを進めていく必要があります。今後も、各種審議会等への女性の登用促進や「帯広市ワーク・ライフ・バランス宣言」の周知などを通して、ワーク・ライフ・バランスの意識啓発に向けた取り組みを進めていく必要があります。														

施策	22	取組	3	番号	2	事務事業 女性に対する暴力根絶推進事業									
目的	女性への暴力に対する認識を促す啓発活動により、女性への暴力根絶意識の向上を図ります。						担当課		市民活動課						
目標	男女共同参画講座のうちDVに関する講座の参加人数について45人を目指します。														
事業実施状況	・DV防止啓発パンフレットの作成・配布 ・DVに関する講座の開催(1回20人) ・デートDV予防講座の開催(2校631人) ・女性相談員の配置 ・女性のための人権なんでも相談所の開催(3回) ・民間シェルターへの支援 ・DV相談・支援マニュアルの改訂 ・DVDの貸出開始						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
							事業費		3,643		3,635				
							特定財源		1,687		1,445				
							一般財源		1,956		2,190				
							指標名		DVに関する講座の参加者数				単位		人
	基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値					
				実績値			実績値			実績値					
			32		45		45		45						
				25		20									
評価検証	R3年度のDVに関する講座の参加者数は20人であり、目標を達成しませんでした。														
	新型コロナウイルス感染症対策のため、実施会場の定員を制限したことや、人々の外出頻度の減少などが影響したものと考えます。 また、デートDV予防講座については、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止や開催を見合わせる学校があることから、「デートDV」の予防啓発DVDを貸出を開始しました。授業での活用のほか、教員や関係者の研修教材としての利用などに向けて、周知していきます。 引き続き、DV防止啓発パンフレットの作成・配布や、民間シェルターへの補助などを通じて、DVの根絶と被害者の自立支援に向けて取り組みを進める必要があります。														

事務事業評価表

施策 22 取組 3 番号 3 事務事業 男女共同参画推進事業										
目的	男女平等参画に関する講演会の開催などにより、男女平等意識の向上を図ります。				担当課	市民活動課				
目標	男女共同参画セミナー、男女共同参画講座の参加者数について346人を目指します。									
事業実施状況	・女と男の一行詩の実施(応募者数328人、作品数817作品) ・男女共同参画セミナーの開催(100人) ・男女共同参画講座の開催(6回140人) ・男女共同参画情報誌「カスタネット」の発行(2回、各3,000部) ・とかちプラザ女性情報コーナーでの情報提供 ・男女共同参画関係団体への支援活動 ・男女共同参画市民懇話会の開催(4回)、提言書の受理	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費		946	1,014					
		特定財源		48	0					
		一般財源		898	1,014					
		指標名		男女共同参画講座参加者数				単位	人	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	283		346 249		346 240		346			
評価検証	R3年度の男女共同参画セミナー及び男女共同参画講座の参加者数は240人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインと併用した講座を開催しましたが、実施会場の定員制限や、人々の外出頻度の減少などが影響したものと考えます。 引き続き、市民が関心を持ち、気軽に参加できるセミナーや講座づくりを進める必要があります。 また、帯広市男女共同参画市民懇話会での議論を踏まえ、帯広市パートナーシップ制度の導入に向けた協議を進めました。今後も、女と男の一行詩の実施や、男女共同参画情報誌の発行などの取り組みのほか、多様な性に関する理解促進を進める必要があります。									

施策 22 取組 3 番号 再 事務事業 子育て支援事業<再掲2-1-3>													
目的	子育て世代包括支援センターにおいて、子育て相談など多様な子育て支援事業を実施します。					担当課	子育て支援課						
目標	-												
事業実施状況	・ファミリーサポートセンター事業の実施 ・子育て応援事業所登録事業の実施					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費		-		-			
						特定財源		-		-			
						一般財源		-		-			
	指標名		-						単位				
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 22 取組 3 番号 再 事務事業 労働環境整備促進事業<再掲9-4-2>												
目的	労働相談の実施や子どもを生み育てやすい職場環境づくりなど、勤労者が安心して働くことができる環境整備を促進します。						担当課	商業労働課				
目標	-											
事業実施状況	・子育て応援事業所促進事業の実施				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		-		-			
					特定財源		-		-			
					一般財源		-		-			
					指標名		-					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 22 取組 4 番号 1 事務事業 アイヌ民族理解促進事業									
目的	アイヌ民族の歴史・文化に関する理解促進など、アイヌの人たちの施策を総合的に推進します。				担当課	地域福祉課			
目標	アイヌ協会主催イベント等への参加のべ人数について1,269人を目指します。								
事業実施状況	・アイヌ生活文化展の開催(178人) ・講習会等の開催 ・アイヌ対策連絡会議の開催 ・帯広アイヌ協会への支援	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費	600		600				
		特定財源	0		0				
		一般財源	600		600				
		指標名	生活文化展や講習会等の参加者数				単位	人	
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
		1,190		1,269 965		1,269 798		1,269	
評価検証	R3年度の生活文化展や文化交流会等の参加者数は798人であり、目標を達成しませんでした。文化交流会の開催期間を拡大するなど、一部工夫を図ったものですが、結果的に参加者数が減少となったものです。 アイヌ民族の歴史・文化に関する理解促進を図るため、今後も感染症対策を徹底しながら、様々な手法を検討し、アイヌ民族の理解促進につなげていくことが必要と考えています。								

施策 22 取組 4 番号 2 事務事業 アイヌの人たちの生活相談事業												
目的	生活館の管理運営や、生活相談・指導により、アイヌの人たちの生活の向上を図ります。					担当課	地域福祉課					
目標	アイヌ生活相談員による生活相談体制を維持します。											
事業実施状況	・生活相談員の配置(相談数989件) ・住宅新築資金等の貸付 ・生活館の管理運営					単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費	9,502		9,775			
						特定財源	3,240		3,182			
						一般財源	6,262		6,593			
	指標名		生活相談件数					単位	件			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
	516			516 930			516 989			516		
評価検証	R3年度における生活相談件数は989件となりました。 相談窓口の周知に取り組みながら、アイヌの人たちへの生活相談に応じたことで、アイヌの人たちの生活向上につながってきているものと考えます。											

施策 22 取組 4 番号 3 事務事業 アイヌ子弟教育支援事業									
目的	遠隔地で就学するアイヌ子弟の教育費助成や教育相談・指導により、アイヌ子弟の教育環境の充実を図ります。				担当課	学校教育課、学校教育指導課			
目標	-								
事業実施状況	・アイヌ子弟高等教育に係る教育扶助の支給(1件) ・教育相談員の配置	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費	2,239		2,240				
		特定財源	0		0				
		一般財源	2,239		2,240				
		指標名	-					単位	
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 22 取組 4 番号 4 事務事業 アイヌ民族文化調査・普及事業											
目的	アイヌ民族文化情報センター「リウカ」において学ぶ機会を提供し、アイヌ民族の歴史・文化への理解を促進します。					担当課	百年記念館				
目標	リウカ（アイヌ文化情報センター）の利用者数について22,326人を目指します。										
事業実施状況	・アイヌ民族文化に関する情報提供、普及活動 ・アイヌ民族文化に関する情報収集、調査 ・デジタルコンテンツ等の整備（Wi-fiの整備、多言語モバイルガイドの制作、リウカHPのリニューアル）	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
		事業費	1,072		13,760						
		特定財源	65		10,178						
		一般財源	1,007		3,582						
		指標名	リウカの利用者数					単位	人		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
		21,233		22,326 12,287		22,326 10,840		22,326			
評価検証	R3年度のリウカの利用者数は10,840人であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館や市民の外出自粛の影響が要因であると考えます。アイヌ文化モバイルガイドや新しいリウカのホームページを活用し、アイヌ文化とのふれあいゾーンでの学びの提案など、新たな学習機会の提供を進めていく必要があると考えます。										

施策 22 取組 4 番号 5 事務事業 アイヌ伝統文化保存・伝承事業										
目的	アイヌ古式舞踊保護団体や、アイヌの伝統文化の保存・伝承活動を支援し、十勝に伝わるアイヌ文化の保存伝承、発展を図ります。					担当課	百年記念館			
目標	リウカ（アイヌ文化情報センター）の利用者数について22,326人を目指します。									
事業実施状況	・帯広カムイトウボボ保存会への支援 ・アイヌ文化の保存伝承、普及啓発	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費	4,762		4,221					
		特定財源	1,624		1,624					
		一般財源	3,138		2,597					
		指標名	リウカの利用者数					単位	人	
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		21,233		22,326 12,287		22,326 10,840		22,326		
評価検証	R3年度のリウカの利用者数は10,840人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館や市民の外出自粛の影響が要因であると考えます。新しいリウカのホームページでの動画配信などにより、アイヌの伝統文化保存や伝承活動の普及啓発を進めていく必要があると考えます。									

施策 22 取組 5 番号 1 事務事業 核兵器廃絶平和都市推進事業													
目的	核兵器廃絶平和都市宣言の理念に基づき、核兵器廃絶などの平和に関する意識の向上を図ります。					担当課	市民活動課						
目標	各種平和事業の参加者数について4,084人を目指します。												
事業実施状況	・市所有資料の貸出し(100人) ・企画展、語り継ぐ核兵器廃絶・平和展の開催(1,235人) ・平和の絵・詩・写真の募集(134人、絵:75点、詩:54点、写真:8点) ・平和カレンダーの作成・配布(3,500部) ・平和首長会議、日本非核宣言自治体協議会への参画 ・黙祷の実施 ・千羽鶴を送る運動 【核兵器廃絶平和都市宣言30周年事業】 ・記念式典の開催(式典の中で平和コンサートを実施)(138人) ・「語り部の会」の実施(91人) ・パネル展の開催(500人) ・帯広空襲体験DVDの制作 ・30周年記念誌の制作		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
			事業費		439		968						
			特定財源		0		0						
			一般財源		439		968						
			指標名		平和啓発事業参加者数				単位		人		
			基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値	
						実績値			実績値				
			3,399		4,084		4,084		4,084				
1,783		2,198											
評価検証	R3年度の平和事業の参加者数は2,198人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症対策として、会場の定員制限や人々の外出抑制などの影響があったものと考えます。 R3年度は核兵器廃絶平和都市宣言から30周年の節目を迎え、戦争の悲惨さ、平和の尊さの後世に伝えるため、関係団体や市民の協力のもと、記念式典の開催、帯広空襲体験談DVDや30周年記念誌の製作等、各種記念事業を実施しました。 今後も、平和の絵・詩の募集、平和カレンダーの作成・配布などを通し、平和に対する意識啓発を継続して進めていくことが重要と考えます。												

施策 22 取組 5 番号 2 事務事業 人権擁護推進事業													
目的	一人ひとりの人権が尊重される社会や平和の実現をめざします。							担当課	市民活動課				
目標	-												
事業実施状況	・人権啓発活動への支援			単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
				事業費	120		120						
				特定財源	0		0						
				一般財源	120		120						
	指標名			-						単位			
				基準値	R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証	-												

事務事業評価表

施策	22	取組	5	番号	再	事務事業	児童虐待予防・防止対策推進事業<再掲2-1-10>													
目的	虐待や育児に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携を進め、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。						担当課		子育て支援課											
目標	-																			
事業実施状況	・家庭児童相談室の運営 ・帯広市要保護児童対策地域協議会の開催						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
							事業費		-		-									
							特定財源		-		-									
							一般財源		-		-									
							指標名		-				単位							
							基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
評価検証	-																			

施策	22	取組	5	番号	再	事務事業	高齢者虐待防止事業<再掲4-1-5>									
目的	地域包括支援センターや関係機関との連携により、高齢者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。						担当課		介護高齢福祉課							
目標	-															
事業実施状況	・高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催 ・高齢者虐待防止研修会の開催 ・被虐待高齢者の保護、支援						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
							事業費		-		-					
							特定財源		-		-					
							一般財源		-		-					
							指標名		-						単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値								
評価検証	-															

施策	22	取組	5	番号	再	事務事業	障害者虐待防止事業<再掲5-1-2>										
目的	虐待に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携により、障害者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。						担当課		障害福祉課								
目標	-																
事業実施状況	・障害者虐待防止センターの運営 ・虐待に関する啓発活動の実施						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
							事業費		-		-						
							特定財源		-		-						
							一般財源		-		-						
	指標名		-										単位				
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値							
	評価検証	-															

施策	22	取組	5	番号	再	事務事業	女性に対する暴力根絶推進事業<再掲22-3-2>									
目的	女性への暴力に対する認識を促す啓発活動により、女性への暴力根絶意識の向上を図ります。						担当課		市民活動課							
目標	-															
事業実施状況	・DV防止啓発パンフレットの作成・配布 ・デートDV予防講座の開催 ・女性相談員の配置 ・女性のための人権なんでも相談所の開催 ・民間シェルターへの支援						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
							事業費		-		-					
							特定財源		-		-					
							一般財源		-		-					
							指標名		-						単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値								
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 23 取組 1 番号 1 事務事業 広報活動事業									
目的	広報紙等の発行や、ホームページ、テレビ、ラジオ等のメディアを活用し、市民に行政情報を分かりやすく提供します。				担当課	広報広聴課			
目標	情報発信の満足度について55.0%を目指します。								
事業実施状況	・広報紙の発行、配布(月1回発行・924,000部/年・172頁/年) ・点字・声の広報の発行、配布(配布対象25人) ・ホームページ、テレビ、ラジオ、SNS等による情報発信(HPアクセス数11,723,558回) ・市長記者会見(15回)				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
					事業費	40,676	52,649		
					特定財源	3,932	3,500		
					一般財源	36,744	49,149		
					指標名	情報発信の満足度			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	52.0			53.0 49.6		54.0 61.0		55.0	
評価検証	R3年度の情報発信の満足度（情報発信の満足度を計る指標の市民まちづくりアンケートにおける「市政情報を分かりやすく知ることができる」と回答した割合）は61.0%であり、R2年度から11.4ポイント上昇し目標を達成しました。 ホームページのリニューアルや新たなSNSの導入を進めてきており、今後も各ツールの特徴を活かし、より分かりやすく伝わる改善や工夫を図りながら、効果的な情報発信に努めていく必要があると考えます。								

施策 23 取組 1 番号 2 事務事業 広聴活動事業									
目的	様々な機会を通じた市民との対話や、市長への手紙やパブリックコメント制度の実施などにより、施策に関する市民意見を把握します。				担当課	広報広聴課			
目標	市民対話推進事業参加者の満足度について83.6%を目指します。								
事業実施状況	・市民との対話事業の実施(4回25人参加) ・市政講座の実施(27件801人参加、※各課へ最終確認中) ・市長への手紙の実施(282件) ・陳情・要望書等の受理(603件) ・パブリックコメントの実施(2案件・意見5件)			単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額	
				事業費	1,173		4,830		
				特定財源	0		0		
				一般財源	1,173		4,830		
				指標名	市民対話推進事業参加者の満足度				単位
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	79.4	83.6 95.7		83.6 100.0		83.6			
評価検証	R3年度の市民対話推進事業参加者の満足度（市民対話推進事業における参加者アンケートにて「参加して良かった」と回答した割合）は100%であり、目標を達成しました。 R3年度の対話事業は、感染症対策を講じながら計4回開催しました。今後も、市民の関心が高いテーマを取り上げ、対話しやすい形式や場所などの環境を整えながら、事業を進めていく必要があると考えます。								

施策 23 取組 1 番号 3 事務事業 まちづくり基本条例推進事業											
目的		まちづくり基本条例の普及・啓発や条例に基づく取り組みを進め、市民協働による自主・自立のまちづくりを進めます。					担当課		企画課		
目標		-									
事業実施状況	・市民への普及・啓発 ・条例に基づく取り組みの推進 ・条例の適合状況等の検討		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		0		0				
			特定財源		0		0				
			一般財源		0		0				
			指標名		-				単位		
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価検証		-									

施策	23	取組	1	番号	4	事務事業 情報公開・提供推進事業								
目的	帯広市情報公開条例に基づき、適切に情報公開を進めるとともに、情報室などにおいて、市民に行政情報を幅広く提供します。					担当課	総務部総務課							
目標	-													
事業実施状況	・情報室における情報提供 ・公文書開示請求への対応(請求件数55件)					単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
						事業費	34		78					
						特定財源	5		31					
						一般財源	29		47					
						指標名	-					単位		
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-													

施策 23 取組 2 番号 1 事務事業 おびひろ応援寄附金推進事業												
目的 目標	おびひろ応援寄附金に関し、返礼品の充実や地域の魅力発信を行うとともに、寄附金の受納に関する事務の適正な執行に努めます。				担当課	観光交流課、総務部総務課						
おびひろ応援寄附金額について322,428千円を目指します。												
事業実施状況	・おびひろ応援寄附金に関する返礼品の充実、情報発信 ・おびひろ応援寄附金の受納に関する事務				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		264,609		754,463			
					特定財源		244,843		747,211			
					一般財源		19,766		7,252			
					指標名		寄附金額				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
	57,382		164,504 591,150		230,306 1,373,726		322,428					
	評価検証	R3年度のおびひろ応援寄附金は1,373,726千円であり、目標を達成しました。 返礼品の充実やふるさと納税サイトの拡充、地域PRを兼ねたお礼状の送付等に取り組んだことが効果的であったと考えます。										

施策 23 取組 2 番号 2 事務事業 自主財源確保対策事業											
目的	新たな自主財源を検討するとともに、自主財源の確保・拡大を図ります。					担当課	財政課				
目標	自主財源の確保に向けた広告媒体の拡大などを目指します。										
事業実施状況	・新たな自主財源の検討及び実施 ・自主財源の確保、拡大				単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費	0		0			
					特定財源	0		0			
					一般財源	0		0			
					指標名	-				単位	
					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度は、新たに広告付きAEDを5ヶ所に導入したほか、「新たな自主財源確保対策検討会議」を開催し、新たな項目の検討について共有しており、目標達成に向けて進捗しています。										

事務事業評価表

施策 23 取組 2 番号 3 事務事業 公有財産管理・運用事業									
目的	公有財産の取得・処分や土地・建物の管理など、公有財産の適切な管理・運用を進めます。					担当課	契約管財課		
目標	未利用・低利用地の有効活用件数について4件を目指します。								
事業実施状況	・公有財産の取得、処分、貸付 ・普通財産の管理、運用(土地等売払い:2件80,900千円、貸付43件10,802千円)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
			事業費		14,145	8,539			
			特定財源		3,372	3,230			
			一般財源		10,773	5,309			
			指標名		未利用・低利用地の有効活用件数			単位	件
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	4			4	4	4	4		
評価検証	R3年度の未利用地・低利用地の有効活用件数は2件であり、目標を達成しませんでした。 当初は4件を予定していましたが、相手方事情等により2件の売払いが中止となったことが要因です。今後も、未利用地等の利活用を図るため、引き続きそれぞれの土地について課題の整理を進めていく必要があると考えます。								

施策 23 取組 2 番号 4 事務事業 ICT利活用推進事業													
目的	ICT等の活用により事務の改善を図り、行政サービスの向上や事務の効率化を進めます。					担当課	ICT推進課						
目標	RPAなどのICTの業務活用範囲の拡大を目指します。												
事業実施状況	・情報システム関連業務のアウトソーシングの推進 ・業務システムの運用管理 ・情報セキュリティ対策の強化 ・ICT等を活用した事務改善の推進 (RPA,AI-OCR試行実施業務37業務) ・社会保障・税番号制度の運用・周知 ・公共施設予約システムの運用 ・電子申請システムの運用(24,109件利用)					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費		759,157	654,443				
						特定財源		247,082	181,485				
						一般財源		512,075	472,958				
						指標名		-		単位			
						基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	R3年度は、キャッシュレス決済導入に向けたシステム改修、RPAやAI-OCRの業務活用範囲の拡大を進めており、目標達成に向け進捗しています。												

施策 23 取組 2 番号 5 事務事業 総合計画推進事業										
目的	地域の意志と責任に基づく自主・自立のまちづくりを進めるため、総合計画を計画的に推進します。					担当課	企画課			
目標	-									
事業実施状況	・総合計画の推進(施策・事務事業評価の実施、公表) ・総合計画策定審議会の開催 ・市民まちづくりアンケートの実施	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額			
		事業費		158	1,089					
		特定財源		0	0					
		一般財源		158	1,089					
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 23 取組 2 番号 6 事務事業 総合戦略推進事業												
目的 PDCAサイクルの考え方に基づき、総合戦略の施策立案、評価・検証、取り組みの見直しを行い、効果的に人口対策を推進します。				担当課		企画課						
目標 -												
事業実施状況	・帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取り組みの進捗管理			単位: 千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
				事業費		0		0				
				特定財源		0		0				
				一般財源		0		0				
				指標名		-						単位
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 23 取組 2 番号 7 事務事業 財政運営事業										
目的	事業の選択と集中を進め、持続可能で健全な財政運営を図ります。					担当課	財政課			
目標	-									
事業実施状況	・効果的な予算編成手法の検討 ・財政健全化判断比率の適正維持		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		0	0				
			特定財源		0	0				
			一般財源		0	0				
			指標名		-					単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 23 取組 2 番号 8 事務事業 財務管理事業										
目的	予算編成・決算調製などを通して、適正な事務執行の徹底を図ります。					担当課	財政課			
目標	-									
事業実施状況	・財務管理業務の実施 ・一部事務組合への負担金支出 ・財政調整基金の管理	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費		504,296	1,202,862					
		特定財源		369	643					
		一般財源		503,927	1,202,219					
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 23 取組 2 番号 9 事務事業 市債等管理事業										
目的	市債の発行・償還や資金運用を適切に進め、計画的な財政運営を図ります。					担当課	財政課			
目標	-									
事業実施状況	・市債の発行、償還(普通会計) ・減債基金の管理 ・資金運用	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		8,490,995		8,741,520				
		特定財源		159,441		236,566				
		一般財源		8,331,554		8,504,954				
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 23 取組 2 番号 10 事務事業 一般行政事業												
目的	総合案内や儀式、表彰など、一般行政事務を推進します。							担当課	総務部総務課			
目標	-											
事業実施状況	・総合案内、電話交換業務 ・新年交礼会、褒章・表彰業務 ほか			単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
				事業費		38,212		37,174				
				特定財源		3,506		3,473				
				一般財源		34,706		33,701				
				指標名		-						単位
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 23 取組 2 番号 11 事務事業 戸籍・住民基本台帳関連事業									
目的	戸籍・住民基本台帳関連事務を適切に管理するとともに、各種証明書等の発行や申請の受付を迅速かつ正確に行います。					担当課	戸籍住民課		
目標	-								
事業実施状況	・戸籍・住民基本台帳に関する事務(197,630件) ・パスポートの申請交付に関する事務(264件) ・社会保障・税番号制度に係る個人番号カードの交付事務(23,836件) ・諸証明のコンビニ交付サービスの実施(11,225件) ・キャッシュレス決済の導入(2,603件)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
		事業費		155,072		160,401			
		特定財源		164,515		166,982			
		一般財源		△9,443		△6,581			
		指標名		-				単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-								

施策 23 取組 2 番号 12 事務事業 川西支所管理運営事業									
目的	川西支所を管理運営し、地域における利便性と質の高い行政サービスを 提供します。					担当課	川西支所		
目標	-								
事業 実施 状況	・各種窓口業務 ・各種団体の運営に関する支援事務 ・川西支所の維持管理	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		1,793	1,786				
		特定財源		0	0				
		一般財源		1,793	1,786				
		指標名		-				単位	
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価 検証	-								

施策 23 取組 2 番号 13 事務事業 大正支所管理運営事業											
目的		大正支所を管理運営し、地域における利便性と質の高い行政サービスを 提供します。					担当課		大正支所		
目標		-									
事業 実施 状況	・各種窓口業務 ・各種団体の運営に関する支援事務 ・大正支所の維持管理		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		430		428				
			特定財源		0		0				
			一般財源		430		428				
			指標名		-						単位
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値	
評価 検証		-									

施策 23 取組 2 番号 14 事務事業 効率的行政運営推進事業										
目的		継続的な行財政改革への取り組みや行政サービス改善など、市民満足度の高い効率的な行政運営を進めます。				担当課	人事課、契約管財課			
目標		-								
事業実施状況	・民間委託等幅広い手法の検討・推進(他自治体の事例収集や民間企業からの情報収集等) ・指定管理者制度の運用(302施設) ・事務権限の移譲への対応(関連情報の収集・庁内共有) ・行財政改革の推進(保育所の民間移管先募集・決定、指定管理者制度導入施設の拡大、諸証明等交付窓口へのキャッシュレス決済の導入 等)	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		85		191				
		特定財源		0		0				
		一般財源		85		191				
		指標名		-				単位		
		基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 23 取組 2 番号 15 事務事業 行政情報基盤運営事業												
目的	行政情報ネットワークを管理運営し、効率的で安全性の高い行政サービスを提供します。					担当課	ICT推進課					
目標	-											
事業実施状況	・行政情報ネットワークの維持管理 ・情報セキュリティ対策の推進 ・農村地域の光ファイバ整備への支援				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		78,603		634,191			
					特定財源		1,291		467,983			
					一般財源		77,312		166,208			
	指標名				-				単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 23 取組 3 番号 1 事務事業 物品購入・工事契約事業														
目的	地域の経済や雇用環境などに配慮しながら、品質の優れた調達を行います。					担当課	契約管財課							
目標	入札・契約事務の改善を進めます。													
事業実施状況	・工事の契約事務(116件うち入札113件)				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額			
					事業費		303		289					
					特定財源		0		0					
					一般財源		303		289					
	指標名				-						単位			
	基準値		R2		目標値 実績値		R3		目標値 実績値		R4		目標値 実績値	
	評価検証	R3年度は、R2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に伴う雇用への影響に配慮しながら契約事務を進めるなど、目標達成に向けて進捗しています。												

施策 23 取組 3 番号 2 事務事業 税収入払戻事業												
目的	市税の過誤納付金の還付を行い、公正かつ公平な収納事務を行います。					担当課	収納課					
目標	-											
事業実施状況	・市税過誤納付金の還付				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		64,690		61,292			
					特定財源		0		0			
					一般財源		64,690		61,292			
	指標名				-				単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 23 取組 3 番号 3 事務事業 収納率向上対策事業										
目的	市税等の収納率向上対策などを進め、自主財源の確保を図ります。					担当課	収納課			
目標	-									
事業実施状況	・収納率向上対策の推進 ・広域連携による市税等の滞納整理(実施主体:十勝圏複合事務組合) ・納税啓発の推進 ・納付環境の整備(地方税共通納税システムの運用) ・納税相談の実施(夜間窓口の開設、納税推進強調月間の実施) ・収納管理業務 ・滞納処分の実施 ・キャッシュレス決済の導入					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
						事業費		63,972	54,702	
						特定財源		305,437	305,784	
						一般財源		△241,465	△251,082	
	指標名		-			単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 23 取組 3 番号 4 事務事業 諸税賦課事業												
目的	市たばこ税など、諸税の課税事務を適正に執行し、自主財源の確保を図ります。					担当課	市民税課					
目標	-											
事業実施状況	・諸税の賦課				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		7,158		7,594			
					特定財源		12		11			
					一般財源		7,146		7,583			
	指標名		-				単位					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 23 取組 3 番号 5 事務事業 市民税賦課事業												
目的	市民税の課税事務を適正に執行し、自主財源の確保を図ります。					担当課	市民税課					
目標	-											
事業実施状況	・市民税の賦課 ・電子申告システムの運用				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
					事業費		41,111		38,383			
					特定財源		11		11			
					一般財源		41,100		38,372			
	指標名		-						単位			
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策	23	取組	3	番号	6	事務事業	固定資産税・都市計画税賦課事業											
目的	固定資産税・都市計画税の賦課事務を適正に執行し、自主財源の確保を図ります。						担当課		資産税課									
目標	-																	
事業実施状況	・固定資産税の賦課 ・都市計画税の賦課						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
							事業費		50,768		35,993							
							特定財源		11		11							
							一般財源		50,757		35,982							
							指標名				-				単位			
							基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-																	

評価検証	-									
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

施策	23	取組	3	番号	7	事務事業	固定資産評価審査委員会運営事業										
目的	固定資産評価審査委員会を運営し、固定資産評価に対する不服について審査します。						担当課	総務部総務課									
目標	-																
事業実施状況	・固定資産評価審査委員会の運営					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
						事業費		20		24							
						特定財源		0		0							
						一般財源		20		24							
						指標名						-		単位			
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-																

評価検証	-									
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

施策	23	取組	3	番号	8	事務事業	公平委員会運営事業				
目的	地方公務員法に基づき公平委員会を運営し、適正な人事管理を進めます。						担当課	総務部総務課			
目標	-										
事業実施状況	・公平委員会の運営					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費		89	89		
						特定財源		0	0		
						一般財源		89	89		
	指標名					-			単位		
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-										

評価検証	-									
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

施策	23	取組	3	番号	9	事務事業	法制事業										
目的	法令遵守の徹底など法制事務を実施し、行政事務を適正に執行します。					担当課	総務部総務課										
目標	-																
事業実施状況	・法制事務 ・行政不服審査会の運営 ・個人情報保護制度の推進					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
						事業費		5,862		5,767							
						特定財源		254		259							
						一般財源		5,608		5,508							
						指標名				-				単位			
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-																

評価検証	-									
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

施策	23	取組	3	番号	10	事務事業	文書管理事業				
目的	公文書の適正管理や印刷業務を効率的に行うなど、文書管理事務を進めます。						担当課	総務部総務課			
目標	-										
事業実施状況	・公文書等の管理 ・印刷業務 ・郵便業務					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費		9,282	9,793		
						特定財源		10	10		
						一般財源		9,272	9,783		
	指標名					-			単位		
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-										

評価検証	-									
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

施策	23	取組	3	番号	11	事務事業	統計調査事業						
目的	統計調査の実施や統計データの提供などの統計調査業務を進めます。					担当課	総務部総務課						
目標	-												
事業実施状況	・各種統計調査の実施 ・統計冊子の発行					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費		64,746	10,532				
						特定財源		55,999	10,347				
						一般財源		8,747	185				
						指標名				-	単位		
						基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-												

評価検証	-									
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事務事業評価表

施策 23 取組 3 番号 12 事務事業 会計事業										
目的	安全で有利な現金管理や正確な現金出納など、会計事務を適正に執行します。						担当課		会計課	
目標	-									
事業実施状況	・公金保護対策の基本方針に基づく現金管理 ・公金収納状況検査の実施		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		15,173		14,966			
			特定財源		0		0			
			一般財源		15,173		14,966			
	指標名		-				単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 23 取組 3 番号 13 事務事業 議会議員活動事業																
目的	調査研究など議員活動の円滑な推進を支えます。							担当課	議会事務局							
目標	-															
事業実施状況	・調査研究活動の推進に関する業務				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
					事業費		5,251		7,358							
					特定財源		0		0							
					一般財源		5,251		7,358							
					指標名						-		単位			
					基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-															

施策 23 取組 3 番号 14 事務事業 本会議・委員会運営事業											
目的	議会活動に関する情報発信などを進め、市民にわかりやすい開かれた議会運営を支えます。					担当課	議会事務局				
目標	-										
事業実施状況	・議会活動等の情報提供に関する業務			単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
				事業費		17,177		17,246			
				特定財源		0		0			
				一般財源		17,177		17,246			
				指標名		-					
	基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値	
				実績値			実績値			実績値	
評価検証	-										

施策 23 取組 3 番号 15 事務事業 議会運営事業										
目的	議会がその役割を十分に発揮できるよう、円滑な議会運営を支えます。					担当課	議会事務局			
目標	-									
事業実施状況	・議会運営に関する業務		単位: 千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		5,937	6,107				
			特定財源		0	0				
			一般財源		5,937	6,107				
			指標名		-					単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 23 取組 3 番号 16 事務事業 監査事業										
目的	公正で合理的かつ効果的な行政運営の確保に資するため、監査等を実施します。					担当課		監査委員事務局		
目標	-									
事業実施状況	・定期監査の実施 ・決算審査の実施		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		3,058	3,142				
			特定財源		0	0				
			一般財源		3,058	3,142				
	指標名		-					単位		
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策	23	取組	3	番号	17	事務事業	選挙管理委員会運営事業				
目的	有権者への情報提供など、選挙管理委員会に関する業務を進め、有権者の意識啓発を図ります。					担当課	選挙管理委員会事務局				
目標	-										
事業実施状況	・有権者への情報提供 ・選挙管理委員会の運営に関する業務					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費		2,781	2,776		
						特定財源		6	2		
						一般財源		2,775	2,774		
	指標名		-					単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
	評価検証	-									

事務事業評価表

施策 23 取組 3 番号 18 事務事業 各選挙執行事業										
目的	各選挙を公正に執行し、まちづくりの参加意識の向上を図ります。						担当課	選挙管理委員会事務局		
目標	-									
事業実施状況	・各選挙の執行 ・有権者への選挙の周知及び啓発	単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額		
		事業費		0		62,979				
		特定財源		0		59,576				
		一般財源		0		3,403				
	指標名		-						単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 23 取組 4 番号 1 事務事業 公共施設マネジメント推進事業										
目的	公共施設等の長寿命化や施設総量の適正化などを進めます。					担当課	企画課			
目標	施設等の長寿命化や施設総量の適正化などを図る個別施設計画の策定を進めます。									
事業実施状況	・公共施設マネジメントの推進 ・公共施設マネジメントに関する情報発信(広報おびひろ11月号) ・個別施設計画の策定		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額		R4年度決算額		
			事業費		0	0				
			特定財源		0	0				
			一般財源		0	0				
			指標名		-					単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R3年度は、「帯広市岩内自然の村」の方向性の検討にあたり、施設の利活用に係る民間提案型調査を実施したほか、コミュニティ施設などにおいて検討を進めるなど、目標達成に向け進捗しています。今後も、施設の利用実態や老朽化の状況などを的確に把握し、施設のあり方について検討しながら個別施設計画策定に向けた取り組みを進めていきます。									

施策 23 取組 4 番号 2 事務事業 公共施設営繕事業																	
目的	公共施設の整備に関する事務や既存施設の改築、長寿命化等の適正な工事監理を進めます。						担当課	住宅営繕課									
目標	-																
事業実施状況	・公共施設の整備に関する事務 ・既存施設の改修等に関する事務 ・市有施設建築保全システムの運用						単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
							事業費		3,283		2,113						
							特定財源		0		0						
							一般財源		3,283		2,113						
							指標名 -						単位				
							基準値		R2	目標値		R3	目標値		R4	目標値	
										実績値			実績値			実績値	
評価検証	-																

施策 23 取組 5 番号 1 事務事業 人材育成・評価事業													
目的	職員の働く意欲と能力を高める視点から人事評価等を進め、自ら成長し能力を発揮できる職員を育成します。					担当課	人事課						
目標	-												
事業実施状況	・職員研修の実施(32項目、参加者延1,847人) ・国等への職員の派遣・受入(派遣20人、受入3人) ・人材育成基本方針に基づく取り組みの推進(職員研修・職場環境整備・人事管理) ・人材そだち評価制度の実施(一般職への評価結果の処遇反映を決定)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
						事業費		17,509		14,051			
						特定財源		5,141		4,693			
						一般財源		12,368		9,358			
	指標名		-					単位					
	基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 23 取組 5 番号 2 事務事業 職場環境整備事業										
目的	職員の健康管理や公務災害の未然防止など、職員が安心して働き、能力を発揮することができる職場環境づくりを進めます。					担当課	人事課			
目標	-									
事業実施状況	・職員の健康管理(定期健康診断等受診者数:1,531人、ストレスチェック:1,261人) ・職員と職場の安全衛生管理(公務災害補償、施設職場における救急薬品の整備) ・福利厚生の実施		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費		116,944	122,102				
			特定財源		17,965	17,312				
			一般財源		98,979	104,790				
			指標名		-				単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 23 取組 6 番号 1 事務事業 十勝圏連携推進事業										
目的	管内自治体や関係機関と連携し、十勝圏の発展に向けた取り組みを進めます。					担当課	企画課			
目標	-									
事業実施状況	・十勝圏複合事務組合の活動を通じた広域事業の推進 ・十勝圏活性化推進期成会を通じた要請活動の実施 ・帯広圏地方拠点都市地域協議会及びとかち航空宇宙産業基地誘致期成会の運営 ・国、道、管内自治体等との連携による十勝圏の振興		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費		5,315	5,197				
			特定財源		0	0				
			一般財源		5,315	5,197				
			指標名					-	単位	
			基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 23 取組 6 番号 2 事務事業 都市間連携推進事業																	
目的	北海道内の広域的な行政課題の解決に向け、各都市と連携した取り組みを進めます。					担当課	企画課										
目標	-																
事業実施状況	・北海道市長会等を通した情報収集や要請活動などの実施 ・北海道基地協議会等を通した情報収集や要請活動などの実施 ・道東六都市による情報交換などの実施					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
						事業費		4,108		4,074							
						特定財源		0		0							
						一般財源		4,108		4,074							
						指標名				-				単位			
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-																

施策 23 取組 6 番号 3 事務事業 定住自立圏構想推進事業																			
目的		帯広市と十勝管内18町村が連携・協力し、必要な生活機能を確保するとともに、圏域全体の魅力の向上や活性化を図ります。					担当課		企画課										
目標		-																	
事業実施状況	・十勝定住自立圏共生ビジョン等に基づく各種取り組みの実施					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額							
						事業費		204		85									
						特定財源		0		0									
						一般財源		204		85									
						指標名					-					単位			
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値				
評価検証	-																		

施策 23 取組 6 番号 4 事務事業 東京事務所運営事業										
目的		東京事務所を管理運営し、産業・経済、行政、観光・移住などの情報収集・提供を進めます。					担当課	東京事務所		
目標		-								
事業実施状況	・東京事務所の運営		単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額	
			事業費		9,551		9,933			
			特定財源		0		0			
			一般財源		9,551		9,933			
			指標名		-					単位
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 23 取組 0 番号 1 事務事業 市民相談室運営事業											
目的	市民の日常生活に関する一般相談や法律相談を実施し、問題解決に向けた支援を行います。					担当課	地域福祉課				
目標	市民の日常生活における様々な問題に対応する市民相談員による相談体制を維持します。										
事業実施状況	・市民相談の実施(相談数1,371件) ・弁護士無料法律相談の実施	単位:千円	R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額				
		事業費	5,784		5,948						
		特定財源	0		0						
		一般財源	5,784		5,948						
		指標名	相談件数					単位	件		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
		1,906		1,906 1,266		1,906 1,371		1,906			
評価検証	R3年度における市民相談件数は1,371件となりました。 市民相談員による相談体制を維持し、弁護士無料法律相談に取り組むなど、市民の日常生活への相談に応じることができたものと考えます。										

施策 23 取組 0 番号 2 事務事業 政策推進事業											
目的	幅広く情報収集などを進めるとともに、重要施策の総合的な企画調整を行います。						担当課	企画課			
目標	-										
事業実施状況	・政策推進に関する情報収集等 ・重要施策の企画調整 ・国・道などへの要請活動の実施					単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費		5,833	5,579		
						特定財源		0	0		
						一般財源		5,833	5,579		
						指標名		-			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 23 取組 0 番号 3 事務事業 秘書事業																
目的	市長・副市長の公務に関する秘書業務を行います。						担当課	秘書課								
目標	-															
事業実施状況	・秘書業務				単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
					事業費		7,405		7,929							
					特定財源		0		0							
					一般財源		7,405		7,929							
					指標名				-				単位			
					基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-															

事務事業評価表

施策	23	取組	0	番号	4	事務事業 市役所庁舎管理事業												
目的	計画的な管理や有効活用を進めるなど、市役所庁舎を適切に維持管理します。					担当課		総務部総務課										
目標	-																	
事業実施状況	・市役所庁舎の設備等の維持管理 ・光熱水費削減の取り組み(経済的な電力確保の継続等) ・広告事業の推進					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額						
						事業費		165,052		163,973								
						特定財源		23,546		22,624								
						一般財源		141,506		141,349								
						指標名		-								単位		
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値			
評価検証	-																	

施策	23	取組	0	番号	5	事務事業 公用車管理事業											
目的	公用車を効率的に管理・運行します。								担当課		総務部総務課						
目標	-																
事業実施状況	・公用車の管理(バス稼働件数117件、供用車稼働率78.5%)					単位:千円		R2年度決算額		R3年度決算額		R4年度決算額					
						事業費		24,744		23,816							
						特定財源		53		0							
						一般財源		24,691		23,816							
						指標名						-		単位			
						基準値		R2	目標値 実績値		R3	目標値 実績値		R4	目標値 実績値		
評価検証	-																

施策 23 取組 0 番号 6 事務事業 職員任用管理事業											
目的	人材の確保と職員の適正配置により、施策を効果的に推進する組織体制づくりを進めます。						担当課	人事課			
目標	-										
事業実施状況	・職員定数の管理(R3.4.1時点職員数1,329人) ・職員採用に関する事務(〔正職員〕試験回数2回、受験者数489人、合格者数50人〔任期付〕試験回数9回、受験者数31人、合格者数25人)						単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
							事業費		3,519	2,788	
							特定財源		0	0	
							一般財源		3,519	2,788	
	指標名		-						単位		
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-										

令和3年度

施策・事務事業評価表

編集 帯広市政策推進部企画室企画課

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地

Tel: 0155-65-4105 FAX: 0155-23-0151

E-mail: plan@city.obhiro.hokkaido.jp